



ビルド マネージャ用 ヘルプ

IBM Rational Synergy
ビルド マネージャ用ヘルプ

リリース 7.1a

本書をご使用になる前に、[特記事項](#)に記載されている情報をお読みください。

本書は、Rational Synergy（製品番号 5724V66）バージョン 7.1 および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

© Copyright IBM Corporation 1997, 2009.

目次

プロジェクトの作成と更新	11
作業環境の作成.....	13
プロジェクトの作成.....	14
プロジェクトのコピー.....	15
プロジェクトメンバーの作成.....	17
ファイルシステムへのプロジェクトのコピー.....	18
プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正.....	19
デフォルト ワークエリア パスの設定.....	20
プロジェクトの更新.....	21
プロジェクトの更新.....	22
更新の取り消し.....	23
オブジェクトの別バージョンの使用.....	24
オブジェクトの推奨バージョンの使用.....	25
プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決.....	26
深いコンフリクト検出の実行.....	39
ワークエリアとデータベースの同期.....	40
更新オプションの変更.....	42
パターンによるファイルの無視.....	43
プロジェクトの更新プロパティの変更.....	45
ベースラインを使用した変更.....	49
ベースラインの作成.....	50
ベースラインとタスクの更新.....	53
更新時のベースラインとタスクの変更の防止.....	54
開発者にテストベースラインを公開.....	55
ベースラインとすべてのオブジェクトのリリース.....	56
新規ベースラインの選択.....	57
別のベースラインの使用.....	58
ファイルの変更	59
ファイル内容の変更.....	60
プロジェクト グルーピングからすべてのタスクを削除.....	61

チェックイン.....	62
チェックアウト.....	63
ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成.....	64
ファイルの編集.....	65
ファイル配置の変更.....	66
オブジェクトの削除.....	67
ファイルの移動.....	69
ディレクトリへの追加.....	70
プロジェクト ファイルの名前変更.....	71
ファイルのタイプの変更.....	72

タスクの作業 73

日常のタスク.....	74
タスクの選択.....	75
カレントタスクの完了.....	76
タスクの割り当て.....	77
タスクの作成.....	78
タスクのコピー.....	80
タスクの除外.....	82
カレントタスクへ追加.....	83
フォルダへのタスクの追加.....	84
タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除.....	85
自分に割り当てられたタスクの表示.....	86
関連タスクの表示.....	87
タスクの修正.....	89
タスクを指定して別タスクを修正.....	90
修正タスクの作成.....	92
プロジェクト グルーピングからタスクを削除.....	94
プロジェクト グルーピングにタスクを追加.....	95
タスクと変更依頼.....	97
変更依頼へのタスクの追加.....	98
変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成.....	99
ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除.....	100
関連タスクの変更依頼の表示.....	101

変更依頼の解決.....	102
ベースライン作成オプションの変更.....	103
必須タスクの自動追加を停止.....	105

プロパティの使用 107

オブジェクト プロパティの変更.....	108
ベースライン プロパティの修正.....	109
ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正.....	110
フォルダのプロパティの修正.....	112
フォルダ テンプレートのプロパティの修正.....	114
プロセスのプロパティの修正.....	116
プロセス ルールのプロパティの修正.....	118
プロジェクトのプロパティの修正.....	122
プロジェクト グルーピングのプロパティの修正.....	124
リリースのプロパティの修正.....	126
タスクのプロパティの修正.....	129
ワークエリアの設定の修正.....	131
プロパティの表示.....	134
プロパティ設定からの変更.....	136
ユーザー プロパティのカスタマイズ.....	137
デフォルト アプリケーション ツールの変更.....	138
オブジェクトのセキュリティ設定の変更.....	141
転送セットのメンバーシップの表示と修正.....	143
プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加.....	145

ファイルの検索とその他 147

オブジェクトの検索.....	148
オブジェクトの検索.....	149
オブジェクトの使用箇所の検索.....	150
オブジェクトまたはリリースの履歴の表示.....	151
割り当てられた変更依頼の表示.....	153
クエリの設定.....	155
クエリの定義.....	156
クエリの保存.....	158

クエリを新しい名前で作成	159
保存クエリの表示	160
保存クエリの名前変更	161
クエリのカスタマイズ	162
関数	172
比較演算子	177
論理演算子	178
定数	179
クエリ文節のグループ化	180
定義済みクエリの使用	181
オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ	182
保存クエリの実行	183
保存クエリの編集	184

マージと比較 185

マージ	186
2つのファイルバージョンのマージ	187
パラレルファイル/ディレクトリのマージ	188
マージ結果の編集	189
次のマージ差分の表示	190
コンフリクトのないマージの適用	191
マージ済みファイルの保存	192
マージ変更のクリア	193
比較	195
2つのファイルの比較	196
パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較	197
パラレルバージョンの表示	198
オブジェクトを関連オブジェクトと比較	200
2つの類似オブジェクトの比較	201

ビルドの管理 203

ビルド管理ビルド	204
ビルドの実行	205
破損ビルドの修復	207

再ビルドの実行.....	208
特定のタスクを使用するビルド.....	212
ビルドのスナップショットの作成.....	214
ベースラインなしの再ビルド.....	216

インターフェイスのカスタマイズ 217

エクスプローラの使用.....	218
1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる.....	219
エクスプローラのカスタマイズ.....	220
1つ以上のエクスプローラのドッキング.....	222
エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化.....	223
保存クエリのエクスプローラへの追加.....	224
保存クエリの検索メニューへの追加.....	225
エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする.....	226
保存クエリの削除.....	227
インターフェイスの外観の変更.....	229
よく使うリリース値の追加／削除.....	230
ダイアログボックスとペインのカスタマイズ.....	231
インターフェイスの色の変更.....	232
フォントタイプとサイズの変更.....	234
履歴ダイアログボックスの外観の変更.....	235
ワーク ペインの外観の変更.....	237
ワーク ペインのタブの管理.....	238
プロジェクトを閉じる.....	240
カラム表題部にプロパティを追加.....	241
カラム表題部からプロパティを削除.....	242
セッション中に選択を最新の状態に更新.....	243
リリース エクスプローラの表示.....	244
転送セット オプションの表示.....	245
プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示.....	246

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習 247

Rational Synergy の開始.....	249
コマンドラインからの Rational Synergy の開始.....	250

Rational Change の起動.....	252
コピーベース モードによる Rational Synergy の使用	253
Rational Synergy サポートへの要求の送信	254
新規ユーザー向けの説明.....	256
Rational Synergy ツアーの実施	257
Rational Synergy の開始	261
キーボード ショートカットの使用	262
マウス ショートカットの使用	265
ヘルプの参照.....	266
IBM Rational IBM ソフトウェア サポートへの問い合わせ.....	267
ファイルの移動.....	271
オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け.....	272
切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動.....	273
ドラッグアンドドロップの使用.....	274
ダイアログボックスとペインを開く、閉じる、選択、表示	275
ショートカット メニューの表示	276
ワーク ペインでプロジェクトを開く	277
ワーク ペインでプロパティを表示	278
メッセージの表示.....	279
複数のファイルの選択.....	279
ファイル/プロジェクト/タブの表示.....	279
問題解決.....	280
パターン マッチングと Rational Synergy.....	281
プロジェクト グループ内すべてのタスクを別のプロジェクト グループへコピー	282
テキストの回復.....	283
オブジェクトの再表示.....	284

ビルド管理の実行 285

フォルダの作業.....	287
フォルダのコピー.....	288
フォルダの作成.....	289
フォルダ テンプレートの作業.....	290
フォルダ テンプレートの作成	291

フォルダ テンプレートのコピー	293
プロセスの作業	295
プロセスの作成	296
プロセスのコピー	298
プロセス ルールの作業	299
コンポーネント開発用にフォルダまたはフォルダ テンプレートをプロセス ルールに追加	300
プロセス ルールの設定	302
リリースの作業	304
リリースの作成またはコピー	305
リリースのアクティブ化と非アクティブ化	308
目的の作業	309
目的の作成	310
目的の削除	311
目的の編集	312
DCM の作業	313
転送セットへの オブジェクトの追加	314
一般的な質問	365
ベースライン	369
ビルド管理	373
コンフリクト	377
開発	379
エクスプローラ	383
プロパティ	385
用語解説	389
特記事項	401
商標	403
索引	405

プロジェクトの作成と更新

作業環境の作成

- [プロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトメンバーの作成](#)
- [ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

プロジェクトの更新

- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [オブジェクトの別バージョンの使用](#)
- [オブジェクトの推奨バージョンの使用](#)
- [プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [更新オプションの変更](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクトの更新プロパティの変更](#)

ベースラインを使用した変更

- [リリースの作成またはコピー](#)
- [ベースラインの作成](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [開発者にテストベースラインを公開](#)
- [ベースラインとすべてのオブジェクトのリリース](#)
- [新規ベースラインの選択](#)
- [別のベースラインの使用](#)

[特記事項](#)

作業環境の作成

- [プロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトメンバーの作成](#)
- [ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

プロジェクトの作成

この手順により、プロジェクトを作成します。さらに、プロジェクトをコピーしてプロジェクトやサブプロジェクトを作成できます。

注記：カレント タスクが設定されている必要があります。
詳細については、[タスクの選択](#)を参照してください。

ファイル システムにプロジェクトのファイルのコピーが必要な場合、ファイル システムにプロジェクトをコピーできます。これにより、プロジェクトの独自バージョンを持たずにプロジェクトからのファイルのコピーを持つことができます。

ステップ ...

1. プロジェクトを作成します。

- **タスク** メニューをクリックし、**新規**をポイントして、**プロジェクト**を選択します。
ディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

または

- 適切なプロジェクト グループングを右クリックし、**プロジェクトの作成**を選択します。

2. 内容を説明する名前を入力します。

3. リリースと目的を選択し、**OK** ボタンをクリックします。

プロジェクトの目的は、**Insulated Development (個別開発)**、**Integration Testing (統合テスト)**、**System Testing (システム テスト)** などのように、それが何に使われるかを定義します。プロジェクトの目的を設定すると、IBM® Rational® Synergy はプロジェクトまたはプロジェクト グループングの更新時に特定の選択基準を使用します。

関連トピック

- [ディレクトリへの追加](#)
- [プロジェクトのコピー](#)
- [ファイル システムへのプロジェクトのコピー](#)
- [ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ファイルの編集](#)
- [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [タスクの選択](#)

プロジェクトのコピー

プロジェクトのコピーにより、既存プロジェクトから簡単に新規プロジェクトを作成できます。

ファイルを変更せずにプロジェクトの内容を表示するだけの場合は、バージョンをチェックアウトせずにプロジェクトとそのメンバーを表示できるファイル システムへのプロジェクトのコピーを行います。

ステップ ...

1. コピーするプロジェクトを右クリックし、**プロジェクトのコピー**を選択します。
プロジェクトのコピー ダイアログボックスが表示されます。
2. もとのプロジェクトのリリース値を使用するか **リリース** リストで新しいリリースを設定します。
3. **目的**リストで新規プロジェクトの目的を設定します。

プロジェクトの目的は、**Insulated Development (個別開発)**、**Integration Testing (統合テスト)**、**System Testing (システム テスト)** などのように、それが何に使われるかを定義します。プロジェクトの目的を変更すると、IBM® Rational® Synergy はプロジェクトまたはプロジェクト グルーピングの更新時に異なる選択基準を使用します。

4. サブプロジェクトがある場合、同じリリースのサブプロジェクトのみ、サブシステム、すべてのサブプロジェクトをコピーする、またはサブプロジェクトをコピーしないことを選択できます。

コピーするサブプロジェクトを設定するには、**[>>]** をクリックします。

プロジェクトのコピー ダイアログボックスが開き、コピーするプロジェクト内の各サブプロジェクト、ベースラインに関連している各サブプロジェクト、およびプロジェクト グルーピングに関連している各サブプロジェクトが表示されます。**コピー** チェックボックスを選択または選択解除して、Rational Synergy がコピーするサブプロジェクトを選択します。

サブプロジェクトをその親プロジェクトの内容からコピーする場合、新しいサブプロジェクトはそのリリースと目的が親プロジェクトのものと一致する場合にのみ、親プロジェクトのメンバーになります。

5. デフォルトバージョンを使用するか新しいバージョンを入力します。
バージョンはプロジェクト固有のバリエーションです。
6. コピーするプロジェクトが使用しているワークエリア パスを選択するか、新しいパスを入力するか参照ボタンによって設定します。
7. デフォルトで、Rational Synergy はプロジェクトのコピー後にすべての新しいプロジェクトを更新します。新しいプロジェクトを更新したくない場合は、**新規プロジェクトの更新**チェックボックスのチェックを外します。
8. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [プロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトメンバーの作成](#)
- [ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)

プロジェクトメンバーの作成

この手順により、プロジェクトに新規ファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを追加します。Rational Synergy により、新規ファイルがカレントタスクと関連付けられます。

注記：カレントタスクが設定されている必要があります。
詳細については、[タスクの選択](#)を参照してください。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- 新規オブジェクトをメンバーとして格納したいディレクトリを右クリックし、**メンバーの作成**をポイントします。

ファイルを追加するには、**ファイル**を選択します。**ファイルの作成**ダイアログが開きます。新規ファイルの名前を入力して **OK** をクリックします。

ディレクトリを追加するには、**ディレクトリ**を選択します。**ディレクトリの作成**ダイアログが開きます。新規ディレクトリの名前を入力して **OK** をクリックします。

サブプロジェクトを追加するには、**サブプロジェクト**を選択します。**サブプロジェクトの作成**ダイアログが開きます。新規サブプロジェクトの名前を入力して **OK** をクリックします。

関連トピック

- [タスクの選択](#)

ファイル システムへのプロジェクトのコピー

この手順により、ファイル システム内に自分で使用するプロジェクトを作成します。
この場合、プロジェクトは単なるコピーで、他のワークエリアとは無関係です。ファイル システムにコピーした後、メンテナンスしたり、同期したりすることはできません。

ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. コピーするチェックイン済みプロジェクトまたはディレクトリを右クリックし、**ファイル システムにコピー**をポイントします。**メンバーのみ**を選択してメンバーのみをコピーするか、**メンバーとサブプロジェクト**を選択してメンバーとサブプロジェクトをコピーします。

コピーダイアログボックスが表示されます。

2. **コピー**を置くディレクトリを選択します。

指定したディレクトリにプロジェクトの名前と同じ名前のファイルかサブディレクトリがある場合は、エラーメッセージが表示されます。

3. **コピー**をクリックします。

関連トピック

- [チェックイン](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトの更新](#)

プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正

デフォルトパスを変更する場合、必ず[ワークエリア](#)パスが固有になるようにしてください。すなわち、2つのワークエリアのデフォルトパスが同じであってはなりません。たとえば、リリース 2.1 とリリース 3.0 の両方に **toolkit** という[プロジェクト](#)があり、プロジェクト固有のワークエリアパスが設定されていない場合、両方のプロジェクトのデフォルトパスが同じになります（デフォルト設定により、ワークエリアパスは確実に固有のものになります）。

ステップ ...

1. メインメニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション**ダイアログを開きます。
2. **アクション**タブをクリックし、左のペインで**プロジェクトのコピー**をクリックします。
3. プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートを修正します。
 - a. ワークエリアパスの一部としてプロジェクト固有ディレクトリを使用するかどうかを指定します。

プロジェクト固有ディレクトリにより、プロジェクトの名前がベースディレクトリの末尾に追加されます。

設定を中止すると、プロジェクト固有ディレクトリ名が**上記設定のパス例**ボックスに表示されなくなります。
 - b. プロジェクト固有ディレクトリをさらに詳細に記述するにはキーワードを変更します。

キーワードを使用してパスのフォーマットを記述できます。プロジェクトのチェックアウト時やワークエリアパスの変更時、プロジェクトに適した値によってキーワードが置き換えられます。たとえば、**%release** というキーワードを含むディレクトリ テンプレートの場合は、プロジェクトのリリース値 (**2.0** など) と置き換えられます。

ディレクトリ テンプレートには複数のキーワードを含めることができ、単なるディレクトリ名でなく、ディレクトリ ツリー (サブディレクトリを含むディレクトリ) にマップすることもできます。
4. 変更を行った後にデフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。

関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

デフォルト ワークエリア パスの設定

以下の手順は、新規およびコピーした[プロジェクト](#)のすべての[ワークエリア](#)が表示されるデフォルト パスを設定する方法を示します。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション ダイアログ**を開きます。
2. **アクション タブ**をクリックし、左のペインで**プロジェクトのコピー**をクリックします。
プロパティ ダイアログボックスで**デフォルト パス変更**をクリックした場合は、**オプション ダイアログボックス**が開き、**アクション タブ**の**プロジェクトのコピー オプション**が表示されます。
3. デフォルト パスを設定します。
 - a. ベース ディレクトリを変更します。
ベース ディレクトリは任意のパスに変更できます。
ベース ディレクトリを変更すると、**上記設定のパス例**ボックスに表示されます。
 - b. データベースの名前をワークエリア パスに含めるかどうかを指定します。
データベースを複数使用している場合は、ワークエリア パスにデータベース名を入れておくと便利です。
4. 変更を行った後にデフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
5. **適用**をクリックします。

関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [更新オプションの変更](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [ワークエリアの設定の修正](#)

プロジェクトの更新

- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [オブジェクトの別バージョンの使用](#)
- [オブジェクトの推奨バージョンの使用](#)
- [プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)
- [深いコンフリクト検出の実行](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [更新オプションの変更](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクトの更新プロパティの変更](#)

プロジェクトの更新

この手順により、他の開発者のファイル、ディレクトリ、またはプロジェクトの最新のバージョンを使用します。自分のプロジェクトを更新できる準備ができるまで、ワークエリアは他のユーザーの変更から隔離されています。

ステップ ...

- 適切なプロジェクトを右クリックし、**更新**をポイントします。
プロジェクトを更新するときは、**メンバーのみ**または**メンバーとサブプロジェクト**を選択します。
プロジェクト グルーピングからプロジェクトを更新するときは、**すべてのプロジェクト**または**すべてのプロジェクトとサブプロジェクト**を選択します。

関連トピック

- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [オブジェクトの別バージョンの使用](#)

更新の取り消し

この操作により、選択したプロジェクトまたはディレクトリに以前の更新によって加えられた変更を取り消します。これで、直前の更新が行われる前のプロジェクトのメンバーが復元します。現在の Rational Synergy セッションで更新したプロジェクトおよびディレクトリのみ復元できます。

ステップ ...

- 更新したプロジェクトを右クリックし、**更新**をポイントし、**元に戻す**を選択します。

関連トピック

- [プロジェクトの更新](#)
- [オブジェクトの別バージョンの使用](#)

オブジェクトの別バージョンの使用

この手順により、ワーク ペインでオブジェクトの別バージョンを使用します。

ステップ ...

オブジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なオブジェクトを右クリックし、**別バージョンの使用**を選択します。
2. **別バージョンの使用**ダイアログボックスで、使用するオブジェクトバージョンを選択するか、**推奨**をクリックして Rational Synergy の推奨バージョンを使用します。
3. **OK** をクリックします。

サブコンポーネントの別バージョンを使用する場合は、次の点に注意が必要です。サブコンポーネントが親プロジェクトと異なるコンポーネントを持つ静的サブプロジェクトまたは製品である場合、サブプロジェクトまたは製品の別バージョンはカレントタスクと関連付けられません。この機能を無効にする場合は、初期設定ファイル内の `add_used_subcomponents_to_task` を `FALSE` に設定します ([Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード](#)を参照)。

関連トピック

- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [オブジェクトの推奨バージョンの使用](#)

オブジェクトの推奨バージョンの使用

この手順により、Rational Synergy が選択したオブジェクトバージョンを使用します。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- **ワーク** ペインで、適切なファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを右クリックし、**推奨バージョンの使用**を選択します。

一般的にこの操作は、別バージョンを使用するために手動で**別バージョンの使用**操作を行ったが、推奨バージョンではなかった場合などに実行します。

関連トピック

- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [オブジェクトの別バージョンの使用](#)

プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決

メンバーシップコンフリクトは、プロジェクトのメンバーシップがプロジェクトグループのベースラインおよびタスク設定と一致しないときに発生します。これは、パラレル変更、変更の欠落、余分な変更など、不正なタスク/オブジェクト関係の原因となります（欠落した変更とは、タスクがプロジェクト グループに含まれているにもかかわらず、オブジェクトがプロジェクトのメンバーではないために、依頼したのに存在しない変更です。余分な変更は、オブジェクトがプロジェクトのメンバーであるにもかかわらず、タスクがプロジェクトグループに含まれないため、依頼していないのに存在する変更です）。

これらの問題を解決するには、以下の操作またはその一部を行う必要があります。

- パラレル変更を検索して比較し、適切ならマージする。
- 依頼したのにプロジェクトに含まれていない変更を検索して含める。
- 依頼していないのにプロジェクトに含まれている変更を検索して除外する。

メンバーシップ コンフリクトダイアログボックスでは、プロジェクトのメンバーとその[プロジェクトの更新プロパティ](#)との間のコンフリクトを確認できます。通常、更新の後にこの手順を実行して、どこにコンフリクトがあるかを確認します。メンバーシップコンフリクトの表示は、更新の直後に行うことをお勧めします。なぜなら、その時点では、プロジェクトメンバーがその時点でのプロジェクトの更新プロパティと一致しているからです。

コンフリクト メッセージの定義

以下の表とそれに続くコンフリクト検出の説明では、次の定義を使用します。

- 「コンフリクト」は、以下のいずれかの状況と定義する。
 - プロジェクトに含まれないと指定されたタスクに関連付けられたオブジェクトが含まれている。
プロジェクトに含まれると指定されたタスクに関連付けられたオブジェクトが含まれていない。
 - オブジェクトのタスク関係が期待したものに反する（たとえば、あるオブジェクトに関連付けられたタスクがないか、複数存在するなど）。
- 「明示的」とは、「直接依頼されている」、つまり[プロジェクトの更新プロパティ](#)に含まれていることを意味する。
- 「暗黙的」とは「間接的に依存または部分的に含まれる」こと、つまりプロジェクトの更新プロパティに含まれないことを意味する。

コンフリクト メッセージ	コンフリクトのデフォルト表示/非表示	説明
コンフリクト区分：余分な変更		
No task (タスクなし)	表示	オブジェクトバージョンは、暗黙的にこのプロジェクトに含まれていますが、タスクと関連付けられていません (このオブジェクトバージョンを明示的に含めることができません。そのためにはタスクが プロジェクトの更新プロパティ に含まれる必要があるからです)。
Implicitly included (暗黙的に含まれる)	表示	オブジェクトバージョンは、明示的に指定されていませんが、プロジェクトに含まれています。タスクは暗黙的にプロジェクトに含まれます。
Included by "use" operation? ("use" 操作で含まれているか)	表示	オブジェクトバージョンは明示的に指定されておらず、暗黙的にも要求されていないため、更新で選択されることはありません。
Implicit task from explicit object (明示的オブジェクトからの暗黙的タスク)	表示	このタスクの関連オブジェクトには複数のタスクが割り当てられています。オブジェクトの関連タスクの少なくとも1つが明示的 (つまり、 プロジェクトの更新プロパティ に含まれる) ですが、このタスクはそうではありません。
コンフリクト区分：変更の欠落		
Explicitly specified but not included (明示的に指定されているが含まれていない)	表示	タスクはプロジェクトによって明示的に指定されていますが含まれていません。
Explicitly specified but not included - newer (明示的に指定されているが含まれていない - より新しい)	表示	オブジェクトバージョンは、プロジェクトで明示的に指定されていますが、現在選択されているバージョンよりも新しいバージョンのオブジェクトです。タスクはプロジェクトによって明示的に指定されていますが含まれていません。
Implicitly required but not included (暗黙的に要求されているが含まれていない)	表示	タスクが暗黙的に要求されていますが、プロジェクトに含まれていません。
Implicitly required but not included - newer (暗黙的に要求されているが含まれていない - より新しい)	表示	オブジェクトバージョンは、暗黙的に要求されていますが、プロジェクトに含まれていません。これは、現在選択されているバージョンよりも新しいバージョンのオブジェクトです。

コンフリクト メッセージ	コンフリクトのデフォルト表示 / 非表示	説明
Implicitly required by multiple tasks - newer (複数のタスクによって暗黙的に要求されている - より新しい)	表示	オブジェクトバージョンは、暗黙的に要求されています。これは、プロジェクト内の別のオブジェクトが複数のタスクに関連しているという理由で暗黙的に含まれるタスクに、関連付けられているからです。コンフリクトのあるオブジェクトバージョンは含まれません。このオブジェクトバージョンは、現在プロジェクト内にあるオブジェクトバージョンよりも新しいです。
コンフリクト区分：その他		
Multiple Tasks (複数タスク)	非表示	オブジェクトバージョンは、プロジェクトに含まれ、複数のタスクに関連付けられています。
Implicitly required but before baseline (暗黙的に要求されているがベースラインより前)	非表示	オブジェクトバージョンは暗黙的に要求されていますが、ベースラインの直前バージョンです (これは暗黙的に含まれるため、実際にはコンフリクトではありませんが、処理上の問題となる可能性を示しています)。
Explicitly specified but before baseline (明示的に指定されているが、ベースラインより前)	非表示	オブジェクトバージョンは、プロジェクトで明示的に指定されていますが、ベースラインの直前バージョンです (これは暗黙的に含まれるため、実際にはコンフリクトではありませんが、処理上の問題となる可能性を示しています)。
Explicitly specified but object not in project (明示的に指定されているが、プロジェクトにオブジェクトがない)	非表示	オブジェクトバージョンはプロジェクトで明示的に指定されていますが、プロジェクト内にそのバージョンが1つもありません。これは、プロジェクト階層全体で同じ プロジェクトの更新プロパティ が共有されているため、おそらく正常です。
Implicitly required but object not in project (暗黙的に要求されているが、プロジェクトにオブジェクトがない)	非表示	オブジェクトバージョンがプロジェクトに含まれるタスクを通して暗黙的に要求されていますが、プロジェクト内にそのバージョンがありません。これは、プロジェクト階層全体で同じプロジェクトの更新プロパティが共有されているため、おそらく正常です。
コンフリクト区分：パラレル変更		
Implicitly required but not included - parallel (暗黙的に要求されているが、含まれていない - パラレル)	表示	オブジェクトバージョンが暗黙的に要求されていますが、プロジェクトに含まれていません。そのバージョンは現在選択されているバージョンのパラレルバージョンで、マージが必要な場合があります。

コンフリクト メッセージ	コンフリクトのデフォルト表示/非表示	説明
Implicitly required by multiple tasks - parallel (複数のタスクで暗黙的に要求されている - パラレル)	表示	オブジェクトバージョンは暗黙的に要求されています。これは、プロジェクト内の別のオブジェクトが複数のタスクと関連しているという理由で暗黙的に含まれるタスクに、関連付けられているからです。コンフリクトのあるオブジェクトバージョンは含まれません。このオブジェクトバージョンは、現在プロジェクト内にあるオブジェクトバージョンの平行バージョンです。
Explicitly specified but not included - parallel (明示的に指定されているが、含まれていない - パラレル)	表示	オブジェクトバージョンはプロジェクトで明示的に指定されていますが、プロジェクトに含まれていません。そのバージョンは現在のバージョンの平行バージョンで、マージが必要な場合があります。
コンフリクト区分：問題タスク		
Excluded task explicitly included (除外タスクが明示的に含まれている)	表示	除外したタスクがプロジェクトのプロジェクトグループピングに含まれています。
Excluded task implicitly included (除外タスクが暗黙的に含まれている)	表示	除外したタスクがプロジェクトのプロジェクトグループピングに暗黙的に含まれています。
Completed fix task not included (完了修正タスクが含まれない)	表示	問題のあるタスクがプロジェクトのプロジェクトグループピングに含まれており、修正の完了している問題のないタスクが含まれていません。
Assigned fix task not included (割り当て済み修正タスクが含まれない)	非表示	問題のあるタスクがプロジェクトのプロジェクトグループピングに含まれており、修正のための <i>task_assigned</i> (割り当てタスク) された問題のないタスクが含まれていません。
Task fixed by task not included (タスクによって修正されたタスクが含まれていない)	表示	問題のあるタスクは、プロジェクトのプロジェクトグループピングに含まれませんが、問題のないタスクは含まれます。

タスクとオブジェクトの関係

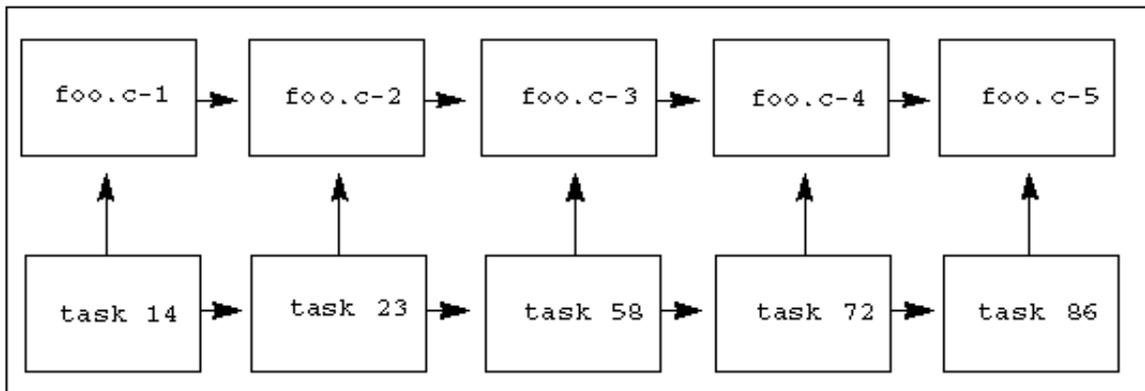
タスクと一連のオブジェクトバージョンは関係を持つことができます。Rational Synergy では一連のオブジェクトバージョンを1つのタスクと関連付けることができます。このタスクは、Rational Synergy にそれらのオブジェクトバージョンは一緒に使用する必要があり、互いの変更に依存することを知らせます。プロジェクトがタスクに関連する変更の一部のみ含む場合、そのプロジェクトはおそらくビルドに失敗します。あるいは、最悪の場合、実行に失敗します。

たとえば、関数のシグニチャを変更する場合は、その関数を呼び出すすべてのプログラムを更新してシグニチャを変更する必要があります。それらすべての変更は、まとめてプロジェクトに含めるか、全く含めないようにする必要があります。

オブジェクトの履歴関係

タスクは、履歴関係を持ちますが、それはオブジェクトの履歴関係とは異なります。オブジェクトの履歴は、通常、数的に連続しています。タスクの履歴は、関連するファイルの履歴関係をベースにした単なる概念的な関係です。タスクは変更を完了するために必要なファイルをグループ化するため、タスクの履歴関係によって、現在の一連の変更は過去の一連の変更に依存することになります。

下図は、1つのオブジェクトと、オブジェクトの履歴を通してそのオブジェクトに関連する各タスクのバージョン履歴を示しています。



foo.c オブジェクトには5つのバージョンがあります。各バージョンは、異なるタスクと関連付けられています(各バージョンに関連するタスク番号がオブジェクトバージョンの下に表示されています)。

Rational Synergy は、オブジェクトバージョンの変更は、そのすべての直前オブジェクトバージョンの変更を含むものとみなします。したがって、上記の例では、バージョン3は、バージョン2と1の変更を含むものとみなします。

たとえば、バージョン2で関数のシグニチャを変更すると、バージョン3、バージョン4およびその後のすべてのバージョンはそのシグニチャの変更を含みます。変更は、他の変更の上に重なっていきます。他の変更の一部を取り除く変更でも、その履歴バージョンの上に積み重なります。ただし、**foo.c-3** の変更といった場合に、その変更とは **foo.c-2** に対しての変更ということになります。**foo.c-2** に変更を加えたのが **foo.c-3** であるからです。

タスク依存関係

さらに、バージョン 3 はバージョン 1 と 2 からの変更を含むため、バージョン 3 の関連タスクはバージョン 1 と 2 に関連するタスクに依存するとみなされます。したがって、この例ではタスク 58 はタスク 23 と 14 に依存します。

明示的に指定された更新プロパティ

foo.c-4 を含むプロジェクト **myproj-sue** を見てみましょう。

あるタスクがプロジェクトのプロジェクトグルーピングに含まれる場合、そのプロジェクトは、そのタスクに関連付けられたオブジェクトを含む必要があることを **明示的に指定** しています。たとえば、**myproj-sue** の [プロジェクトの更新プロパティ](#) にタスク 72 と 23 が含まれる場合、それは、タスク 72 と 23 に関連付けられたオブジェクトバージョンを含む必要があることを明示的に指定しています。上記の図では、プロジェクトが明示的にタスク 72 と 23 を指定した場合、オブジェクトバージョン **foo.c-4** および **foo.c-2** も明示的に指定したことになります。

foo.c-4 は、**foo.c-2** からの変更を含み、タスク 72 はタスク 23 に依存することを忘れないでください。

プロジェクトを更新すると、明示的に指定されたオブジェクトバージョンがその候補となります。更新は、最も適切な候補、通常は最新のものを選択します。したがって、この例では、**myproj-sue** はタスク 72 と 23 を使用して候補リスト **foo.c-4** と **foo.c-2** を決定し、最新候補として **foo.c-4** を選択します。したがって、このプロジェクトは **foo.c-4** と **foo.c-2** の両方からの変更を含みます。同じように、タスク 72 と 23 の両方からの変更も含みます。

暗黙的に指定された更新プロパティ

myproj-sue プロジェクトは **foo.c-4** を含むため、その [プロジェクトの更新プロパティ](#) が明示的に指定したタスク 72 を含みます。また、**foo.c-3** は **foo.c-4** の直前バージョンなので、プロジェクトは **foo.c-3** にも依存します。また、**foo.c-3** に関連するタスク 58 にも依存します。

ただし、タスク 58 (すなわち **foo.c-3**) が **myproj-sue** のプロジェクトの更新プロパティに明示的に指定されていないが変更はその履歴関係から含まれる場合、タスクとオブジェクトバージョンは両方ともプロジェクト内で **暗黙的に指定** されています。暗黙的に指定されたタスクに関連付けられたオブジェクトは、プロジェクトに自動的に含まれないことに注意してください。

コンフリクト

プロジェクトをリリースする準備をしていると仮定します。あなたが、リリースはタスク 72 と 23 を含む必要があることを指定しましたが、タスク 58 を指定しなかったとします。ビルドを行った後で、準備しているアプリケーションにタスク 58 が含まれていることに驚くかもしれません。Rational Synergy は、あなたが依頼していないタスクが含まれることを警告できます。これを「コンフリクト」といいます。

コンフリクトにはいろいろな種類があります。プロジェクト内で **foo.c-5** を手動で使用したのに [プロジェクトの更新プロパティ](#) が明示的にタスク 86 を指定せず、明示的に指定したその他のタスクもタスク 86 に依存しない場合、それも一種のコンフリクトです。Rational Synergy は、あるオブジェクトバージョンがそのタスクを明示指定しないでプロジェクト内で使われているようだ、ということ警告できます。

もっと重大なコンフリクトもあります。

たとえば、チームは、どの変更がバグを修正したか知るのが困難なため、ファイルの 1 つのバージョンで 1 つ以上のバグを修正しないと決定します。さらに、あなたのチームは、各開発者は変更する各オブジェクトバージョンに 1 タスクのみ関連付ける必要があると決定します。この場合、もしリリース準備中のリリース内のオブジェクトバージョンが複数のタスクに関連付けられていたら、開発者にそれを止めさせるためにあらかじめ気が付く必要があります。もっとも、リリース準備をしているソフトウェアには必要な変更はすべて入っているので、さほど深刻なコンフリクトとはいえないでしょう。

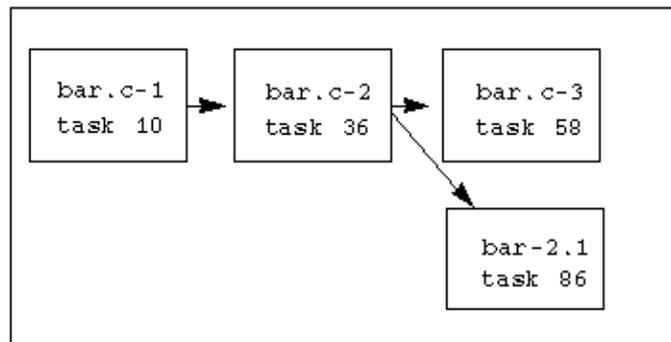
より重大なコンフリクトは、**どのタスクとも関連付けられていない**、暗黙的に含まれるオブジェクトバージョンです。

Rational Synergy は、どちらの種類コンフリクトについても警告できます。

パラレル コンフリクト

最も重要なコンフリクト検出の 1 つに、パラレルオブジェクトバージョンの検出があります。

プロジェクトが明示的に変更を指定しているが、それが含まれない場合、それは重大なコンフリクトです。たとえば、2 つのパラレルオブジェクトが 2 つの異なるタスクと関連付けられていて、両タスクとも明示的に指定されている状態を考えてみましょう。この例では、**myproj-sue** に **bar.c-3** が含まれると仮定します。**bar.c** オブジェクトは、下図に示す履歴関係とタスク関連があります。



myproj-sue の [プロジェクトの更新プロパティ](#) は、タスク 58 と 86 が含まれるべきだと指定します。しかし、プロジェクトはタスク 58 に関連付けられている **bar.c-3** のみを含みます。パラレルブランチであるため、タスク 86 に関連付けられている **bar.c-2.1** も含むことは不可能です。**bar.c** のバージョンで、依頼した両方の変更を含むものではありません。これは、プロ

ジェクトに含める必要があることがわかっているオブジェクトバージョンが欠落しているため、重大なコンフリクトです。

パラレルコンフリクトは変更の欠落を意味することもあります。他の種類の変更の欠落もあります。

変更の欠落

bar.c-2.1 を手動で **myproj-sue** プロジェクトに含めた場合にどうなるか考えてみましょう。タスク 58 と 86 両方の変更は、現在プロジェクト内にあるオブジェクトのバージョンよりも新しいため、明示的に指定されているにもかかわらず欠落します。

この変更は、明示的に指定されていますが欠落しています。[プロジェクトの更新プロパティ](#) に含まれるタスクがプロジェクトに含まれているかを確認して、欠落していることに気付くかもしれません。他の種類のコンフリクトは検出することがさらに困難です。

myproj-sue のプロジェクトの更新プロパティをリフレッシュして、タスク 86 と 58 ではなくタスク 86 と 36 を含めるとします。するとタスク 58 は明示的に指定されなくなります。タスク 86 は **foo.c-5** に関連付けられ、その直前バージョンはタスク 72 に関連付けられている **foo.c-4** です。したがって、タスク 86 は暗黙的にタスク 72 を含みます。あなたのプロジェクトが **foo.c-5** を含む場合、それは両方の変更を含み、何も問題ありません。しかし、**bar.c** はどうでしょうか。**bar.c-2.1** はタスク 86 に関連付けられているため明示的に指定されており、**bar.c-3** はタスク 58 (プロジェクトに暗黙的に含まれる) に関連付けられているため暗黙的に指定されています。したがって、今回もあなたのプロジェクトが依頼したすべての変更を含む **bar.c** のバージョンがありません。

大規模コンフリクト検出

次に、その履歴に多数のバージョンを持ち、それぞれ数百のオブジェクトメンバーを持つプロジェクトと数百のタスクを含むリリースを見てみましょう。どんなにチームが注意しても、プロジェクトが大きくなるにつれてエラーの可能性も増えます。たとえば、パラレル開発 (マージの見落とし) によるものや人的エラー (オブジェクト/タスク関連付けの見落とし) によるものがあります。解決方法は、エラーを見つけてビルドを行う前に修正することです。**Rational Synergy** は、大規模プロジェクトのコンフリクトを検出できるので、チームは、問題が大きくなる (ビルドを遅らせる) 前に解決できます。

Rational Synergy は、すべての履歴関係とタスク関係の知識を使用してこれらのコンフリクトを検出します。全体では 24 種類のコンフリクトを検出することができ、ほとんどはデフォルトで表示されます。他のものは重大ではないので、デフォルトでは表示されません。余分なコンフリクトを表示すると、実際にソフトウェアの信頼性に影響するコンフリクトに集中することが難しくなります。しかし、**CM** アドミニストレータは、**conflict_parameters** モデル属性を変更することによってデフォルトで表示されるコンフリクトを変更できます。

Rational Synergy は、プロジェクトを分析してコンフリクトがあるか調べ、その後コンフリクトを表示します。

プロジェクトの大きさと特性によっては、コンフリクト検出に時間がかかることがあるため、コンフリクトを表示する最適な時期はあなたにしかわかりません。しかし、ビルドマネージャはビルド管理プロジェクトの更新後に毎回コンフリクトを表示します。開発者

は、プロジェクトに問題を起こすパラレルバージョンや他のコンフリクトが含まれる疑いがなければ、コンフリクトを表示する必要がないかもしれません。

ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. コンフリクトを表示するプロジェクトまたはプロジェクトグルーピングを右クリックし、**メンバーシップ コンフリクトの検出**をポイントして、**プロジェクトのみ**または**プロジェクトとサブプロジェクト**のうち適切な方を選択します。

コンフリクトが検出されると、**メンバーシップ コンフリクト** ダイアログボックスが表示されます。

各コンフリクトは1つのカテゴリに含まれ、問題の原因を突き止めるのに役立つ具体的なコンフリクトメッセージを含みます。各コンフリクトの説明は、[コンフリクトメッセージの定義](#)表を参照してください。

2. コンフリクトを解決します。

各コンフリクトの適切な解決方法を決定します。

以下のいずれかの方法で解決方法を選択します。

- コンフリクトを右クリックして適切な解決方法を選択する。

または

- コンフリクトを選択し、ツールバー内で適切な解決方法を表すアイコンを選択する。

Rational Synergy がコンフリクトを解決する選択肢を絞り込みます。解決するコンフリクトを選択すると、選択したコンフリクトに対して意味のある解決方法のみ有効になります。たとえば、**余分な変更**カテゴリのタスクと関連付けられているオブジェクトコンフリクトがある場合、推奨バージョンを使用するか、タスクをプロジェクトグルーピングに追加できます。他の解決方法もありますが、選択したコンフリクトに適しているのはこれらのみです。

1つ以上のコンフリクトを選択できますが、選択したものすべてに有効な操作のみ表示されます。選択したすべてのコンフリクトを解決する操作が無い場合は、各コンフリクトを個別に解決する必要があります。

Rational Synergy が自動的にコンフリクトの数を減らすもうひとつの方法として、同じコンフリクトが階層内の複数のプロジェクトで検出されてもプロジェクトグルーピングごとに一度だけそれを表示するという方法があります。

欠落した変更または**余分な変更**カテゴリに複数のコンフリクトがある場合、をクリックして、これらすべてのオプションに**推奨バージョンを使用**オプションを使用できます。これにより、プロジェクトに対して更新を行った場合に持ち込まれるオブジェクトバージョンが使われます。すべてのコンフリクトを解決し、階層のすべてのメンバーを更新して再度コンフリクト検出を実行する準備ができるまでは、更新を行うよりもこの機能を使う方が安全かもしれません。

問題タスクカテゴリのコンフリクトがある場合、以下のいずれかの方法で解決できます。含まれないタスクによって修正されたタスクコンフリクトについては、修正タスクは[更新プロパティ](#)の一部ですが、修正されるタスクはそうではありません。以下のいずれかが有効な場合、解決方法として**問題タスクをプロジェクト グループ**に追加を選択します。

- 問題のあるタスクがプロジェクト グループに必要の変更を含む。
- 問題のあるタスクは依然除外されているが、修正タスクが完了した時点で除外を解除する必要があった。

完了修正タスクが含まれないコンフリクトがある場合、問題のあるタスクは更新プロパティに含まれますが、修正タスクは含まれません。以下のいずれかが有効な場合、解決方法として**問題タスクをプロジェクト グループから削除**を選択します。

- 問題のあるタスクは除外されているが、ユーザーがプロジェクト グループの**自動更新**をオフにしているので問題のあるタスクが自動的に取り除かれていない。
- 修正タスクを作成したユーザーが、問題のあるタスクの除外を見落とししている。
- まだ修正タスクが完了しておらず、部分修正は危険である。

プロジェクトまたはプロジェクトグループが多数のコンフリクトを含む場合、コンフリクトをフィルタリングできます。をクリックし、**メッセージ**など、表示する条件を選択し（これで他の条件がフィルタリングされる）、リストボックスを使用して表示するコンフリクトメッセージを指定します。すべてのコンフリクトを表示するには、をクリックして**フィルタをオフ**を選択します。

フィルタリングするカラム内の固有な値が10個以下の場合、フィルタ値がリストボックスに表示されます。既存の値を追加できますが、そのフィールドに独自の値を入力することもできます。カラム内の固有な値が10を超える場合は、それはテキストフィールドになり、フィルタリングを適用する値を入力できます。表示される条件のフィルタにJava™ 正規表現を使用する方法については、[パターン マッチングと Rational Synergy](#) を参照してください。

いったんコンフリクトを解決すると、**アクション済み**カラムの対応するチェックボックスにチェックマークが付き、解決操作が行われたことを示します。対処する必要があるすべてのコンフリクトの解決を試みたら（チームプロセスによっては一部のコンフリクトが残る可能性があります）、もう一度更新とコンフリクト検出を行う準備ができたこととなります。それにはをクリックします。

コンフリクトを解決している最中およびその後は、一般的に以下の手順のいくつかを実行する必要があります。これらの手順を実行する順序は決まっていますが、以下はほとんどのユーザーに当てはまる作業フローです。

- [プロパティを表示する。](#)
- [オブジェクトの履歴を表示する。](#)
- [パラレルバージョンを比較する。](#)
- [2つのパラレルバージョンをマージする。](#)
- [メンバーを更新して再度コンフリクト検出を行う。](#)
- [再度メンバーシップ コンフリクト検出を行う。](#)

-
3. プロパティを表示する。
コンフリクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスにコンフリクトのあるオブジェクトのプロパティが表示されます。
 4. オブジェクトの履歴を表示する。
コンフリクトを右クリックし、**履歴**を選択します。
履歴ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスの上部のアイコンを使用してパラレルバージョンの比較とマージを行うことができます。
 5. パラレルバージョンを比較する。
コンフリクトを右クリックし、**比較**を選択します。
比較ダイアログボックスに差分が表示されます。パラレルバージョンを比較すると、パラレルのマージが可能になります。
 6. 2つのパラレルバージョンをマージする。
コンフリクトを右クリックし、**マージ**を選択します。
マージ ダイアログボックスが表示されます。パラレル ファイルをマージすると、マージ後のファイルが自動的にカレント タスクと関連付けられ、プロジェクトに置かれます。
 7. メンバーを更新して再度コンフリクト検出を行う。
 をクリックし、この機能を使用してプロジェクトまたはプロジェクト グループのメンバーを更新して、再度コンフリクト検出を実行します。プロジェクトを更新する場合、**プロジェクトのみ**または**プロジェクトとサブプロジェクト**の更新を選択できます。プロジェクト グループを更新する場合、**すべてのプロジェクト**または**すべてのプロジェクトとサブプロジェクト**の更新を選択できます。
これは、複数のコンフリクトを解決し、解決によって発生したメンバーシップ変更によってプロジェクトまたはプロジェクト グループを更新する準備ができたときに便利です。
 8. 再度メンバーシップ コンフリクト検出を行う。
 をクリックして同じプロジェクトまたはプロジェクト グループに対してもう一度**メンバーシップ コンフリクトの検出**操作を行います。
この操作を実行して元のコンフリクトのリストをクリアし、プロジェクトまたはプロジェクト グループに残っているコンフリクトを表示します。
メンバーシップ コンフリクト検出を実行して **Rational Synergy** がコンフリクトを返さなくなるか、プロジェクトで許されるコンフリクトのみ返すようになったら、製品のビルドを行う準備ができました。

関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [パターンマッチングと Rational Synergy](#)
- [深いコンフリクト検出の実行](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

深いコンフリクト検出の実行

コンフリクト検出は、プロジェクトのメンバーをその[更新プロパティ](#)と比較します。Rational Synergy は、[ベースライン](#)を使用して更新操作をスピードアップしますが、ベースライン作成時に使われるビルド管理プロジェクトにメンバーシップ コンフリクトがあると、それらのメンバーシップ コンフリクトはベースラインのユーザーから気づかれないうまになる可能性があります。深いコンフリクト検出は、深い分析を行い、ベースラインの構成を確認します。

深いコンフリクト検出を選択した場合、プロセス ルールを使用するプロジェクトのコンフリクト検出のみ影響を受けます。プロジェクトのメンバーは、以下のように、ベースラインと多くのタスクの集まりと比較されます。

- プロジェクトのプロジェクト グルーピングのこのベースラインで処理されたタスクおよび手動で追加されたタスクが比較で使用される。
- ベースラインがプロジェクトと同じリリースを持つ場合、ベースラインのタスクも含まれる。

ベースライン内で、ベースライン作成操作によってベースラインのすべてのプロジェクトに含まれない可能性があるとして判断されたタスクは、追加されません。

ステップ ...

1. メイン メニューでツールをクリックし、オプションを選択してオプション ダイアログを開きます。
2. アクション タブをクリックし、左のペインでメンバーシップ コンフリクトの検出をクリックします。
3. チェックボックスをクリックして深いコンフリクト検出の実行を選択します。
4. 変更を行った後にデフォルトの設定に戻るには、デフォルト設定をクリックします。
5. 適用をクリックして変更を保存します。
6. 適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、メンバーシップ コンフリクトの検出を選択します。

関連トピック

- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

ワークエリアとデータベースの同期

この手順により、ワークエリアのファイルをデータベースのファイルと比較し、差分を解決します。

この操作は、ファイル システム内のファイルをチェックアウトせずに手動で変更した場合や、ファイル システム内の変更によりプロジェクト更新が失敗した場合に有用です。ワークエリアを同期することにより、**ワークエリア コンフリクト** ダイアログボックスでコンフリクトを選択し、ファイル システム内のファイルとデータベース内のファイルの差分を比較できます。

以下の操作は、同期後にワークエリア コンフリクトを解決する方法を示します。

ステップ ...

プロジェクトまたはプロジェクト グループを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 修正可能なプロジェクト、プロジェクトのグループ、またはプロジェクト グループを右クリックし、**ワークエリアの同期**をポイントして、**メンバーのみ**または**メンバーとサブプロジェクト**の適切な方を選択します。

コンフリクトが検出されると、**ワークエリア コンフリクト** ダイアログボックスが表示されます。

2. コンフリクトのリストを参照します。

3. コンフリクトを解決します。

コンフリクトは、ワークエリアの変更を破棄するか、ワークエリアの変更を保存する、または管理しないファイルは無視する、のいずれかの方法で解決できます。

ワークエリアの変更を破棄

ワークエリアの指定ファイルの変更を破棄する場合は、このアイコンをクリックします。ディレクトリを破棄すると、そのディレクトリとそのすべてのメンバーがワークエリアから削除されます。いずれの場合も、ワークエリアのファイルとディレクトリが最新のデータベース バージョンと置き換えられます。

ワークエリアの変更を保存

ワークエリアのディレクトリとファイルの変更をデータベースと同期させる場合は、このアイコンを選択します。ワークエリアにあってデータベースにはないファイルがデータベースに追加されるため、結果的に新しいファイルが追加されます。

Rational Synergy で管理しないファイルは無視

管理したくないファイルにコンフリクトがある場合は、パターンによってファイルは無視することができます。これを実行すると、**ワークエリアの同期**操作を実行後、指定したパターンのファイルがコンフリクトとして表示されないようにするフィルタが設定されます。

ワークエリアに多くのコンフリクトがある場合は、コンフリクトをフィルタリングできます。をクリックし、**ファイル**など、表示する条件を選択し（これで他の条件

がフィルタリングされる)、リストボックスを使用して表示するコンフリクトメッセージを指定します。すべてのコンフリクトを表示するには、をクリックして**フィルタをオフ**を選択します。

フィルタリングするカラム内の固有な値が10個以下の場合、フィルタ値がリストボックスに表示されます。既存の値を追加できますが、そのフィールドに独自の値を入力することもできます。カラム内の固有な値が10個を超える場合は、それはテキストフィールドになり、フィルタリングを適用する値を入力できます。表示される条件のフィルタに Java 正規表現を使用する方法については、[パターンマッチングと Rational Synergy](#) を参照してください。

フィルタを設定した場合、**ワークエリア コンフリクト** ダイアログボックスに表示される内容を最新の情報に更新する必要があります。**ワークエリア コンフリクト** ダイアログボックスでをクリックしてもう一度ワークエリア コンフリクトの検出を行います。

関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)

更新オプションの変更

更新オプションを使用してこの操作の働きを変更します。

ステップ ...

1. メインメニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **アクション**タブをクリックし、左のペインで**更新**をクリックします。
3. サブプロジェクトの設定を変更します。
更新操作でサブプロジェクトを置き換えたくない場合は、**サブプロジェクトの置き換えを許可**チェックボックスを選択解除します。
4. **詳細メッセージを表示**チェックボックスを選択解除して**メッセージ** ダイアログボックスに表示されるメッセージ情報の詳細度を変更します。
詳細メッセージには、**更新**操作の詳細情報が表示されます。これは、特定のバージョンが選択された理由または選択されなかった理由を知りたい場合に便利です。
5. 更新操作を行うたびにメンバーシップコンフリクトを検出するには、**プロジェクト更新後にメンバシップコンフリクトを検出**チェックボックスを選択します。
6. 変更を行った後にデフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
7. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [デフォルト ワークエリアパスの設定](#)

パターンによるファイルの無視

この手順により、一定のパターンを持ったファイルが無視します。フィルタを設定すると、**ワークエリアの同期**操作実行後、指定したパターンの非管理ファイルがコンフリクトとして表示されなくなります。パターンを利用すると、一部の IDE によって作成された多数の一時ファイルが Rational Synergy データベースで管理されないようにできます。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **アクション**タブをクリックし、左のペインで**ワークエリアの同期**をクリックします。
3. フィルタ リストを変更します。

データベース デフォルト リストに、Rational Synergy が無視するファイルが一覧表示されます。このリストは、CM アドミニストレータによって設定され、すべてのユーザーによって共有されます。デフォルト リストに項目を追加したり、リストから項目を削除したりすることはできません。

追加パターン リストには、スクロールボックスに直接入力することにより、項目を追加できます。入力は 1 行に 1 パターンのみです。パターンを削除するには、ハイライト表示させて削除します。

また、パターン構文値を使用してさらにフィルタをカスタマイズすることもできます。構文は、標準のワイルドカード文字列と似ています。***** は任意の値 0 文字以上、**?** は任意の値 1 文字と一致し、**¥** (Windows®) および **/** (UNIX®) はディレクトリの区切りとなります。

たとえば、ディレクトリ名の後に **¥*** が付いている場合は、ディレクトリとサブディレクトリのすべての内容と一致します (これは文字列の末尾に適用されます)。

以下に、パターンを使用してフィルタをカスタマイズする方法の例を示します。

- **myproj-me** プロジェクトの **tempfiles** サブディレクトリにフィルタを適用する場合
C:¥ccm_wa¥mydb¥myproj-me¥myproj¥tempfiles¥*
- 任意のプロジェクトの **tempfiles** サブプロジェクトにフィルタを適用する場合
tempfiles¥*
- すべての **HTML** ファイルにフィルタを適用する場合
***.html**
- **test** ディレクトリのすべての Java ファイルにフィルタを適用する場合
test¥*.java

チームのメンバーとフィルタを共有するには、CM アドミニストレータがデータベース デフォルトにフィルタを追加します。

-
4. 変更を行った後にデフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
 5. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [更新オプションの変更](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)

プロジェクトの更新プロパティの変更

更新プロパティは、プロジェクトの更新時に、どのオブジェクトバージョンを選択するかを決めるために使用するプロパティです。したがって、プロジェクトの更新プロパティを変更すると、プロジェクトのメンバーも変更することになります。

以下にプロジェクトの更新プロパティを変更する方法を示します。

- プロジェクトの更新方法を細かく制御したい場合は、特定のリリース向けのカスタムプロジェクトで使用されるベースラインとタスクの一覧を、手動で選択できます。詳細情報と手順については、[別のベースラインの使用](#)を参照してください。
- タスクをプロジェクト グループングに追加できます。これにより、プロジェクト グループングにビルドを進める上で必要な追加オブジェクトをすばやく集めることができます。逆に、タスクをプロジェクト グループングから削除することもできます。これにより、プロジェクト グループングはビルドを進める上で必要なオブジェクトだけをすばやく集めることができます。

以下の方法で、タスクをプロジェクト グループングに追加できます。

- タスクを右クリックする。これは、[プロジェクト グループングにタスクを追加](#)で説明しています。これは、[手動で追加したタスク](#)、[タスクとベースライン](#)、または[ベースラインで処理されたタスク](#)を表示する必要がないユーザー用です。
- プロジェクト グループングを右クリックして、[プロジェクト グループング プロパティ](#) ダイアログボックスを開く。手順については、[タスクの追加](#)を参照してください。これは、手動で追加したタスク、タスクとベースライン、またはこのベースラインで処理されたタスクを表示および変更する必要があるユーザー用です。

以下の方法で、タスクをプロジェクト グループングから削除できます。

- タスクを右クリックする。手順については、[プロジェクト グループングからタスクを削除](#)を参照してください。
- プロジェクト グループングを右クリックして、[プロジェクト グループング プロパティ](#) ダイアログボックスを開く。手順については、[タスクの削除](#)を参照してください。

タスクの追加

プロジェクト グループングは、プロジェクトを目的とリリース別にグループ化し、プロジェクトを更新するとき使用するタスクとベースラインを保持します。タスクをプロジェクト グループングに追加すると、プロジェクト グループングにビルドを進める上で必要なオブジェクトをすばやく集めることができます。

たとえば、開発者が **Insulated Development (個別開発)** プロジェクト グループングの作業を行っていてタスクを完了する準備ができたとします。しかし、その前にパラレルバージョンをマージする必要があります。彼は変更をマージし、その後マージしたばかりのオブジェクトのタスクをプロジェクト グループングに追加します。オブジェクトに関連するタスクをプロジェクト グループングに追加したら彼はプロジェクトを更新してビルドを行います。

次に、ビルド マネージャがプロジェクト グループにタスクを追加する必要がある例を示します。ビルド マネージャは、おそらく最終の**システム テスト** ビルドを完了しました。SQE は、リリースする前に修正する必要がある問題を発見しました。開発側で問題を修正し、ビルド マネージャにタスクを渡します。彼は、タスクを**システム テスト** プロジェクトに追加し、もう一度ビルドを行います。

ステップ ...

1. 適切なプロジェクト グループを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. **タスク** タブをクリックします。

このタブには、このダイアログボックスまたは**タスク** コンテキスト メニューか**アクション** メイン メニューの**プロジェクト グループへ追加** オプションを使用してプロジェクト グループに手動で追加したタスクが表示されます。

プロジェクト グループ内には手動で追加したタスク以外のタスクもあることに注意してください。プロジェクト グループには、ベースラインを作成した後に完了したタスクも含まれます。

したがって、プロジェクト グループは以下のようなタイプのタスクを含むことができます。

- タスクはベースラインと関連付けられている。
ベースライン プロジェクト タブをクリックしてからベースラインをダブルクリックして、これらのタスクを表示します。**プロパティ** ダイアログボックスの**タスク** タブにタスクが表示されます。
- タスクが[更新テンプレート](#)内にあるが、ベースライン内にはない。
タスク タブをクリックしてこのベースラインで処理されたタスクリストにこれらのタスクを表示します。
- タスクを手動で追加している。
タスク タブをクリックしてこれらのタスクを表示します (タスクを手動で追加すると、その必須タスクも追加されます)。

ベースライン上のどのタスクを使用するかを選択できます。

- ベースライン上のすべてのタスクを使用するには、**すべてを使用**をクリックします。
- 使用するタスクを選択するには、適切な**使用**チェックボックスで各タスクをクリックまたは選択します。

3. **タスクの追加** ボタンをクリックします。

タスクの選択 ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用して、プロジェクト グループに追加するタスクを検索できます。

タスクの削除

プロジェクト グルーピングは、プロジェクトを目的とリリース別にグループ化し、プロジェクトを更新するとき使用するタスクとベースラインを保持します。タスクをプロジェクト グルーピングから削除すると、プロジェクト グルーピングにビルドを進める上で必要なオブジェクトだけをすばやく集めることができます。

タスクが手動で追加され、タスクが[更新テンプレート](#)によって自動的にプロジェクト グルーピングに追加されている場合に、プロジェクト グルーピングからタスクを削除できます。

ステップ ...

1. **エクスプローラ** ペインの**プロジェクト** タブで、適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 削除するタスクがある場所に応じて、**タスク** タブをクリックして手動で追加したタスクまたはベースラインの上のタスクを表示します。
3. 削除するタスクを右クリックし、**プロジェクト グルーピングから削除**を選択します。
4. [プロジェクトの更新](#)を行います。

関連トピック

- [タスクの作成](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [タスクの除外](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [プロパティの表示](#)

ベースラインを使用した変更

- [ベースラインの作成](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [開発者にテストベースラインを公開](#)
- [ベースラインとすべてのオブジェクトのリリース](#)
- [新規ベースラインの選択](#)
- [別のベースラインの使用](#)

ベースラインの作成

ベースラインは、特定の時点でのデータを表すために使われるプロジェクトとタスクのセットです。ベースラインにはいろいろな用途があります。更新を行うとき、Rational Synergy は新規変更を探す開始点としてベースラインを使用します。また、2つのベースラインを比較して、特定のビルドを基準にどのような変更が行われたかを確認できます。IBM® Rational® Change を使用していれば、ベースラインを使用して変更依頼レポートを作成できます。

ビルドを行ったら直ちにベースラインを作成すると便利です。ベースラインを作成し、すべての開発者に公開することなくテスト グループに公開できます。ビルドを行うと同時にベースラインを作成すると、後にそのビルドの修正をする必要があるときに利用できるビルドの詳細が Rational Synergy に保存されます。

統合テストとシステムテストごとにビルドを作成しておく、テスターおよび開発者はそのビルドに盛り込まれた一連の変更点を参照できます。一般的に同じリリースと目的を持つすべてのプロジェクトのベースラインを作成します。たとえば、各統合テストビルド用には、そのリリースのすべての統合テストプロジェクトを使用してベースラインを作成します。

注記：ベースラインを作成するときは、ベースラインに含めるプロジェクトのリストを選択します。変更を参照するための完全なセットとなるように、必ずベースラインに関連するすべてのプロジェクトを含めてください。

どのプロジェクトをベースラインに入れるべきか不明の場合は、[どのプロジェクトをベースラインに入れるべきですか。](#)を参照してください。このセクションでは、ベースラインに入れるべきではないプロジェクトとその理由も説明しています。

ステップ ...

1. プロジェクトまたはプロジェクト グルーピングを右クリックして**ベースラインの作成**を選択します。

プロジェクトは静的状態または *prep* (準備) 状態、プロジェクト グルーピングは *prep* (準備) 状態である必要があります (たとえば、目的をデフォルトの**統合テスト**または**システム テスト**に設定できます)。

ベースラインの**作成**ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じてプロパティを修正します。

以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **名前**

ベースラインの名前です。デフォルトで、Rational Synergy は、作成日を使用してベースラインに名前を付けます。たとえば、20040309 は、2004年3月9日を意味します。ただし、これは変更できます。以下の文字は、禁止されており、名前には使用できません。/ ¥ ' " : ? * [] @ - #

これは必須フィールドです。

- **詳細**

作成するベースラインの説明を入力します。

- **ビルド**

ベースラインに関連するビルドの識別子（文字、数字、またはその組み合わせ）です。ビルド識別子は、最大 64 文字まで含むことができます。

- **リリース**

特定のリリースに固有のベースラインを識別するための属性です。

これは必須フィールドです。

- **目的**

プロジェクトの目的は、たとえば、**統合テスト**など、それが何に使われるかを定義します。ベースラインの目的を変更すると、**Rational Synergy** はプロジェクトまたはプロジェクト グループの更新時に異なる選択基準を使用します。

これは必須フィールドです。

3. ベースラインに含まれるプロジェクトを変更します。

オプション ダイアログボックスで**ベースラインの作成**アクションとして**リリースにかかわらず全てのサブプロジェクトを含む**オプションを選択した場合、リリース値に関係なくプロジェクト階層のすべてのプロジェクトを利用できます。このオプションを選択しなかった場合は、最上位プロジェクトのコンポーネントと一致するコンポーネントを持つすべての *prep*（準備）サブプロジェクトと静的サブプロジェクトが使用されます。

このオプションの詳細については、[ベースライン作成オプションの変更](#)を参照してください。

- a. 個々のプロジェクトを追加するには、**プロジェクトの追加**ボタンをクリックします。

プロジェクトの選択ダイアログボックスが表示されます。デフォルトでは、**含まれるプロジェクト** フィールドにはプロジェクトまたはプロジェクト グループのリリースおよび目的に基づいてプロジェクトが表示されます。

- b. あるプロジェクト グループからすべてのプロジェクトを追加するには**プロジェクト グループの追加**ボタンをクリックします。

プロジェクト グループ選択ダイアログボックスが表示されます。プロジェクト グループを追加すると、プロジェクト グループに関連するプロジェクトを追加できます。これは、増分ベースラインを作成する場合に便利です。

- c. 既存のベースラインからすべてのプロジェクトを追加するには**ベースラインの追加**ボタンをクリックします。

ベースライン選択ダイアログボックスが表示されます。ベースラインを追加すると、ベースラインに関連するプロジェクトとプロジェクト グループを追加できます。これは、増分ベースラインを作成する場合に便利です。

-
- d. 1つ以上のプロジェクト、プロジェクト グルーピング、またはベースラインを選択して **OK** ボタンをクリックします。
4. ベースラインを作成したら開発者に公開します。
このオプションはデフォルトではオフになっています。
このチェックボックスを選択すると、ベースラインを作成すると同時に開発者は彼らのプロジェクトを更新して、適切なテスト レベルに合格した最新の変更を取り込むことができます。
このオプションを選択しない場合、これらの変更を公開する準備ができたなら開発者にテスト ベースラインを公開する必要があります。
5. ベースラインを作成したら、ベースラインとベースライン内のすべてのオブジェクトをリリースします。
このオプションはデフォルトではオフになっています。
このオプションは、ベースラインを作成した後リリースするステップが省けるため、リリース用の最終ベースラインを作成するときに便利です。
6. **バージョンのプレビュー** をクリックして、ベースライン作成時に組み込まれるすべてのプロジェクト、サブプロジェクト、および製品用のバージョン テンプレートをプレビュー表示します。
バージョンのプレビュー ダイアログボックスが表示されます。
- a. **バージョン テンプレート** フィールドを直接編集して、バージョン テンプレート キーワードを変更、削除、および追加します。 をクリックして新しいキーワードを追加できます。
デフォルトのテンプレートは、**オプション** ダイアログボックスに定義されています。これは、[ベースライン作成オプションの変更](#) で説明しています。
- b. バージョン テンプレートを変更した後で、ベースライン内のすべてのプロジェクトおよび製品バージョンを変更とともに表示するには**プレビュー** をクリックします。
- c.  をクリックして将来ベースラインを作成するとき使用する設定を保存します。
これにより、バージョン テンプレートがデフォルトとして保存されます。
- d. **OK** をクリックして変更を保存します。
7. **OK** をクリックしてベースラインを作成します。

関連トピック

- [ベースライン作成オプションの変更](#)
- [リリースの作成またはコピー](#)
- [開発者にテストベースラインを公開](#)

ベースラインとタスクの更新

デフォルトで、プロジェクトを更新すると Rational Synergy はプロジェクト グループのベースラインとタスクを更新し、新しいタスクをベースに新しいメンバーを選択します。

注意！この操作による更新は恒久的です。プロジェクトグループ プロパティ ダイアログボックスから更新すると、元に戻すこともキャンセルすることもできません。ダイアログボックスでキャンセルしても更新はキャンセルされません。

ステップ ...

- プロジェクト エクスプローラで、適切なプロジェクト グループを右クリックし、プロパティを選択します。
プロジェクト グループ プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
-  をクリックしてベースラインとタスクを最新の状態に更新します。

関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [プロジェクトの更新プロパティの変更](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [オブジェクトの再表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

更新時のベースラインとタスクの変更の防止

デフォルトでは、プロジェクトを更新すると、Rational Synergy はプロジェクトグルーピングのベースラインとタスクを更新します。しかし、ベースラインとタスクの状態を更新したくない場合もあります。たとえば、単体テストの最中の開発者は、別の開発者による関連する変更は取り込みたいと考える一方で、新しいタスクは不要だと考えるでしょう。また、ビルドマネージャは、ビルド修正のためのタスクを追加したいと考える一方で、更新を実施したばかりなので新しいタスクを取り込みたくないと考えるでしょう。

ベースラインとタスクは、プロジェクトグルーピングの一部です。したがって、プロジェクトを更新するときにベースラインとタスクを更新したくない場合、プロジェクトが含まれるプロジェクトグルーピングで更新オプションをオフにできます。

ステップ ...

- プロジェクトエクスプローラで、適切なプロジェクトグルーピングを右クリックし、**ベースラインとタスクの自動更新**を選択します。

これによってオプションの左側のチェックマークが選択解除されます。さらに、プロジェクトグルーピングの**プロパティ**ダイアログボックスを開くと、**自動更新**チェックボックスが選択解除されています。このチェックボックスは、選択するか、**プロジェクトエクスプローラ**でプロジェクトグルーピングを右クリックして**ベースラインとタスクの自動更新**を選択するまで、選択解除の状態になっています。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [オブジェクトの再表示](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [プロジェクトグルーピングからタスクを削除](#)
- [関連タスクの表示](#)

開発者にテストベースラインを公開

ベースラインを公開すると、開発者はプロジェクトを更新して適切なテストレベルに合格した最新の変更を取り込むことができます。

この操作の手順は、すでにテストベースラインを作成しており、それを公開するだけであることを前提としています。

ステップ ...

ベースラインを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なベースラインを選択し、ベースラインを右クリックして**公開**を選択します。
2. 開発者に、プロジェクトを更新して変更を取り込むことができることを知らせます。

関連トピック

- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [ベースラインの作成](#)
- [ベースラインとすべてのオブジェクトのリリース](#)

ベースラインとすべてのオブジェクトのリリース

ベースラインとすべてのオブジェクトをリリースすると、ベースライン内のすべてのオブジェクトを遷移させることとなります。これは、顧客に納品するために製品の最終リリースを作成するとき便利です。また、最終リリースの準備をしている最中に品質保証テスト用のマイルストーン リリースを作成するときにも便利です。

ベースラインをリリースする前にベースラインを作成し、開発者にテスト ベースラインを公開する必要があります。この操作の手順は、すでにベースラインを作成して公開しており、それをリリースするだけであることを前提としています。

ステップ ...

ベースラインを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なベースラインを選択し、ベースラインを右クリックして**リリース**を選択します。

確認ダイアログボックスが表示されます。**はい**をクリックします。

2. この時点で、製品を顧客に納品する準備を行うことができます。

関連トピック

- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [ベースラインの作成](#)
- [開発者にテストベースラインを公開](#)

新規ベースラインの選択

開発者は、プロジェクトを **Custom Development** 目的を持つよう変更するか、**Custom Development** 目的の新規プロジェクトを作成すると、新規ベースラインを設定できます。これにより、新しいプロジェクト グルーピングが作成されます。開発者はプロジェクト グルーピング ベースラインを適切に設定する必要があります。

ステップ ...

1. カスタム目的と新規リリースを持つプロジェクトをコピーします。
2. 新規プロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
3. ベースラインを設定します。
 - a. **ベースライン プロジェクト** タブをクリックしてから**ベースライン選択**をクリックします。
ベースライン選択ダイアログボックスが表示されます。デフォルトで、プロジェクト グルーピングのリリース（たとえば、**toolkit/2.0**）をベースに、結果フィールドにベースラインが表示されます。
 - b. ベースラインを選択し、**OK** ボタンをクリックします。
4. **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [プロジェクトのコピー](#)
- [ベースライン プロパティの修正](#)
- [別のベースラインの使用](#)

別のベースラインの使用

自分のプロジェクトの更新を完全に管理したい開発者は、目的が **Custom Development** に設定されているプロジェクト グループिंगを作成できます。その後、特定リリースの自分の全カスタムプロジェクトに使用するベースラインとタスクのリストを手動で選択できます。

たとえば、開発者が自分のプロジェクトを最新ベースラインとまったく同じ構成にして 4 つタスクを追加したい場合、目的を **Custom Development** に設定したプロジェクトを作成し、プロジェクト グループिंगのベースラインを最新リリースと一致するよう設定して 4 つのタスクを追加します (これは、ビルドマネージャの初期サポートなしでパッチを開発している少人数チームなどに便利です)。

以下の手順は、別のベースラインを使用するのに必要な操作を示します。

ステップ ...

1. プロジェクトを変更し、目的をカスタムにします。
 - a. プロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。
 - b. 目的を **Custom Development** に変更します。
 - c. **適用**をクリックして変更を保存します。
2. 適切なプロジェクト グループिंगを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
3. ベースライン **プロジェクト** タブをクリックして現在のベースラインを表示します。
4. プロジェクト グループINGの別の[ベースライン](#)を選択します。
 - a. **ベースライン**選択ボタンをクリックします。
ベースライン選択ダイアログボックスが表示されます。デフォルトで、プロジェクト グループINGのリリース (たとえば、**toolkit/2.0**) をベースに、結果フィールドにベースラインが表示されます。
 - b. ベースラインを選択し、**OK** ボタンをクリックします。
5. プロジェクト グループINGに[タスクの追加](#)を行います。

関連トピック

- [ベースラインプロパティの修正](#)
- [新規ベースラインの選択](#)

ファイルの変更

[ファイル内容の変更](#)

- [チェックイン](#)
- [チェックアウト](#)
- [ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)
- [ファイルの編集](#)

[ファイル配置の変更](#)

- [ディレクトリへの追加](#)
- [ファイルのタイプの変更](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ファイルの移動](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)

ファイル内容の変更

- [チェックイン](#)
- [チェックアウト](#)
- [ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)
- [ファイルの編集](#)

プロジェクト グループングからすべてのタスクを削除

この機能は、[プロジェクト グループング](#)に別のプロジェクト グループングにある同じタスクを含める場合に使用します。

これは、ビルド マネージャがシステム テスト プロジェクト グループングに統合テスト プロジェクト グループングのタスクを入れるときに便利です。この操作をビルド マネージャが行うのは、アプリケーションが特定の品質水準を満たす段階にきたので、専用のインストールを作成するようなときです。

新しいプロジェクト グループングにタスクをコピーする準備ができたなら、最初に行うステップはプロジェクト グループングからタスクを削除することです。ビルド マネージャは以下のフローに従って作業を進めることができます。

- コピー先となるシステム テスト プロジェクト グループングを右クリックし、**すべてのタスクの削除**操作を選択してプロジェクト グループングを空にする。
- コピー元である統合テストプロジェクトグループングを右クリックし、**すべてのタスクのコピー**操作を選択する。
- コピー先であるシステム テスト プロジェクト グループングを右クリックし、**貼り付け**操作を使用してすべてのタスクを統合テスト プロジェクト グループングからシステム テスト プロジェクト グループングへコピーする。

以下の手順は、タスクを削除する方法を示します。

ステップ ...

- プロジェクトエクスプローラで、適切なプロジェクト グループングを右クリックし、**すべてのタスクの削除**を選択します。
確認を要求する確認ダイアログボックスが表示されます。**OK** をクリックすると、プロジェクト グループングからタスクが削除されますが、データベースには残ります。

関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [プロジェクト グループング内のすべてのタスクを別のプロジェクト グループングへコピー](#)
- [ベースラインの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [破損ビルドの修復](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [関連タスクの表示](#)

チェックイン

この手順により、オブジェクトの変更を行った後でチェックインを行います。これにより、他のユーザーがそのオブジェクトを使用できるようになります。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- チェックインするオブジェクトを右クリックし、**チェックイン**を選択します。

チェックイン操作の結果[パラレルバージョン](#)が発生する場合、オブジェクトがチェックインされる前に警告メッセージが出ます。チェックインを続けるか、中止できます。

設定する必要がある必須属性を持つファイルをチェックインすると、**プロパティ** ダイアログボックスに、チェックインを行う前に設定する必要がある値が表示されます。必要な変更を行ってから**チェックイン**をクリックします。Rational Synergy は、変更を保存し、ファイルのチェックインを試みます。

ファイルまたはディレクトリをチェックインするときは、確認なしにチェックインが行われます。プロジェクトをチェックインするときは、チェックインを確認するよう要求されます。

関連トピック

- [カレントタスクの完了](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [2つのファイルバージョンのマージ](#)

チェックアウト

この手順により、ファイルまたはディレクトリの新規バージョンをチェックアウトします。Rational Synergy により、ファイルがカレント タスクと関連付けられます。

注記：カレント タスクが設定されている必要があります。
詳細については、[タスクの選択](#)を参照してください。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- チェックアウトするファイルまたはディレクトリを右クリックし、**チェックアウト**を選択します。

関連トピック

- [チェックイン](#)
- [タスクの選択](#)

ファイル／ディレクトリ／サブプロジェクトの作成

この手順により、[ファイル](#)、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを作成します。

ステップ ...

ディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 新しいファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを置くディレクトリを右クリックします。**メンバーの作成**をポイントし、**ファイル**、**ディレクトリ**、または**サブプロジェクト**のいずれかを選択します。

作成するオブジェクトの種類に対応するダイアログボックスが表示されます。

2. 新しいファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトの名前を入力し、**OK** ボタンをクリックします。

関連トピック

- [ディレクトリへの追加](#)
- [カレントタスクへ追加](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [タスクの作成](#)
- [ファイルの編集](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [タスクの選択](#)

ファイルの編集

この操作により、ファイルの表示や修正を行うことができます。

注記：自分が変更可能なファイルのみ編集できます。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- ファイルをダブルクリックします。

関連トピック

- [ディレクトリへの追加](#)
- [チェックアウト](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [オブジェクトの別バージョンの使用](#)

ファイル配置の変更

- [ディレクトリへの追加](#)
- [ファイルのタイプの変更](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ファイルの移動](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)

オブジェクトの削除

この操作を使用して、データベースから以下の 1 つまたは複数のオブジェクトを削除します。

- ファイル
- ディレクトリ
- フォルダ
- フォルダ テンプレート
- プロセス
- プロセスルール
- プロジェクト
- タスク
- 保存クエリ
- リリース
- ベースライン
- プロジェクト グループिंग

ファイルの最初のバージョンを削除する場合は、ファイルは削除され、データベースからも削除されます。ファイルに先行バージョンがある場合は、修正可能バージョンが削除され、先行バージョンと置き換えられます。

注記： 削除操作は、選択したオブジェクトをデータベースから完全に削除します。オブジェクトを削除せずに移動する場合は、**切り取り**を使用します。

ステップ ...

オブジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。一度に同じ種類のオブジェクトを複数削除できます。

1. 削除するオブジェクトを右クリックし、**削除**を選択します。

削除ダイアログボックスが表示されます。

2. リストから削除するオブジェクト (1 つまたは複数) を選択します。

プロジェクトを削除する場合、**サブプロジェクトの削除**チェックボックスを選択してすべてのサブプロジェクトも削除することもできます。

プロジェクト グループिंगを削除する場合、プロジェクト グループिंग内のすべてのプロジェクトも削除されます。

ベースラインを削除する場合、ベースラインに削除のマークが付けられます。**オフライン保存と削除**機能を使用して取り除くように設定できます。[Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード](#)の「soad コマンド」を参照してください。

タスクを削除する場合、タスクに関連するオブジェクトは、削除されません。

リリースを削除する場合、リリースは使用中であってはなりません。

フォルダまたはフォルダ テンプレートを削除する場合、プロセス ルールがそれを使用していないことを確認してください（プロセス ルールが使用しているフォルダまたはフォルダ テンプレートは削除できません）。

プロセス ルールを削除する場合、プロセスがそれを使用していないことを確認してください。

プロセスを削除する場合は、そのプロセスがもはや不要となったことを確認してください。プロセスを削除しても、プロセスに関連するプロセス ルールは削除されません。

3. 削除をクリックします。

関連トピック

- [ファイル システムへのプロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [保存クエリの削除](#)
- [プロジェクト ファイルの名前変更](#)
- [更新の取り消し](#)

ファイルの移動

この手順により、ファイルを別のディレクトリに移動します。

チェックアウトされたファイルやディレクトリはタスクと関連付けられます。これで、更新後のメンバーが正しく機能します。

ステップ ...

1. 移動するファイルを右クリックし、**切り取り**を選択します。
ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。
2. ファイルの移動先のディレクトリを選択します。
3. 適切なディレクトリを右クリックし、**貼り付け**を選択します。

関連トピック

- [オブジェクトの削除](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [更新の取り消し](#)
- [ドラッグアンドドロップの使用](#)

ディレクトリへの追加

この手順により、既存の[ファイル](#)、[ディレクトリ](#)、または[プロジェクト](#)をディレクトリに追加します。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 追加したいファイル、ディレクトリ、またはプロジェクトを右クリックし、**コピー**を選択します。
2. オブジェクトを追加するディレクトリを右クリックし、**貼り付け**を選択します。

関連トピック

- [ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [クエリの定義](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [ドラッグアンドドロップの使用](#)

プロジェクト ファイルの名前変更

この手順により、ファイルの名前を変更します。

ファイル名を変更するには、ファイルがチェックアウト済みで、修正可能なプロジェクトで使用されていない必要があります。同一ディレクトリ内の別のファイルと同じ名前を付けることはできません。

ステップ ...

1. 名前を変更するファイルを右クリックし、**名前の変更**を選択します。
ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。
2. 新しい名前を入力します。

関連トピック

- [ファイルのタイプの変更](#)
- [ファイルの移動](#)
- [オブジェクトの別バージョンの使用](#)

ファイルのタイプの変更

Rational Synergy データベースにファイルを作成する際、拡張子によってファイルタイプが自動的に付加されます。たとえば、**foo.c** というファイルの場合は、Rational Synergy データベースで **csrc** というタイプになります。しかし、ファイルのタイプを変更しなければならない場合もあります。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 修正可能なプロジェクトのメンバーであるファイルを選択します。

注記： 名前を変更するファイルは、修正可能であること、および 1 つのプロジェクトのメンバーであることが必要です。

2. 編集メニューで、**タイプ変更**を選択します。
3. **タイプ変更**ダイアログボックスで新しいタイプを選択し、**了解**ボタンをクリックします。

ファイルが他のプロジェクトのメンバーでなければ、タイプが変更されます。

関連トピック

- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)
- [プロパティの表示](#)

タスクの作業

日常のタスク

- [タスクの選択](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクの除外](#)
- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除](#)
- [フォルダへのタスクの追加](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

タスクの修正

- [プロジェクトグルーピングにタスクを追加](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [プロジェクトグルーピングからタスクを削除](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)

タスクと変更依頼

- [ベースライン作成オプションの変更](#)
- [変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [変更依頼の解決](#)
- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)

日常のタスク

- [タスクの選択](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクのコピー](#)
- [タスクの除外](#)
- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除](#)
- [フォルダへのタスクの追加](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

タスクの選択

この手順により、[カレントタスク](#)を変更します。カレントタスク設定後、作成または変更したすべてのファイルとディレクトリが Rational Synergy によってカレントタスクと関連付けられます。

クエリの結果を利用してタスクのプロパティを修正したり、ファイルまたは変更依頼をタスクから削除することができます。

ステップ ...

1. 割り当てられたタスクを探すには、**タスク** エクスプローラを開き、**自分に割り当てられたタスク**の下のタスクを見ます。
2. 選択するタスクを右クリックし、**カレントタスクとして設定**を選択します。
これで、そのタスクの作業ができるようになります。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

カレント タスクの完了

この手順により、[カレント タスク](#)を完了し、関連ファイルとディレクトリをチェックインします。

カレント タスクを完了すると**カレント タスク** ツールバーに表示されなくなり、変更もできなくなります。

ステップ ...

1. 完了するタスクがカレント タスクであることを必ず確認してください。

カレント タスクはメイン メニューバーの下に表示されます。完了するタスクがカレント タスクとして設定されていない場合は、[タスクの選択](#)を参照して設定します。

2. **カレント タスク** ツールバーでをクリックします。

コンフリクトがなければ、確認ダイアログボックスが表示され、タスクを完了できます。

カレント タスクがパラレル バージョンを持つオブジェクトに関連している場合、**パラレル** ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスからオブジェクトどうしを比較およびマージするか、マージを省略して**完了**をクリックすることでチェックインを完了できます。

チームが採用している方法論が、タスクが変更依頼と関連していることを要求し、タスクの属性が設定されていない場合は、**タスク プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。設定されていない属性を入力し、もう一度タスクを完了してください。

関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

タスクの割り当て

この手順により、タスクを割り当てます。開発者は、自分で作成したタスクを自分に割り当てます。ビルドマネージャはタスクを他の人に割り当てることができます。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. タスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 新しい担当者の名前を**担当者**リストから選択します。

これでタスクを担当するユーザーが変更されます。新しい担当者は、タスクが割り当てられた旨のメールを受信します。ダイアログボックスに表示される他の属性は変わりません。

タスクが自分のカレントタスクの場合は、**カレントタスク** ツールバーから削除されます。したがって、続行するには新しいカレントタスクを設定する必要があります。詳細については、[タスクの選択](#)を参照してください。

関連トピック

- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

タスクの作成

この手順により、タスクを作成します。タスクを作成すると、自動的に割り当てられ、カレント タスクとして設定されます。

タスクを作成してそれを自動的に変更依頼と関連付けたい場合は、[変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成](#)を参照してください。

ステップ ...

1. **カレント タスク** ツールバーで  をクリックします

タスクの作成 ダイアログボックスに、チームの CM アドミニストレータが追加したカスタム フォーマットを含め、タスクを完了するために必要なすべてのフィールドが表示されます。

2. タスクの概要を入力します。
3. タスクを完了するために行う作業の説明を入力します。
4. タスクのリリースを **リリース** リストから選択して設定します。
5. 担当者の名前を **担当者** リストから選択します。

これでタスクを担当するユーザーが指定されます。担当者は、タスクが割り当てられた旨のメールを受信します。

6. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
7. 変更依頼 ID を入力するか、 をクリックして、変更依頼をカレント タスクに関連付けます。

変更依頼の選択 ダイアログボックスが表示されます。適切な変更依頼を選択して **OK** をクリックします。 **変更依頼** フィールドに変更依頼 ID が表示されます。

8. チームが Rational Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してタスクを別のデータベースのユーザーに割り当てることができます。
適切なデータベースを選択し、**担当者** リストで担当者名を変更します。
9. **OK** をクリックします。

注記: 問題タスクを修正するためにタスクを作成した場合、このタスク（修正タスク）と問題タスクとの間に関係を作る必要があります。詳細については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [クエリの定義](#)
- [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

タスクのコピー

この手順により、タスクをコピーします。タスクをコピーすると、自動的に自分に割り当てられ、カレントタスクとして設定されます。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なタスクを右クリックし、**タスクのコピー**を選択します。

タスクのコピー ダイアログボックスに、チームの CM アドミニストレータが追加したカスタム フォーマットを含め、タスクを完了するために必要なすべてのフィールドが表示されます。ダイアログボックスのすべてのフィールドには、コピー元のタスクの情報が入ります。

2. タスクの新しい概要を入力します。
3. タスクを完了するために行う作業の説明を入力します。
4. 必要に応じて、タスクのリリースを**リリース**リストから選択して変更します。
5. 必要に応じて担当者の名前を**担当者**リストから選択して変更します。

これでタスクを担当するユーザーが指定されます。担当者は、タスクが割り当てられた旨のメールを受信します。

6. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
7. 新しい変更依頼 ID を入力するか、 をクリックして、カレントタスクに関連付けられている変更依頼を変更します。

変更依頼の選択 ダイアログボックスが表示されます。適切な変更依頼を選択して **OK** をクリックします。変更依頼フィールドに変更依頼 ID が表示されます。

8. チームが Rational Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してタスクを別のデータベースのユーザーに割り当てることができます。
適切なデータベースを選択し、**担当者**リストで担当者名を変更します。
9. **OK** をクリックします。

注記: 問題タスクを修正するためにタスクを作成した場合、このタスク（修正タスク）と問題タスクとの間に関係を作る必要があります。詳細については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [クエリの定義](#)
- [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

タスクの除外

タスクを除外すると、どのプロジェクト グループでも、自動的に使用されなくなります。これにより、たとえば、ビルドを破壊するオブジェクトがプロジェクト内で使用されるのを防ぎます。

ビルド マネージャは、まずこのオプションを使用して他のチーム メンバーが問題タスクを受け取るのを防いでからタスクを指定して別タスクを修正することができます。あるいは、ビルド マネージャはリリースから取り除かれる機能を含むタスクを除外することができます。この場合、修正タスクを作る必要はありません。

完了したタスクのみ除外できます。

ステップ ...

- 適切な完了タスクを右クリックし、**除外**を選択します。
これでタスクが除外されます。タスク アイコンの上に小さな赤い **x** が表示されます。
タスクを除外しない場合、タスクを右クリックして**除外の取消し**を選択します。

関連トピック

- [タスクの割り当て](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [オブジェクトの検索](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

カレント タスクへ追加

この手順により、特定のファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼をカレント タスクに追加します。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- カレント タスクに追加するファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を右クリックし、**カレント タスクへ追加**を選択します。

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼がカレント タスクに追加されます。

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼をカレント タスクから削除するには、同じファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を右クリックし、**カレント タスクから削除**を選択します。

Rational Change を使用している場合、現在作業をしているタスクに変更依頼の追加が必要になることもあり得ます。Rational Synergy と Rational Change は、顧客の変更依頼から修正方法の詳細を示すタスクまで、修正に必要な情報を実際に修正の対象となるファイルと結び付けられるように連動します。

関連トピック

- [フォルダへのタスクの追加](#)
- [カレント タスクの完了](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

フォルダへのタスクの追加

通常、ユーザーが手動でタスクをフォルダへ追加する必要はありません。しかし、特殊な状況が発生する場合があります。たとえば、開発者は、DCM を使用して他のサイトに転送するためにビルド マネージャに渡すフォルダに、タスクを追加する場合があります。また、ビルド マネージャは、手動で入力したホット リストのためのフォルダを共有する場合に、手動でタスクをフォルダへ追加する場合があります。

ステップ ...

1. **タスク** エクスプローラで、フォルダへ追加するタスクを右クリックし、**フォルダに追加**を選択します。

フォルダ選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、タスクを追加するフォルダを検索します。

2. タスクを追加するためのフォルダを作成する必要がある場合は、 をクリックして **フォルダの作成**ダイアログボックスを開きます。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [フォルダのコピー](#)
- [フォルダの作成](#)
- [タスクの作成](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除

以下のセクションでは、[タスクをオブジェクトに追加](#)または[オブジェクトに関連付けられたタスクを削除](#)する方法を説明しています。

タスクをオブジェクトに追加

ステップ ...

1. 適切なオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク** タブをクリックします。
3. **タスクの追加** ボタンをクリックします。
タスクの**選択** ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、オブジェクトに追加するタスクを検索します。
4. **OK** をクリックして変更を適用します。

オブジェクトに関連付けられたタスクを削除

ステップ ...

1. 適切なオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク** タブをクリックします。
3. 変更可能なタスクを右クリックし、**切り取り**を選択します。
4. **OK** をクリックして変更を適用します。

自分に割り当てられたタスクの表示

この手順により、特定のリリース用に自分に割り当てられたすべてのタスクを表示します。

ステップ ...

- **タスク** エクスプローラで**自分に割り当てられたタスク**をクリックします。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [クエリの定義](#)
- [プロジェクト グルーピングからタスクを削除](#)
- [タスクの選択](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

関連タスクの表示

この手順により、ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、変更依頼と関連付けられたタスクを表示します。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- 適切なファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を右クリックし、**タスクプロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスに関連タスクのプロパティが表示されます。

関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)

タスクの修正

- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [プロジェクトグループからタスクを削除](#)
- [プロジェクトグループにタスクを追加](#)

タスクを指定して別タスクを修正

この操作は、2つの無関係なタスクを作成した後、一方を修正するためにもう一方が必要なことがわかったときに行います。この手順は、たとえばコンフリクトの検知などを目的に、2つの無関係なタスク間に必要な関係を作成する方法です。

この関係は、「[このタスクが修正するタスク](#)」テーブルの使用によって問題（破損）タスクから作ることもできれば、「[このタスクを修正するタスク](#)」テーブルの使用によって修正タスクから作ることもできます。

「このタスクが修正するタスク」テーブルの使用

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

ステップ ...

1. 修正タスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
修正タスクの状態は、*working*（作業中）または *completed*（完了）が可能です。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク修正**タブをクリックします。
3. **このタスクが修正するタスク** テーブルでプラス記号をクリックします。
タスクの選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログで、修正タスクに追加する問題タスクを検索します。
修正タスクは、修正対象の問題タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。これらのタスクは、互いに依存関係を持つようになります。
4. **OK** をクリックして変更を保存します。

「このタスクを修正するタスク」テーブルの使用

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

ステップ ...

1. 問題タスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
問題タスクの状態は、*completed*（完了）または *excluded*（除外）でなければなりません。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク修正**タブをクリックします。
3. **このタスクを修正するタスク** テーブルでプラス記号をクリックします。
タスクの選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログで、問題タスクに追加する修正タスクを検索します。

修正タスクを作成する必要がある場合、**修正タスクの作成**をクリックして**修正タスクの作成**ダイアログボックスを開き、修正タスクを作成できます。この方法で修正タスクを作成すると、修正タスクと問題タスクの間に関係ができ、修正タスクが自動的にカレントタスクとして設定されます（**修正タスクの作成**ダイアログボックスの詳細については、[修正タスクの作成](#)を参照してください）。

修正タスクは、修正対象の問題タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。これらのタスクは、互いに依存関係を持つようになります。

4. **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [修正タスクの作成](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクの除外](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)

修正タスクの作成

破損タスクは、以下の理由で発生します。

- 完了したタスクが変更依頼を完全に修正していない。
- 完了したタスクが修正が必要なバグを作成した。

いずれの場合にも、次のような状況が想定できます。完了すべきタスクがある。カレントタスクに設定し、タスク完了に必要なすべてのオブジェクトをチェックアウトし、作業を行った。そしてカレントタスクと関連するすべてのオブジェクトを完了した。その後、完了したばかりのタスクに問題を発見した。

以下に問題タスクを修正する作業の流れを示します。

1. 既存のタスクを修正する最もよい方法を確認します。
2. 既存のタスクを修正するタスクを作成します (**修正タスクの作成**ダイアログボックスを使用)。これにより、修正タスクと問題タスクの間の関係が自動的に作成されます。

タスクを作成すると、自動的に割り当てられ、カレントタスクとして設定されます。

修正タスクは、修正する完了タスクまたは除外（破損）タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。以下に説明するとおり、これらのタスクには、互いに依存する必要がある場合と、一緒に使用できない場合があります。

問題タスクがその原因となる問題とは無関係の正しい変更を含み、それをビルドに含める必要がある場合、除外（破損）タスクを適切なプロジェクトグルーピングに戻す**必要があります**。つまり、問題タスクとそれを修正するタスクの両方が、ともにビルドに含まれることとなります。修正タスクを作成し、修正タスクと問題タスクの間に関係を作成し、そして修正タスクを完了したら問題タスクの除外を取り消す必要があります（手順については、[タスクの除外](#)を参照してください）。

除外したタスクが製品に悪影響を及ぼす変更を含んでおり、かつ修正タスクがこの悪影響を修正する変更を含む場合は、除外したタスクを再度取り込む必要はありません。

3. 問題タスクを修正する作業を完了します。
4. 修正タスクとすべての関連オブジェクトを完了します。
タスクの作成ダイアログボックスを使用して修正タスクを作成した場合、修正タスクと問題タスクの間の関係を作る必要があります。説明については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。

ステップ ...

1. 完了したタスクまたは修正する除外タスクを右クリックし**修正タスクの作成**をクリックします。
修正タスクの作成ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクの説明を入力します。

-
3. タスクのリリースをリリースリストに設定します。
 4. 自分が担当者ではない場合、**担当者**リストにタスクの担当者を設定します。
 5. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
 6. 変更依頼 ID を入力するか、 をクリックして、変更依頼をカレント タスクに関連付けます。

変更依頼の選択ダイアログボックスが表示されます。適切な変更依頼を選択して **OK** をクリックします。**変更依頼** フィールドに変更依頼 ID が表示されます。

7. 必要に応じて、**タスクの除外** タスク チェックボックスを変更します。

開発者またはチーム リーダーは、まずこのオプションを設定して他のチーム メンバーが問題タスクを受け取るのを防ぐことができます。たとえば、チームリーダーが統合ビルドに失敗した場合、問題タスクを調べ、開発者に修正タスクを割り当ててから問題タスクを除外します。その後、更新を行ってプロジェクトから問題タスクのオブジェクトを削除してもう一度ビルドを行います。

更新または**ベースラインとタスクの再表示**操作を行ったときに、タスクを誰のプロジェクト グループとも関連付けたくない場合にこのオプションを設定します。

8. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

プロジェクト グループングからタスクを削除

タスクをプロジェクト グループングから削除できます。これにより、プロジェクト グループングがビルドを進める上で必要なオブジェクトだけをすばやく集めることができます。以下の操作は、これをタスクから行う方法を示します。別の方法としてプロジェクト グループングから行う方法もあります。操作は、[プロジェクトの更新プロパティの変更](#)で説明しています。この方法は、[手動で追加したタスク](#)、タスクとベースライン、または[ベースラインで処理されたタスク](#)の表示と修正を行う必要があるユーザーを対象としています。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. タスクを右クリックし、**プロジェクト グループングから削除**を選択します。
プロジェクト グループング選択ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを削除するプロジェクト グループングを選択します。
3. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [プロジェクト グループングにタスクを追加](#)
- [タスクの作成](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [タスクの除外](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [関連タスクの表示](#)

プロジェクト グルーピングにタスクを追加

タスクをプロジェクト グルーピングに追加できます。これにより、プロジェクト グルーピングにビルドを進める上で必要な追加オブジェクトをすばやく集めることができます。以下の操作は、これをタスクから行う方法を示します。別の方法としてはプロジェクト グルーピングから行うこともできます。操作は、[プロジェクトの更新プロパティの変更](#)で説明しています。この方法は、[手動で追加したタスク](#)、タスクとベースライン、または[ベースラインで処理されたタスク](#)の表示と修正を行う必要があるユーザーを対象としています。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. タスクを右クリックし**プロジェクト グルーピングへ追加**を選択します。
プロジェクト グルーピング選択ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを追加するプロジェクト グルーピングを選択します。
3. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [修正タスクの作成](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクの除外](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [プロジェクト グルーピングからタスクを削除](#)
- [関連タスクの表示](#)

タスクと変更依頼

- [変更依頼へのタスクの追加](#)
- [ベースライン作成オプションの変更](#)
- [変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [変更依頼の解決](#)
- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)

変更依頼へのタスクの追加

変更依頼にタスクを追加できます。これにより、変更依頼とタスクの間に関係が作成されます。

以下の操作は、これをタスクから行う方法を示します。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. タスクを右クリックし**変更依頼へ追加**を選択します。
変更依頼の選択ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを追加する変更依頼を検索して選択します。
3. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [変更依頼の解決](#)

変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成

この手順により、タスクを作成し、それを自動的に変更依頼に関連付けます。この方法でタスクを作成すると、自身に自動的に割り当てられ、変更依頼に関連付けられ、変更依頼の概要を与えられ、カレントタスクとして設定されます。

新規タスクへの変更依頼の関連付けを作成したくない場合は、[タスクの作成](#)を参照してください。破損しているタスクを修正するには、[修正タスクの作成](#)を参照してください。

ステップ ...

1. **変更依頼** エクスプローラで適切な変更依頼を右クリックし、**タスクの作成** を選択します。
タスクの作成 ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを完了するために行う作業の説明を入力します。
3. タスクのリリースを **リリース** リストから選択して設定します。
4. 別の人に割り当てる場合は、**担当者** リストの担当者名を変更します。
5. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
6. チームが Rational Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してタスクを別のデータベースのユーザーに割り当てることができます。
適切なデータベースを選択し、**担当者** リストで担当者名を変更します。
7. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除

この手順により、指定タスクからの[ファイルの削除](#)または[変更依頼の削除](#)を行います。

ファイルの削除

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

ステップ ...

1. 適切なタスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **オブジェクト** タブを選択します。
3. 適切なファイルを右クリックし、**切り取り**を選択します。

変更依頼の削除

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

ステップ ...

1. 適切なタスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **変更依頼** タブをクリックします。
3. 適切な変更依頼を右クリックし、**切り取り**を選択します。

関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [カレント タスクの完了](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

関連タスクの変更依頼の表示

Rational Change を使用してアプリケーションに対して提出された変更依頼を追跡する場合、任意のタスクに関連する変更依頼を表示できます。Rational Synergy と Rational Change は、タスクを修正する方法に関する詳細情報を簡単に得られるよう協調して動作します。以下の手順は、タスクが割り当てられるきっかけとなった変更依頼内に含まれる、提出者のコメントを表示する方法です。

ステップ ...

- 適切なタスクを右クリックし、**変更依頼プロパティ**を選択します。
変更依頼のプロパティは、Rational Change インターフェイスに表示されます。このダイアログボックスのヘルプを見るには、インターフェイスの上部のメインメニューからヘルプをクリックします。

関連トピック

- [タスクの割り当て](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [関連タスクの表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

変更依頼の解決

Rational Change を使用している場合は、解決操作を使用して割り当てられた変更依頼を完成します。この操作によって、Rational Change インターフェイスが起動します。このインターフェイスから変更依頼を解決します。

ステップ ...

- 適切な変更依頼を右クリックし、**解決**を選択します。
これで Rational Change が開始します。インターフェイスは、変更依頼を解決できる画面を表示します。このダイアログボックスのヘルプを見るには、インターフェイスの上部のメインメニューからヘルプをクリックします。

関連トピック

- [関連タスクの表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

ベースライン作成オプションの変更

ベースライン作成オプションを変更すると、ベースライン内の製品とプロジェクトのバージョンを決定するためのテンプレートが変更されます。日付がテンプレートの一部である場合は、日付の形式も変更できます。また、バージョン内の不正な文字を置き換えるための文字も指定できます。さらに、リリース設定に関係なくすべてのサブプロジェクトを常にベースラインに含むように設定することもできます。

以下の手順は、これらのオプションの設定を変更し、[ベースラインの作成](#)を行うときに変更をプレビュー表示する方法を示します。

ステップ ...

1. メインメニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション**ダイアログを開きます。
2. **アクション**タブをクリックし、左のペインで**ベースラインの作成**をクリックします。
3. バージョンテンプレートキーワードを変更します。

バージョンテンプレートフィールドに直接入力してバージョンテンプレートキーワードを変更、削除、および追加します。をクリックして新しいキーワードを追加できます。

4. 日付形式キーワードを変更します。

日付形式フィールドに直接入力して日付形式キーワードを変更、削除、および追加します。をクリックして新しいキーワードを追加できます。

5. バージョン内で不正文字を置き換える文字を変更します。

たとえば、プロジェクトバージョンテンプレートの一部として **%platform** と入力してビルド管理プロジェクトのプラットフォームが **SPARC-solaris** の場合、バージョン文字列は **SPARC_solaris** と表示されます。

/¥'":?*[]@-# (および現在使用されている区切り文字) は、不正文字です。このフィールドには使用できません。バージョンの区切り文字を調べたい場合は、[Rational Synergy CLI ヘルプ、トラディショナルモード](#)の「**version** コマンド」を参照してください。バージョンの区切り文字の変更方法については [Rational Synergy CLI ヘルプ、トラディショナルモード](#)の「**delimiter** コマンド」を参照してください。

6. **リリースにかかわらず全てのサブプロジェクトを含む**オプションを選択して、リリース設定に関係なく、新規作成されたベースラインのすべてのサブプロジェクトが**ベースラインの作成**ダイアログボックスに含まれるように設定できます。

このオプションを選択すると、リリース値に関係なくプロジェクト階層のすべてのプロジェクトを利用できます。このオプションを選択しなかった場合は、最上位プロジェクトのコンポーネントと一致するコンポーネントを持つすべての *prep* (準備) サブプロジェクトと静的サブプロジェクトが使用されます。

このオプションはデフォルトではオフになっています。

7. 変更を行った後にデフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。

8. **適用**または **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

必須タスクの自動追加を停止

以下の手順は、プロジェクト グルーピングに手動で追加したタスクに対する必須タスクの自動追加を停止する方法を示します。追加されたタスクに必要とするタスクがあり、そのタスクがまだプロジェクト グルーピングのベースラインとプロジェクトのタスクに含まれていないとき、そのタスクを必須タスクといいます。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **アクション**タブをクリックし、左のペインで**タスクをプロジェクト グルーピングに追加**をクリックします。
3. 必須タスクの追加設定を変更します。
タスクをプロジェクト グルーピングに追加する際に、暗黙的に必要なタスクも常に追加されます。
このオプションを選択解除するには、チェックボックスをクリックして**適用**をクリックします。
4. デフォルト設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックしてから**適用**をクリックします。

関連トピック

- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

プロパティの使用

オブジェクトプロパティの変更

- [ベースラインプロパティの修正](#)
- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [フォルダのプロパティの修正](#)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)
- [プロセスのプロパティの修正](#)
- [プロセスルールのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトのプロパティの修正](#)
- [プロジェクト グルーピングのプロパティの修正](#)
- [リリースのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワークエリアの設定の修正](#)
- [プロパティの表示](#)

プロパティ設定からの変更

- [転送セットのメンバーシップの表示と修正](#)
- [プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加](#)
- [デフォルトアプリケーション ツールの変更](#)
- [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)
- [ユーザープロパティのカスタマイズ](#)

オブジェクト プロパティの変更

- [ベースライン プロパティの修正](#)
- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [フォルダのプロパティの修正](#)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)
- [プロセスのプロパティの修正](#)
- [プロセス ルールのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトのプロパティの修正](#)
- [プロジェクト グルーピングのプロパティの修正](#)
- [リリースのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワークエリアの設定の修正](#)
- [プロパティの表示](#)

ベースライン プロパティの修正

この手順により、ベースラインの情報を変更します。

ステップ ...

ベースラインを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するベースラインを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

ベースラインがリリースされていない場合、ビルド マネージャはビルドと名前プロパティを変更できます。以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **名前**

ベースラインの名前を指定します。デフォルトで、**Rational Synergy** は、作成日を使用してベースラインに名前を付けます。たとえば、20060309 は、2006 年 3 月 9 日を意味します。

- **ビルド**

ビルド プロパティは、ベースラインに関連するビルドの識別子（文字、数字、またはその組み合わせ）を示します。ビルド識別子は、最大 64 文字まで含むことができます。

3. **プロジェクト** タブ、**タスク** タブ、および**変更依頼**タブは修正できませんが、これらはベースラインと変更依頼の重要な情報を示します。

プロジェクト タブは、ベースライン内のプロジェクト（ベースライン プロジェクト）を示します。

タスク タブは、ベースライン内のタスクを示します。

関連トピック

- [ベースラインの作成](#)
- [新規ベースラインの選択](#)
- [別のベースラインの使用](#)

ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正

この手順により、ファイル、ディレクトリ、プロジェクトに関する情報を変更します。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するファイル、ディレクトリ、プロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。以下に変更可能なフィールドを説明します。
 - **バージョン**
バージョンはファイル、ディレクトリ、プロジェクトの特定のバリエーションです。
 - **リリース**
リリースは、アプリケーションの特定のリリース固有のプロジェクトまたはタスクを識別する属性です。
 - **プラットフォーム**
プラットフォームは、オブジェクトに特定の種類のハードウェアを指定する属性です。
 - **プロダクト指定**
製品は、他のファイルを処理することによってビルドされるファイルです。プロダクトの例としては、**.class** ファイル、**.jar** ファイル、**.exe** ファイルなどがあります。
3. 転送セットのメンバーシップを表示して修正を行います。
4. オブジェクトのセキュリティ設定を変更します。
グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ** タブが表示されます。**セキュリティ** タブを使用して、選択したオブジェクトの修正とチェックアウトをユーザーに許可/禁止したり、オブジェクトのソースの表示を許可/禁止できます。
5. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)
- [ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)

-
- [転送セットのメンバーシップの表示と修正](#)
 - [プロパティの表示](#)

フォルダのプロパティの修正

この手順により、フォルダの情報を変更します。

ステップ ...

フォルダを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するフォルダを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

注記：フォルダのプロパティを変更すると、そのフォルダはフォルダ テンプレートによって管理できなくなります。このフォルダを引き続きフォルダ テンプレートによって管理したい場合は、**フォルダ テンプレートのプロパティ** ダイアログボックスでフォルダ プロパティを変更します（詳細については、[フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)を参照してください）。

以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **詳細**
フォルダの簡単な説明です。
 - **修正可能者**
フォルダを変更する権限を持つ人のリストです。選択肢には、**なし**、**所有者**、**ビルド マネージャ**、および**全員**があります。
3. 必要に応じて、**タスク** タブでタスク選択モードを変更します。
 - クエリを使用するには**クエリ使用**をクリックします。
 - 手動で変更を加える場合は**手動**をクリックします。フォルダのタスク選択モードが手動の場合、タスクを追加または削除することもできます。
 - タスクを追加するには**プラス**記号アイコンをクリックします。**タスクの選択** ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、フォルダに追加するタスクを検索します。
 - タスクを削除するには、タスクをクリックして**マイナス**記号アイコンをクリックします。
 4. **適用**をクリックして作業を保存します。
 5. 転送セットのメンバーシップを表示して修正を行います。
 6. オブジェクトのセキュリティ設定を変更します。

グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ**タブが表示されます。**セキュリティ**タブを使用して、選択したフォルダの修正およびコピーをユーザーに許可／禁止できます。

7. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)
- [転送セットのメンバーシップの表示と修正](#)
- [プロパティの表示](#)

フォルダ テンプレートのプロパティの修正

この手順により、フォルダ テンプレートの情報を変更します。

ステップ ...

フォルダ テンプレートを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するフォルダ テンプレートを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **名前**

このフォルダ テンプレートで作成されるフォルダのタスクを集めるために使用するクエリの名前です。

- **修正可能 DB**

データベースで DCM を使用できる場合は、このフィールドがアクティブになっています。

このフィールドは、どのデータベースがフォルダ テンプレートを管理するかを示します。フォルダ テンプレートを修正するには、それが管理データベース内になければなりません。このリストの値に応じて表示されるボタンの種類が変わります。

フォルダ テンプレートがカレント データベースで管理されている場合、**管理の付与**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

フォルダ テンプレートが異なるデータベースで管理されている場合、**管理設定**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

フォルダ テンプレートが異なるデータベースが管理するのを待っている場合、**管理設定**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

管理の付与をクリックして他のデータベースで管理を許可されているデータベースのリストを表示します。**管理の受取り**をクリックしてすべてのデータベースのリストを表示します。**管理設定**をクリックして管理をカレント データベースに設定します。

3. 必要に応じてフォルダ プロパティ タブのフィールドを修正します。以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **詳細**

フォルダ テンプレートによって作成されたフォルダの簡単な説明です。

-
- **修正可能者**
フォルダを変更する権限を持つ人のリストです。選択肢には**所有者**、**ビルド マネージャ**、および**全員**があります。
4. 必要に応じて、このフォルダ テンプレートで作成されたフォルダのタスク選択モードを変更します。
 - クエリを使用するには**クエリ使用**をクリックします。
 - 手動で変更を加える場合は**手動**をクリックします。
 5. フォルダのタスク選択モードがクエリの場合、クエリのコピー、クエリ定義の追加、または削除を行うことができます。
 - クエリをコピーするには、**クエリのコピー**をクリックします。**クエリの選択**ダイアログボックスで、**作成**をクリックします。
 - 1 つ以上のクエリ条件を追加するには、**プラス記号アイコン**をクリックして適切な条件に新しい行を追加します。新しい行は必要なだけ追加できます。
 - クエリ条件を削除するには、不要になった条件の隣の**マイナス記号アイコン**をクリックします。
 6. 転送セットのメンバーシップを表示して修正を行います。
 7. **適用**をクリックして作業を保存します。
 8. すべての変更を行ったら **OK** をクリックします。

関連トピック

- [フォルダ テンプレートの作成](#)
- [フォルダ テンプレートのコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (フォルダ テンプレート)
- [転送セットのメンバーシップの表示と修正](#)

プロセスのプロパティの修正

この手順により、プロセスの情報を変更します。

ステップ ...

プロセスを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するプロセスを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **名前**

プロセスの用途を説明します。

- **ダイアグラム URL**

プロセスの詳細情報を含むファイルを指し示します。デフォルトのプロセスには、ヘルプ サーバー上の説明ファイルへの URL があります。説明ファイルには、プロジェクト グルーピングへのベースラインとタスクのフローを示す図が含まれます。このファイルを表示するには、**表示**をクリックします。

独自のプロセスを作成したがダイアグラムが用意できていない場合、URL を説明ファイルが格納された場所へのパスに設定できます。

- **修正可能 DB**

データベースで DCM を使用できる場合は、このフィールドがアクティブになっています。

このフィールドは、どのデータベースがプロセスを管理するかを示します。プロセスを修正するには、それが管理データベース内になければなりません。このリストの値に応じて表示されるボタンの種類が変わります。

プロセスがカレント データベースで管理されている場合、**管理の付与**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

プロセスが異なるデータベースで管理されている場合、**管理設定**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

プロセスが異なるデータベースが管理するのを待っている場合、**管理設定**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

管理の付与をクリックして他のデータベースで管理を許可されているデータベースのリストを表示します。**管理の受取り**をクリックしてすべてのデータベースのリストを表示します。**管理設定**をクリックして管理をカレント データベースに設定します。

3. 必要に応じてプロセス ルール タブのフィールドを修正します。

プロセス ルールを追加するにはプラス記号アイコンをクリックします。**プロセス ルール選択**ダイアログボックスが表示されます。適切なプロセス ルールを検索し、追加するルールを選択し、**OK** をクリックします。**適用** をクリックして変更を保存します。

プロセス ルールを削除するには、削除するプロセス ルールを選択し、その横のマイナス記号をクリックします。

注記：プロセスは、目的ごとに1つのプロセス ルールのみ持つことができます。

関連トピック

- [プロセスの作成](#)
- [プロセスのコピー](#)

プロセス ルールのプロパティの修正

この手順により、プロセス ルールの情報を変更します。

ステップ ...

プロセス ルールを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するプロセス ルールを右クリックし、プロパティを選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要に応じてプロパティ タブのフィールドを修正します。

以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **詳細**

プロセス ルールの簡単な説明です。

- **リリース**

プロセス ルールにリリースが設定されている場合、リリース フィールドが表示されます。リリースは変更できませんが、右クリックして選択することによって操作を行うことができます。

- **目的**

このフィールドは、プロセス ルールが特定のリリースに使われる前にアクティブになっています。

参照ボタンをクリックして**目的**ダイアログボックスを使用し、目的の設定、目的の作成、目的の削除、または目的の編集を行うことができます。

- **作成元**

このプロセス ルールの作成に使用したプロセス ルールを示します。このフィールドは変更できませんが、右クリックして選択することによって操作を行うことができます。

- **修正可能 DB**

データベースで DCM を使用できる場合は、このフィールドがアクティブになっています。

このフィールドは、どのデータベースがフォルダ テンプレートを管理するかを示します。フォルダ テンプレートを修正するには、それが管理データベース内になければなりません。このリストの値に応じて表示されるボタンの種類が変わります。

フォルダ テンプレートがカレント データベースで管理されている場合、**管理の付与**、**管理の受取り**、および**キャンセル**ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

フォルダ テンプレートが異なるデータベースで管理されている場合、**管理設定**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

フォルダ テンプレートが異なるデータベースが管理するのを待っている場合、**管理設定**、**管理の受取り**、および**キャンセル** ボタンが表示されます。ボタンについては以下で説明しています。

管理の付与をクリックして他のデータベースで管理を許可されているデータベースのリストを表示します。**管理の受取り**をクリックしてすべてのデータベースのリストを表示します。**管理設定**をクリックして管理をカレント データベースに設定します。

3. 必要に応じてベースライン プロジェクト タブのフィールドを修正します。

以下のフィールドによってベースラインの検索順序を変更できます。

表示されるオプションは、プロセス ルールにリリースが設定されているかどうかによって変わります。

- 最新：公開済みベースライン、静的プロジェクト、静的またはビルド管理

これらのフィールドでは、特定のリリースまたはリリースのキーワード (**%release** または **%baseline_release**) を設定できます。キーワード **%release** は、ベースラインがプロセス ルールと同じリリース値を持つ必要があることを意味します。キーワード **%baseline_release** は、ベースラインがプロセス ルールのリリースのベースライン リリースと同じリリース値を持つ必要があることを意味します。これらのキーワードにより、任意のリリースで使用できるベースライン検索順序を持つデフォルトのプロセス ルールを設定できます。

たとえば、目的が **Integration Testing** (統合テスト) のリリース 2.3 のプロセス ルールを考えます。ベースラインの検索にリリース/目的ペア **%release**、**Integration Testing** および **%baseline_release**、**Any** が使われ、プロセス ルールが最新のベースラインを使用する場合は、次のロジックのよってベースラインを検索します。リリース値が 2.3 で目的が **Integration Testing** の公開済みベースラインがあれば、それが使用されます。リリース 2.3 用に公開またはリリースされた公開済みベースラインがない場合、リリース 2.2 用に公開された最新のベースラインが使われます。したがって、新規リリース用のベースラインが公開またはリリースされるまで、プロセス ルールは最終ビルドに対応する公開済みベースラインを新規リリースのベースラインとして使うことを指定できます。

- プロセス ルールに指定されたベースライン/固有ベースライン

プロセス ルールが**汎用プロセスルール**の場合、プロセス ルールに指定された**ベースライン**オプションが表示されます。プロセス ルールが**リリース固有プロセスルール**であり、プロセス ルールに指定された**ベースライン**を設定して汎用プロセス ルールを作成している場合、**固有ベースライン** オプションが表示されません。

この設定により、プロジェクト グループのベースラインを検索する方法を指定することになります。固有のベースラインは指定しません。プロセス ルールを汎用のままにします。

後でリリースにこのプロセス ルールを追加するときに、Rational Synergy は自動的に [リリース固有プロセス ルール](#) を作成するので、以下に説明する固有のベースラインを設定する必要があります。

プロジェクト グループのベースラインを設定するため、固有のベースラインを選択する必要があります。このオプションをクリックし、次に参照ボタンをクリックして設定するベースラインを検索します。

ベースライン選択 ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、検索の範囲を絞り込む属性を入力します。

ベースラインを選択し、**OK** ボタンをクリックします。

- プロジェクト グループに指定されたベースライン

このオプションを設定すると、ベースライン プロジェクトの検索方法をプロセス ルールによって指定せず、自分でプロジェクト グループに指定できます。たとえば、**Custom Development** プロセスルールがこの設定を使用します。

4. 必要に応じて**タスク**タブでフォルダまたはフォルダ テンプレートを追加または削除します。

フォルダ テンプレートはフォルダを作成します。フォルダは、プロジェクト グループ用に集められたタスクをグループ化します。

プロセス ルールが [リリース固有プロセス ルール](#) である場合、フォルダとフォルダ テンプレートを追加または削除できます。プロセス ルールが [汎用プロセス ルール](#) である場合、フォルダ テンプレートのみ追加または削除できます。

追加するには、プラスをクリックして**フォルダまたはフォルダ テンプレートを選択** ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスで、検索の範囲を絞り込む属性を入力します。

削除するには、不要になったフォルダまたはフォルダ テンプレートをクリックし、横のマイナス記号をクリックします。

5. 転送セットのメンバーシップを表示して修正を行います。

6. **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [目的の作成](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス ルール)
- [目的の削除](#)
- [目的の編集](#)
- [プロセス ルールの設定](#)

-
- [転送セットのメンバーシップの表示と修正](#)

プロジェクトのプロパティの修正

この手順により、プロジェクトの情報を変更します。

ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するプロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **バージョン**

バージョンはファイル、ディレクトリ、プロジェクトの特定のバリエーションです。

- **リリース**

リリースは、特定のリリース固有のプロジェクトを識別するプロパティです。

- **目的**

プロジェクトの目的は、**Insulated Development** (個別開発)、**Integration Testing** (統合テスト)、**System Testing** (システム テスト) などのように、それが何に使われるかを定義します。プロジェクトの目的を変更すると、**Rational Synergy** はプロジェクトまたはプロジェクト グルーピングの更新時に異なる選択基準を使用します。

- **プラットフォーム**

プラットフォームは、オブジェクトに特定の種類のハードウェアを指定するプロパティです。

- **プロジェクト グルーピング**

このフィールドは変更できませんが、プロジェクト グルーピング名を右クリックしてコンテキスト メニューを使用することによって操作を行うことができます。

- **ベースライン プロジェクト**

このフィールドは変更できませんが、ベースライン プロジェクト名を右クリックしてコンテキスト メニューを使用することによって操作を行うことができます。

自分のプロジェクトのベースにするプロジェクト バージョンを、そのベースライン プロジェクトと呼びます。ベースライン プロジェクトは、プロジェクト グルーピング プロパティに設定されているベースラインの一部です。たとえば、「**editor-2.0**」プロジェクトのベースライン プロジェクトは、「**editor-1.0**」です。プロジェクトの新規バージョンをチェックアウトすると、そのベースライン プロジェクトは自動的に設定されます。

-
3. 必要に応じてワークエリアの設定を修正します。
 4. 必要に応じて転送セットのメンバーシップの表示または修正を行います。
 5. 必要に応じてオブジェクトのセキュリティ設定を変更します。

グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ**タブが表示されます。**セキュリティ**タブを使用して、選択したプロジェクトの修正およびコピーをユーザーに許可/禁止できます。

6. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)
- [プロジェクトグループリングのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワークエリアの設定の修正](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [転送セットのメンバーシップの表示と修正](#)
- [プロパティの表示](#)

プロジェクト グループिंगのプロパティの修正

この手順により、プロジェクト グループिंगの情報を変更します。

ビルド マネージャは、通常このダイアログボックスを使用してビルドが失敗した理由を調べます。ビルド マネージャは、このダイアログボックスを開き、最近プロジェクト グループिंगに追加されたタスクを見てどこにエラーがあるか探します。バグを見つけたら、ビルド マネージャは担当開発者またはチーム リーダーに修正するよう知らせることができます。バグを修正している間、ビルド マネージャは実用的なビルドを行うためタスクをプロジェクト グループングから削除する必要があります。

ステップ ...

プロジェクト グループングを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するプロジェクト グループングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。以下のフィールドが修正可能です。

- **プロセス ルール** フィールドは修正できませんが、プロセス ルール名を右クリックして、コンテキスト メニューを使用することによって操作を行うことができます。
- **自動更新** チェックボックスはデフォルトで選択されています。このオプションが選択されていると、プロジェクトの更新時にプロジェクトの更新時にベースラインとタスクが更新されます。選択を解除すると、更新時にベースラインとタスクが変更されなくなります。

3. **プロジェクト** タブでプラス記号をクリックして、プロジェクトをプロジェクト グループングに追加できます。

プロジェクトの選択 ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、プロジェクト グループングにプロジェクトを追加します。

4. 必要に応じて**ベースライン プロジェクト** タブのフィールドを修正します。

以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **ベースライン選択** ボタンは、プロジェクト グループングが使用するプロセス ルールがベースラインの選択を許可するよう設定されている場合にアクティブになっています。ベースラインを選択するには、**ベースライン選択** をクリックします。

ベースライン選択 ダイアログボックスが表示されます。デフォルトで、プロジェクト グループングのリリース（たとえば、**toolkit/2.0**）をベースに、結果フィールドにベースラインが表示されます。

- このプロジェクト グループングのベースラインがある場合、**ベースライン** テーブルに表示されます。プロジェクト グループングが使用するプロセス ルールが**最新**

の静的またはビルド管理プロジェクトに設定されていると、このテーブルは空になります。

- コピーを保持しているベースライン プロジェクト テーブルには、プロセス ルールがベースラインプロジェクトとして検出し、このプロジェクト グループングにコピーがあるプロジェクトが含まれます。プロセス ルールがベースラインを使用する場合、これらのプロジェクトはベースラインからのプロジェクトです。プロセス ルールが**最新の静的またはビルド管理プロジェクト**を使用する場合、これらのプロジェクトは最新のプロジェクト ルールで検出されます。
 - コピーを保持していないベースライン プロジェクト テーブルには、プロセス ルールがベースラインプロジェクトとして検出したが、このプロジェクト グループングにコピーがないプロジェクトが含まれます。
5. 必要に応じて**タスク** タブのフィールドを修正します。以下のフィールドが修正可能です。
- ベースラインで処理されたタスク テーブルには、プロセス ルールがベースラインを使用する場合、プロセス ルールによって提供されたがベースラインの一部ではないタスクが含まれます。プロセス ルールが**最新の静的またはビルド管理プロジェクト**を使用する場合、このテーブルはプロセス ルールによって提供されたすべてのタスクを含みます。
 - ベースライン上のすべてのタスクを使用するには、**すべてを使用**をクリックします。
 - **手動追加タスク** テーブルには、プロジェクト グループングに手動で追加したタスクと暗黙的に必要なタスクが含まれます。さらにタスクを追加するにはプラス記号をクリックします。
- タスクの選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用して、プロジェクト グループングに追加するタスクを検索できます。
6. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [プロジェクトの更新プロパティの変更](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [プロパティの表示](#)

リリースのプロパティの修正

リリース プロパティ ダイアログボックスを使用して、リリースのプロパティの表示または修正を行うことができます。

ステップ ...

リリースを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. リリース プロパティを表示するには、適切なリリースを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じてリリース プロパティ ダイアログボックスの**プロパティ**タブのフィールドを修正します。

以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **詳細**

リリースの簡単な説明です。

- **アクティブ**

このオプションはデフォルトで選択されています。選択されている場合、リリースは[アクティブ リリース](#)です。選択を解除すると、リリースは[非アクティブ リリース](#)となります。

- **ベースライン リリース**

このオプションは、リリースの[ベースライン リリース](#)を変更または設定します。リリースの作成時に設定していない場合、ビルド マネージャはベースライン リリースを変更することがあります。ベースライン リリースの設定は、ベースライン選択のセーフティ ネットとなります。更新操作がベースライン内のタスクに関連するオブジェクトを使用してメンバー選択を決めるため、これは重要です。

- **パラレル制約**

パラレル制約は、このリリースの作業を行っているチームがどのようにパラレルバージョンを使用するかを決定します。以下のパラレル制約を設定できます。

* パラレル チェックアウト / パラレル チェックインを許可

* パラレル チェックアウトを許可、パラレル チェックインは禁止

* パラレル チェックアウト / パラレル チェックインを禁止

- **コンポーネント タスク**

[コンポーネント タスク](#)は、ベースラインからプロジェクトまたは製品を集めます。このオプションを使用して、ベースライン作成時にコンポーネント タスクを作成するかどうかを設定します。デフォルトでは**ベースラインにコンポーネント タスクを自動作成しない**チェックボックスは選択解除されています。チェック

ボックスを選択すると、オプションがベースラインにコンポーネントタスクを自動作成するに変わります。

- **転送を許可**

データベースで DCM を使用できる場合は、このオプションが選択されています。選択されている場合、このリリースの DCM 転送セットが許可されています。選択を解除すると、このリリースの DCM 転送セットは禁止されます。

3. 必要に応じて**プロセス ルール** タブのプロセス ルールを追加、変更します。

プロセス ルールについて

デフォルトで、目的ごとに 1 つのプロセス ルールが含まれており、リリースの作成時に使用できます。以下は、標準プロセスの目的とプロセス ルールです。

目的	プロセス ルール
Collaborative Development (共同開発)	Collaborative Development (共同開発)
Insulated Development (個別開発)	Insulated Development (個別開発)
Custom Development (カスタム開発)	Custom Development (カスタム開発)
Shared Development (共有開発)	Shared Development (共有開発)
Visible Development (可視開発)	Visible Development (可視開発)
Integration Testing (統合テスト)	Integration Testing (統合テスト)
System Testing (システム テスト)	System Testing (システム テスト)

注記：データベースで DCM を使用できる場合、分散型プロセス情報の目的とプロセス ルールも表示されます。詳細については「リリースの作成またはコピー」の[ステップ 3](#) の下の表を参照してください。

プロセス ルール タブの選択肢に追加するには、プラス記号をクリックします。**プロセス ルール** 選択ダイアログボックスに、使用できるプロセス ルールが表示されます。適切なプロセスルールを選択して **OK** をクリックします。**適用** をクリックして変更を保存します。

適切な目的を開いてこのリリースが従うべきプロセス ルールをクリックします(ここで選択したプロセス ルールが、更新操作時に集められるオブジェクトを管理します)。

ビルド マネージャは、このリリースを通して、特定の目的で 1 回または複数回彼のチームが従う異なるプロセス ルールを選択する場合がありますが、開発者は何も変更する必要はありません。彼らが行う必要があるのはここで選択したルールが定義するように、最新のメンバーを取り込むようプロジェクトを更新することだけです。

4. 転送セットのメンバーシップの表示または修正を行います。

5. オブジェクトのセキュリティ設定を変更します。

グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ** タブが表示されます。**セキュリティ** タブを使用して、選択したリリースの修正およびコピーをユーザーに許可/禁止できます。

関連トピック

- [リリースのアクティブ化と非アクティブ化](#)
- [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)
- [リリースの作成またはコピー](#)
- [オブジェクトの削除（リリース）](#)
- [転送セットのメンバーシップの表示と修正](#)

タスクのプロパティの修正

この手順により、タスクの情報を変更します。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するタスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **概要**

概要は、1行にまとめたタスクの説明です。

- **リリース**

リリースは、特定の製品に使用された固有のプロジェクトまたはタスクを識別するプロパティです。

- **優先度**

優先度は、タスクの重要度を測るプロパティです。

- **サブシステム**

サブシステムは、タスクのソフトウェア サブシステムを指定します。たとえば、クライアント/サーバー ソフトウェア アプリケーションを開発する場合、サブシステムは **client**、**server**、および **communication** かもしれません。

- **プラットフォーム**

プラットフォームは、論理的要変更に適用可能なハードウェア プラットフォームを指定するプロパティです。

- **担当者**

担当者は、タスクを完了する人の名前です。

- **予定作業 / 実作業**

タスク作業の予想または実時間を任意の間隔（時間、日、月）で追加できます。

- **完了予定日**

カレンダーを使用してタスクの完了予定日を追加します。

- **修正可能 DB**

チームが Rational Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してデータベースの名前を変え、**担当者** リストを使用して担当者の名前を設定することによって、タスクを異なるデータベースのユーザーに割り当てることができます。

3. 必要に応じて**詳細**タブの説明を修正します。このタブでは、タスクを修正するために行ったコード変更に関して、複数行の説明を加えることができます。
4. 必要に応じて**オブジェクト** タブでオブジェクトを追加または削除します。
オブジェクトを追加するにはプラス記号をクリックします。**オブジェクトの選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログで、タスクに追加する1つまたは複数のオブジェクトを選択します。
オブジェクトを削除するには、削除するオブジェクトを選択してマイナス記号をクリックします。
5. **タスクの修正**タブを使用してタスクを指定して別タスクを修正します。
6. **変更依頼**タブを使用して関連する変更依頼を追加または削除します。
7. 転送セットのメンバーシップの表示または修正を行います。
8. オブジェクトのセキュリティ設定を変更します。
グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ** タブが表示されます。**セキュリティ** タブを使用して、選択したタスクの修正およびコピーをユーザーに許可/禁止できます。
9. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクのコピー](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [転送セットのメンバーシップの表示と修正](#)
- [プロパティの表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

ワークエリアの設定の修正

この手順により、ワークエリア設定を変更します。

ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. ワークエリア設定を修正するプロジェクトを右クリックし、プロパティを選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. **ワークエリア** タブをクリックします。

3. 必要に応じてフィールドを修正します。

以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **ワークエリア**

このオプションを選択する (**On**) と、Rational Synergy によってプロジェクトのコピーがワークエリアに保持されます。また、このオプションを選択すると、**適用** ボタンをクリックしたときにプロジェクトが自動的に同期されます。

このオプションを選択解除する (**Off**) と、Rational Synergy はプロジェクトのコピーをワークエリアに保持せず、このダイアログボックスのすべてのオプションがグレー表示になります。

- **パス**

パス フィールドには、プロジェクトのワークエリア ディレクトリが表示されます。ただし、パスを変更したい場合は、新しいパスを直接入力するか、[...] (表示) ボタンをクリックして参照するか、[デフォルトパス使用](#) ボタンをクリックして変更できます。

ワークエリア ディレクトリはインターフェイス ホストから見えていなければなりません。

- **デフォルトパス変更**

このボタンをクリックして**プロジェクトのコピー オプションのオプション** ダイアログボックスの**アクション** タブで設定されているパスを表示します (パスは**全てのワークエリアにデフォルトパスを使用** フィールドに表示されます)。

詳細については、[デフォルトワークエリアパスの設定](#)を参照してください。

- **デフォルトパス使用**

このボタンをクリックして**プロジェクトのコピー オプションのオプション** ダイアログボックスの**アクション** タブで設定されているデフォルトパスを使用します。

詳細については、[デフォルトワークエリアパスの設定](#)を参照してください。

- **親プロジェクトへの相対ワークエリア**

このオプションを選択すると、ワークエリアは相対ワークエリアとなります。すなわち、ワークエリアが親プロジェクトのワークエリア内のサブディレクトリになります。

相対ワークエリア内のサブディレクトリは、親プロジェクトのワークエリアに置かれているため、サブプロジェクトとして一度だけ使用できます。ただし、相対プロジェクトが静的な場合、複数のプロジェクトで使用できます。

このオプションを選択解除すると、ワークエリアは絶対ワークエリアとなります。ファイルシステムでは、絶対ワークエリアは別のディレクトリ構造として存在します。他のプロジェクトで、絶対ワークエリア内のサブプロジェクトを検索して使用できます。

- **プロジェクト固有のディレクトリをワークエリアパスに含む**

このオプションを選択すると、プロジェクト固有ディレクトリがワークエリアに作成されます。プロジェクトのすべてのディレクトリとファイルは、このプロジェクト固有ディレクトリに作成されます。

詳細については、[プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)を参照してください。

- **全てのファイルを編集可能にする**

このオプションを使用して、すべてのファイルを修正できるワークエリアを作成します。すべてのファイルを修正可能にすると、Rational Synergy データベース外で作業中にファイルを変更しなければならない場合に便利です。

- **コピーされた時刻を更新時刻に使用**

このオプションを選択すると、ファイルの最終修正時刻でなく、ファイルがワークエリアにコピーされた時刻がタイムスタンプとして使用されます。

- **ASCII ファイルの改行コードを変換**

このオプションは、Windows ユーザーのみが使用できます。

このオプションを選択すると、CR/LF 文字が正しいフォーマット (Windows クライアントと UNIX サーバーの間でファイルをコピーする場合に UNIX 用または Windows 用に設定) に変換されます。

このオプションを選択解除すると、変換は行われません。

- **シンボリック リンク / コピー**

シンボリック リンク オプションは UNIX ユーザーのみが使用できます。

このオプションを選択すると、プロジェクトでリンクベースのワークエリアを使用するように設定します。ワークエリアには、コピーではなくファイルへのシンボリック リンクが格納されます。デフォルトでは、UNIX のワークエリアはリンクベースです。

コピー オプションはどのユーザーでも使用できます。

このオプションを選択すると、プロジェクトでコピーベースのワークエリアを使用するように設定します。ワークエリアにはファイルのコピーが格納されます。デフォルトでは、Windows のワークエリアはコピーベースです。

4. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [プロジェクト グルーピングのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [プロパティの表示](#)

プロパティの表示

この手順により、ファイル、フォルダ、フォルダ テンプレート、ディレクトリ、タスク、プロジェクト、プロジェクト グループリング、プロセス、プロセス ルール、ベースライン、リリース、変更依頼に関する情報を表示します。

ステップ ...

適切なオブジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

以下のいずれかの方法でプロパティを表示できます。

- 適切なオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
選択したオブジェクトの**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます(変更依頼を除く)。適切なタブをクリックして情報を参照します。
変更依頼のプロパティは、**Rational Change** インターフェイスに表示されます。このダイアログボックスのヘルプを見るには、インターフェイスの上部のメインメニューから**ヘルプ**をクリックします。
- 関連オブジェクトのプロパティを表示するには、適切なオブジェクトを右クリックして選択します。
たとえば、ファイルに関連するタスクのプロパティを表示するには、ファイルを右クリックして**タスク プロパティ**を選択します。**タスク プロパティ**ダイアログボックスに選択したファイルのタスク情報が表示されます。
-  をクリックしてカレントタスクのプロパティを表示します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。適切なタブをクリックして情報を参照します。
- オブジェクトを選択し、**表示**メニューから**プロパティ**を選択します。

関連トピック

- [ベースライン プロパティの修正](#)
- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [フォルダのプロパティの修正](#)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)
- [プロセスのプロパティの修正](#)
- [プロセス ルールのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトのプロパティの修正](#)
- [プロジェクト グループリングのプロパティの修正](#)
- [リリースのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)

-
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)

プロパティ設定からの変更

- [プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加](#)
- [デフォルトアプリケーション ツールの変更](#)
- [ユーザー プロパティのカスタマイズ](#)
- [コピーベース モードによる Rational Synergy の使用](#) (UNIX ユーザーのみ)
- [転送セットのメンバーシップの表示と修正](#)

ユーザー プロパティのカスタマイズ

Rational Synergy が使用するエディタ、テキスト ビューア、マージ ツール、および比較 ツールを変更できます。

ccm.user.properties ファイルには、Rational Synergy インターフェイスのローカル ユーザー設定が格納されています。

ステップ ...

1. Windows ユーザー : **C:\Documents and Settings\username** にある **ccm.user.properties** ファイルを開きます。
UNIX ユーザー : ホームディレクトリ \$HOME にある **.ccm.user.properties** ファイルを開きます。
2. テキスト エディタを使用してデフォルト アプリケーション ツールを変更します。
3. ファイルを保存して閉じます。

関連トピック

- [デフォルト アプリケーション ツールの変更](#)
- [比較](#)
- [マージ](#)

デフォルト アプリケーション ツールの変更

マージ ツール、比較ツール、エディタは、Windows、UNIX とも、クライアントの **etc** ディレクトリにある **ccm.properties** ファイルにデフォルトで設定されています。Windows では、**profile** ディレクトリにある **ccm.user.properties** ファイルでこの設定を変更できます。UNIX では、ホーム ディレクトリにある **.ccm.user.properties** ファイルでこの設定を変更できます。

- [Windows のデフォルト アプリケーション](#)
- [UNIX のデフォルト アプリケーション](#)

Windows のデフォルト アプリケーション

Windows のオプション	説明
windows.tool.edit.project	Windows システムでプロジェクトを編集するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.edit.dir	Windows システムでディレクトリを編集するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.view.project	Windows システムでプロジェクトを表示するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.view.dir	Windows システムでディレクトリを表示するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.compare.ascii	Windows システムでファイルを比較するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.merge.ascii	Windows システムでファイルをマージするために使用するユーティリティを定義します。

注記：Rational Synergy では、区切りに 2 つの連続した円記号を使用する必要があります。

```
windows.tool.compare.ascii = %ccm_compare
windows.tool.compare.binary = FAIL
windows.tool.merge.ascii = %ccm_merge
windows.tool.merge.binary = FAIL
windows.tool.edit.ascii = "%ccm_home¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec" "%file1"
windows.tool.edit.binary = "%ccm_home¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec" "%file1"
windows.tool.edit.executable = "%file1"
windows.tool.edit.project = explorer.exe "%file1"
windows.tool.edit.dir = explorer.exe "%file1"
windows.tool.view.ascii = "%ccm_home¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec" "%file1"
windows.tool.view.binary = "%ccm_home¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec" "%file1"
windows.tool.view.executable = "%file1"
```

```
windows.tool.view.project = explorer.exe "%file1"  
windows.tool.view.dir = explorer.exe "%file1"
```

注記：ここに示す値は例です。他のコマンドを使用することもできます。

以下のキーワードを使用できます。

```
edit: %file1, %ccm_home  
view: %file1, %ccm_home  
help: %file1, %ccm_home  
FAIL: operation is not supported for that command  
compare: %file1, %file2, %file1_label, %file2_label, %ccm_home  
merge: %outfile, %ancestor %file1, %file2, %file1_label, %file2_label,  
ccm_home
```

上記で、%file1 は 1 番目のファイルの名前、%ccm_home はクライアントがインストールされているディレクトリ、%file2 は 2 番目のファイルの名前、%file1_label と %file2_label は各ファイルのラベル、%ancestor はマージに使用される共通祖先ファイル、%outfile はマージの結果です。

UNIX のデフォルト アプリケーション

UNIX のオプション	説明
unix.tool.edit.project	UNIX システムでプロジェクトを編集するために使用するユーティリティを定義します。
unix.tool.edit.dir	UNIX システムでディレクトリを編集するために使用するユーティリティを定義します。
unix.tool.view.project	UNIX システムでプロジェクトを表示するために使用するユーティリティを定義します。
unix.tool.view.dir	UNIX システムでディレクトリを表示するために使用するユーティリティを定義します。
unix.tool.compare.ascii	UNIX システムでファイルを比較するために使用するユーティリティを定義します。
unix.tool.merge.ascii	UNIX システムでファイルをマージするために使用するユーティリティを定義します。

```
unix.tool.compare.ascii = %ccm_compare  
unix.tool.compare.binary = FAIL  
unix.tool.merge.ascii = %ccm_merge  
unix.tool.merge.binary = FAIL  
unix.tool.edit.ascii = xterm -geometry 80x40 -e vi %file1  
unix.tool.edit.binary = FAIL  
unix.tool.edit.project = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
```

```
unix.tool.edit.dir = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
unix.tool.view.ascii = xterm -geometry 80x40 -e vi %file1
unix.tool.view.binary = FAIL
unix.tool.view.project = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
unix.tool.view.dir = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
```

注記：ここに示す値は例です。他のコマンドを使用することもできます。

以下のキーワードを使用できます。

```
edit: %file1, %ccm_home
view: %file1, %ccm_home
help: %file1, %ccm_home
FAIL: operation is not supported for that command
compare: %file1, %file2, %file1_label, %file2_label, %ccm_home
merge: %outfile, %ancestor %file1, %file2, %file1_label, %file2_label,
ccm_home
```

上記で、%file1 は 1 番目のファイルの名前、%ccm_home はクライアントがインストールされているディレクトリ、%file2 は 2 番目のファイルの名前、%file1_label と %file2_label は各ファイルのラベル、%ancestor はマージに使用される共通祖先ファイル、%outfile はマージの結果です。

関連トピック

- [ユーザープロパティのカスタマイズ](#)

オブジェクトのセキュリティ設定の変更

プロパティダイアログボックスの**セキュリティ** タブを使用して、ユーザーに選択オブジェクトの修正とチェックアウトまたはコピーの許可/禁止およびオブジェクトのソースの表示の許可/禁止を行います。

データベースのセキュリティについて

Rational Synergy データベースには、各種オブジェクトを多数含むことができます。すべてのユーザーにすべてのオブジェクトのチェックアウト、コピー、修正、および表示を許可するのは必ずしも適切ではありません。セキュリティの設定により、これらの権限を、指定したユーザーのグループに制限できます。

以下のオブジェクトの指定セキュリティ設定を変更できます。

- ファイル：表示、修正、およびチェックアウト権限
- ディレクトリ：修正およびチェックアウト権限
- フォルダ：修正およびコピー権限
- タスク：修正およびコピー権限
- プロジェクト：修正およびコピー権限
- リリース：修正およびコピー権限

一般ペインで、**オプション** ダイアログボックスの**表示**タブで**オブジェクトのセキュリティ プロパティ**を表示チェックボックスを設定していると、**セキュリティ** タブが表示されます。また、これらのオプションはオブジェクトを所有する場合にのみ有効です。

このオプションは、グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームが使用できます。これらのチームは、一部のユーザーに特定のオブジェクトのチェックアウト、変更、および表示を許可し、他のユーザーに禁止する必要があるかもしれません。

すべての**プロパティ**ダイアログボックスから**セキュリティ** タブを削除する方法については、[プロパティダイアログボックスのセキュリティタブの表示](#)を参照してください。

Rational Synergy Classic CLI を使用してグループを**セキュリティ** タブに表示するよう設定できます。詳細については、[Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード](#)の「groups コマンド」を参照してください。

ステップ ...

1. セキュリティ設定を変更するオブジェクトに対応する**プロパティ** ダイアログボックスを開きます。
2. フォルダ、タスク、プロジェクト、またはリリースのセキュリティ設定を変更する場合、これらのオブジェクトを修正およびコピーできるユーザーのグループを変更できます。

すべてのユーザーにこのフォルダ、プロジェクト、リリースの修正およびコピーを許可するには**全員にこの object の修正とコピーを許可**を選択します。このオプションはデフォルトで選択されています。

設定を制限するには、**オブジェクトの修正とチェックアウトを以下のグループに限定**のデフォルト設定を残し、制限するグループをクリックします。

3. ファイルおよびディレクトリのセキュリティ設定を変更する場合、これらのオブジェクトの修正およびチェックアウトを許可するユーザーのグループを変更したり、ファイルのソースの表示を許可するユーザーのグループも変更できます。

すべてのユーザーにこのファイルまたはディレクトリの修正およびコピーを許可する場合は、**全員にこの object の修正とコピーを許可**を選択します。このオプションはデフォルトで選択解除されています。

設定を制限するには、**オブジェクトの修正とチェックアウトを以下のグループに限定**を選択し、制限するグループをクリックします。

すべてのユーザーにこのファイルの読み出しを許可する場合は、**全員にこのオブジェクトソースの閲覧を許可**を選択します。このオプションはデフォルトで設定されています。

設定を制限するには、**オブジェクトソースへのアクセスを以下のグループに限定**のデフォルト設定を残し、制限するグループをクリックします。

4. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [フォルダのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトのプロパティの修正](#)
- [リリースのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)

転送セットのメンバーシップの表示と修正

プロパティ ダイアログボックスの**転送セット** タブを使用して、ビルド マネージャに転送セットへのオブジェクトの追加/削除を許可、開発者にオブジェクトが所属する転送セットの表示を許可します。

転送セットについて

転送セットは、デスティネーション データベースへ送ることができる関連するオブジェクト グループの集まりです。オブジェクトまたはプロジェクトについて、以下の転送セット プロパティを表示できます。

- オブジェクトまたはプロジェクトが関連付けられている転送セット名
- メンバー タイプ ([直接メンバー](#)または[間接メンバー](#))
- メンバーとなった時期 (オブジェクトまたはプロジェクトがいつからメンバーとなったか)
- 履歴を含む (オブジェクトまたはプロジェクトの履歴も関連付けられているかどうか)
- オブジェクトがエクスポートされたデータベース
- データベースにエクスポートされた後でオブジェクトが修正されているかどうか

一般ペインで、**オプション** ダイアログボックスの**表示**タブで**転送セットを表示**チェックボックスを設定していると、**転送セット** タブが表示されます。

直接メンバーと間接メンバーの詳細については、[Rational Synergy Distributed](#) ドキュメントの「転送セットへのオブジェクトの追加」を参照してください。詳しい手順については、[Rational Synergy Classic ヘルプ](#)の「転送セットへのオブジェクトの追加」を参照してください。

ステップ ...

1. 転送セットの設定を表示または修正するオブジェクトに対応する**プロパティ** ダイアログボックスを開きます。
2. **転送セット** タブをクリックしてこのオブジェクトに関連する転送セットを表示します。
3. 必要に応じて、**転送セット**タブで転送セットの設定を変更します。
 - 転送セットを追加するにはプラス記号アイコンをクリックします。**転送セット選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで追加する転送セットを探して選択します。
 - 転送セットを削除するには、転送セットをクリックしてマイナス記号アイコンをクリックします。

関連トピック

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [フォルダのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトのプロパティの修正](#)
- [リリースのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [転送セットへのオブジェクトの追加](#)

プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加

プロジェクト グルーピング機能により、プロジェクトを目的とリリース別にグループ化し、プロジェクトの更新時に、使用するタスクとベースラインを保持します。プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加することで、プロジェクトを異なる目的とリリースで簡単に再利用できます。

開発者は、目的の異なる複数のプロジェクト階層を使って作業することがあります。プロジェクトによっては **Insulated Development (個別開発)** に使われるものもあれば **Collaborative Development (共同開発)** に使われるものもあり、さらに開発者がチームリーダーでもある場合、**統合テスト**に使用するプロジェクトを持つこともあります。通常、開発者がビルドするのは数個のプロジェクト程度ですが、さらに多くをビルドする必要が生じることもあります。たとえば、**Collaborative Development (共同開発)** でプロジェクトをビルドできない場合、そのプロジェクトを制御可能な環境である **Insulated Development (個別開発)** プロジェクト グルーピングへ移すことがあります。

プロジェクトをプロジェクト グルーピングに追加することは、異なるプロジェクトを現在開発を行っているワークスペースへ移動することであると考えられます。プロジェクトのコピーを作る代わりに、単にプロジェクトを異なるプロジェクト グルーピングへ移し、その後でプロジェクトを更新することができます。

ステップ ...

1. 適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. プロジェクトタブをクリックします。
3. プロジェクトの追加ボタンをクリックします。
プロジェクトの**選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、プロジェクト グルーピングに追加するプロジェクトを選択します。

関連トピック

- [プロジェクトの更新プロパティの変更](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [プロジェクト グルーピングのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトの更新](#)

ファイルの検索とその他

[オブジェクトの検索](#)

- [オブジェクトの検索](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

[クエリの設定](#)

- [クエリのカスタマイズ](#)
- [クエリの定義](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で保存](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存クエリの表示](#)

[定義済みクエリの使用](#)

- [保存クエリの編集](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [保存クエリの実行](#)

オブジェクトの検索

- [オブジェクトの検索](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

オブジェクトの検索

クエリ ダイアログボックスを使用して任意の種類オブジェクトを検索できます。**検索** メニューには、タスク、オブジェクト、変更依頼、プロジェクト、プロジェクト グループ ping、ベースライン、リリース、フォルダ、プロセス、プロセス ルール、フォルダ テンプレート、転送セットなど、検索できる各種オブジェクトが表示されます。

検索 メニューを使用して検索するオブジェクトの種類を選択する場合、**クエリ** ダイアログボックスにそのオブジェクトのクエリを作成するための正しい情報が表示されます。

ステップ ...

- メインメニューで、**検索**をクリックし、**タスク、オブジェクト、変更依頼、プロジェクト、プロジェクト グループ ping、ベースライン、リリース、フォルダ、プロセス、プロセス ルール、フォルダ テンプレート、転送セット**のいずれかを選択します。

クエリ ダイアログボックスは、選択したオブジェクト タイプのクエリに適した情報を表示します。

クエリの定義に関する詳細な情報については、[クエリの定義](#)を参照してください。

関連トピック

- [保存クエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの実行](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)

オブジェクトの使用箇所の検索

この手順により、特定のファイル、プロジェクト、ディレクトリ、またはタスクを使用するプロジェクト、ベースライン、プロジェクト グループング、またはフォルダをデータベースから検索します。特定の変更依頼を使用するベースラインおよびプロジェクト グループングを検索することもできます。

ステップ ...

- ファイル、プロジェクト、ディレクトリ、またはタスクを右クリックし、**検索**をポイントし、**使用しているプロジェクト**、**使用しているフォルダ**、**使用しているベースライン**、または**使用してプロジェクト グループング**を選択します。

変更依頼 ID を右クリックして**検索**をポイントし、次に**使用しているベースライン**または**使用しているプロジェクト グループング**を選択することもできます。

クエリ ダイアログボックスが表示されます。結果フィールドにすべてのプロジェクト、フォルダ、ベースライン、またはプロジェクト グループングが表示されます。

関連トピック

- [クエリのカスタマイズ](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前保存](#)

オブジェクトまたはリリースの履歴の表示

以下では、オブジェクトまたはリリースの名前とバージョンがわかっているかどうかに関わらず、オブジェクトまたはリリースの履歴を表示する方法を示します。

この機能は、**履歴**ダイアログボックス内に表示するオブジェクトまたはリリースの名前とバージョンがわかっている場合に使用します。**履歴の表示**ダイアログボックスを使用してオブジェクトまたはリリースを表示すると最初にクエリする必要がなく、クエリ結果を使用して**履歴**ダイアログボックスにプロジェクトを表示できます。

あるいは、オブジェクトまたはリリースの名前とバージョンがわからない場合、クエリして検索し、クエリ結果を使用して、バージョン履歴の表示、パラレルの確認、プロジェクトを最新のバージョンからコピーしているか確認、および DCM 転送の後に履歴関係の更新ができます。

ステップ ...

1. Rational Synergy の任意の場所で、Ctrl + H キーを押します。
2. オブジェクトの履歴を表示するには、**履歴の表示**ダイアログボックスで、名前 (例、**newdoc.txt**)、バージョンの区切り文字で区切った名前とバージョン (例、**newdoc.txt-beta**)、または、オブジェクト名、バージョン、タイプ、インスタンスの 4 つの部分からなる 4 部名称 (例、**newdoc.txt-beta:ascii:ccmintdb#1**) を入力します。

入力したオブジェクト名が複数のバージョンに対応する場合、**オブジェクト選択**ダイアログボックスが表示されます。適切なオブジェクトを選択して **OK** をクリックします。

3. リリースの履歴を表示するには、完全なリリース名 (例、**editor/2.0**) またはコンポーネントリリース (例、**3.2_patch**) を入力します。

Rational Synergy が入力されたリリース名からリリースを判断できない場合、**リリース選択**ダイアログボックスに入力された名前と一致するリリース類が表示されます。適切なリリース名を選択して **OK** をクリックします。

完全な名前またはバージョンが不明な場合、疑問符 (?) とアスタリスク (*) 文字で、4 部名称、コンポーネント、またはコンポーネント名の不明部分を置き換えても結果を得ることができます。

または

- 適切なファイル、ディレクトリ、プロジェクトを右クリックし、**履歴**を選択します。オブジェクトまたはリリースを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

履歴ダイアログボックスに、オブジェクトまたはリリースの全バージョンが表示されます。

Rational Synergy Distributed を使用していて DCM 転送の後、履歴関係を更新する場合は、 をクリックします。

関連トピック

- [ワーク ペインでプロジェクトを開く](#)
- [タブを削除する](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)

割り当てられた変更依頼の表示

この手順により、割り当てられているすべての変更依頼を表示します。

ステップ ...

- **エクスプローラ** ツールバーで、**変更依頼**をクリックします。
割り当てられているすべての変更依頼が保存クエリ **自分に割り当てられた変更依頼**の下に表示されます。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [クエリの定義](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [変更依頼の解決](#)
- [関連タスクの表示](#)

クエリの設定

- [クエリの変換](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前でも保存](#)
- [保存クエリの表示](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)

クエリの定義

現在持っている情報と次の手順を使用して、データベース内でタスク、プロジェクト、オブジェクト、変更依頼、ベースライン、またはプロジェクト グルーピングを検索します。クエリの結果を使用すると、プロジェクトまたはデータベースからオブジェクト プロパティの表示、オブジェクトの追加、オブジェクトの削除などを行うことができます。さらに、適切なエクスプローラ内から、保存クエリをエクスプローラや検索メニューに追加することもできます。

ステップ ...

1. メイン メニューで、**検索**をクリックし、検索するオブジェクトの種類として、**タスク、オブジェクト、変更依頼、プロジェクト、プロジェクト グルーピング、ベースライン、リリース、フォルダ、プロセス、プロセス ルール、フォルダ テンプレート、転送セット**のいずれかを選択します。

クエリダイアログボックスに選択したオブジェクトの種類が表示されます。

2. **検索**の下のリストボックスから条件を選択し、右のボックスに値を正しく設定します。

さらにフィールドを追加するにはプラス記号アイコンをクリックします。条件の詳細情報については、[クエリのカスタマイズ](#)を参照してください。便利なクエリとそれを使うシナリオは、下記の「クエリの例」を参照してください。

さらに、既存の保存クエリから新しいクエリをビルドし、**名前をつけて保存**をクリックして新しいクエリを作成できます。

クエリの例

- タスクを完了したが、変更依頼の解決を忘れたと仮定します。以下の手順により、リリース **XX/10** 用にマークされ、タスクを完了した割り当て済み変更依頼をすべて集めるクエリを作成します。

メインメニューで**検索**をクリックし、**変更依頼**を選択します。リストボックスで**カスタム**を選択して以下を入力します。

```
release='XX/10' and crstatus='assigned' and resolver='%user' and  
has_associated_task(status='completed')
```

- それぞれ関連するオブジェクトを持つ複数のタスクが割り当てられ、同時に複数のタスクで作業を行う必要があると仮定します。以下のクエリは、割り当てられたタスクを関連するオブジェクトと共に集めます。これにより、変更を含むタスクを簡単に選択し、カレント タスクにできます。

a. メインメニューで**検索**をクリックし、**タスク**を選択します。

b. **割り当て日付**を %user に設定します。

c. **カスタム**に not has_no_associated_cv() と入力します。

-
- **ico-1** プロジェクトのメンバーである作業中状態のオブジェクトを検索する必要があると仮定します。

メインメニューで**検索**をクリックし、オブジェクトを選択します。リストボックスで**カスタム**を選択して以下を入力します。

```
status='working' and is_member_of('ico-1')
```

- タスク 374 に関連するすべての **executable (実行形式)** オブジェクトバージョンを検索して表示する必要があると仮定します。

メインメニューで**検索**をクリックし、オブジェクトを選択します。リストボックスで**カスタム**を選択して以下を入力します。

```
type='executable' and is_associated_cv_of('task374-1:task:dbid')
```

3.  をクリックします。

結果フィールドにすべての結果が表示されます。

さらに、保存していないが再度実行したいビルド済みクエリを使用できます。上部のダイアログボックスの左にある左右の矢印を使用してクエリ スタックから**セッション内**に実行したクエリを検索します。これにより、クエリをビルドし直さずに実行できます。

4. 保存クエリを作成する場合、[クエリの保存](#)を行います。

関連トピック

- [保存クエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存クエリの検索メニューへの追加](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存クエリの実行](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)

クエリの保存

クエリダイアログボックスを使用してクエリの定義および保存を行うことができます。タスク、オブジェクト、変更依頼、プロジェクト、プロジェクト グルーピング、ベースライン、リリース、フォルダ、プロセス、プロセスルール、フォルダ テンプレート、または転送セットのクエリ定義を作成したら、適切なエクスプローラ内から保存クエリをエクスプローラや検索メニューに追加できます。

ステップ ...

クエリを定義する場合は、[クエリの定義](#)を参照してください。

1. **クエリ**ダイアログボックスで  をクリックします。
クエリダイアログボックスに**保存クエリ**タブが表示され、作成したクエリの名前を修正できます。
2. 保存クエリに固有の名前を入力します。
クエリは削除されるまでは常に**クエリ** ダイアログボックスの**保存クエリ** タブに表示されます。

関連トピック

- [保存クエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存クエリを検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [クエリの定義](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前保存](#)

クエリを新しい名前で作成

保存クエリを使用して、クエリを新しい名前で作成クエリ ダイアログボックスに保存できます。既存のクエリを使用して新しいクエリを作成することにより、必要に応じて条件を変更して新しいクエリの条件に使用できます。

さらに、適切なエクスプローラ内から、保存クエリをエクスプローラや検索メニューに追加することもできます。

ステップ ...

クエリを検索する場合は、[保存クエリの表示](#)を参照してください。

1. クエリダイアログボックスで、必要に応じて既存のクエリのプロパティを変更します。
2.  をクリックします。
クエリダイアログボックスに**保存クエリ** タブが表示され、作成したクエリの名前を修正できます。
3. 保存クエリに固有の名前を入力します。
クエリは削除されるまでは常にクエリ ダイアログボックスの**保存クエリ** タブに表示されます。

関連トピック

- [保存クエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存クエリを検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリの保存](#)

保存クエリの表示

以下の手順は、保存クエリのクエリ条件を詳しく調べる方法を示します。

ステップ ...

- 適切なエクスプローラで、保存クエリ（例、**My Project Groupings**、**My Assigned Tasks**、**My Assigned Change Requests**）を右クリックし、**表示**を選択します。
条件がクエリダイアログボックスに表示されます。
クエリの編集、保存クエリの作成、既存クエリを新しいクエリとして保存など、いろいろな作業を行うことができます。

関連トピック

- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)
- [保存クエリの削除](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存クエリの実行](#)

保存クエリの名前変更

以下の操作は、クエリの名前を変更する方法を示します。自分が修正可能なクエリのみ名前を変更できます。

ステップ ...

- **クエリ**ダイアログボックス内またはいずれかのエクスプローラから、適切な保存クエリを右クリックして**名前の変更**を選択します。

クエリの名前が修正可能になります。

修正を行って変更を保存したら、クエリが表示されるすべての箇所（たとえば**検索メニュー**、**検索リスト**、エクスプローラなど）で新しい名前が使用されます。

関連トピック

- [保存クエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存クエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの実行](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前保存](#)

クエリのカスタマイズ

Rational Synergy データベース内でオブジェクト、プロジェクト、タスク、ベースライン、変更依頼、プロジェクト グルーピングを検索するクエリを作成する方法は2つあります。1つは定義を使った方法、もう1つは文節条件を使った方法です。

クエリ定義を使用して、データベース内に定義された特定の情報を検索できます。たとえば、**自分に割り当てられたタスク**や**自分に割り当てられた変更依頼**などです。

関数、比較演算子など、さまざまな条件を使用してカスタム クエリを組み立てるには、文節条件を使用します。

関連トピック

- [クエリ文節条件](#)
- [クエリ定義](#)
- [属性値と関数テスト文節の両方を使用したクエリ](#)
- [キーワードを使用したクエリ](#)
- [ネストされたクエリ](#)

クエリ定義

クエリ定義を使用してクエリを組み立てます。コンボボックスの一連の値を選択し、テキストボックスに情報を入力することにより、クエリを構成できます。カスタム クエリを選択してカスタム クエリ文を入力することもできます。

検索

必要なクエリのタイプを指定します。選択肢は以下のとおりです。

- [ベースライン](#)
- [変更依頼](#)
- [フォルダ](#)
- [フォルダ テンプレート](#)
- [オブジェクト](#)
- [プロセス](#)
- [プロセスルール](#)
- [プロジェクト](#)
- [プロジェクト グルーピング](#)
- [リリース](#)
- [タスク](#)
- [転送セット](#)

ベースライン

検索リストから**ベースライン**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

変更依頼

検索リストから**変更依頼**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

フォルダ

検索リストから**フォルダ**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

フォルダ テンプレート

検索リストから**フォルダ テンプレート**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

オブジェクト

検索リストから**オブジェクト**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

プロセス

検索リストから**プロセス**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

プロセス ルール

検索リストから**プロセス ルール**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

プロジェクト

検索リストから**プロジェクト**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

プロジェクト グループिंग

検索リストから**プロジェクト グループिंग**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

リリース

リリースを選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

タスク

検索リストからタスクを選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

転送セット

検索リストから転送セットを選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

クエリ条件テーブル

クエリ条件オプション

下表に、使用できるクエリ条件オプションとその動作を示します。

条件	動作
割り当て日付	task_assigned 状態のすべてのタスクを検索します。
担当者で検索	特定ユーザーに割り当てられたすべてのタスクを検索します。
自動更新	プロジェクトを更新する際、ベースラインとタスクを自動的に更新するよう設定されているすべてのプロジェクト グルーピングを検索します。
ベースラインとタスクを再表示	TRUE に設定されていると、プロジェクトを更新する際、ベースラインとタスクを自動的に更新するよう設定されているすべてのプロジェクト グルーピングを検索します。FALSE に設定されていると、プロジェクトを更新する際、ベースラインとタスクを自動的に更新しないよう設定されているすべてのプロジェクト グルーピングを検索します。
完了日付	task_assigned 状態のすべてのタスクを検索します。
完了担当者	特定日付で完了したすべてのタスクを検索します。
データベースで完了したオブジェクト	特定のデータベース内で完了したすべてのオブジェクトを検索します。
作成済み	特定の日付または日付の範囲の前、当日、後に作成されたすべてのオブジェクトを検索します。
データベースに作成されたオブジェクト	特定のデータベース内で作成されたすべてのオブジェクトを検索します。
カスタム	指定した条件ですべてのオブジェクトを検索します。
完了予定日付	特定の日付または日付の範囲に完了予定のすべてのタスクを検索します。
変更依頼番号	特定の変更依頼に関連付けられたすべてのタスクを検索します。
コンポーネント	特定のコンポーネント名の付いたすべてのリリースを検索します。
プラットフォームで検索	特定プラットフォームのすべてのオブジェクトを検索します。
リリースで検索	特定リリースのすべてのオブジェクトを検索します。
特定プロセス内	TRUE に設定するとプロセス内にあるプロセスルール、FALSE に設定するとプロセス内にはないプロセスルールを検索します。
状態で検索	要求された状態のすべてのオブジェクトを検索します。このボックスは編集できません。

条件	動作
プロダクト指定	製品として定義されているファイルを検索します。
データベースにローカルなオブジェクト	オブジェクトが初期化または作成されたデータベースのデータベース ID を持つオブジェクトまたはプロジェクトを検索します。
タイプで検索	特定タイプ値を持つすべてのファイルを検索します。
修正可能者で検索	修正可能者がなし、所有者、ビルド マネージャ、または全員である、フォルダとフォルダ テンプレートを検索します。
データベースで修正可能なオブジェクト	特定のデータベース内で修正できるすべてのオブジェクトを検索します。
更新済み	特定の日付の前、当日、または後に修正されたすべてのオブジェクトを検索します。
アクティブ	アクティブ (true) または非アクティブ (false) のすべてのリリースを検索します。
ベースラインプロジェクトの検索条件	指定されたプロセスルール条件を使用するベースラインプロジェクトを検索します。
次の値を使用する	関係を探そうとしているオブジェクトを検索します。指定オブジェクトに対して表示されるオブジェクトの種類は指定オブジェクトに依存します。
クエリを使用	クエリを使用する (true) または使用しない (false) フォルダまたはフォルダ テンプレートを検索します。
実作業時間	特定の実作業時間を示すすべてのタスクを検索します。
ビルドで検索	指定したビルドを使用するすべてのベースラインを検索します。
概要で検索	特定の詳細を持つタスク、フォルダ、またはフォルダ テンプレートを検索します。これは大文字と小文字が区別されます。
予定作業時間	特定の予測作業時間を示すすべてのタスクを検索します。
ID で検索	特定の ID を持つタスクまたはフォルダを検索します。大文字と小文字が区別されます。
インスタンスで検索	特定のインスタンス値を持つすべてのオブジェクトを検索します。
管理ワークエリア	ワークエリアを維持または維持しないすべてのプロジェクトを検索します。
名前で検索	特定の名前の付いたすべてのオブジェクトを検索します。
所有者で検索	特定の所有者の名前が付いたすべてのオブジェクトを検索します。
パラレル制約条件	指定のパラレル制約条件を持つすべてのリリースを検索します。
優先度で検索	特定の優先度値を持つすべてのタスクを検索します。

条件	動作
目的で検索	特定の目的値を持つすべてのプロジェクト、プロジェクトグルーピング、プロセスルール、またはベースラインを検索します。
相対ワークエリア	相対 (true) または絶対 (false) ワークエリアを持つすべてのプロジェクトを検索します。
サブシステムで検索	特定のサブシステム値を持つすべてのタスクを検索します。
バージョンで検索	特定のバージョンの付いたすべてのオブジェクトを検索します。

属性値文節を使用したクエリ

属性値に基づくクエリ文節は、一致する属性を持つ（または持たない）すべてのオブジェクトバージョンを検索します。

このタイプの文節の構文は、以下のように属性名 (*attr_name*)、比較演算子 (*relative_operator*)、および属性値 (*constant*) で構成されています。

```
"attr_name relative_operator 'constant'"
```

例

- ステータスが「*working*」のすべてのオブジェクトバージョンを検索します。

```
ccm query "status='working'"
```
- バージョンが「2」であるすべてのオブジェクトバージョンを検索して表示します。

```
ccm query "version='2'"
```

関数テスト文節を使用したクエリ

関数テストをもとにしたクエリ文節は、関数結果に一致するすべてのオブジェクトバージョンを検索します。

このタイプの文節の構文は、以下のように関数 (*function*) とその引数で構成されています。

```
"function('function_arguments')"
```

関数はあらかじめ定義されています。関数の説明については、[関数](#)を参照してください。

例

- 祖先 `ico-1:executable:2` を持つすべてのオブジェクトバージョンを検索します。

```
ccm query "has_predecessor('ico-1:executable:2')"
```

```
ccm delete @
```
- タイプ `wdt` のすべてのオブジェクトバージョンを検索して選択します。

```
ccm query "type='wdt'"
```

属性値と関数テスト文節の両方を使用したクエリ

クエリ文節を組み合わせて検索を細かく指定できます。以下にクエリ文節を組み合わせる方法を示します。

```
"not query_clause"  
"query_clause and query_clause"  
"query_clause or query_clause"
```

例

- プロジェクトのメンバーではないすべてのオブジェクトバージョンを検索します。
ccm query "not is_bound()"
- プロジェクトのメンバーで、2001年12月12日より古い修正日付を持つすべてのオブジェクトバージョンを検索します。
ccm query "is_bound() and modify_time < time('Fri Dec 12 2001')"

キーワードを使用したクエリ

有効なキーワード

クエリ式には、日付に関する特定のキーワードを使用できます。下表に有効なキーワードを示します。

キーワード	説明
%today_begin	今日の 00:00:00
%today_end	今日の 23:59:59
%this_week_begin	今週の終わり 23:59:59 注記 1 を参照
%this_week_end	先週の始め 00:00:00 注記 1 を参照
%last_week_begin	先週の始め 00:00:00 注記 1 を参照
%last_week_end	先週の終わり 23:59:59 注記 1 を参照
%this_month_begin	今月の始め 00:00:00
%this_month_end	今月の終わり 23:59:59
%last_month_begin	先月の始め 00:00:00
%last_month_end	先月の終わり 23:59:59
%this_year_begin	今年 1 月 1 日 00:00:00

キーワード	説明
<code>%this_year_end</code>	今年 12 月 31 日 23:59:59
<code>%today_minus<N>days</code>	今日から <N> 日前 00:00:00
<code>%today_plus<N>days</code>	今日から <N> 日後 00:00:00
<code>%today_minus<N>weeks</code>	今日から <N> 週間前 00:00:00
<code>%today_plus<N>weeks</code>	今日から <N> 週間後 00:00:00
<code>%today_minus<N>months</code>	今日から <N> 月前 00:00:00 注記 2 を参照
<code>%today_plus<N>months</code>	今日から <N> 月後 00:00:00 注記 2 を参照
<code>%today_minus<N>years</code>	今日から <N> 年前 00:00:00 注記 3 を参照
<code>%today_plus<N>years</code>	今日から <N> 年後 00:00:00 注記 3 を参照

注記 1: 週の始まりの日は、デフォルトでは日曜日です。モデル属性 `start_day_of_week` を設定してこのデフォルトを変更できます。値 1 は月曜、2 は火曜、以下同様に意味します。

注記 2: 月を足し引きする場合、今日の日付が結果の月の日数より多い場合、有効日はその月の最終日になります。いずれの場合も時刻は 00:00:00 です。たとえば、今日が 2008 年 6 月 30 日の場合、`%today_plus1month` は、2008 年 6 月 28 日の 00:00:00 になります。

注記 3: 年を足し引きする場合、今日の日付が結果の年のその月の日数より多い場合、有効日はその月の最終日になります。たとえば、今日が 2008 年 5 月 29 日の場合、`%today_plus1years` は、2009 年 5 月 28 日の 00:00:00 になります。

例

- 今日作成された `file1.c` という名のファイルをすべて表示します。

```
ccm query "name='file1.c' and create_time > time('%today_begin')"
```

ネストされたクエリ

「ネストされたクエリ」とは、関数テストを使用するタイプで、引数の1つ以上がクエリ式であるようなクエリ式です。

クエリ関数は、通常以下の構文を使用します。

```
query_function('object_name'|
               'project_name'|
               'type_name'|
               'attr_name'|
               'privilege_name'|
               [,sort_order])
```

評価結果が適切なタイプのオブジェクトになるクエリ式を使って、オブジェクト名引数、プロジェクト名引数、またはタイプ名引数を置き換えることができます。クエリのネストの深さは無制限です。

例

- **editor** という名前のすべてのプロジェクトのすべてのメンバーを検索します。

```
ccm query "is_member_of(cvtype='project' and name='editor')"
```
- **toolkit-1.0** と同じメンバーを持つすべてのバージョン1.0プロジェクトを検索します。

```
ccm query "has_member(is_member_of('1/project/toolkit/1.0')) and version = '1.0'"
```
- 最も速い検索方法を使用して (**none** を指定して) **editor** というプロジェクト内のすべてのサブプロジェクトを検索します。

```
ccm query "hierarchy_asm_members(cvtype='project' and name = 'editor', 'none')"
```
- 祖先としてオブジェクト **save.c-1** (タイプ **csrc**) を持つすべてのオブジェクトを検索します。

```
ccm query "has_predecessor(cvtype='csrc' and name='save.c' and version='1')"
```
- プロジェクト **editor-fcheng** のディレクトリ **sources-1** で使用されているすべてのオブジェクトを検索します。

```
ccm query "is_child_of('sources-1:dir:1', cvtype='project' and name='editor' and version='sue')"
```
- タスクのリリース値が **1.0** に設定されているタスクに関連するオブジェクトを含むすべてのプロジェクトを検索します。

```
ccm query "has_member(is_associated_cv_of(cvtype='task' and release='1.0'))"
```

注記：クエリダイアログボックスでクエリ式を作成するときは、外側のクエリ式を二重引用符で囲む必要はありません。

クエリ文節条件

クエリ文節は、個別の条件で構成されます。以下の条件を使用してカスタム クエリ文節を組み立てることができます。

- [関数](#)
- [比較演算子](#)
- [論理演算子](#)
- [定数](#)

関数

以下の関数引数および関数を使用して、関数ベースのカスタム クエリ文節を組み立てることができます。

- [関数引数](#)
- [関数定義](#)

関数引数

関数引数を以下に示します。

attr_name

is_product や *platform* など、属性の名前を指定します。

object_name

オブジェクトバージョンのオブジェクト参照形式を指定します。

name-version:type:instance

order_spec

検索順序を指定します。*order_spec* に値 **depth** を使用すると、縦型検索が行われます。値 **breadth** を使用すると、横型検索が行われます。*order_spec* に値 **none** を使用すると、順序には意味がなくなり、検索は任意の順序で行うことができます (最速の方法が使用されます)。

none | depth | breadth

privilege_name

read (読み出し) や *write* (書き込み) など、権限の名前を指定します。

project_name

プロジェクトのオブジェクトバージョンの名前を指定します。

project_name-version

関数定義

クエリ関数を以下に示します。

baseline ('baseline_spec')

データベースを検索し、指定した情報と一致するベースラインを探します。

build ('build_string')

データベースを検索し、指定したビルド文字列を持つベースラインを探します。このクエリ関数は、"*cvtype='baseline'* と *build='build_string'*" に展開され、これは、指定したビルド文字列を持つすべてのベースラインを返します。

cr ('cr_id')

データベースを検索し、指定した番号を持つ変更依頼を探します。

folder ('folder_id')

データベースを検索し、指定した番号を持つフォルダを探します。

has_attr ('attr_name')

データベースを検索し、*attr_name* 属性 (*is_product* や *platform* など) を持つすべてのオブジェクトバージョンを探します。

has_child ('object_name','project_name')

データベースを検索し、プロジェクト *project_name* にオブジェクト *object_name* をメンバーとして持つすべてのディレクトリ オブジェクトバージョンを探します。

has_member ('object_name')

データベースを検索し、指定したオブジェクトバージョンがメンバーになっているすべてのプロジェクト オブジェクトバージョンを探します。

has_model ('object_name')

データベースを検索し、指定したモデル オブジェクトバージョンをモデルとして使用するすべてのオブジェクトバージョンを探します。

たとえば、Base Model を使用する場合、このクエリは `has_model(base-1:model:base')` となります。

has_no_relationship ()

データベースを検索し、どのオブジェクトともその名前との関係を持たないオブジェクトを探します。

たとえば、`has_no_successor` は、子孫を持たないすべてのオブジェクトを返します。

has_predecessor ('object_name')

データベースを検索し、指定したオブジェクトバージョンが直接祖先となっているすべてのオブジェクトバージョンを探します。

has_priv ('privilege_name')

privilege_name は、*read* (読み出し) や *write* (書き込み) など、権限の名前を指定します。

has_purpose ('purpose_name')

データベースを検索し、指定した目的を持つすべてのプロジェクトを探します。

has_relationship ('object_name')

データベースを検索し、オブジェクト *object_name* との関係のタイプが *relationship* であるすべてのオブジェクトバージョンを探します。たとえば、Rational Synergy では `has_successor` を使用して履歴ダイアログボックスに履歴の関係が表示されます。

`relationship` は、`associated_cv` や `associated_task` など、定められた任意の関係を指します。

`is_relationship('objectspec', 'operator', time)` は、`has_relationship_of('objectspec', 'operator', time)` の逆クエリです。

関係の作成方法については、[Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモードの「history コマンド」](#)を参照してください。

has_type ('type_name')

データベースを検索し、タイプが `type_name` のすべてのオブジェクトバージョンを探します。

たとえば、クエリ `has_type('csrc-1:cvtype:base')` により、`HelloWorld-1:csrc:1` が検索されます。

hierarchy_project_members ('project_name', order_spec)

データベースを検索し、`project_name` で指定したプロジェクト階層のすべてのプロジェクトを探します。`order_spec` 引数により、`order_spec` で記述された検索順序を指定します。

クエリにより、オブジェクトバージョン名の整列リストが返されます。このクエリを他のクエリと組み合わせて使用すると、結果の順序が変わる場合があります。

このクエリにより、`project_name` が返されます。

`order_spec` については、[order_spec](#) を参照してください。

is_bound()

データベースを検索し、いずれかのプロジェクトのメンバーであるオブジェクトバージョンを探します。このクエリは、プロジェクト名など他の限定オプションを指定する場合に便利です。

is_child_of('object_name','project_name')

データベースを検索し、プロジェクト `project_name` の `object_name` というディレクトリで使用されているすべてのオブジェクトバージョンを探します。

is_hist_leaf()

データベースを検索し、履歴ダイアログボックスでリーフ ノードであるオブジェクト (子孫を持たないオブジェクト) を探します。

is_hist_root()

データベースを検索し、履歴ダイアログボックスでルート ノードであるオブジェクト (祖先を持たないオブジェクト) を探します。

is_member_of ('project_name')

データベースを検索し、指定プロジェクトのメンバーであるすべてのオブジェクトバージョンを探します。

is_model_of ('object_name')

データベースを検索して、指定オブジェクトバージョンに関連するモデル オブジェクトバージョンを探します。

is_no_relationship ()

データベースを検索して、どのオブジェクトともその名前の関係のターゲットではないすべてのオブジェクトを探します。

たとえば、`is_no_successor` は、子孫ではないすべてのオブジェクトを返します。

is_predecessor_of ('object_name')

データベースを検索し、指定オブジェクトバージョンの直接祖先であるすべてのオブジェクトバージョンを探します。

is_relationship_of ('objectspec', 'operator', time)

関係作成時間が指定演算子 (=、!=、>、<=、>、または >=) および時刻値と一致する指定オブジェクトから指定関係を持つすべてのオブジェクトを検索します。

例：

```
is_associated_cv_of ( 'task23-1:task:M', '>', time ('May 1, 2002') )
```

このクエリは、タスク M#23 の、2002 年 5 月 1 日以降に関連したすべての関連オブジェクトを探します。

`has_relationship('objectspec', 'operator', time)` は、`is_relationship_of('objectspec', 'operator', time)` の逆クエリです。

関係の作成方法については、[Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモードの「history コマンド」](#)を参照してください。

is_type_of ('object_name')

`object_name` の作成に使用したモデル内で `type` オブジェクトバージョンを検索します。

recursive_is_member_of ('project_name', order_spec)

データベースを検索し、`project_name` で指定したプロジェクト階層のすべてのプロジェクトのすべてのメンバーを探します。

クエリにより、オブジェクトバージョン名のリストが返されます。プロジェクトでないものがリストの初めに表示され、階層のメンバーであるプロジェクトが後に続きます。検索順序に関係するのは、結果におけるプロジェクトの場所のみです。このクエリを他のクエリと組み合わせて使用すると、結果の順序が変わる場合があります。

このクエリでは、`project_name` は返されません。

`order_spec` については、[order_spec](#) を参照してください。

task ('task_id')

データベースを検索し、指定した番号を持つタスク依頼を探します。

versions_in_a_baseline ('project_spec')

ベースラインからプロジェクトバージョンを検索します。このクエリ関数は、
"cvtype='project' と name='<project_name>' と
instance='<project_subsystem>' と not is_no_project_in_baseline()'"
に展開され、これはプロジェクトオブジェクトに対して任意のベースライン内に
あるすべてのプロジェクトバージョンを返します。

比較演算子

クエリには比較演算子を使用できます。下表に、カスタム クエリ文節の構成に使用できる比較演算子を示します。

演算子	説明
=	属性の値が定数の値と同じである必要があります。
!=	属性の値が定数の値と同じであってはなりません。ただし、属性が必要です。
<	属性の値が定数の値より小さい必要があります。
<=	属性の値が定数の値より小さいか、同じである必要があります。
>	属性の値が定数の値より大きい必要があります。
>=	属性の値が定数の値より大きいか、同じである必要があります。
match	属性の値が定数の値と一致する必要があります。定数にはワイルドカード文字「*」および「?」を含めることができます。ワイルドカード文字「*」は任意の数の任意の文字、ワイルドカード文字「?」は任意の1文字の代わりに使用します。 match 演算子では、大文字と小文字が区別されます。 ワイルドカードは、属性の初めの 63 文字についてのみ使用できます。
!match	属性の値は定数となり得る値のいずれとも一致してはなりません。

論理演算子

カスタム クエリ文節を組み立てるのに使用できる論理演算子は **and**、**or**、**not** です。

- *query_clause1 and query_clause2*

両方の *query_clause* の条件と一致するオブジェクトバージョンのみが選択されます。

- *query_clause1 or query_clause2*

いずれかの *query_clause* の条件と一致するオブジェクトバージョンが選択されます。

- **not** *query_clause*

query_clause の条件と一致しないオブジェクトバージョンのみが選択されます。

not 演算子は **and** 演算子に優先します。**and** 演算子は **or** 演算子に優先します。この優先ルールを無効にするには、クエリにかっこ「**()**」を使用します。

定数

下表に、カスタム クエリ文節に使用できる定数を示します。属性タイプのクラスは指定した定数によって決まります。たとえば、定数が文字列の場合、文字列属性（文字列のサブタイプである属性）のみが一致します。

定数のタイプ	コメント
文字列	一重引用符で囲みます。
整数	範囲は 0 ~ +/-2147483647 です。
ブール値	TRUE または FALSE のいずれかです。
時間	時間値は日付フォーマットにする必要があります。詳細については、 Rational Synergy CLI ヘルプ、トラディショナルモード の「日付フォーマット」を参照してください。

クエリ文節のグループ化

かっこ「()」を使用してクエリ文節をグループ化できます。深さに制限はありません。

定義済みクエリの使用

- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [保存クエリの実行](#)
- [保存クエリの編集](#)

オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ

定義済みバージョン条件である **Prep** バージョン、**すべてのバージョン**、**リリースバージョン**、または**ワーキングバージョン**と一致するすべてのプロジェクトを検索します。

ステップ ...

- オブジェクトを右クリックし、**検索**メニューから適切な定義済みバージョン条件として **Prep** バージョン、**すべてのバージョン**、**リリースバージョン**、または**ワーキングバージョン**を選択します。

クエリ ダイアログボックスが表示されます。結果フィールドに条件に一致するすべてのオブジェクトが表示されます。

関連トピック

- [クエリのカスタマイズ](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [保存クエリの実行](#)

保存クエリの実行

以下の操作は、保存クエリを実行する方法を示します。

ステップ ...

- 適切なエクスプローラで、保存クエリを右クリックして**クエリ**を選択します。
クエリ ダイアログボックスが表示されます。検索条件に一致するすべてのオブジェクトが結果フィールドに表示されます。

または

1. メインメニューで、**表示**をクリックし、**クエリ**を選択します。
クエリ ダイアログボックスが表示されます。
検索リストボックスには、セッション中に実行した保存クエリと、デフォルトクエリと作成したすべての保存クエリが表示されます。
2. **保存クエリ** タブをクリックします。
3. 実行する保存クエリをダブルクリックします。
クエリの**定義**タブを表示し、結果フィールドにクエリ結果を含む**クエリ** ダイアログボックスが表示されます。

関連トピック

- [保存クエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存クエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で保存](#)

保存クエリの編集

新規リリースの作業に移行したとき、別のチームメンバーのオブジェクトを検索するとき、異なる完了日のタスク情報を集めるときなど、クエリを編集する必要がある場合があります。

ステップ ...

1. メインメニューで、**表示**をクリックし、**クエリ**を選択します。
クエリ ダイアログボックスが表示されます。
2. **保存クエリ** タブをクリックします。
3. 編集するクエリを右クリックし、**編集**を選択します。
クエリの定義タブにクエリ条件が表示されます。
4. 必要に応じてフィールドを削除、追加、または変更してクエリ条件を編集します。
5.  をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [保存クエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存クエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)

マージと比較

マージ

- [2つのファイルバージョンのマージ](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [次のマージ差分の表示](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [マージ変更のクリア](#)

比較

- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)

マージ

Rational Synergy のマージと比較では、デフォルトのツールとして SiberMerge を使用します。以下の情報は、マージと比較の両方に当てはまります。

SiberMerge は、各種の文字コードで書かれたファイルをサポートします。比較またはマージを行うすべてのファイルは、同じファイルコードで書かれている必要があります。たとえば、Shift-JIS で書かれているファイルを UTF-16 で書かれているファイルと比較することはできません。

最初に実行するときに、SiberMerge は2つのファイル `.ccm_merge.enc` と `.ccm_merge.dat` を作成します。

`.ccm_merge.enc` というファイルは、(UNIX) ホームまたは (Windows) プロファイルディレクトリにあり、コード化メニューで提供されるファイルコードのリストを含みます。最初は、このリストにはサポートされているすべてのコードが含まれますが、使用しないコードを削除してメニューを短縮できます。

`.ccm_merge.dat` というファイルは、(UNIX) ホームまたは (Windows) プロファイルディレクトリにあり、空白を無視するかどうかなどデフォルトの比較/マージオプションを含みます。このファイルを編集してデフォルトの比較/マージオプションを変更できます。

- [2つのファイルバージョンのマージ](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [次のマージ差分の表示](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [マージ変更のクリア](#)

2つのファイルバージョンのマージ

この手順により、2つのファイルバージョンの情報をマージします。2つのバージョンをマージすると、新しい3つ目のバージョンが作成されます。

ステップ ...

1. ファイルを右クリックし、**履歴**を選択します。
ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。
2. **履歴**ダイアログボックスで、マージする2つのオブジェクトを選択します。1番目のオブジェクトをクリックし、**Ctrl** キーを押しながら2番目のオブジェクトをクリックします。
2つのオブジェクトが両方とも反転表示されます。
先に選択したファイルが、マージユーティリティで **First File** になり、2番目に選択したファイルが **Second File** になります。
3. **履歴**ダイアログボックスのツールバーの選択オブジェクトの**マージ**をクリックします。
Merge ダイアログボックスが表示されます。
4. すべてのコンフリクトを解決し、必要に応じて結果を修正したら、マージ済みのファイルを保存します。

関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

パラレル ファイル/ディレクトリのマージ

この手順により、2つのパラレル ファイルまたはパラレルディレクトリをマージします。

ステップ ...

ファイルまたはディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. マージするファイルまたはディレクトリを右クリックし、**パラレルの表示**を選択します。

パラレル ダイアログボックスが表示されます。

2. 選択したバージョンとマージするバージョンを選択し、をクリックします。

マージ後のファイルまたはディレクトリが自動的にカレント タスクと関連付けられ、プロジェクトに置かれます。

ファイル マージの準備ができていない場合は、準備ができるまで**パラレル** ダイアログボックスを開いたままにしておくことができます。

関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)
- [プロパティの表示](#)

マージ結果の編集

この手順により、マージ結果を変更します。

ステップ ...

1. **Merge** ダイアログボックスの結果ペインで、編集するセクションを選択します。
2. **Edit** メニューから **Edit** を選択します。
必要に応じて変更します。セクションが桃色になり、変更が加えられたことが示されます。

関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [2つのファイルバージョンのマージ](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

次のマージ差分の表示

この手順により、次の差分を画面上部に表示します。

ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Next change** をクリックします。

関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [2つのファイルバージョンのマージ](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)

コンフリクトのないマージの適用

この手順により、左側のペインと右側のペインでコンフリクトのない変更をすべて結果ペインに適用します。

ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Apply all nonconflicting changes**  をクリックします。

関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [2つのファイルバージョンのマージ](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

マージ済みファイルの保存

この手順により、マージ結果をファイルに保存します。

注記：マージ済みファイルはデフォルト ファイル名で保存する必要があります。そうしないと、**Rational Synergy** がそのファイルをデータベースにコピーできません。

ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Save File** をクリックします。

関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [2つのファイルバージョンのマージ](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

マージ変更のクリア

この手順により、結果フィールドから変更をクリアし、マージを再度開始します。マージをやり直すと、結果フィールドの前の内容が完全に変更されます。

ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Back to base blocks**  をクリックします。

関連トピック

- [マージ結果の編集](#)
- [2つのファイルバージョンのマージ](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

比較

Rational Synergy のマージと比較では、デフォルトのツールとして SiberMerge を使用します。以下の情報は、マージと比較の両方に当てはまります。

SiberMerge は、各種の文字コードで書かれたファイルをサポートします。比較またはマージを行うすべてのファイルは、同じファイルコードで書かれている必要があります。たとえば、Shift-JIS で書かれているファイルを UTF-16 で書かれているファイルと比較することはできません。

最初の実行するときに、SiberMerge は2つのファイル `.ccm_merge.enc` と `.ccm_merge.dat` を作成します。

`.ccm_merge.enc` というファイルは、(UNIX) ホームまたは (Windows) プロファイルディレクトリにあり、コード化メニューで提供されるファイルコードのリストを含みます。最初は、このリストにはサポートされているすべてのコードが含まれますが、使用しないコードを削除してメニューを短縮できます。

`.ccm_merge.dat` というファイルは、(UNIX) ホームまたは (Windows) プロファイルディレクトリにあり、空白を無視するかどうかなどデフォルトの比較/マージオプションを含みます。このファイルを編集してデフォルトの比較/マージオプションを変更できます。

- [2つのファイルの比較](#)
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)

2つのファイルの比較

この手順により、履歴ダイアログボックスを使用して 2 つのファイルバージョンの類似点や差分を確認します。

バージョンは書き込み可能でもよく、共通祖先がなくてもかまいません。比較は、2 番目に選択したバージョンを基準として行います。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 比較するファイルを右クリックし、**履歴**を選択します。
履歴ダイアログボックスが表示されます。
2. 比較する 1 番目のファイルをクリックし、**Ctrl** キーを押しながら 2 番目のファイルをクリックします。選択したものが両方ともハイライト表示されます。
3. 履歴ダイアログボックス ツールバーの  をクリックします。
Compare ダイアログボックスに差分が表示されます。

関連トピック

- [オブジェクトを関連オブジェクトと比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較

この手順により、ファイルまたはディレクトリを直前バージョンと比較します。

ステップ ...

ファイルまたはディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- 比較するファイルまたはディレクトリを右クリックし、**直前バージョンの比較**を選択します。
適切な **Compare** ダイアログボックスに選択したオブジェクト間の差分が表示されます。

関連トピック

- [オブジェクトを関連オブジェクトと比較](#)
- [2つのファイルの比較](#)
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

パラレルバージョンの表示

パラレルコンフリクトは、1つのファイルまたはディレクトリに複数のパラレルバージョンがある場合に発生します。プロジェクト内でパラレルバージョンを発見した場合、ファイルと比較してマージ、ファイル履歴の表示、およびファイルのプロパティの表示を行うことができます。

実行する操作によって、意図的に**パラレル**ダイアログボックスを開く場合もあれば、**Rational Synergy** がそれを開いてパラレルについて警告することもあります。

ステップ ...

ファイルまたはディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- パラレルを表示するファイルまたはディレクトリを右クリックし、**パラレルの表示**を選択します。

パラレルダイアログボックスにパラレルがあるオブジェクトと、パラレルがあるオブジェクトのマージ候補が表示されます。

ダイアログの上部のツールバーを使用して 2 つのファイルの比較、2 つのファイルバージョン、オブジェクトまたはリリースの履歴の表示、およびプロパティの表示を行います。

または

1. 完了するタスクを右クリックして**完了**を選択します。
タスクがパラレルバージョンを持つオブジェクトを含む場合、**パラレル**ダイアログボックスにコンフリクトが表示されます。
2. 2つのファイルバージョンのマージを行うか、**完了**をクリックしてパラレルを無視し、タスクを完了できます。

または

1. チェックインするファイルまたはディレクトリを右クリックし、**チェックイン**を選択します。
ファイルまたはディレクトリがパラレルバージョンを含む場合、**パラレル**ダイアログボックスにコンフリクトが表示されます。
2. 2つのファイルバージョンのマージを行うか、**チェックイン**をクリックしてパラレルを無視し、チェックインを続けることができます。

関連トピック

- [オブジェクトを関連オブジェクトと比較](#)
- [2つのファイルの比較](#)
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [2つのファイルバージョンのマージ](#)

-
- [プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)
 - [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

オブジェクトを関連オブジェクトと比較

この手順により、オブジェクトバージョンとその関連オブジェクトとの間の類似点および相違点を調べます。プロジェクトをそのベースラインプロジェクトと、プロジェクトグルーピングをそのベースラインと、およびプロセスルールをそのプロセスと比較できます。

ステップ ...

プロジェクト、プロジェクトグルーピング、またはプロセスルールを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なオブジェクトを右クリックし、**ベースラインプロジェクトと比較**、**ベースラインと比較**、または**プロセスのプロセスルールと比較**を選択します。
適切な **Compare** ダイアログボックスが表示されます。タブを使用して固有のメンバーおよび共通のメンバーを表示します。
2. オブジェクトを選択して  をクリックし、オブジェクトのプロパティを表示します。
3. オブジェクトを選択して  をクリックし、オブジェクトの履歴を表示します。
4. 最初のバージョンをクリックし、次に **Ctrl** キーを押しながら 2 番目のバージョンをクリックしてから  をクリックして 2 つのオブジェクトバージョンを比較します。

関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [プロパティの表示](#)

2つの類似オブジェクトの比較

この手順により、2つの同一種類のオブジェクト間の類似点および相違点を調べます。以下の種類のオブジェクトを比較できます。

- ディレクトリ
- フォルダ
- フォルダ テンプレート
- プロセスルール
- プロジェクト
- プロジェクト グルーピング

ファイルも比較できますが、実際はファイルのプロパティではなくファイルの内容が比較されます。

ステップ ...

1. ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。
2. 適切なオブジェクトを右クリックし、**比較**を選択します。
選択ダイアログボックスが表示されます。
3. 指定したオブジェクトと比較するオブジェクトを選択し、**OK**をクリックします。
適切な **Compare** ダイアログボックスに以下の情報が表示されます。
 - ディレクトリ：固有エントリと共通エントリ
 - フォルダとプロセスルール：プロパティとタスク
 - フォルダ テンプレート：プロパティ
 - プロジェクト：固有メンバーと共通メンバー
 - プロジェクト グルーピング：プロパティ、プロジェクト、およびタスク
4. オブジェクトを選択して  をクリックし、オブジェクトのプロパティを表示します。
5. オブジェクトを選択して  をクリックし、オブジェクトの履歴を表示します。
6. 最初のバージョンをクリックし、次に **Ctrl** キーを押しながら 2 番目のバージョンをクリックしてから  をクリックして 2 つのオブジェクトバージョンを比較します。

関連トピック

- [オブジェクトを関連オブジェクトと比較](#)
- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [プロパティの表示](#)

ビルドの管理

[ビルド管理ビルド](#)

- [ビルドの実行](#)
- [破損ビルドの修復](#)
- [再ビルドの実行](#)
- [特定のタスクを使用するビルド](#)
- [ビルドのスナップショットの作成](#)
- [ベースラインなしの再ビルド](#)

ビルド管理ビルド

- [ビルドの実行](#)
- [再ビルドの実行](#)
- [特定のタスクを使用するビルド](#)
- [ビルドのスナップショットの作成](#)
- [ベースラインなしの再ビルド](#)

ビルドの実行

ユーザーのアプリケーションは、プロジェクト階層に分かれた多数のプロジェクトを含んでいます。ここでは、**統合テスト**プロジェクトと呼ばれるビルド管理プロジェクト階層を作成します。これらのプロジェクトは、**統合テスト**プロジェクト グルーピングの一部となり、開発者がチェックインした最新の完了タスクを収集、ビルド、およびテストできます。このプロジェクト階層のメンバーは、特定リリース用のすべての完了タスクに対するクエリ操作を行うことによって取り込まれます。

開発者が完了したタスクをまとめてビルドアプリケーションが正常に稼動することを確認したい、またはテスト用の共通エリアを開発者に提供したい、などの理由から、この**統合テスト** プロジェクトは頻繁にビルドされるでしょう。数多くの開発チームがこういった**統合テスト** プロジェクトをビルドしています。チームのニーズに合ったビルドのスケジュールを立てることも当然といえるでしょう。

ステップ ...

プロジェクト グルーピングを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切な**統合テスト** プロジェクト グルーピングを右クリックし、**更新**をポイントし、**すべてのプロジェクト**を選択します。

更新操作は、すべての完了タスクをクエリし、**統合テスト**プロジェクト グルーピング内でそれらを置き換え、プロジェクトのメンバーシップを更新します。

2. メンバーシップ コンフリクトを特定して解決します (詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください)。

3. 製品をビルドします。

ビルドが無事終了したら、アプリケーションの開始、頻繁に使用する操作の実行、アプリケーションの終了など、一連の基本的な操作を行ってビルドの整合性を確認し、ビルドの結果をテストする必要があります。

注記：ビルドが失敗した場合は、[再ビルドの実行](#)を参照してください。

4. ビルドのスナップショットを作成します。

さらにテストを行うためチームのテスト ベースラインを作成する場合は、全員が使用するためのベースラインの公開およびリリースは行わないでください。

開発者がすぐに**統合テスト** ビルドを使用できるようにするには、ベースラインの作成時に**公開**チェックボックスを設定します。

注記：チームの要件が変わり、ビルドにタスクを追加するかビルドからタスクを除外する必要がある場合は、[再ビルドの実行](#)を参照してください。

関連トピック

- [ビルドのスナップショットの作成](#)

破損ビルドの修復

プロジェクト グループにタスクを追加するかタスクを削除して、ビルドを破壊している関連オブジェクトの修正が必要になる場合があります。タスクの追加または削除を行った後は、更新を行って変更に関連するすべてのファイルを追加または削除する必要があります。

ステップ ...

1. ビルドの破損の原因となっているオブジェクトを確認します。
2. プロジェクト グループからそのタスクと関連オブジェクトを追加または削除します。
ワーク ペインで、適切なファイルまたはディレクトリを右クリックし、**タスクをプロジェクト グループに追加**または**タスクをプロジェクト グループから削除**を選択します。
プロジェクト グループ選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、適切なプロジェクト グループを選択します。
3. 適切なプロジェクト グループを右クリックし、**ベースラインとタスクの自動更新**を選択します（オプションの左のチェックマークが解除されていることを確認します）。
これにより、他の新規タスクが取得されるのを防ぎます。
4. プロジェクトを更新します。
5. 再度プロジェクトをビルドします。
6. 同じプロジェクト グループ (ステップ 3) を右クリックし、**ベースラインとタスクの自動更新**を選択してこのオプションを有効にします。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [プロジェクトグループからタスクを削除](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [関連タスクの表示](#)

再ビルドの実行

ビルドを行うということは、**統合テストプロジェクト グループ**のすべての完了タスクを集めて統合テスト用にビルドすることです。再ビルドを行うということは、**統合テストプロジェクト グループ**に手動でタスクを追加するか除外し、変更だけを再ビルドすることです。

破損ビルドの再ビルドについて

以下の理由でチームのアプリケーションを再ビルドする必要があるかもしれません。

- ビルドの要件が変わり、新しい機能を追加する必要がある。
- ビルドの要件が変わり、新しい機能を削除する必要がある。
- テスト チームがテスト時に問題を発見し、新しいビルドを必要とする。
- ビルドに必要なタスクが含まれていない（たとえば、時間までに完了しなかった、またはリリースが正しく設定されていないなど）。
- タスクに関連するオブジェクトがビルドを破壊しているため除去する必要がある。
- 開発者が、誤動作するタスクを修正するタスクを完了したので、その修正タスクをビルドに追加する必要がある

ビルドが破損している理由に拠らず、通常は再ビルドを行って修正します。再ビルドは、プロセス内の任意のタイミングで起きる可能性があります。また、ビルドの破損は、任意のマイルストーンで発生し得ます。要件の変更がいつでも起こりうるのと同じです。**統合テストプロジェクト**を頻繁にビルド（通常は**システム テストプロジェクト**ほどは安定していませんので）していれば、同様に再ビルドも頻繁に行われ得ます。再ビルドの作業フローは以下のとおりです。

- **統合テスト プロジェクト グループ**のベースラインとタスクが更新時に変更されないようにする。
- **統合テスト プロジェクト グループ**のタスクを手動で追加、削除、または除外する。
1 つまたは複数のタスクの追加、追加と削除、除外、またはその任意の組み合わせを行うことがあります。これをすばやく行うこともあれば、数日かけて行うこともあります。
- **統合テスト プロジェクト グループ**を更新する。
- メンバーシップ コンフリクトを特定して解決する。
自分でコンフリクトを解決するかチームメンバーがコンフリクトを解決します。すばやく解決することも、数日かけて解決することもあります。
- 製品を再ビルドする。
1 つか 2 つのタスクを追加または削除する小さな製品をビルドする場合、ビルドがすぐ終わり、テストが直ちに成功する可能性があります。しかし、もし製品をビルドで

きない場合には、規模にかかわらず[ベースラインなしの再ビルド](#)を参照して作業をしてください。

- ベースラインを作成する。
- **統合テスト** プロジェクト グルーピングのベースラインとタスクが更新時に変更されるようにする。

以下の手順では、[ビルドにタスクを追加](#)するか[ビルドからタスクを削除](#)してから再ビルドする方法を示します。

ビルドにタスクを追加

プロジェクト グルーピングを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

ステップ ...

1. 適切な**統合テスト** プロジェクト グルーピングを右クリックして**プロパティ**を選択します。
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **自動更新**チェックボックスを選択解除し、**適用**をクリックします。
これにより、更新操作時にベースラインとタスクが変更されなくなります。詳細については、[更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)を参照してください。
3. **タスク** タブをクリックします。
このタブには、このダイアログボックスまたは**タスク** コンテキスト メニューか**アクション** メイン メニューの**プロジェクト グルーピングへ追加**オプションを使用してプロジェクト グルーピングに手動で追加したタスクが表示されます。
タスクをプロジェクト グルーピングに追加する各種の方法の詳細については、[プロジェクトの更新プロパティの変更](#)の「タスクの追加」を参照してください。
4. **タスクの追加**ボタンをクリックします。
タスク選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用して、プロジェクト グルーピングに追加するタスクを検索できます。
5. タスクを選択して**OK**をクリックします。
1つまたは複数のタスクを選択できます。
6. **統合テスト** プロジェクト グルーピングを右クリックし、**更新**をポイントし、**すべてのプロジェクト**を選択します。
更新操作は、新しいタスクから変更を取り込みます。
7. メンバーシップ コンフリクトを特定して解決します (詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください)。

タスクを追加すると、依存関係が破損した結果、コンフリクトが発生することがあります。たとえば、追加したタスクに依存するタスクで追加していないものがある場合、これらの依存関係を調べ、コンフリクトを解決する最善の方法を決定する必要があります。

8. 製品を再ビルドします。

再ビルドが無事終了したら、アプリケーションの開始、頻繁に使用する操作の実行、アプリケーションの終了など、ビルドの整合性を確認する一連の基本的な操作を行ってビルドの結果をテストする必要があります。

9. ビルドのスナップショットを作成します。

さらにテストを行うためチームのテスト ベースラインを作成する場合、全員が使用するためのベースラインの公開およびリリースは行わないでください。

開発者がすぐに統合テストビルドを使用できるようにするには、ベースラインの作成時に**公開**チェックボックスを設定します。

10. 統合テスト プロジェクト グルーピングの**プロパティ** ダイアログボックスで**プロパティ** タブをクリックし、**自動更新**チェックボックスを選択します。

これでベースラインとタスクが次の更新操作時に変更できるようになります。

ビルドからタスクを削除

ステップ ...

1. 適切な**統合テスト** プロジェクト グルーピングを右クリックして**プロパティ**を選択します。

プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. **自動更新**チェックボックスを選択解除します。

これにより、更新操作時にベースラインとタスクが変更されなくなります。詳細については、[更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)を参照してください。

3. **タスクの削除**を行います。

4. あるいは、タスクを除外することもできます。

[タスクの除外](#)により、**統合テスト** プロジェクト グルーピングおよびチーム メンバーのプロジェクトの更新時に、それらと関連付けられるのを防ぎます。これはビルドを破損するオブジェクトを**統合テスト** プロジェクトおよび開発者のプロジェクトに入れられないために必要です。

チーム メンバーが不良タスクを得るのを防ぐためにタスクを除外している場合、タスクを指定して別タスクを修正する必要もあるかもしれません。この操作は、問題タスクとそれを修正するタスクの関係を作ります（この関係は、コンフリクト検出を使用する場合に便利です）。

-
5. **統合テスト** プロジェクト グループを右クリックし、**更新**をポイントし、**すべてのプロジェクト**を選択します。

機能を削除する場合、更新操作は除外したタスクからオブジェクトを除外します。修正タスクを作成した場合、更新操作は、修正タスクが完了していればそこから変更を取り込みます。新規修復タスクのみ使用する場合、それを追加できます ([ビルドにタスクを追加](#)を参照してください)。

6. コンフリクトを特定し、解決します (詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください)。

タスクを削除すると、依存関係の破損からコンフリクトが発生することがあります。たとえば、削除したタスクに依存する他のタスクがある場合、これらの依存関係を調べ、コンフリクトを解決する方法を決定する必要があります。

7. 製品を再ビルドします。

8. ビルドのスナップショットを作成します。

さらにテストを行うためチームのテスト ベースラインを作成する場合、全員が使用するためのベースラインの公開およびリリースは行わないでください。

開発者がすぐに統合テストビルドを使用できるようにするには、ベースラインの作成時に**公開**チェックボックスを設定します。

9. **統合テスト** プロジェクト グループの**プロパティ** ダイアログボックスで**プロパティ**タブをクリックし、**自動更新**チェックボックスを選択します。

これでベースラインとタスクが次の更新操作時に変更できるようになります。

注記：問題タスクによる変更を含むベースラインを作成して公開すると、そのタスクを除外してもビルドになんら効果はありません。問題タスクに起因する変更をバックアウトするために、修正タスクと新しいバージョンを作成する必要があります。その後で、別のベースラインを作成、公開して開発者が変更を利用できるようにします。

バックアウトまたは修正を簡単に行うことができない場合は、ベースラインに削除のマークを付けてピックアップされる (そして前のベースラインが使われる) のを防ぎます。

関連トピック

- [ビルドのスナップショットの作成](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)

特定のタスクを使用するビルド

チームがほとんどのアプリケーションをコーディングし終わり、コードの凍結を完了した後に、選択的ビルドを行うことができます。これらのビルドは、すべての完了タスクを含むわけではありません。特定のタスクのみを含めることができます。

大小のチームにおける作業フロー

チームが小規模で、アプリケーションが大きなアプリケーションの一部である場合、ユーザー自身がビルドに含めるタスクを決定する唯一の人かもしれません。作業フローは以下のようになります。

- コードの凍結は終了し、開発者とテスターがアプリケーションを使用しています。彼らは、開発者 Joe のエリアで修正する必要がある問題を見つけます。
- Joe がタスクを作成し、自分自身に割り当てます。彼は修正を作成し、タスクを完了します。
- Joe はビルド マネージャの Bob にこのタスクを含める必要があることとその理由を通知します。Bob は、変更を許可し、手動でそのタスクを次のスケジュール ビルドに追加します。

チームが大規模で、アプリケーションが納品物であるような場合は、あなたは変更管理委員会の一人として動き、要件を満足する高品質製品を納品するために必要なタスクを決定しなければならないでしょう。その場合のフローは以下のようになります。

- コードの凍結は終了し、SQE がアプリケーションをテストしています。いくつかの問題がみつき、Rational Change を使用してその問題を提出します。
- プログラム マネージャは、各変更管理委員会メンバーに SQE からの変更依頼のリストを渡し、チームはどれを修正するかを決定します。
- ビルド マネージャは修正するタスクをチーム メンバーに割り当て、彼らに次のビルド日付を通知します。
- 開発者が割り当てられたタスクを完了すると、彼らはビルド マネージャに通知し、ビルド マネージャは手動で完了したタスクをビルドに追加します。

この時点で、ビルド マネージャは次の方法でタスクをビルドに追加できます。

ステップ ...

1. 適切な**統合テスト** プロジェクト グルーピングを右クリックし、**ベースラインとタスクの自動更新**を選択し、チェックマークが解除されていることを確認します。
これにより、更新操作時にベースラインとタスクが変更されなくなります。詳細については、[更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)を参照してください。
2. 承認されたタスクを以下の方法でプロジェクト グルーピングに追加します。
 - 承認されたタスクをプロジェクト グルーピングにドラッグ アンド ドロップする。

-
- 承認されたタスクを右クリックする。説明については、[プロジェクト グルーピングにタスクを追加](#)を参照してください。
 - **プロジェクト グルーピング プロパティ** ダイアログボックスの**タスク** タブで**手動で追加されたタスク** テーブルを使用する。手順については、[再ビルドの実行](#)の「変更の追加」を参照してください。
3. **統合テスト** プロジェクト グルーピングを右クリックし、更新をポイントし、**すべてのプロジェクト**を選択します。
- 更新操作は、新しいタスクから変更を取り込みます。
4. コンフリクトを特定し、解決します（詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください）。
5. 製品を再ビルドします。
6. ビルドのスナップショットを作成します。
- ビルドの品質に満足したら、テスト ベースラインを作成できます。このテスト ベースラインは、SQE が使用できるように、また開発者がビルドの変更を確認できるように、保存したビルドのコピーであり、チーム全員が使用できるように公開、リリースしたものではありません。
- 統合テスト** プロジェクト グルーピングに対して**自動更新**はまだ無効になっています。再びすべての完了タスクを受け入れる準備ができればそれを有効にできます。

関連トピック

- [ビルドのスナップショットの作成](#)

ビルドのスナップショットの作成

無事統合テスト プロジェクトをビルドしたら、テスターがそのテストを開始し、開発者がテストされるビルドに含まれるものを確認できるようビルドのスナップショットを作ることができます。このスナップショットは、テスト ベースラインです。つまり、まだ全員に公開する準備はできていません。

SQE がビルドをテストし、それがテストに合格したら開発者が使用するためにベースラインを公開できます。

以下にテストベースラインを作成する手順を示します。

- ビルド マネージャが**統合テスト** プロジェクトを作成し、ビルドが成功する。
- ビルド マネージャがテスト ベースラインを作成する。
- ベースライン テストが開始し、開発者はビルドに含まれるものを確認することができます。
- ビルドがテストに合格し、ビルド マネージャが開発者に公開する準備ができる。

ステップ ...

1. 適切な**統合テスト** プロジェクト グルーピングを右クリックして**ベースラインの作成**を選択します。

ベースラインの作成ダイアログボックスが表示されます。

注記： ベースラインを作成するときは、ベースラインに含めるプロジェクトのリストを選択します。参照用に完全なセットができるよう、必ずベースラインに関連する**すべての**プロジェクトを含めてください。

2. 必要な場合、**名前**、**詳細**、および**ビルド** プロパティを変更します。

- **名前**

ベースラインの名前を指定します。これは、このデータベース内でベースラインを一意に識別します。デフォルトで、Rational Synergy は、作成日を使用してベースラインに名前を付けます。たとえば、20040309 は、2004 年 3 月 9 日を意味します。ただし、これは変更できます。以下の文字は、禁止されており、名前には使用できません。/ ¥ ' " : ? * [] @ - #

注記： 複数のデータベースにベースラインを作成し、Rational Change を使用してこれらのビルドのレポートを作成する場合、各データベースで同じベースライン名を使用します。これにより、複数のデータベースで関連するベースラインを持つビルド レポートを作成できます。

- **詳細**

作成するベースラインの説明を入力します。

- **ビルド**

ビルドプロパティは、ベースラインに関連するビルドの識別子（文字、数字、またはその組み合わせ）を示します。ビルド識別子は、最大 64 文字まで含むことができます。

3. **OK** をクリックします。

4. ビルドがテストに合格したら開発者にテスト ベースラインを公開できます。

上記のステップは、単にビルド マネージャがテスト ベースラインを作成して使用する方法を説明しています。ベースライン管理ではさらにいろいろなことを考慮する必要があります。たとえば、ベースライン内のプロジェクトの変更、作成時のベースラインの公開、作成時のベースラインおよびオブジェクトのリリースなど。ベースライン作成の詳細については、[ベースラインの作成](#)を参照してください。

関連トピック

- [開発者にテストベースラインを公開](#)

ベースラインなしの再ビルド

ベースラインを作成するとき、公開したベースラインを通してチームに追加、削除、または除外したタスクを通知します。たとえば、タスクを除外した場合、チームメンバーはプロジェクトを更新して新しいベースラインを得るとタスクが除外されたことを知ります。

アプリケーションがビルドできなかった、またはテストに失敗したなどの理由でベースラインが作れなかった場合、別の方法でチームに通知する必要があります。

このケースでは、ビルドの方法論が以前のケースとは異なります。ビルドが作成できないので、ベースライン作成前に、開発者にテストを実施させて問題を修復させる必要があります。以下にこれを行う方法を説明します。

ステップ ...

開発者に、ビルドが破損していて彼らが完了タスクをテストし修正する必要があることを通知します。

1. 開発者は、**統合テスト** プロジェクト グループングを右クリックし、**すべてのタスクのコピー**を選択する必要があります。

これにより開発者は最新のタスクを得ることができます。

2. 開発者は、タスクをその適切なプロジェクト グループングに貼り付けます。

プロジェクトは、**統合テスト** プロジェクト グループングに含まれる同じタスクを多数含む可能性があります、**Rational Synergy** は開発者のプロジェクト グループングにないタスクのみを貼り付けます。

3. 開発者はタスクをテストおよび修正し、タスクが完了したら通知します。
4. 完了したタスクを手動で**統合テスト** プロジェクト グループングに追加します ([ビルドにタスクを追加](#)を参照してください)。

5. 製品を再ビルドします。

これでビルドの問題が解決する可能性もあります。しかし、ビルドの成功までにテストと修正を繰り返す場合もあります。

6. ビルドが正しく作成され品質基準に合格したら、ビルドのスナップショットを作成します。

関連トピック

- [ビルドのスナップショットの作成](#)

インターフェイスのカスタマイズ

エクスプローラの使用

- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- エクスプローラのカスタマイズ
- 1つ以上のエクスプローラのドッキング
- エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化
- 保存クエリのエクスプローラへの追加
- 保存クエリの検索メニューへの追加
- エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする
- 保存クエリの削除

インターフェイスの外観の変更

- カラム表題部にプロパティを追加
- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- インターフェイスの色の変更
- フォントタイプとサイズの変更
- ワーク ペインの外観の変更
- プロジェクトを閉じる
- リリース エクスプローラの表示
- セッション中に選択を最新の状態に更新
- カラム表題部からプロパティを削除
- タブを削除する
- プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示

エクスプローラの使用

- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)
- [保存クエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存クエリの検索メニューへの追加](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)
- [保存クエリの削除](#)

1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる

この手順により、1つまたはすべてのドッキングされているエクスプローラを閉じます。

ステップ ...

- ドッキングされている1つのエクスプローラを閉じるには、**プッシュピン** アイコンをクリックします。
- ドッキングされているすべてのエクスプローラを閉じるには、エクスプローラ ツールバー上部の **X** アイコンをクリックします。

関連トピック

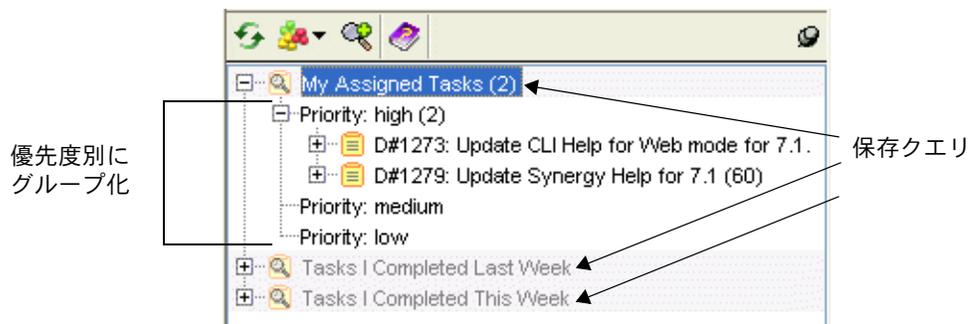
- [保存クエリのエクスプローラへの追加](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)

エクスプローラのカスタマイズ

各エクスプローラは、プロジェクト、タスク、変更依頼など特定のオブジェクトを表示します。エクスプローラに表示されるオブジェクトは、オブジェクトの種類を返すクエリで定義します。たとえば、**タスク** エクスプローラは、**自分に割り当てられたタスク**を表示します。

クエリを追加、削除、または移動してエクスプローラに表示できるオブジェクトを変更できます。Rational Synergy は、一般的に必要なオブジェクトの定義済みクエリを提供しています。エクスプローラに任意の定義済みクエリを追加するか、独自のものを作成できます。

保存クエリ内では、オブジェクトをプロパティ別にグループ化できます。たとえば、**タスク** エクスプローラでは、下図のようにタスクを優先度別にグループ化できます。



以下のヘルプ トピックは、エクスプローラをカスタマイズする方法を示します。

- [クエリのカスタマイズ](#)
クエリ文節要素（関数、比較演算子、論理演算子など）を使用してカスタム クエリを作成する方法を示します。
- [クエリの定義](#)
データベース内のオブジェクトを探す方法を示します。
- [オブジェクトの検索](#)
検索メニューを使用してデータベース内のオブジェクトを検索する方法を示します。
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
データベース内で定義済みバージョン基準と一致するプロジェクトを検索する方法を示します。
- [保存クエリの実行](#)
独自に保存されたクエリまたはシステム クエリを実行する方法を示します。
- [クエリの保存](#)
カスタム クエリを作成した後、クエリを保存する方法を示します。

上記のステップを完了してクエリを保存したら、適切なエクスプローラ内から保存クエリをエクスプローラや検索メニューに追加できます。

関連トピック

- [保存クエリのエクスプローラへの追加エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)
- [保存クエリを検索メニューへの追加](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)

1つ以上のエクスプローラのドッキング

エクスプローラを使った作業には2とおりのやり方があります。エクスプローラを開始すると、スライド ペインに表示されます。エクスプローラを表示するペインは、**ワーク** ペインの一部にスライドして表示されます。**ワーク** ペイン内のオブジェクトまたはプロジェクト タブをクリックすると、エクスプローラがスライドして戻ります。再表示するには、もう一度エクスプローラ ボタンをクリックする必要があります。

プッシュピン アイコンをクリックしてエクスプローラをドッキングすると、**ワーク** ペインとメイン ウィンドウ スペースを共有するドッキングされたペインが表示されます。エクスプローラをドッキングすると、他のエクスプローラやプロジェクトを表示しても表示されたままになります。これは、常に複数のエクスプローラを使用して作業する場合に便利です。

複数のエクスプローラをドッキングすることも可能です。ドッキングすると、エクスプローラは**エクスプローラ** ツールバーと**ワーク** ペインの間に縦に重ねて表示されます。

ステップ ...

1. **エクスプローラ** ツールバーで、適切なエクスプローラ ボタンをクリックして表示します。
エクスプローラが、**エクスプローラ** ツールバーの右で**ワーク** ペインの一部の上にスライドします。
2. **エクスプローラ** ツールバーで、**プッシュピン** アイコンをクリックしてエクスプローラをドッキングします。
3. 別のエクスプローラでステップ 1 を繰り返し、**プッシュピン** アイコンをクリックしてドッキングします。

関連トピック

- [保存クエリのエクスプローラへの追加](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)

エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化

この手順により、エクスプローラ内でクエリ結果の表示構成を変更します。

各プロジェクト、タスク、変更依頼には一連のプロパティがあります。グループ化機能を使用し、プロパティの重要度に従って、クエリ結果を再構成してデータベース内に表示させることができます。たとえば、20 個のタスクが割り当てられている場合、重要度が高いものを最も見やすく表示するようにタスクをグループ化できます。他の例としては、リリースの進捗状況がわかるように最近作られたベースラインをリリース別に集めることができます。変更依頼については、特定のクライアントが提出したすべての CR を追跡している場合、クエリ結果を提出者別にグループ化してすばやく検索できます。

ステップ ...

1. **エクスプローラ** ツールバーで、適切なクエリを右クリックしてから、**グループ化**をクリックし、クエリ結果をグループ化するオプションを選択します。
あるいは、適切なエクスプローラで、内容を再構成したいクエリをクリックします。 をクリックしてオプションを選択します。
変更を行うと、選択したクエリの結果の構成が変わります。
2. 他のクエリまたは別のエクスプローラのクエリに同じ変更を行うには、上記ステップ 1 を繰り返します。

関連トピック

- [保存クエリのエクスプローラへの追加](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)

保存クエリのエクスプローラへの追加

この手順により、クエリをエクスプローラに追加します。クエリを追加すると、簡単にクエリ結果を表示し、クエリ結果の関連オブジェクトも表示して、結果をカテゴリ別にグループ化できます。保存するクエリの例としては、チームメイトのプロジェクトとタスク、すべてのリリース済みベースライン、あるいは自分のチームの過去1ヶ月の完了タスクなどがあります。

プロジェクト エクスプローラにプロジェクト、プロジェクト グルーピング、ベースラインのクエリを追加でき、**タスク** エクスプローラにタスクのクエリを追加でき、**変更依頼** エクスプローラに変更依頼のクエリを追加（Rational Change がインストールされている場合）でき、**リリース** エクスプローラにはプロセス、プロセス ルール、リリース、フォルダ テンプレートのクエリを追加できます。エクスプローラには、オブジェクトのクエリを追加できないことに注意してください。

以下の手順は、エクスプローラにクエリを追加する方法を示します。

ステップ ...

1. **エクスプローラ** ツールバーで、 をクリックします。
クエリの**選択** ダイアログボックスが表示されます。
2. エクスプローラに追加するクエリを選択して **OK** をクリックします。
追加されたクエリが適切なクエリの下に表示されます。
作成 をクリックしてクエリの**作成** ダイアログボックスを開いてクエリを作成することもできます。
あるいは、**クエリ** ダイアログボックスを開き、**クエリの定義** タブをクリックしてクエリを定義することもできます。クエリの保存を行ったら、右クリックして**エクスプローラに追加**を選択してエクスプローラに追加することができます。

関連トピック

- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [クエリの定義](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)
- [クエリの保存](#)

保存クエリの検索メニューへの追加

この手順により、**検索メニュー**に保存クエリを追加します。**検索メニュー**に保存クエリを追加することで、チームメイトのプロジェクトやタスク、リリース済みの全ベースライン、その他、ほとんどのものに簡単にたどり着くためのショートカットを作成することができます。

この方法は、エクスプローラを表示せずに作業を行っているときに、ベースライン、ディレクトリ、ファイル、プロジェクト、タスク、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセスルールおよびリリースを簡単に検索したい場合に便利です。

検索メニュー内のクエリは、自分の条件を使用してオブジェクトを検索できるよう選択ダイアログボックスにも用意されています。

ステップ ...

1. **表示メニュー**から**クエリ** ダイアログボックスを開きます。
2. **クエリ** ダイアログボックスで、**保存クエリ** タブをクリックし、**検索メニュー**に追加できるすべてのクエリを表示します。
3. 適切なクエリを右クリックして**検索メニュー**に**追加**を選択します。

追加したクエリは、メインメニューの**検索メニュー**の最下部に表示されます。**検索メニュー**からクエリを選択すると、**クエリ** ダイアログボックス内にクエリの結果が表示されます。

検索メニューには一度に複数の保存クエリを追加できます。すでに**検索メニュー**にある保存クエリを右クリックすると、**検索メニュー**から**削除**操作を行うことができます。

関連トピック

- [クエリの保存](#)
- [保存クエリの削除](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存クエリの実行](#)
- [保存クエリを表示](#)

エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする

この手順により、エクスプローラに表示されているクエリ結果を最新の情報に更新します。

一部のクエリ（Rational Synergy が提供するクエリ）は、クエリに関連する操作を行うと自動的に最新の情報に更新されます。たとえば、クエリを作成して自分に割り当てると、**自分に割り当てられたタスク**保存クエリが自動的に最新の情報に更新されます。自分で作成したクエリは、自動的に最新の情報に更新されません。この場合、以下の操作を行って手動でクエリ結果を最新の情報に更新する必要があります。

ステップ ...

1. エクスプローラで、最新の情報に更新したいクエリを検索します。
2. クエリを右クリックして**結果の再表示**を選択します。
クエリが実行され、適切な変更が行われます。

関連トピック

- [保存クエリのエクスプローラへの追加](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)

保存クエリの削除

以下の手順は、保存クエリを切り取る、または削除する方法を示します。たとえば、エクスプローラから **My 1.0 Patch Projects** を取り除くような場合です。

ステップ ...

- 適切なエクスプローラで保存クエリ（例、**My 1.0 Patch Projects**）を右クリックし、**切り取り**を選択します。

保存クエリはまだ残っており、**クエリの選択**ダイアログボックス内から再び表示および使用できます（詳細については、[保存クエリのエクスプローラへの追加](#)を参照してください）。

保存クエリが不要になった場合は、**削除**を選択します。**削除**は**タスク** エクスプローラのコンテキストメニューからは使用できません。

デフォルト保存クエリ（**My Project Groupings** または **Build Management Project Groupings** など）は、**切り取る**ことはできますが、**削除**することはできません。

関連トピック

- [保存クエリの検索メニューへの追加](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存クエリの実行](#)
- [クエリの保存](#)
- [保存クエリの表示](#)

インターフェイスの外観の変更

- [カラム表題部にプロパティを追加](#)
- [よく使うリリース値の追加／削除](#)
- [ダイアログボックスとペインのカスタマイズ](#)
- [インターフェイスの色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [履歴ダイアログボックスの外観の変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)
- [プロジェクトを閉じる](#)
- [リリース エクスプローラの表示](#)
- [ワーク ペインのタブの管理](#)
- [カラム表題部からプロパティを削除](#)
- [タブを削除する](#)
- [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
- [プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示](#)

よく使うリリース値の追加／削除

この機能は、頻繁に使用するリリース値をリリース ツリーの最上位に置いて使いやすくするものです。リリース ツリーは、**クエリ**、**プロパティ**、**タスクの作成**など、多くのダイアログで使用されます。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション ダイアログ**を開きます。
2. **表示タブ**をクリックし、左のペインで**よく使うリリース値**をクリックします。
3. よく使うリリース値を追加または削除します。
 - a. リリース値を追加するには、**リリース ツリー**で探して選択します。2 つのテーブルの間にある**プラス記号**をクリックします。選択したリリース値が**よく使うリリース値**テーブルに入ります。

ダイアログボックス (**クエリ**、**プロパティ**など) の**リリース ツリー**でリリース値を選択すると、自動的に**よく使うリリース値**に入りに追加されます。
 - b. **よく使うリリース値**テーブルからリリース値を除外するには、リリース値を選択して2つのテーブルの間にある**マイナス記号**をクリックします。
 - c. **よく使うリリース値**テーブルで**固定**チェックボックスを選択すると、そのリリース値は最大表示数以上のリリース値を選択した場合でもテーブル内に残ります。**固定**とマークされたリリース値は、リストから除外されません。
4. **最大表示数**オプションを設定します。

このオプションにより、リリース ツリーの上位に表示されるリリースの数を指定します。

デフォルトは8です。この最大表示数は、**よく使うリリース値**で**固定**とマークしたリリース値の数と同じまたはそれ以上でなければなりません。

関連トピック

- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [リリース エクスプローラの表示](#)

ダイアログボックスとペインのカスタマイズ

表を含むすべてのダイアログボックスでカラムを追加、整理、削除して表内の情報を表示する位置をカスタマイズできます。

ステップ ...

1. カラム表題部にプロパティを追加します。
2. カラム表題部からプロパティを削除します。
3. カラムの順序を変更するには、カラム表題部を表題部バー内の目的の場所までドラッグします。
4. カラム幅を変更するには、カラム表題部の境界部分をドラッグして目的の幅にします。

テキストがカラム内に収まりきらない場合は、末尾が省略記号になります。

Rational Synergy では、カラム表題部の設定はすべてセッション終了時に保存されます。設定を変更すると、新しい設定がデフォルトのカラム設定になります。

関連トピック

- [カラム表題部にプロパティを追加](#)
- [カラム表題部からプロパティを削除](#)

インターフェイスの色の変更

自分のスタイルに合わせて色の設定を変更できます。設定された色は、すべてのエクスペローラ、ダイアログボックス、およびペインに適用されます。

表示タブの**色**ペインを使用して以下の手順を行います。

- [選択色の変更](#)
- [加線色の変更](#)
- [文字色の変更](#)
- [プロジェクトアイコン色の変更](#)

ステップ ...

1. メインメニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション**ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**色**をクリックします。
3. 色を変更します。
 - a. **選択色の変更**

中央のペインで**選択**をクリックします。

前景色と背景色を変更できます。大きい色ボックスは、現在選択されている色設定を示します。**プレビュー**に選択色の表示例が示されます。
 - b. **加線色の変更**

中央のペインで**行**をクリックします。

奇数行と偶数行の背景色をそれぞれ変更できます。大きい色ボックスは、加線の現在の色設定を示します。**プレビュー**に色の表示例が示されます。
 - c. **文字色の変更**

中央のペインで**オブジェクト テキスト**をクリックします。

修正可能テキストと修正不能テキストの両方について、それぞれ色を変更できます。大きい色ボックスは、文字の現在の色設定を示します。**プレビュー**に色の表示例が示されます。
 - d. **プロジェクトアイコン色の変更**

中央のペインで**プロジェクト アイコン**をクリックします。

目的別にプロジェクトアイコンに表示される色を変更できます。3番目のペインの右のボックスは、各種目的の現在の色設定を示します。**プレビュー**に色の表示例が示されます。
4. **カラーパレット**で色を右クリックして**デフォルト**の色を変更します。

さらに、カラーパレット内で**グレー**のボックスの1つを右クリックし、**色の設定**ダイアログボックスで以下のいずれかの手順を行って色を設定することもできます。

* **サンプル** タブで標準色を選択する。

* **HSB** タブで色の色相、彩度、明度を設定してカスタム色を作成する。

* **RGB** タブで赤、緑、青を「混ぜて」カスタム色を作成する。

色をカスタム色に変更して、前景と背景、加線、文字、またはアイコンに適用すると、その色が保存され、このセッションおよび他のセッションで使用されます。

5. 変更を行った後にデフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
6. **適用**または **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)

フォント タイプとサイズの変更

すべてのエクスプローラ、ペイン、ダイアログボックスに表示されるフォントのタイプとサイズを変えることができます。さらに、Rational Synergy が表示するすべてのメッセージのフォントのタイプとサイズを設定することもできます。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**フォント**をクリックします。
3. **通常**または**メッセージ** フォント タイプを変更します。

通常または**メッセージ**のいずれか適切な方をクリックします。

フォント タイプを論理フォントまたは物理フォントに変更できます。論理フォントは、Java Runtime Environment に存在することが保証されるフォントです。これらは**すべてを表示**チェックボックスにチェックマークがついていないときに表示されます。物理フォントは、パソコンにインストールされているフォントです。これらは、**すべてを表示**チェックボックスが選択されているときに表示されます。

デフォルトで、**すべてを表示**チェックボックスは選択されていません。

4. フォント サイズを変更します。
フォント サイズ ボックスで、上矢印をクリックするとフォント サイズが大きくなり、下矢印をクリックすると小さくなります。
5. 変更を行った後にデフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
6. **適用**または**OK**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [インターフェイスの色の変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)

履歴ダイアログボックスの外観の変更

以下のオプションにより、履歴ダイアログボックスでのオブジェクトバージョンの表示方法を変更します。

ステップ ...

- 履歴ダイアログボックスを表示します ([オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)を参照してください)。

- ミニチュア ビューを変更する。

デフォルトでは、履歴ダイアログボックスの下部にミニチュア ビューが表示されています。このミニチュア ビューからオブジェクトの履歴全体を詳しく確認したり、パラレルバージョンが発生しているエリアに移動することができます。

従来の全体ビューに表示されているバージョンは、ミニチュア ビューでは網かけされたスライダーで表示されます。これをスライドさせて従来の全体ビューに表示されるバージョンを変更できます。

また、ミニチュア ビューの左側にある縦のスライダーによって、ビュー内のノードの表示を拡大／縮小できます。

 をクリックするとミニチュア ビューが表示されなくなります。

- フォント サイズを変更する。

 をクリックして、デフォルトのフォント サイズを大きくできます。 をクリックして、デフォルトのフォント サイズを小さくできます。最後に使用したフォント サイズが保持され、次に履歴ダイアログボックスを開いたときにそのサイズがデフォルトとして適用されます。

- オブジェクトバージョンをフィルタリングして作業を行う。

デフォルトで、履歴ダイアログボックスの右側にテーブルが表示されます。このテーブルを使用して、プロパティの表示、パラレルの表示、オブジェクトバージョンの使用箇所の検索など、オブジェクトバージョンに関する作業を行います。

オブジェクトに多くのバージョンが含まれる場合、バージョンのフィルタリングを行うことができます。 をクリックし、所有者など、表示する条件を選択し（これで他の条件がフィルタリングされる）、リストボックスを使用して表示するプロパティを指定します。すべてのバージョンを表示するには、リストボックスでフィルタをオフを選択します。

 をクリックするとテーブルが表示されなくなります。

- 選択オブジェクトバージョンの直前および直後のバージョンを表示する。

オブジェクトバージョンを選択して をクリックし、そのオブジェクトバージョンの直前および直後のバージョンのみを表示します。オブジェクトバージョンを選択せずに をクリックすると、履歴を表示したときに指定していたオブジェクトのノードの祖先（先行バージョン）と子孫（後継バージョン）が表示さ

れます。複数のオブジェクトバージョンを選択してをクリックすると、最初に選択したオブジェクトバージョンの祖先と子孫が表示されます。

関連トピック

- [インターフェイスの色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)

ワーク ペインの外観の変更

ワーク ペインの外観を変更できます。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**ワーク ペイン**をクリックします。
3. 加線オプションを変更します。
デフォルトでこのオプションは選択されており、**ワーク ペイン**の加線は、表示されているプロジェクトの色と一致します。
このオプションを選択解除すると、加線は他のダイアログボックスで表示される加線の色と同じになります。
4. **ワーク ペイン**に表示されるタブの最大数を変更します。
デフォルトでは、**ワーク ペイン**には最大 10 個のタブがあります。上矢印を使用してタブの数を増やすか下矢印を使用してタブの数を減らすことができます。
5. タブ タイトルに表示される文字の最大数を変更します。
デフォルトで、タブタイトルには最大 20 文字表示できます。上矢印を使用して文字の数を増やすか下矢印を使用して文字の数を減らすことができます。
6. **エクスプローラ** ペインで選択したときに**ワーク ペイン**に表示されるオブジェクトの種類を変更します。
デフォルトでは、**エクスプローラ**ペインで選択したオブジェクトが**ワーク ペイン**に表示されます。この設定を変更して**ワーク ペイン**にプロジェクトのみまたはプロジェクトとタスクのみを表示できます。
7. 変更を行った後にデフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
8. **適用**または **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [インターフェイスの色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)

ワーク ペインのタブの管理

ワーク ペインは、Rational Synergy のメイン ビューです。ワーク ペインで複数のオブジェクトを開くと、開いたオブジェクトごとにタブがあるため、結果的に多くのタブが表示されます。このため、現在作業しているプロジェクトやタスクを見つけにくくなる場合があります。

以下の手順は、多数のオブジェクトに関する作業を効率的に行うためにタブを管理する方法を示します。

- [タブを削除する](#)
- [タブ間をスクロールする](#)
- [タブで開いているオブジェクトのリストを表示する](#)

- **タブを削除する**

以下の手順により、ワーク ペインからタブを削除します。

- ワーク ペインで、削除するタブの **X** をクリックします。

または

- ワーク ペインで、削除するタブを右クリックし、**閉じる**を選択します。

さらに、以下のオプションを選択できます。

* **他を閉じる**：このオプションは、ワーク ペインから、現在使用しているタブ以外のタブをすべて削除するときに使用します。

* **すべてを閉じる**：このオプションは、ワーク ペインからすべてのタブを削除するときに使用します。

- **タブ間をスクロールする**

ワーク ペインでオブジェクトを開いてタブが追加されると、タブは横方向に広がりますが、縦方向には広がりません。以下の手順により、表示からはみ出したタブを表示してオブジェクトを探します。

- **前にスクロールボタン**  (中央のボタン) を使用して、オブジェクト タブ間を右方向にスクロールします。オブジェクトを選択すると、ワーク ペインでそのオブジェクトがフォーカスされます。
- **後ろにスクロールボタン**  (左のボタン) を使用して、オブジェクト タブ間を左方向にスクロールします。オブジェクトを選択すると、ワーク ペインでそのオブジェクトがフォーカスされます。

- **タブで開いているオブジェクトのリストを表示する**

ワーク ペインでオブジェクトを開いてタブが追加されると、タブは横方向に広がって表示からはみ出すことがあります。以下の手順により、リストを表示します。

- **リスト表示ボタン**  (右のボタン) をクリックして、ワーク ペインで開いているオブジェクトのリストを表示します。オブジェクトを選択すると、ワーク ペインでそのオブジェクトがフォーカスされます。

関連トピック

- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)

プロジェクトを閉じる

ステップ ...

- **ワーク** ペインで、閉じたいプロジェクト タブの **X** をクリックします。

または

- **ワーク** ペインで、閉じたいプロジェクト タブを右クリックし、**閉じる** を選択します。
プロジェクトを閉じると **ワーク** ペインのタブが削除されます。

プロジェクトを閉じた場合、**プロジェクトの表示** を使用するか、**ワーク** ペインのツールバーで  をクリックし、プロジェクト名を入力して **OK** をクリックして、再び開くことができます。

名前を覚えていない場合は、まずクエリで検索して、その後で [ワーク ペインでプロパティを表示](#) する手順を実行します。

関連トピック

- [ワーク ペインでプロジェクトを開く](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)

カラム表題部にプロパティを追加

コンテキストメニューから手軽に表題部にプロパティを追加できます。

たとえば、ワークペインのテーブルで **change_request** 値を表示するとします。プロパティの追加ダイアログボックスに「**change_request**」と入力すると、テーブルのカラムに Rational Change の変更依頼の値が表示されます。

ステップ ...

1. 表題部を右クリックしてコンテキストメニューを表示し、**プロパティの追加**を選択します。

プロパティの追加ダイアログボックスが表示されます。

2. 追加するプロパティの名前を入力し、**OK** をクリックします。

カスタム属性を追加する場合、正確な名前を入力してください。名前は大文字と小文字が区別されます。デフォルト属性名は、データベース内のものと一致する必要があります。

関連トピック

- [カラム表題部からプロパティを削除](#)

カラム表題部からプロパティを削除

コンテキストメニューから表題部に追加したプロパティを手軽に削除できます。

たとえば、ワーク ペインのテーブルで **status** 値を表示するとします。プロパティの追加ダイアログボックスに **state** を入力しますが、新規テーブル カラムには値が何も表示されません。間違った名前を入力したことに気付き、プロパティの追加ダイアログボックスを使用して正しい名前を追加し、プロパティの削除ダイアログボックスを使用して誤った名前を削除します。するとテーブル カラムには、**status** の値が表示されます。

ステップ ...

1. 表題部を右クリックしてコンテキスト メニューを開き、**プロパティの削除**を選択します。

プロパティの削除ダイアログボックスに追加したプロパティの名前が表示されます。

2. 削除するプロパティを選択して **OK** をクリックします。

関連トピック

- [カラム表題部にプロパティを追加](#)

セッション中に選択を最新の状態に更新

この機能により、プロパティ、クエリ、タスクの作成ダイアログボックス内の選択物に対してセッション開始後の変更を反映します。

たとえば、セッション実行時にデータベースに新しいユーザーが追加された場合、**選択の再表示**操作を行うまでタスクを作成してそのユーザーに割り当てることができません（ユーザー名が**タスクの作成**ダイアログボックスの**担当者**リストに入らないため）。セッション中に変化する可能性のあるその他の選択としては、プロファイル、優先度、リリースなどがあります。

ステップ ...

- **表示メニュー**をクリックし、**タスクの再表示**を選択します。
プロパティ、クエリ、および**タスクの作成**ダイアログボックス内の選択は、ダイアログボックスが開いていても閉じていても最新の情報に更新されます。

関連トピック

- [オブジェクトの削除](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)

リリース エクスプローラの表示

デフォルトでは、リリース エクスプローラは開発者には表示されません。ただし、頻繁にプロセス関連オブジェクト（プロセス、プロセスルール、フォルダ テンプレート）を参照する場合は、次の手順でリリース エクスプローラを表示できます。このオプションでは、プロセス関連オブジェクトのメニュー項目も設定できます。

開発者兼ビルドマネージャには、デフォルトでリリース エクスプローラが表示されます。

注記：この変更を行った後は、Rational Synergy を再起動する必要があります。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション ダイアログ**を開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**一般**をクリックします。
3. チェックボックスをクリックして**リリース エクスプローラと関連オブジェクトを表示**オプションを選択します。

デフォルトではこのオプションは選択されておらず、開発者の**エクスプローラ ツールバー**に**リリース エクスプローラ**は表示されません。

4. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [インターフェイスの色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)

転送セット オプションの表示

デフォルトでは、**転送セット**は Rational Synergy データベース用に、以下の場所に表示されます。

- **プロパティ** ダイアログボックス (オブジェクト、プロジェクト、タスク、フォルダ、フォルダ テンプレート、リリース、およびプロセス ルールの) の **転送セット** タブ
- **検索** メニューの **転送セット** オプション
- **クエリ** ダイアログボックスの **検索リスト**の **転送セット** オプション
- **アクション** メニューの **転送セット**に **追加** オプション

ビルド マネージャおよび DCM マネージャは、Rational Synergy CLI を使用して、データベースで DCM を使用するように設定できます。詳細については、[Rational Synergy CLI ヘルプ](#)の「dcm コマンド」を参照してください。

ステップ ...

1. **メイン** メニューで **ツール** をクリックし、**オプション** を選択して **オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示** タブをクリックし、左のペインで **一般** をクリックします。
3. チェックボックスをクリックして **転送セット** を **表示** オプションを選択します。
デフォルトでは、このオプションは選択されておらず、DCM の設定に関わらず転送セット関係のオプションは表示されません。
4. **適用** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [インターフェイスの色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)

プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示

このオプションを使用して、プロパティダイアログボックスに以下のオブジェクトのセキュリティタブとグループセキュリティ オプションを表示します。

- ファイル
- ディレクトリ
- フォルダ
- タスク
- プロジェクト
- リリース

このオプションは、グループセキュリティ ライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームが使用できます。これらのチームは、一部のユーザーに特定のオブジェクトのチェックアウト、変更、および表示を許可し、他のユーザーに禁止する必要があるかもしれません。

ビルド マネージャは、Rational Synergy Classic CLI を使用してデータベースのグループを設定できます。詳細については、[Rational Synergy CLI ヘルプ](#)の「groups コマンド」を参照してください。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション ダイアログ**を開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**一般**をクリックします。
3. チェックボックスをクリックして**オブジェクトのセキュリティ プロパティを表示**オプションを選択します。

デフォルトでは、このオプションは選択されておらず、グループセキュリティの設定に関わらず**プロパティ ダイアログボックス**に**セキュリティ タブ**は表示されません。

4. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- [インターフェイスの色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

[Rational Synergy の開始](#)

- [コマンドラインからの Rational Synergy の開始](#)
- [Rational Change の起動](#)
- [コピーベース モードによる Rational Synergy の使用](#) (UNIX ユーザーのみ)

[新規ユーザー向けの説明](#)

- [Rational Synergy ツアーの実施](#)
- [Rational Synergy の開始](#)
- [ダイアログボックスとペインのカスタマイズ](#)
- [テキストの回復](#)
- [キーボードショートカットの使用](#)
- [マウス ショートカットの使用](#)
- [ヘルプの参照](#)
- [IBM Rational IBM ソフトウェア サポートへの問い合わせ](#)

[ファイルの移動](#)

- [オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け](#)
- [切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動](#)
- [ドラッグ アンド ドロップの使用](#)

[ダイアログボックスとペインを開く、閉じる、選択、表示](#)

- [ショートカット メニューの表示](#)
- [ワーク ペインでプロジェクトを開く](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)
- [メッセージの表示](#)
- [複数のファイルの選択](#)
- [ファイル/プロジェクト/タブの表示](#)

問題解決

- [パターンマッチングと Rational Synergy](#)
- [プロジェクト グループ内のすべてのタスクを別のプロジェクト グループへコピー](#)
- [テキストの回復](#)
- [オブジェクトの再表示](#)

Rational Synergy の開始

- [コマンドラインからの Rational Synergy の開始](#)
- [Rational Change の起動](#)
- [コピーベース モードによる Rational Synergy の使用](#) (UNIX ユーザーのみ)

コマンドラインからの Rational Synergy の開始

cmsynergy コマンド

表記

```
cmsynergy [-user | -u user_name] [-password | -pw password]
           [-host | -h engine_host] [-database | -d database_path]
           [-server | -s server_url]
```

説明と用途

cmsynergy コマンドを使用してセッションを開始します。

このコマンドにより、指定した設定で**ログイン** ダイアログボックスが表示されます。

オプションと引数

`-h | -host engine_host`

セッションのエンジン ホストを指定します。このオプションと `-s server_url` は一緒には使用できません。

`-d | -database database_path`

Rational Synergy データベースがセッションに接続するためのデータベースのパスを指定します。

`-pw | -password password`

セッションのユーザー パスワードを指定します。

`-s | server server_url`

接続するサーバーを指定します。`server_url` は `http://` または `https://` で始まる、対応するサーバーの有効な URL である必要があります。このオプションと `-host engine_host` は一緒には使用できません。

適切な『[Rational Synergy 管理者ガイド](#)』の「CCM server について」を参照してください。

`-user | -u user_name`

このオプションは、Windows ユーザーのみが使用できます。

セッションのユーザー名を指定します。

例

- Rational Synergy を開始します。
> cmsynergy -u linda -pw jupiter -h milkyway -d ¥¥galaxy¥ccmdb¥earth
- 3つの値 (*user_name*、*engine_host*、*database_path*) を使用して、Rational Synergy を開始します。
> cmsynergy -u linda -h milkyway -d ¥¥galaxy¥ccmdb¥earth
- サーバー URL を使用して Rational Synergy を開始します。
> cmsynergy -u bob -pw **** -d /data/db1 -s http://unixXYZ:8400

Rational Change の起動

Rational Synergy での作業中に、Rational Change を起動する必要があることがあります。これは、以下の方法で行います。

ステップ ...

- ツール メイン メニューで **Rational Change の起動** をクリックします。
ブラウザが開き、その中で Rational Change が開始します。Rational Change のヘルプを表示したい場合は、インターフェイス上部のメインメニューでヘルプをクリックします。

関連トピック

- [変更依頼の解決](#)
- [プロパティの表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

コピーベース モードによる Rational Synergy の使用

このオプションは、UNIX ユーザーにのみ適用されます。

user.allow.link.based.workareas キーの値を **false** に設定すると、Rational Synergy をコピーベース モードで開始することになります。これで、ワークエリアはデフォルトでコピーベースになります。ワークエリアがコピーベースの場合、Rational Synergy はユーザーのファイル システムにプロジェクトのコピーを入れます（これは、Rational Synergy がユーザーのファイル システムにデータベース内のファイルのリンクを入れるリンクベースのワークエリアとは異なります）。\$HOME/.ccm.user.properties ファイルに以下の形式で設定を入力します。

user.allow.link.based.workareas=false

false 以外の値を設定すると、Rational Synergy をリンクベース モードで使用することになります。この値では、大文字と小文字が区別されます。

Rational Synergy サポートへの要求の送信

依頼の提出ダイアログボックスを使用して、Rational Synergy に関する質問や問題点を、Rational Synergy サポートに送信できます。このダイアログボックスには Synergy およびシステムに関する情報が入力されており、状況を説明するファイル、画面ショット、ビデオキャプチャなどを添付できるようになっています。

依頼の提出ダイアログボックスは、ヘルプメニューの**サポート依頼の送信**オプションから開くことができます。「処理されていないランタイム例外が発生しました。」というメッセージが表示された場合は、ダイアログボックスに**サポート依頼の送信**ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると**依頼の提出**ダイアログボックスが開きます。

ステップ ...

1. **依頼の提出**ダイアログボックスを開くには、ヘルプメニューから**サポート依頼の送信**を選択します。

依頼の提出ダイアログボックスが表示されます。

2. 問題情報を入力します。

- **重大度**

状況に最も近い説明を選択します。

- **要約**

問題または質問を簡単に説明してください。

- **問題**

問題または質問について、できるだけ詳しく説明してください。

3. 補足情報を添付します。

- **ファイルの追加**

このボタンをクリックしてファイルシステムへのエクスプローラを開き、サポートに送信するファイルを選択して添付します。

ファイルの説明は、**説明カラム**でダブルクリックして変更できます。

- **スナップショット**

このボタンをクリックしてスナップショットをとります。これが、デフォルトの画面キャプチャツールとなります。

スナップショットの説明は、**説明カラム**でダブルクリックして変更できます。

- **ビデオ キャプチャの追加**

このボタンをクリックして、ビデオキャプチャをとります。

ビデオキャプチャの説明は、**説明カラム**でダブルクリックして変更できます。

- **表示 / 再生、削除、すべて削除**

* ファイルを選択して**表示 / 再生**をクリックすると、ファイルや画面ショットの表示、またはビデオキャプチャの再生が行われます。

* ファイルを選択して**削除**をクリックするとファイルが削除されます。

* **すべて削除**をクリックすると添付用に選択したすべてが削除されます。表示されたメッセージに対してすべてを削除してもよいことを確認すると、すべてが削除されます。

4. Rational Synergy サポートに要求電子メールを送信します。

アドミニストレータが送信先のアドレスを社内アドレスに設定している場合もあります。その場合は、**Synergy** エキスパートが要求をレビューして送信すべき情報かどうか、社外秘情報が含まれていないかを確認してから **Rational Synergy** サポートに送信できます。

電子メールは手動または自動で送信できます。

- 手動

要約および**問題**フィールドに入力したら、手動で電子メールを送信できます。これらのフィールドに入力すると、**テキストのみ (E メールなし)** ボタンが有効になります。このボタンをクリックして、**E メールの内容** ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスのすべての情報を、自分の電子メール ツールにコピーします。送信前に必ず必要なものを添付してください。

- 自動

プレビューと**送信**ボタンをクリックして、電子メールを自動送信します。送信する前に必ず必要な zip ファイルを添付してください。

関連トピック

- 一般的な質問 : [開発](#)

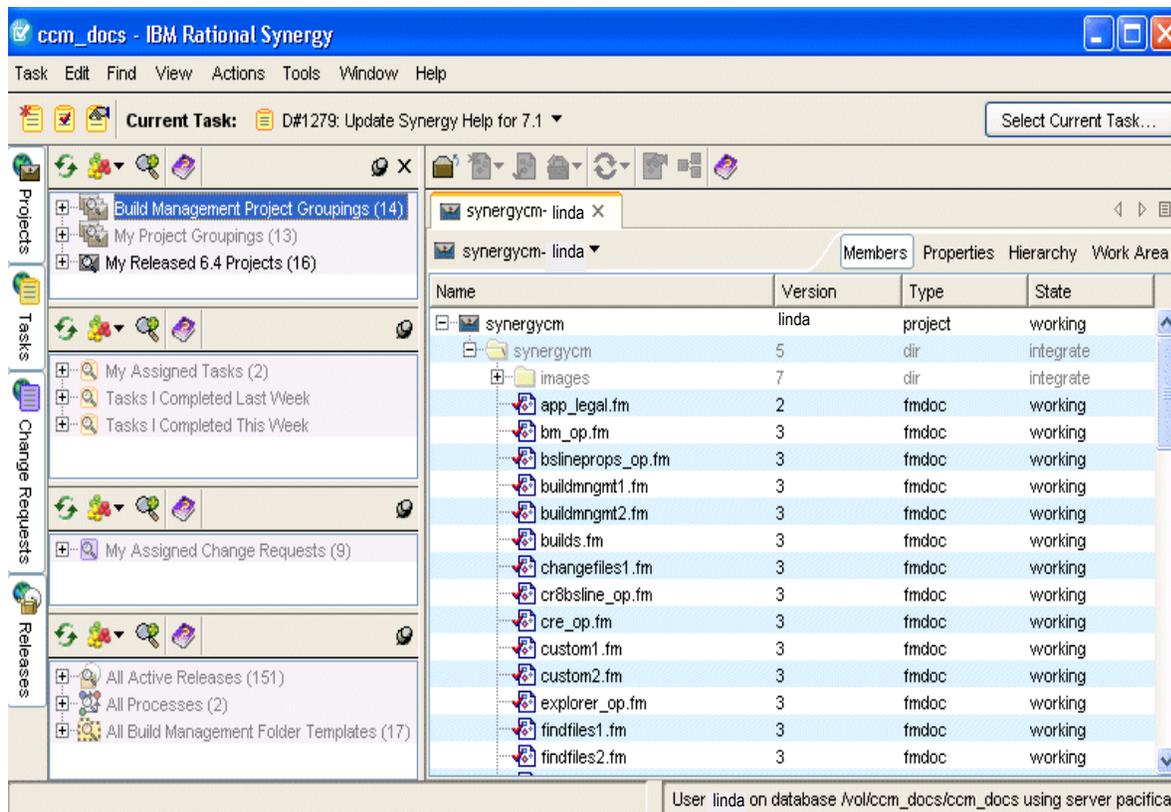
新規ユーザー向けの説明

- [Rational Synergy ツアーの実施](#)
- [Rational Synergy の開始](#)
- [キーボードショートカットの使用](#)
- [マウスショートカットの使用](#)
- [ヘルプの参照](#)

Rational Synergy ツアーの実施

このインターフェイスは、ソフトウェア製品の変更を管理できるよう設計されています。インターフェイスと用法モデルにより、作業しやすくなっています。

以下のグラフィック内エリアの説明を読むには、カーソルをそのエリアに置きます。ツールチップが表示され、情報を読むことができます。



このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- [エクスプローラ ツールバー](#)
- [ワーク ペイン](#)
- [加線の色](#)
- [自動タブ管理](#)
- [ドラッグアンドドロップのサポート](#)
- [一般的なショートカット](#)

エクスプローラ ツールバー

エクスプローラ ツールバーからは、プロジェクト、タスク、リリース、および変更依頼エクスプローラを表示できます。エクスプローラには、保存クエリを展開してその内容を表示した後で検出された各種オブジェクトが表示されます。

- **プロジェクト エクスプローラ**

プロジェクト エクスプローラでは頻繁に参照するプロジェクトを検索します。デフォルトで、エクスプローラには過去 30 日以内に作成された個人用プロジェクト、現在のビルド管理プロジェクト、およびベースラインが表示されます。興味のある他のプロジェクトを追加するクエリを定義して、それらを簡単に参照できるようにすることができます。

- **タスク エクスプローラ**

タスク エクスプローラでは、頻繁に必要なタスクを検索します。デフォルトで、タスク エクスプローラには割り当てられているタスクおよび最近完了したタスクが表示されます。他のチーム メンバーに割り当てられたタスクなど、興味ある他のタスクを追加するクエリを定義できます。

さらに、保存クエリをエクスプローラに追加すると**タスク** エクスプローラにフォルダを返す保存クエリが表示されるようになります。

- **リリース エクスプローラ**

リリース エクスプローラでは、リリースのプロパティまたはリリースが使用しているプロセス ルールのプロパティを表示します。**リリース**エクスプローラでリリース、プロセス ルール、またはフォルダ テンプレートを選択すると、**ワーク** ペインにそのプロパティが表示され、必要に応じてオブジェクトを変更できます。

- **変更依頼エクスプローラ**

変更依頼エクスプローラでは、頻繁に使用する変更依頼を表示します。デフォルトで、エクスプローラには割り当てられている変更依頼が表示されます。他のチーム メンバーに割り当てられた変更依頼など、興味ある他の変更依頼を追加するクエリを定義できます。**変更依頼**エクスプローラは、**Rational Change** を使用する場合にのみ使用できることに注意してください。

関連トピック

- [保存クエリのエクスプローラへの追加](#)

ワーク ペイン

ワーク ペインは以下の方法で選択したプロジェクト、タスク、プロジェクト グループ、ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、またはリリースの各種の情報を表示します。

- いずれかのエクスプローラから適切なオブジェクトを選択する。

- ワーク ペインでオブジェクトを表示していた場合、オブジェクトの名前を表示しているタブをクリックする。オブジェクトの表示の詳細については、[ワーク ペインのタブの管理](#)を参照してください。
- プロジェクト、タスク、プロジェクト グルーピング、ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、またはリリースを選択できるダイアログボックスで、適切なオブジェクトを右クリックして**表示**を選択する。
- **プロジェクトの表示**ダイアログボックスに、ワーク ペインで開くプロジェクトのプロジェクト名を入力する。

オブジェクトの各種の情報を表示するほか、ワーク ペインには情報を整理してアクセスする方法が2つあります。

- 以下に示すオブジェクト メニューを使用して、ワーク ペインに表示されているオブジェクトに対する操作を行うことができます。これは、オブジェクトの他の面を表示しており (プロジェクトの**ワークエリア**タブで作業を行っている場合など)、プロジェクトのメンバーが表示されていないときに特に役立ちます。**メンバー** タブに戻ることなく、プロジェクトのコピーや履歴の表示などを行うことができます。



- 以下に示すタブ バーでは、ワーク ペインで表示できるオブジェクトの各種情報を整理します。整理するだけでなく、各タブの情報により、特定のダイアログボックスを明示的に開かずに各種のオブジェクトの操作を行うことができます。たとえば、プロジェクトのワークエリア パスを変更する場合、**ワークエリア** タブをクリックして直ちに変更を行うことができます。



ワーク ペイン内で表示できるオブジェクト情報については、[ワーク ペインでプロパティを表示](#)を参照してください。

加線の色

ワーク ペイン (およびテーブルを表示するすべてのダイアログボックス) では、1 行おきの加線が色でハイライト表示されます。デフォルトの色は、表示しているプロジェクトの目的によって決まります。たとえば、**Insulated Development (個別開発)** 目的のプロジェクトを表示すると、1 行おきの加線が青でハイライト表示されます。

色により、自分がどのようなプロジェクトに参加しているかが分かります。これは、開発者とビルド マネージャの両方として **Rational Synergy** で作業をする場合に便利です。開発用に使用するプロジェクトを表示すると、1 行おきの加線が青になります。

ビルド管理用に使用するプロジェクトを表示すると、1行おきの加線は赤か緑（以下の表を参照）で表示されます。これは、プロジェクトの目的に応じて自動的に行われるので、ユーザーは何も変更する必要はありません。ただし、デフォルトの行の色を変更したい場合は、[インターフェイスの色の変更](#)を参照してください。

下表に、デフォルトで表示されるテーブルの加線の色を示します。

目的	プロジェクト状態	色
Insulated Development（個別開発）	<i>working</i> （作業中）	青
Collaborative Development（共同開発）	<i>working</i> （作業中）	青
Custom Development（カスタム開発）	<i>working</i> （作業中）	青
Shared Development（共有開発）	<i>shared</i> （共有）	青
Visible Development（可視開発）	<i>visible</i> （可視）	青
Integration Testing（統合テスト）	<i>prep</i> （準備）	赤
Master Integration Testing（マスタ統合テスト）	<i>prep</i> （準備）	赤
System Testing（システムテスト）	<i>prep</i> （準備）	緑
静的プロジェクト	静的プロジェクト	グレー

プロジェクトタブのアイコンは、行と同じ色です。プロジェクト エクスプローラに表示されるアイコンについても同じです。

自動タブ管理

デフォルトでは、ワーク ペインには最大 10 個のタブがあります。

ドラッグ アンド ドロップのサポート

ドラッグ アンド ドロップのサポートは[ドラッグ アンド ドロップの使用](#)を参照してください。

Rational Synergy の開始

Rational Synergy には、使用プロセスと手順があります。これを作業フローと呼びます。作業フローにより、最大限の効率で作業を行うことができます。作業フローの基本ステップの概要を説明します。

実行するすべての操作についてはヘルプで説明しています。以下のリンクをクリックすると、該当のヘルプを参照できます。

ステップ ...

Rational Synergy セッションは、**ログイン** ダイアログボックスでインターフェイスを起動後に開始されます。**ログイン** ダイアログボックスでは、適切なデータベースに正しくログインするために必要なすべての情報を入力します。

1. カレント タスクを、自分に割り当てられている [タスク](#) に設定します。
タスクを検索して選択するか、作成する必要があります。詳細については、[タスクの作成](#)、[クエリの定義](#)、および [タスクの選択](#) を参照してください。
2. 自分で使用するプロジェクトを作成するか、コピーします。
詳細については、[プロジェクトの作成](#) または [ファイル システムへのプロジェクトのコピー](#) を参照してください。すでにプロジェクトがある場合は、このステップは省略できます。
3. 自分に割り当てられた [カレント タスク](#) の作業を行います。すなわち、必要に応じてカレント タスクを変更します。
このために Rational Synergy 以外の開発ツールを使用することもできます。開発作業には以下のような操作が必要になることが考えられます。
 - [チェックアウト](#)
 - [ファイルの編集](#)
 - [プロジェクトファイルの名前変更](#)
 - [プロジェクトの作成](#)
 - [オブジェクトの削除](#)
 - [ディレクトリへの追加](#)
4. プロジェクトを更新します。
5. 変更のテストとデバッグを行います。
6. カレント タスクを完了します。

関連トピック

- [カレント タスクの完了](#)
- [用語解説](#)
[プロジェクトの更新](#)

キーボード ショートカットの使用

ショートカットキーを使用して多くの操作を行うことができます。ショートカット キーの使い方については、以下のいずれかをクリックしてください。

- [Compare ダイアログボックス](#)
- [Merge ダイアログボックス](#)
- [一般的なショートカット](#)
- [履歴の表示](#)
- [プロジェクトの表示](#)

Rational Synergy では、いくつかのキーボードショートカットにより操作がしやすくなっています。以下のショートカット キーを使用すると、頻繁に実行するタスクをすばやく行うことができます。

Compare ダイアログボックス

操作	ショートカット キー
2つのファイル間の次の差分を表示する。	Ctrl + 下矢印キー
2つのファイル間の前の差分を表示する。	Ctrl + 上矢印キー

Merge ダイアログボックス

操作	ショートカット キー
所定の差分について元のマージ結果に戻す。	Ctrl + B キー
マージ結果を編集する。	Ctrl + E キー
左側ペインのファイルの変更をマージ結果ペインに適用する。	Ctrl + L キー
右側ペインのファイルの変更をマージ結果ペインに適用する。	Ctrl + R キー
2つのファイル間の次の差分を表示する。	Ctrl + 下矢印キー
2つのファイル間の前の差分を表示する。	Ctrl + 上矢印キー

一般的なショートカット

任意のダイアログボックス、ペイン、またはエクスプローラで、以下のショートカットを使用できます。

操作	ショートカットキー
選択したテキストまたはオブジェクトをクリップボードにコピーする。	Ctrl + C キー
選択したオブジェクトをカレントタスクに追加する。	Ctrl + D キー
選択したオブジェクトをカレントタスクから削除する。	Ctrl + M キー
新しいタスクを作成する。	Ctrl + N キー
選択したオブジェクトをチェックアウトする。	Ctrl + O キー
割り当てられた変更依頼を検索する。	Ctrl + R キー
割り当てられたタスクを検索する。	Ctrl + T キー
選択したエリアにクリップボードのテキストまたはオブジェクトを貼り付ける。	Ctrl + V キー
選択したテキストまたはオブジェクトを切り取る。	Ctrl + X キー
モデル以外のダイアログボックスを閉じる。	Alt + F4 キー
選択したテキストまたはオブジェクトを削除する。	Delete キー
デフォルト ボタンをクリックする (復帰改行文字を受け付けるテキストフィールドがフォーカスされている場合を除く)。 メニュー項目およびボタンをクリックする (テキスト コンポーネントがフォーカスされている場合を除く)。	Enter キー スペース キー
モデルダイアログボックスおよび 作成 ダイアログボックスを閉じる。	Esc キー
ヘルプを表示する。	F1 キー
選択したオブジェクトの名前を変更する。	F2 キー
エクスプローラで保存クエリの結果を最新の情報に更新する。	F5 キー
選択したオブジェクトまたは選択したプロジェクトのメンバーのデータを最新の情報に更新する。	F9 キー
ワーク ペインのフォーカス タブをフォーカスする。	F12 キー
フォーカスを次のコンポーネントに移動する。 Tab 文字として Tab キーが使用されている場合、またはフォーカスがテーブルにあり次のコンポーネントにフォーカスを移動する必要がある場合に、コンポーネントに使用する。	Tab キー Ctrl + Tab キー

操作	ショートカット キー
コンフリクト ダイアログボックスが閉じている場合に開く。	Ctrl + Shift + C キー
メッセージ ダイアログボックスが閉じている場合に開く。	Ctrl + Shift + M キー
クエリ ダイアログボックスが閉じている場合に開く。	Ctrl + Shift + Q キー
ショートカット メニューを表示する。	Shift + F10 キー

履歴の表示

操作	ショートカット キー
履歴の表示ダイアログボックスを開く。	Ctrl + H キー

プロジェクトの表示

操作	ショートカット キー
プロジェクトの表示ダイアログボックスを開く。	Ctrl + P キー

マウス ショートカットの使用

以下のマウスボタンを使用してオブジェクトを操作します。

- 左のマウスボタンをクリック
オブジェクトが選択されます。メニューの選択肢は、選択したオブジェクトのセットについて動的に有効または無効になります。
- Shift キーを押しながら左のマウスボタンをクリック
選択した 2 オブジェクト間のすべてのオブジェクトが選択されるか、選択セットの範囲が変更されます。
- Ctrl キーを押しながら左のマウスボタンをクリック
選択する各オブジェクトをクリックしていくと、連続していない複数のオブジェクトが選択されます。または、他のオブジェクトの選択状態が変更されることなくオブジェクトが選択解除されます。
- 左のマウスボタンをダブルクリック
オブジェクトのデフォルト動作が起動します。通常、この動作によりオブジェクトが編集状態になります。ディレクトリの場合は**ワーク** ペインでディレクトリが開きます。
さらに、この操作は、**プロパティ** ダイアログボックスを開き、選択したオブジェクトのプロパティを表示します。
- 右のマウスボタンをクリック
選択したオブジェクトの**ショートカット** メニューが表示されます。

ヘルプの参照

Rational Synergy の手順や背景情報を調べるためにヘルプを使用します。ヘルプは HTML 形式で、Windows の Internet Explorer または UNIX の Mozilla を使用して、サポートされている任意のプラットフォームで使用できます。ヘルプでは、フレームを使用して、システム内の情報をすばやく継続的に検索できます。

さらに、Rational Synergy ヘルプは、現在行っている作業に基いたヘルプ情報を表示します。開発作業を行っているユーザーには、開発者に適した情報を表示し、ビルド管理作業を行っているユーザーには開発者とビルド マネージャの両方に適した情報を表示します。情報の種類は自動的に表示されます。どちらの情報を表示するかは実行中の作業に基いて自動的に決定されますので、特別な操作は必要ありません。

ヘルプの設定を格納し、検索するためには、ブラウザの設定で Cookie を使用できるようにしておく必要があります。Cookie が無効になっていると、ヘルプ システムの起動時に、最後に選択したタブ ページを開いたり、Rational Change ウェブ サイトを参照したりすることができません。

IBM Rational IBM ソフトウェア サポートへの問い合わせ

お手持ちのリソースで、問題が解決されない場合は、IBM®Rational® ソフトウェア・サポートに連絡してください。IBM® Rational® ソフトウェア・サポートでは、製品の問題解決に関する支援を行っています。

前提条件

IBM Rational ソフトウェア・サポートに問題を送信するには、有効な Passport Advantage® ソフトウェア保守契約が必要です。パスポート・アドバンテージは、IBM の包括的ソフトウェア・ライセンスおよびソフトウェア保守 (製品のアップグレードおよび技術支援) オファリングです。次のサイトからオンラインでパスポート・アドバンテージに登録できます。<http://www.ibm.com/software/lotus/passportadvantage/howtoenroll.html>

- パスポート・アドバンテージについて詳しくは、パスポート・アドバンテージ FAQ (http://www.ibm.com/software/lotus/passportadvantage/brochures_faqs_quickguides.html) にアクセスしてください。
- さらに支援が必要な場合は、IBM 担当員に連絡してください。

問題をオンラインで (IBM Web サイトから) IBM Rational ソフトウェア・サポートに送信するには、さらに以下が必要です。

- IBM Support Web サイトの登録ユーザーであること。登録について詳しくは、<http://www-01.ibm.com/software/support/> を参照してください。
- 許可された呼び出し元としてサービス要求ツールにリストされていること。

問題報告について

次のようにして、IBM Rational ソフトウェア・サポートに問題を送信します。

1. お客様の問題のビジネス・インパクトを判別します。IBM へ問題を報告する際は、重大度レベルを問われます。そのため、報告する問題とそのビジネス・インパクトを理解して、評価する必要があります。

重大度のレベルを決めるにあたっては、下表を参照してください。

重大度	説明
1	問題は 危機的な ビジネス・インパクトを持ちます。プログラムを使用できず、業務に重大な影響が出ています。この状況には、即時に解決策が必要とされます。
2	問題は、 重大な ビジネス・インパクトを持ちます。プログラムは使用可能ですが、非常に限定されています。
3	問題は 部分的な ビジネス・インパクトを持ちます。プログラムは使用可能ですが、比較的重要なでない（業務に大きな影響はない）機能が利用できません。
4	問題は わずかな ビジネス・インパクトを持ちます。問題による業務への影響がほとんどないか、問題に対する有効な回避策が実施済みです。

2. 問題を説明して、背景情報を収集します。IBM に問題を説明する際は、なるべく具体的に説明してください。IBM Rational ソフトウェア・サポートの専門家が、問題を解決するために効果的な支援をできるように、関連するすべての背景情報を含めてください。時間を節約するために、以下の質問の答えを用意してください。
 - 問題の発生時に実行していたソフトウェア（複数可）のバージョンは何ですか？
 - 次のオプションを使用して、正確な製品名とバージョンを判別することができます。
 - **IBM Installation Manager** を始動して、「ファイル」>「インストール済みパッケージの表示」を選択します。パッケージ・グループを展開し、パッケージを選択して、パッケージ名およびバージョン番号を確認します。
 - 製品を始動して、「ヘルプ」>「製品情報」をクリックし、オフライン名とバージョン番号を確認します。
 - オペレーティング・システムおよびバージョン番号（サービス・パックまたはパッチを含む）は何ですか？
 - 問題の症状に関連するログ、トレース、およびメッセージはありますか？
 - 問題を再現できますか？再現できる場合は、問題を再現するための手順は何ですか？
 - システムに変更を加えましたか？例えば、ハードウェア、オペレーティング・システム、ネットワーキング・ソフトウェア、またはその他のシステム・コンポーネントに変更を加えましたか？

-
- 現在、問題に対する何らかの回避策を使用していますか？ 使用している場合は、問題の報告時にその回避策も説明する準備をお願いします。
3. IBM Rational ソフトウェア・サポートに問題を送信します。次の方法で、IBM ソフトウェア・サポートに問題の送信ができます。
- オンラインの場合： IBM Rational ソフトウェア・サポートの Web サイト (<https://www.ibm.com/software/rational/support/>) にアクセスして、Rational サポート・タスク・ナビゲーターで「サービス要求を開く (**Open Service Request**)」をクリックします。エレクトロニック問題報告ツールを選択し、「問題管理レコード (PMR) (Problem Management Record (PMR))」を開き、問題についてご自身の言葉で正確に記述してください。
 - サービス要求を開く方法について詳しくは、<http://www.ibm.com/software/support/help.html> にアクセスしてください。
 - IBM Support Assistant を使用してオンラインのサービス要求を開くこともできます。詳しくは、<http://www-01.ibm.com/software/support/isa/faq.html> を参照してください。
 - 電話の場合： 国または地域別の電話番号を調べるには、<http://www.ibm.com/planetwide/> の「IBM directory of worldwide contacts」で、お住まいの国名または地域名をクリックします。
 - IBM 担当員に依頼する場合： オンラインまたは電話で IBM Rational ソフトウェア・サポートにアクセスできない場合は、IBM 担当員に連絡してください。必要な場合は、お客さまに代わって、IBM 担当員がサービス要求を開くことができます。<http://www.ibm.com/planetwide/> で、各国への詳しい連絡先情報を検索できます。

送信した問題が、ソフトウェアの障害に関するものか、資料の欠落や不正確な記述によるものである場合は、IBM ソフトウェア・サポートはプログラム診断依頼書 (APAR) を作成します。APAR には、問題の詳細が記述されます。IBM ソフトウェア・サポートは可能な限り、APAR が解決されてフィックスが提供されるまでの間に実施できる回避策を提供します。IBM は、同一の問題を経験している他のユーザーが同じ解決方法を利用できるように、ソフトウェア・サポート Web サイトに解決済みの APAR を公開し、毎日更新しています。

ファイルの移動

- [オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け](#)
- [切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動](#)
- [ドラッグアンドドロップの使用](#)
- [ショートカットメニューの表示](#)

オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け

以下の操作によって、オブジェクト、タスク、ベースライン、転送セットおよび変更依頼間の関係を簡単に変更できます。以下の方法でオブジェクト、タスク、および変更依頼のコピーおよび貼り付けを行うことができます。

- ファイルをコピーしてディレクトリまたはタスクに貼り付ける。
- ディレクトリをコピーしてプロジェクトまたはタスク内の異なるディレクトリに貼り付ける。
- プロジェクトをコピーしてディレクトリ、タスク、またはプロジェクト グルーピングに貼り付ける。
- タスクをコピーしてディレクトリ、プロジェクト グルーピング、または変更依頼に貼り付ける。
- ベースライン内のすべてのタスクをコピーして別のベースラインに貼り付ける。
- 1つまたは複数の転送セットをコピーして指定したオブジェクトに貼り付ける。
- 1つまたは複数のオブジェクトを、履歴つきまたは履歴なしでコピーして転送セットに貼り付ける。
- 変更依頼をコピーしてタスクに貼り付ける。

コピーと貼り付けは選択可能な任意のオブジェクト、タスク、または変更依頼に対して行うことができます。

ステップ ...

1. オブジェクト、タスク、または変更依頼が選択可能な任意のペインまたはダイアログボックスで適切なオブジェクトを右クリックして、**コピー**を選択します。
2. 適切なオブジェクト、タスク、または変更依頼を右クリックし、**貼り付け**を選択します。

関連トピック

- [インターフェイスの色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ドラッグアンドドロップの使用](#)
- [切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動](#)

切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動

- 選択したオブジェクトをペインから削除し、クリップボードに置くには、**切り取り** コマンドを使用します。
- オブジェクトをコピーしてクリップボードに置くには、**コピー** コマンドを使用します。
- コピーしたオブジェクトを同じペインの別の場所または別のペインに貼り付けるには、**貼り付け** コマンドを使用します。

切り取ったオブジェクトやコピーしたオブジェクトは、別のオブジェクトを切り取るかコピーするまでクリップボードに残ります。

- オブジェクトが表示される場所ではどこでもコピー操作を行うことができます。
- 切り取りと貼り付けの操作は、多くのペインやダイアログボックスで行うことができます。

切り取りと貼り付けコマンドを使用して関係を削除したり追加できます。

以下を実行するには、切り取り操作を行います。

- タスクからオブジェクトを削除する。
- タスクから変更依頼を削除する。
- ディレクトリからファイルやプロジェクトを削除する。
- 関連オブジェクトから転送セットの関連を解除する。

以下を実行するには、貼り付け操作を行います。

- タスクにオブジェクトを追加する。
- タスクに変更依頼を追加する。
- ディレクトリにファイルやプロジェクトを追加する。
- オブジェクトに転送セットを関連付ける。

関連トピック

- [インターフェイスの色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)

ドラッグ アンド ドロップの使用

Rational Synergy のいろいろな場所でドラッグ アンド ドロップ操作を行うことができます。この中には、**履歴**や**プロパティ**などモードに依存しないダイアログボックス内のテーブル、エクスプローラ、**ワーク ペイン**のオブジェクトなどがあります。また、**履歴**ダイアログボックスでは、マウスを横方向と縦方向に同時にドラッグすることで、履歴の別の部分に移動できます。

Rational Synergy で選択できるものは何でもドラッグ アンド ドロップ操作に使用できます。ドラッグ アンド ドロップ操作は、それがコピーなのか移動なのかを示します。コピーを行うドラッグ アンド ドロップ操作は、[切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動](#)で説明している通りに動作します。

たとえば、ドラッグ アンド ドロップを使用して次の操作を行うことができます。

- タスクにオブジェクトを関連付ける。
- 変更依頼にタスクを関連付ける。
- プロジェクト グルーピングにタスクを追加する。
- ディレクトリにファイルを移動または追加する。
- ディレクトリ内の別バージョンのオブジェクトを使用する。
- プロジェクトをグループ化するためにベースラインを設定する。
- ベースラインにプロジェクトを追加する。
- タスクを別のタスクに関連付けて修正する。
- プロセス ルールにフォルダ テンプレートを追加する。
- リリースに[汎用プロセスルール](#)を追加する。
- よく使うリリース値テーブルにリリースを追加する。
- よく使うリリース値テーブルからリリースを削除する。
- オブジェクトのプロパティを変更する。
- 保存されたクエリをエクスプローラで並び替える。

関連トピック

- [インターフェイスの色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)

ダイアログボックスとペインを開く、閉じる、選択、表示

- [ショートカットメニューの表示](#)
- [ワーク ペインでプロジェクトを開く](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)
- [メッセージの表示](#)
- [複数のファイルの選択](#)
- [ファイル/プロジェクト/タブの表示](#)

ショートカットメニューの表示

コマンドを実行するのに、メインメニューを使用せず、オブジェクトを右クリックしてショートカットメニューを表示できます。ショートカットメニューには、特定のペインまたはダイアログで、該当のオブジェクトについて使用できるコマンドが表示されます。

ワーク ペインでプロジェクトを開く

この機能は、ワーク ペイン内に表示したいプロジェクトの名前とバージョンがわかっている場合に使用します。**プロジェクトの表示**ダイアログボックスを使用してプロジェクトを開くと最初にクエリする必要がなくなり、クエリ結果を使用して**ワーク ペイン**にプロジェクトを表示できます。

1. **ワーク ペイン** ツールバーで、 をクリックします。

プロジェクトの表示ダイアログボックスが表示されます。

2. プロジェクト名 (例、**calculator**)、バージョンの区切り文字で区切ったプロジェクト名とバージョン (例、**calculator-int_3.0**)、または、プロジェクト名、バージョン、タイプ、およびインスタンスの 4 つの部分からなる 4 部名称 (例、**calculator-int_3.0:project:ccmintdb#1**) を入力します。

完全な名前またはバージョンが不明な場合、疑問符 (?) とアスタリスク (*) 文字を使用できます。4 部名称のプロパティが不明な場合、不明な部分はアスタリスクで置き換えてもプロジェクト結果が返ります。

入力した名前が複数のプロジェクトに対応する場合、**プロジェクトの選択**ダイアログボックスが表示されます。適切なプロジェクトを選択して **OK** をクリックします。

関連トピック

- [プロジェクトを閉じる](#)
- [タブを削除する](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

ワーク ペインでプロパティを表示

選択したオブジェクトのプロパティと関連付けを表示できます。ワーク ペインのタブにプロパティと関連付けが表示されます。

オブジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- プロジェクト、タスク、プロジェクト グルーピング、ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、またはリリースを選択できるダイアログボックスで、適切なオブジェクトを右クリックして**表示**を選択します。

オブジェクトは、以下のデフォルト設定でワーク ペインに表示されます。

- プロジェクトの情報は、**メンバー** タブに表示される。
- プロジェクト グルーピングについては、プロジェクト グルーピング内のプロジェクトが**プロパティ** タブに表示される。
- ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、リリース、またはタスクの情報は**プロパティ** タブに表示される。

デフォルト情報のほか、以下のような情報も表示できます。

- プロジェクトについては、プロジェクトのプロパティ、履歴、ワークエリア設定
- プロジェクト グルーピングについては、プロジェクト グルーピングに関連付けられたベースラインプロジェクトとタスク
- ベースラインについては、説明と、ベースラインに関連付けられたプロジェクト、タスク、および変更依頼
- フォルダについては、フォルダに関連付けられたタスク
- フォルダ テンプレートについては、フォルダ テンプレートが作成したフォルダのプロパティ
- プロセスについては、プロセスを構成するプロセス ルール
- プロセス ルールについては、指定されたプロセス ルールを使用するプロジェクト グルーピングのベースライン プロジェクトおよび指定されたプロセス ルールを使用するプロジェクト グルーピングのタスク
- リリースについては、リリースが使用するプロセス ルール
- タスクについては、詳細、およびタスクに関連付けられたオブジェクト、修正タスク、変更依頼

関連トピック

- [タブを削除する](#)

メッセージの表示

Rational Synergy メイン ウィンドウの下部にステータス行があります。このエリアには、表示されているものの現在の状態に関する情報が表示されます。ほとんどのダイアログボックスにも、下部にステータス行があります。

ステータス行に表示されるほとんどのメッセージは、**メッセージ** ダイアログボックスに書き込まれます。

複数のファイルの選択

チェックイン、チェックアウト、複数ファイルのコピーなど、特定の操作のために複数のファイルを選択できます。

連続した複数のファイルを選択するには

- 最初のファイルをクリックし、**Shift** キーを押しながらセットの最後のファイルをクリックします。

連続していない複数のファイルを選択するには

- 最初のファイルをクリックし、**Ctrl** キーを押しながら追加ファイルを選択します。

ファイル/プロジェクト/タブの表示

プロジェクト エクスプローラでプロジェクトをクリックすると、**ワーク** ペインにプロジェクトの内容が表示されます。プロジェクトをクリックすると、それぞれに対応する新しいタブが**ワーク** ペインに作成されます。すでに開いたことのあるプロジェクトを表示するには、対応するタブをクリックします。

さらに、**タスク** エクスプローラでタスクとフォルダ、**変更依頼** エクスプローラで変更依頼 (Rational Change がインストールされている場合)、**リリース** エクスプローラでプロセス、プロセスルール、リリース、フォルダ テンプレートを表示できます。

問題解決

- [パターンマッチングと Rational Synergy](#)
- [プロジェクト グループ内のすべてのタスクを別のプロジェクトグループへコピー](#)
- [テキストの回復](#)
- [オブジェクトの再表示](#)

パターン マッチングと Rational Synergy

2 つの Rational Synergy ダイアログ、**ベースライン比較**および**メンバーシップ コンフリクト**では、パターン マッチングを使用してフィールドをフィルタリングできます。たとえば、**メンバーシップ コンフリクト** ダイアログボックスでは、Java [正規表現](#)を使用できます。**メンバーシップ コンフリクト** ダイアログボックスの **Filter** フィールドに次のいずれかのフィルタ値を入力できます。

- **正規表現**

^ で始まる任意の文字列は、通常の Java 正規表現規則を使用した正規表現とみなされます。以下にいくつかの例を示します。

^\$ は、空白と一致します。なぜなら ^ は行の開始と一致することを意味し、\$ は行の終わりとも一致することを意味するからです。

^Extra.* は、Extra で始まる任意の行と一致します。これは、行のどの場所にあっても一致する正確なサブストリング Extra とは異なります。

^.*Extra.* は、行の任意の場所の Extra と一致します。

^T.k は、T で始まり、2 つの文字、および k が続く文字列と一致します（ピリオドは任意の 1 文字と一致します）。

Java 正規表現については、[Javadoc for Pattern ウェブサイト](#)および [Sun™ Developer Network Site](#) を参照してください。

- **正確なサブストリング**

先頭に ^ が付かないすべての文字列は正確なサブストリングとみなされます。たとえば、as と入力すると、これは **Bad Task**、**Extra Task**、**Missing Task** と一致します。文字列 a.b を入力すると、行の任意の場所の **aaa.b**、**a.bbbb**、**a a a a.b b b b** と一致します。サブストリングは常に文字どおり解釈されます。

関連トピック

- [プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)

プロジェクト グループ内のすべてのタスクを別のプロジェクトグループへコピー

注記：この手順では、ベースラインを作成する別の方法を示します。[ベースラインの作成](#)ダイアログボックスを使用して[ベースラインの作成](#)を行うことは、チームで作業をする際の標準的な手法です。

[プロジェクト グループ](#)に関連するすべての[タスク](#)をクリップボードに入れて別のプロジェクト グループに貼り付けるときにこの操作を使用します。

これは、ビルド マネージャがシステム テスト プロジェクト グループに統合テスト プロジェクト グループのタスクを入れるときに便利です。この操作をビルド マネージャが行うのは、アプリケーションが特定の品質水準を満たす段階にきたので、専用のインストールを作成するようなときです。

ビルド マネージャは以下のフローに従ってタスクをコピーできます。

- コピー先となるシステムテストプロジェクトグループを右クリックし、**すべてのタスクの削除**操作を選択してプロジェクトグループを空にします。
- コピー元である統合テストプロジェクトグループを右クリックし、**すべてのタスクのコピー**操作を選択します。
- コピー先となるシステム テスト プロジェクト グループを右クリックし、**貼り付け**操作を使用してすべてのタスクを統合テスト プロジェクト グループからシステム テスト プロジェクト グループへコピーします。

ステップ ...

1. **プロジェクト エクスプローラ**で、プロジェクト グループを右クリックして**すべてのタスクのコピー**を選択します。
タスクがクリップボードにコピーされます。
2. **プロジェクト エクスプローラ**で、適切なプロジェクト グループを右クリックし、**貼り付け**を選択します。

関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け](#)
- [ベースラインの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [プロジェクト グループからタスクを削除](#)

テキストの回復

フィールドの元のテキストを回復するには、Esc キーを使用します。たとえば、**プロパティ** ダイアログボックスの**プロパティ** タブの**バージョン** フィールドのテキストを誤って変更したとします。キーボードの Esc キーを押すと、**バージョン** フィールドに入力されていた元のテキストが表示されます。

オブジェクトの再表示

この操作を使用して、選択したオブジェクトのデータまたは選択したディレクトリのメンバーを最新の状態に更新します。

ステップ ...

- 選択可能な任意のオブジェクト（ファイルまたはディレクトリ）、プロジェクト、またはプロジェクト グルーピングを右クリックし、**オブジェクトの再表示**を選択します。

関連トピック

- [オブジェクトの削除](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [テキストの回復](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)

ビルド管理の実行

フォルダの作業

- [フォルダのコピー](#)
- [フォルダの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#) (フォルダ)

フォルダ テンプレートの作業

- [フォルダ テンプレートの作成](#)
- [フォルダ テンプレートのコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (フォルダ テンプレート)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)

プロセスの作業

- [プロセスの作成](#)
- [プロセスのコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス)
- [プロセスのプロパティの修正](#)

プロセス ルールの作業

- [プロセス ルールの設定](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス ルール)
- [プロセス ルールのプロパティの修正](#)

目的の作業

- [目的の作成](#)
- [オブジェクトの削除](#) (目的)
- [目的の編集](#)

リリースの作業

- リリースの作成またはコピー
- オブジェクトの削除 (リリース)
- リリースのプロパティの修正
- リリースのアクティブ化と非アクティブ化

DCM の作業

- 転送セットへのオブジェクトの追加

フォルダの作業

- [フォルダのコピー](#)
- [フォルダの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#) (フォルダ)

フォルダのコピー

ステップ ...

フォルダを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. コピーするフォルダを右クリックし、**フォルダのコピー**を選択します。
フォルダのコピー ダイアログボックスが表示されます。
2. フォルダの説明を入力します。
説明を指定しないと、デフォルト値として元の値が使用されます。
3. このフォルダを使用できるユーザーを指定します。選択肢には**ビルド マネージャ、全員、所有者、およびなし**があります。デフォルトは、コピー元のフォルダの設定です。
4. フォルダへのタスクの追加にクエリを使用するか、または手動で適切なボタンをクリックするかを指定します。
5. フォルダがクエリを使用する場合、フォルダに入れるタスクを集めるクエリを入力します。
既存のクエリを使用する場合、**クエリのコピー**をクリックして使用する既存のクエリを選択します。
カスタムクエリの作成に関する詳細な情報については、[クエリのカスタマイズ](#)を参照してください。
6. **OK** をクリックしてフォルダをコピーします。

関連トピック

- [フォルダへのタスクの追加](#)
- [フォルダの作成](#)

フォルダの作成

ステップ ...

1. **タスク** メニューで**新規**をポイントし、**フォルダ**を選択します。
フォルダの作成ダイアログボックスが表示されます。
2. フォルダの説明を入力します。
説明を指定しないと、指定したクエリの値が使用されます。たとえば、**担当者で検索**を bob に、**状態で検索**を task_assigned に、**リリースで検索**を CM/1.0 に設定すると、**詳細**には **bob's Assigned Tasks for Release CM/1.0** が入ります。
3. このフォルダを使用できるユーザーを指定します。選択肢には**ビルド マネージャ**、**全員**、**所有者**、および**なし**があります。デフォルトは**ビルド マネージャ**です。
4. フォルダへのタスクの追加にクエリを使用するか、または手動で適切なボタンをクリックするかを指定します。デフォルトは**手動**です。
5. フォルダがクエリを使用する場合、フォルダに入れるタスクを集めるクエリを入力します。
既存のクエリを使用する場合、**クエリのコピー**をクリックして使用する既存のクエリを選択します。
カスタムクエリの作成に関する詳細な情報については、[クエリのカスタマイズ](#)を参照してください。
6. **OK** をクリックしてフォルダを作成します。

関連トピック

- [フォルダへのタスクの追加](#)
- [フォルダのコピー](#)

フォルダ テンプレートの作業

- [フォルダ テンプレートの作成](#)
- [フォルダ テンプレートのコピー](#)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)
- [オブジェクトの削除](#) (フォルダ テンプレート)

フォルダ テンプレートの作成

フォルダ テンプレートは、フォルダ作成に使用するパターンとなります。プロセス ルールは、プロジェクトが更新される基準の一部としてフォルダ テンプレートを使用できます。

テンプレートは Rational Synergy に保管され、再利用が可能です。また、コピーして新しいテンプレートの基準として使用することもできます。プロセス ルールは、プロジェクトが更新される基準の一部としてフォルダ テンプレートを使用できます。

ステップ ...

1. **タスク メニューで新規をポイントし、フォルダ テンプレートを選択します。**

フォルダ テンプレートの作成ダイアログボックスが表示されます。

2. **名前フィールドにフォルダ テンプレートの名前を入力します。**

このフィールドは必須で、固有の名前でなければなりません。引用符は使用できません。

3. **フォルダの説明を入力します。**

説明には、フォルダ テンプレートからフォルダを作成するときにキーワード展開後に使用される文字列を指定します。説明を指定しないと、デフォルト値としてフォルダ テンプレート名が使用されます。

フォルダの説明について

フォルダ テンプレートには、パイプ文字 (|) 以外の任意の文字を使用して任意の説明を付けることができます。フォルダ テンプレートの説明には、3 つのキーワード **%owner**、**%release**、**%database** を任意に組み合わせて入れることができます。フォルダ テンプレートの説明には、必ずしもキーワードを入れる必要はありません。フォルダ テンプレートの説明にキーワードを入れなかった場合、このフォルダ テンプレートから作成されるフォルダにはすべて同じ説明が付けられます。

たとえば、説明が **Completed Tasks for Release %release** であるフォルダ テンプレートを作成すると、キーワード **%release** はこのフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用しているプロジェクトのリリース値に展開されます。キーワード **%release** は、このフォルダ テンプレートからフォルダを作成するときに展開されます。たとえば、リリース 2.0 のプロジェクトが説明 **Completed Tasks for Release %release** を持つフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用すると、このテンプレートから作成されてプロジェクトの更新プロパティに追加されるフォルダの説明は、**Completed Tasks for Release 2.0** となります。

%owner キーワードは、更新プロパティにフォルダ テンプレートから作成されるフォルダが含まれるプロジェクトの所有者に展開されます。たとえば、**ann** が所有するリリース 3.1 のプロジェクトが、説明 **%owner's Completed Tasks for Release %release** を持つフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用すると、説明が **ann's Completed Tasks for Release 3.1** であるフォルダが、このフォルダ テンプレートから作成されてプロジェクトの更新プロパティに追加されます。

%database キーワードは、作成されるフォルダを使用しているプロジェクトが作成されたデータベースの DCM データベース ID に展開されます。たとえば、**ann** が所有するリリース 3.1 のプロジェクトが **Bristol** というデータベース内にあり、説明が **%owner's Completed Tasks for Release %release from Database %database** であるフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用していると、説明が **ann's Completed Tasks for Release 3.1 from Database Bristol** であるフォルダがこのフォルダ テンプレートから作成されてプロジェクトの更新プロパティに追加されます。

4. このフォルダ テンプレートから作成されるフォルダを変更できるユーザーを指定します。選択肢には**ビルド マネージャ**、**全員**、および**所有者**があります。デフォルトは**ビルド マネージャ**です。
5. このフォルダ テンプレートから作成されるフォルダがクエリを使用するかどうか、あるいは適切なボタンをクリックして手動でタスクを追加するかどうかを指定します。
6. フォルダ テンプレートがクエリを使用する場合、フォルダ テンプレート クエリを入力します。

既存のクエリを使用する場合、**クエリのコピー**をクリックして使用する既存のクエリを選択します。

あるいは、クエリ ビルダを使用してクエリを設定できます。クエリにキーワード (値なし) が含まれる場合、**クエリ** アイコンをクリックすると、**テスト値を選択**ダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスを使用してキーワードの値を入力し、**OK** をクリックしてテストクエリを実行して入力した値が適切か確認します。

カスタム クエリの作成に関する詳細な情報については、[クエリのカスタマイズ](#)を参照してください。

7. **OK** をクリックしてフォルダ テンプレートを作成します。

関連トピック

- プロセス ルールにフォルダを追加 (「プロセスルールのプロパティの修正」の[ステップ 4](#)で説明)
- [フォルダ テンプレートのコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (フォルダ テンプレート)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)

フォルダ テンプレートのコピー

フォルダ テンプレートは、フォルダ作成に使用するパターンとなります。プロセス ルールは、プロジェクトが更新される基準の一部としてフォルダ テンプレートを使用できます。

フォルダ テンプレートをコピーすることにより、必要に応じて属性を変更して新しいテンプレートの基準に使用できます。プロセス ルールは、プロジェクトが更新される基準の一部としてフォルダ テンプレートを使用できます。

ステップ ...

フォルダ テンプレートを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. コピーするフォルダ テンプレートを右クリックし、**フォルダ テンプレートのコピー**を選択します。

フォルダ テンプレートのコピー ダイアログボックスが表示されます。

2. **名前**フィールドにフォルダ テンプレートの名前を入力します。

このフィールドは必須で、固有の名前でなければなりません。引用符は使用できません。

3. フォルダの説明を入力します。

説明には、フォルダ テンプレートからフォルダを作成するときにキーワード展開後に使用される文字列を指定します。説明を指定しないと、デフォルト値としてフォルダ テンプレート名が使用されます。

フォルダの説明について

フォルダ テンプレートには、パイプ文字 (|) 以外の任意の文字を使用して任意の説明を付けることができます。フォルダ テンプレートの説明には、3 つのキーワード **%owner**、**%release**、**%database** を任意に組み合わせて入れることができます。フォルダ テンプレートの説明には、必ずしもキーワードを入れる必要はありません。フォルダ テンプレートの説明にキーワードを入れなかった場合、このフォルダ テンプレートから作成されるフォルダにはすべて同じ説明が付けられます。

たとえば、説明が **Completed Tasks for Release %release** であるフォルダ テンプレートを作成すると、キーワード **%release** はこのフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用しているプロジェクトのリリース値に展開されます。キーワード **%release** は、このフォルダ テンプレートからフォルダを作成するときに展開されます。たとえば、リリース 2.0 のプロジェクトが説明 **Completed Tasks for Release %release** を持つフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用すると、このテンプレートから作成されてプロジェクトの更新プロパティに追加されるフォルダの説明は、**Completed Tasks for Release 2.0** となります。

%owner キーワードは、更新プロパティにフォルダ テンプレートから作成されるフォルダが含まれるプロジェクトの所有者に展開されます。たとえば、**ann** が所有するリリース 3.1 のプロジェクトが、説明 **%owner's Completed Tasks for Release %release** を持つフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用すると、説明が

ann's Completed Tasks for Release 3.1 であるフォルダが、このフォルダ テンプレートから作成されてプロジェクトの更新プロパティに追加されます。

%database キーワードは、作成されるフォルダを使用しているプロジェクトが作成されたデータベースの DCM データベース ID に展開されます。たとえば、**ann** が所有するリリース 3.1 のプロジェクトが **Bristol** というデータベース内にあり、説明が **%owner's Completed Tasks for Release %release from Database %database** であるフォルダ テンプレートを含むプロセス ルールを使用していると、説明が **ann's Completed Tasks for Release 3.1 from Database Bristol** であるフォルダがこのフォルダ テンプレートから作成されてプロジェクトの更新プロパティに追加されます。

4. このフォルダ テンプレートから作成されるフォルダを変更できるユーザーを指定します。選択肢には**ビルド マネージャ**、**全員**、および**所有者**があります。デフォルトは、コピー元のフォルダ テンプレートの設定です。
5. このフォルダ テンプレートから作成されるフォルダがクエリを使用するかどうか、あるいは適切なボタンをクリックして手動でタスクを追加するかどうかを指定します。
6. フォルダがクエリを使用する場合、フォルダに入れるタスクを集めるクエリを入力します。

既存のクエリを使用する場合、**クエリのコピー**をクリックして使用する既存のクエリを選択します。

あるいは、クエリ ビルダを使用してクエリを設定できます。クエリにキーワード (値なし) が含まれる場合、**クエリ** アイコンをクリックすると、**テスト値を選択**ダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスを使用してキーワードの値を入力し、**OK** をクリックしてテスト クエリを実行して入力した値が適切か確認します。

カスタム クエリの作成に関する詳細な情報については、[クエリのカスタマイズ](#)を参照してください。

7. **OK** をクリックしてフォルダ テンプレートをコピーします。

関連トピック

- [フォルダ テンプレートの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#) (フォルダ テンプレート)
- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)

プロセスの作業

- [プロセスの作成](#)
- [プロセスのコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス)

プロセスの作成

プロセスは、プロセスルールを連動するようデザインされた名前付きのグループにまとめます。

プロセスは、リリースに使用できるプロセスルールを指定するために使用します。以下に、組み込まれているプロセス、プロセスルール、および目的を示します。

プロセス	プロセスルール	目的
標準	Collaborative Development (共同開発) Custom Development (カスタム開発) Insulated Development (個別開発) Integration Testing (統合テスト) Shared Development (共有開発) System Testing (システムテスト) Visible Development (可視開発)	Collaborative Development (共同開発) Custom Development (カスタム開発) Insulated Development (個別開発) Integration Testing (統合テスト) Shared Development (共有開発) System Testing (システムテスト) Visible Development (可視開発)
分散型	Custom Development (カスタム開発) Insulated Development (個別開発) Local Collaborative Development (ローカル共同開発) Local Integration Testing (ローカル統合テスト) Master Integration Testing (マスタ統合テスト) Shared Development (共有開発) System Testing (システムテスト) Visible Development (可視開発)	Custom Development (カスタム開発) Insulated Development (個別開発) Collaborative Development (共同開発) Integration Testing (統合テスト) Master Integration Testing (マスタ統合テスト) Shared Development (共有開発) System Testing (システムテスト) Visible Development (可視開発)

チーム固有の作業方法を定義する独自のプロセスを作成できます。たとえば、GUI プロジェクトに携わるチームのビルドマネージャは、GUI Process という名前のプロセスを作成します。このプロセスは、対応するプロセスルール Beta Test を持つ Beta Test という専用目的を含みます。プロセスルールは、ベータリリース用のテストの新しいレベルを定義します。新しい Beta Test プロセスルールにより、ビルドマネージャがチームのベータテストリリースに備えたビルドを行うことができます。このプロセスルールは、新しいプロセスである GUI Process にのみ存在します。

ステップ ...

1. **タスク** メニューで**新規**をポイントし、**プロセス**を選択します。
プロセスの作成ダイアログボックスが表示されます。
2. **名前**フィールドにプロセスの名前を入力します。
3. **ダイアグラム URL** フィールドに URL を入力します。

ダイアグラム URL は、プロセスの詳細情報を含むファイルを示します。デフォルトのプロセスには、ヘルプ サーバー上の説明ファイルへの URL があります。説明ファイルには、プロジェクト グループへのベースラインとタスクのフローを示す図が含まれます。このファイルを表示するには、**表示**をクリックします。

ダイアグラムが用意できていない場合、URL を後で説明ファイルを置く場所へのパスに設定できます。

4. このプロセスを使用して作るリリースで使用できるプロセス ルールを選択します。
 - プロセス ルールを選択するには、選択フィールドに表示されている既存の目的のチェックボックスを1つクリックします。目的を開き、ラジオ ボタンをクリックして適切なプロセス ルールを選択します。
 - 新規プロセス ルールを作成するには、**新規**をクリックします。**プロセス ルールの作成**ダイアログボックスを使用してプロセス ルールを設定します。
5. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [プロセスのコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス)
- [プロセス ルールの設定](#)

プロセスのコピー

プロセスは、プロセス ルールを連動するようデザインされた名前付きのグループにまとめます。プロセスは、リリースに使用できるプロセス ルールを指定するために使用します。

プロセスのコピーにより、以前の情報を元に簡単に新規プロセスを作成できます。

プロセスの詳細については、[プロセスの作成](#)を参照してください。

ステップ ...

プロセスを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なプロセスを右クリックし、**プロセスのコピー** を選択して **プロセスのコピー** ダイアログボックスを開きます。

プロセスのコピー ダイアログボックスが表示されます。

2. **名前** フィールドにプロセスの名前を入力します。

3. **ダイアグラム URL** フィールドの URL を変更します。

ダイアグラム URL は、プロセスの詳細情報を含むファイルを開きます。

プロセスをコピーすると、コピーするプロセスへの URL が **ダイアグラム URL** フィールドに表示されます。

URL が不明な場合、後で **プロセス プロパティ** ダイアログボックスを使用して追加できます。

4. このプロセスを使用して作るリリースで使用できるプロセス ルールを選択します。
 - プロセス ルールを選択するには、選択フィールドに表示されている既存の目的のチェックボックスを1つクリックします。目的を開き、ラジオ ボタンをクリックして適切なプロセス ルールを選択します。
 - 新規プロセス ルールを作成するには、**新規** をクリックします。 **プロセス ルールの作成** ダイアログボックスを使用してプロセス ルールを設定します。
5. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [プロセスの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス)
- [プロセスのプロパティの修正](#)
- [プロセス ルールの設定](#)

プロセス ルールの作業

- [プロセス ルールの設定](#)
- [コンポーネント開発用にフォルダまたはフォルダ テンプレートをプロセス ルールに追加](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス ルール)
- [プロセス ルールのプロパティの修正](#)

コンポーネント開発用にフォルダまたはフォルダ テンプレートをプロセス ルールに追加

コンポーネント開発とは、利用可能な部品からアプリケーションを作成することです。Rational Synergy は自動タスクおよびコンポーネント タスクを作成することでコンポーネント開発を支援します。ただし、これらのタスクはコンポーネント開発時にのみ使われるため、通常ユーザーからは見えません。

この手順は、コンポーネント開発プロジェクトで使用される自動タスクとコンポーネントタスクを検索する、フォルダまたはフォルダテンプレートを作成して追加する方法を示します。

ステップ ...

1. 適切なプロセスルールを右クリックし、**プロパティ**を選択します。**プロセス ルールのプロパティ** ダイアログボックスで**タスク**をクリックし、フォルダの**作成と追加**リンクをクリックします。
2. **コンポーネントのフォルダの作成 / 追加**ダイアログボックスで以下のオプションを設定します。
 - **オブジェクト** リストボックス
プロジェクトのみまたはプロダクトのみを選択または設定するか、デフォルトのプロジェクトとプロダクトのままにします。
 - **リリース** リストボックス
データベース内のコンポーネント名から選択するか、**任意**を選択します。左のリストボックスでコンポーネント名を選択したら、右のリストボックスにそのコンポーネントのすべてのリリースが表示されます。あるいは、任意の値を入力できます。たとえば、類似した名前を持ついくつかのリリースからタスクをフォルダに入れたい場合は、左のリストボックスから TransAssembly を選択して右のボックスに 09week5* と入力します。
 - **ベースラインまたはプロジェクト グルーピング** リストボックス
参照ボタンをクリックすると、以下の選択肢が表示されます。
 - * 最新公開 (デフォルト)
 - * 最新リリース
 - * 最新テスト
 - * 固有のベースライン
 - * ビルド マネージャのプロジェクト グルーピング
 - * 開発者のプロジェクト グルーピング
3.  をクリックしてクエリを開始します。

-
4. 選択フィールドに表示されるタスクは、新しいフォルダまたはフォルダ テンプレートがコンポーネント用に集めるものを反映します。フォルダまたはフォルダ テンプレートに正しいタスク セットが入ったら、**OK** をクリックして保存します。

関連トピック

- [オブジェクトの削除](#) (プロセス ルール)
- [プロセス ルールのプロパティの修正](#)
- [目的の作成](#)
- [目的の編集](#)

プロセス ルールの設定

プロセス ルールは、プロジェクトがどのように更新されるかを指定するものです。プロジェクトの目的とリリースの組み合わせにより、プロジェクトが使用するプロセス ルールを決定します。プロセス ルールは、ルールを使用してプロジェクト グループのベースラインを選択する方法、どのタスクが集められるかを指定します。

ステップ ...

1. **タスク** メニューで**新規**をポイントし、**プロセス ルール**を選択します。

プロセス ルールの作成ダイアログボックスが表示されます。

2. **名前**フィールドにプロセス ルールの名前を入力します。
3. **詳細**フィールドにプロセス ルールの簡単な説明を入力します。
4. **目的**ボックスを使用して目的を設定します。

目的によってプロジェクトの状態が決まり、更新時に確実に正しいメンバーが選択されるようになります。目的のリストとそれぞれの用途を表示するには、参照ボタンをクリックします。

適切な目的が表示されていない場合は、プラス記号をクリックして作成できます。適切な**名前**を入力します。**概要**カラムをダブルクリックし、必要に応じてリストから目的の用途を選択して変更します。

あるいは、不要な目的を作成した場合などは、目的を削除する必要があります。

5. ベースラインの選択方法を選びます（リリースの作成またはコピー、またはリリースのプロパティの修正時にこれを行うことができます）。
6. プロセス ルールにフォルダ テンプレートを追加または削除します。

フォルダ テンプレートは、フォルダ テンプレートがクエリしたタスクを格納する 1 つまたは複数のフォルダを作成します。

プロセス ルールは、プロジェクトが更新される基準の一部としてフォルダ テンプレートを使用します。

削除するには、不要になったフォルダ テンプレートの隣のマイナス記号をクリックします。

追加するにはプラス記号をクリックして**フォルダ テンプレートの選択**ダイアログボックスを表示します。属性を入力して検索の範囲を絞るか、**すべてのフォルダ テンプレート**など定義済みクエリを使用します。

7. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [プロセスの作成](#)
- [リリースの作成またはコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (プロセス ルール)
- [目的の削除](#)
- [プロセス ルールのプロパティの修正](#)
- [リリースのプロパティの修正](#)

リリースの作業

- [よく使うリリース値の追加／削除](#)
- [リリースの作成またはコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#)（リリース）
- [リリースのアクティブ化と非アクティブ化](#)

リリースの作成またはコピー

この手順により、リリースを作成します。たとえば、ビルドマネージャは、自分のチームが新しい製品の作業を開始する用意ができたならリリースを作成します。

チームが製品の新しいバージョンの作業をしていた場合、以下の例で説明するようにビルドマネージャはリリースをコピーします。

1 週間の間に何度も複数のコンポーネント ベースラインをリリースする、コンポーネント開発室のビルドマネージャがいるとします。彼は、コンポーネントのあるバージョンのリリースが完了すると、開発チームがすぐ作業に取り掛かれるように、直ちに次のリリースを作成する必要があります。月曜の朝に彼は **siriusCore/4.3.25-006** コンポーネントをリリースし、月曜の午後には彼のチームが **siriusCore/4.3.25-007** の作業を開始している必要があります。

ビルドマネージャは、**siriusCore/4.3.25-006** リリースをコピーして新リリースの作業用とします（リリースのコピー ダイアログボックスを開くと、新リリース用のフィールドにあらかじめ **siriusCore/4.3.25-007** という値が入ります）。ビルドマネージャは、開発チームに **siriusCore/4.3.25-007** リリースの用意ができたことを伝えます。チームは、**選択の再表示**操作を行って新しいリリース値を取得し、作業を開始します。

ステップ ...

1. **タスク** メニューをクリックし、**新規**をポイントし、**リリース**を選択します。

リリースの作成ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて以下のフィールドを修正します。

以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **ベースライン リリース**

リリースを作成する場合、このオプションでリリースのベースライン リリースを設定できます。リリースをコピーする場合、コピー元のリリースをベースに自動的に表示されるベースライン リリースを変更できます。

ベースライン リリースは、ベースライン選択のセーフティ ネットとなります。これは、プロセス ルール内のベースライン検索順序を定義するときで使用できます。

たとえば、**Insulated Development (個別開発)** 目的のベースラインは、プロジェクトと同じリリースの最新の **Integration Testing (統合テスト)** ベースラインです。ただし、これがない場合、ベースライン リリースの最新のベースラインが使用されます。

具体的には、CM 6.5 のベースライン リリースは CM 6.4 SP1 です。CM 6.5 の統合テスト ベースラインがまだない場合、6.5 個別開発プロジェクトは最新の CM 6.4 SP1 ベースラインを採用します。

- **名前**

リストボックスからコンポーネント名を選択するか入力します (例、**editor**)。リリースを作成する場合、コンポーネント リリースを入力します (例、**3.2_patch**)。リリースをコピーする場合、コピー元のリリースをベースにしたコンポーネント リリースを使用するか新しいものを入力できます。

注記：コンポーネント リリースは 32 文字以内で指定します。

- **詳細**

リリースの簡単な説明です。

- **パラレル制限**

このリリースの作業を行っているチームがどのようにパラレルバージョンを使用するかを決定します。リリースをコピーする場合、コピー元のリリース値がこのボックスに表示されます。

以下のパラレル制約を設定できます。

- * パラレル チェックアウト / パラレル チェックインを許可
- * パラレル チェックアウトを許可、パラレル チェックインは禁止
- * パラレル チェックアウト / パラレル チェックインを禁止

設定を選択しないと、デフォルトの**パラレル チェックアウトを許可、パラレル チェックインは禁止**が使用されます。

3. 必要に応じてこのリリースのプロセスを追加します。

プロセスは、プロセス ルールを連動するようデザインされた名前付きのグループにまとめます。

デフォルトで、各プロセスには、リリースに使用できるプロセス ルールが含まれます。以下に、組み込まれているプロセス、プロセスルール、および目的を示します。

プロセス	プロセス ルール	目的
標準	Collaborative Development (共同開発)	Collaborative Development (共同開発)
	Custom Development (カスタム開発)	Custom Development (カスタム開発)
	Insulated Development (個別開発)	Insulated Development (個別開発)
	Integration Testing (統合テスト)	Integration Testing (統合テスト)
	Shared Development (共有開発)	Shared Development (共有開発)
	System Testing (システムテスト)	System Testing (システムテスト)
	Visible Development (可視開発)	Visible Development (可視開発)

プロセス	プロセス ルール	目的
分散型	Custom Development (カスタム開発)	Custom Development (カスタム開発)
	Insulated Development (個別開発)	Insulated Development (個別開発)
	Local Collaborative Development (ローカル共同開発)	Collaborative Development (共同開発)
	Local Integration Testing (ローカル統合テスト)	Integration Testing (統合テスト)
	Master Integration Testing (マスタ統合テスト)	Master Integration Testing (マスタ統合テスト)
	Shared Development (共有開発)	Shared Development (共有開発)
	System Testing (システムテスト)	System Testing (システムテスト)
	Visible Development (可視開発)	Visible Development (可視開発)

プロセスの選択 ボタンをクリックしてプロセス ルールの選択肢に加えます。**プロセスの選択** ダイアログボックスに使用できるプロセスが表示されます。適切なプロセスを選択して **OK** をクリックします。

リリースをコピーする場合、以前のリリースの一部であったプロセス ルールを使用できます (プロセス ルールのセットは、ユーザーがそのリリースのプロジェクトをコピーするとき使用できる目的を定義します)。

あるいは、複数のプロセス ルールを持つプロセスをコピーする場合、不要なプロセス ルールを削除することを推奨します。

4. DCM 転送を許可

データベースで DCM を使用できる場合は、このオプションが選択されています。選択されている場合、このリリースの DCM 転送セットが許可されています。選択を解除すると、このリリースの DCM 転送セットは禁止されます。

5. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [ベースラインの作成](#)
- [ベースライン プロパティの修正](#)

リリースのアクティブ化と非アクティブ化

この手順により、データベース内のリリースを[アクティブリリース](#)または[非アクティブリリース](#)にします。

旧リリースの非アクティブ化はデータベースを整理する良い方法です。ユーザーが適切な設定を探すため、アクティブリリースだけを調べれば良いので便利です。

ステップ ...

リリースを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

クエリ ダイアログボックスにリリースがアクティブか非アクティブか表示されない場合、任意の列見出しを右クリックして**アクティブ**を選択します。設定が **true** の場合はリリースがアクティブで、**false** の場合は非アクティブです。

- アクティブリリースを右クリックして**非アクティブ化**を選択します。

または

- 非アクティブリリースを右クリックして**アクティブ化**を選択します。

関連トピック

- [リリースの作成またはコピー](#)
- [オブジェクトの削除](#) (リリース)

目的の作業

- [目的の作成](#)
- [目的の削除](#)
- [目的の編集](#)

目的の作成

プロジェクトにはそれぞれ目的があります。プロジェクトの目的によってプロジェクトの状態が決まり、プロジェクトのリリースにマッピングされ、更新時に確実に正しいメンバーが選択されるようになります。

目的は、同じプロジェクトの複数の *prep* (準備) バージョン、*shared* (共有) バージョン、*working* (作業) バージョン、*visible* (可視) バージョンを、複数のテストレベルなど、用途別に設定するために使用します。

ステップ ...

1. **タスク**をクリックして**新規**をポイントし、**プロセスルール**を選択して**目的**ダイアログボックスを開きます。
プロセスルールの**作成**ダイアログボックスが表示されます。
2. 目的リストの右の参照ボタンをクリックして**目的**ダイアログボックスを開きます。
目的ダイアログボックスが表示されます。
3. 目的ダイアログボックスで、**プラス**記号をクリックして目的を追加します。
4. 新しい目的の名前を入力し、**概要**フィールドをダブルクリックして目的の用途を選択します。
5. **OK**をクリックします。

関連トピック

- [目的の削除](#)
- [目的の編集](#)

目的の削除

データベースから目的を削除すると、以下の状況が発生します。

- 削除した目的でプロジェクトのコピーおよび作成ができない。
- 削除した目的を使用する既存のプロジェクトと製品は、それらが使用するよう作成された統合テストなどの設定を保持する。
- 既存のプロジェクトと製品は、その目的を削除した目的に変更できない。
- 削除した目的のプロセスルールは削除される。

ステップ ...

1. 適切な[汎用プロセスルール](#)を右クリックし、**プロパティ**を選択して**プロセスルールプロパティ** ダイアログボックスを開きます。
プロセスルール **プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。
2. **目的**リストの右の参照ボタンをクリックして**目的**ダイアログボックスを開きます。
目的ダイアログボックスが表示されます。
3. **目的**ダイアログボックスで、削除する目的をクリックし、マイナス記号をクリックして反転表示された目的を削除します。
目的を削除するためには、所有者である必要があります。
4. **目的の削除**ダイアログボックスが表示され、目的の削除が確認されます。**OK** をクリックします。
目的を削除するには、**プロセスルールプロパティ** ダイアログボックスで **OK** または **適用** をクリックする必要があります。**キャンセル** をクリックすると、目的はデータベースに残り**目的**ダイアログボックスに表示されます。

関連トピック

- [目的の作成](#)
- [目的の編集](#)

目的の編集

この操作により、指定した目的の名前を編集します。目的は、同じプロジェクトの複数の *prep* (準備) バージョン、*shared* (共有) バージョン、*working* (作業) バージョン、*visible* (可視) バージョンを、複数のテストレベルなど、用途別に設定するために使用します。プロジェクトにはそれぞれ目的があります。プロジェクトの目的はプロジェクトの状態を決定し、プロジェクトのどのプロセスルールを使用して、更新時に正しいメンバーを選択、するかを決定します。

ステップ ...

1. 適切な[汎用プロセスルール](#)を右クリックし、**プロパティ**を選択して**プロセスルールプロパティ**ダイアログボックスを開きます。
プロセスルール **プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。
2. 目的リストの右の参照ボタンをクリックして**目的**ダイアログボックスを開きます。
目的ダイアログボックスが表示されます。
3. 必要に応じて表内の行をクリックし、もう一度**名前**列をクリックして新しい名前を入力します。
4. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [目的の作成](#)
- [目的の削除](#)

DCM の作業

- [転送セットへの オブジェクトの追加](#)

転送セットへの オブジェクトの追加

ビルド マネージャまたは DCM マネージャは、1つまたは複数のオブジェクトを選択して転送セットに追加できます。

ステップ ...

1. プロジェクト、タスク、フォルダ、フォルダ テンプレート、リリース、プロセス ルール、またはオブジェクトを右クリックして、**転送セットに追加**を選択します。

転送セット選択ダイアログボックスにデータベース内のすべての転送セットが表示されます。

オブジェクトに関連付ける 1つまたは複数の転送セットを選択できます。

2. 選択したオブジェクト履歴も転送セットに含める場合、かつそれらのオブジェクトにバージョンが付けられている場合、**選択オブジェクトの履歴を含む**をクリックします。
3. **OK** をクリックします。

関連トピック

- [リリースのプロパティの修正](#)
- [転送セットのメンバーシップの表示と修正](#)

主なビルド管理操作

プロジェクト グルーピングのプロパティの修正 | リリースの作成またはコピー | ベースラインの作成 | プロジェクトの更新 | プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決 | フォルダ テンプレートの作成

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

ビルド管理に関する一般的な質問

- 破損ビルドの修復はどのように行いますか。
- チームが使用するプロジェクトは、どのように設定しますか。
- プロジェクト内の不要な変更を取り除くには、どうすればよいですか。
- 更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。
- プロセスとは何ですか。そしてどのように使用しますか。
- フォルダはどのように作成しますか。
- 転送セットの情報を確認したいのですが、GUIには見当たりません。どこにありますか。
- オブジェクトを転送セットに追加するには、どうしたらよいですか。
- プロジェクトの開発者が世界中に分散しており、リモート Synergy チームにファイル転送する用意ができました。DCM ダイアログはどこにありますか。
- 夜中にビルドを開始するビルドスクリプトを設定するため、Rational Synergy CLI を起動するにはどうしたらよいですか。

主なベースライン作成操作

ベースラインの作成 | 新規ベースラインの選択 | 開発者にテストベースラインを公開 | ベースラインとすべてのオブジェクトのリリース

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセスルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

ベースライン作成に関する一般的な質問

- どのプロジェクトをベースラインに入れるべきですか。
- デフォルトで新しいベースラインの名前にビルド番号を入れるにはどうすればいいですか。
- 私はプロジェクトリーダーで、テスター用のベースラインが必要です。これは別のベースラインですか。
- ベースラインをビルドできません。どうしたらよいのでしょうか。
- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。

主な変更依頼エクスプローラ操作

エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化 | 保存クエリの検索メニューへの追加 | 保存クエリのエクスプローラへの追加 | エクスプローラのカスタマイズ

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセスルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

変更依頼エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Rational Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- Rational Synergy で変更依頼を確認できますか。それとも Rational Change を起動する必要がありますか。
- Rational Synergy で変更依頼を解決できますか。それとも Rational Change を起動する必要がありますか。
- 保存クエリとは何ですか。

主なエクスプローラ操作

1つ以上のエクスプローラのドッキング | エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化 | 保存クエリのエクスプローラへの追加 | 保存クエリの削除 | エクスプローラのカスタマイズ

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセスルールを設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

エクスプローラに関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

主な履歴操作

オブジェクトまたはリリースの履歴の表示 | オブジェクトまたはリリースの履歴の表示 | パラレルファイル/ディレクトリのマージ | 2つのファイルの比較

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセスルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

履歴に関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- 履歴ダイアログボックスに表示されるプロパティを変更するにはどうしたらよいですか。
- オブジェクトの履歴を最も速く表示する方法は何ですか。

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

主なメンバーシップ コンフリクト操作

プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決 | 2つのファイルバージョンのマージ | 2つのファイルの比較 | メンバーを更新して再度コンフリクト検出を行う。

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

メンバーシップ コンフリクトに関する一般的な質問

- コンフリクトの解決は必須ですか。
- プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。
- プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したいのですが、どうすればよいですか。
- Rational Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。
- 私のチームでは更新後に開発者がコンフリクトを解決する必要があります。これはどの段階でできますか。
- 深いコンフリクト検出の実行を行う理由

主なマージと比較操作

パラレル ファイル/ディレクトリのマージ | マージ結果の編集 | 2つのファイルの比較 | 2つの類似オブジェクトの比較

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

マージと比較に関する一般的な質問

- マージと比較ツールを変更するにはどうしたらよいですか。
- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。
- タスクの完了時にパラレルダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。
- マージする必要があるパラレルバージョンの所有者は、どのように探したらよいですか。

主なオプション操作

更新オプションの変更 | ワークエリアとデータベースの同期 | 必須タスクの自動追加を停止 | パターンによるファイルの無視 | ワークペインの外観の変更 | リリースエクスプローラの表示

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセスルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード
- Rational Synergy ビルドマネージャガイド

オプションに関する一般的な質問

- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。
- IDE によって作成される多数の無関係なファイルがコンフリクトとして表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- GUI のフォント サイズを変更するにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいですか。

主なパラレル操作

[パラレルバージョンの表示](#) | [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#) | [カレントタスクの完了](#)

プロジェクトの作成と更新

- [プロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [詳細 ...](#)

タスクの作業

- [タスクの選択](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [詳細 ...](#)

ファイルの検索とその他

- [オブジェクトの検索](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [詳細 ...](#)

ビルド管理の実行

- [プロセスの作成](#)
- [プロセスルールの設定](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [詳細 ...](#)

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- [Rational Change の起動](#)
- [コマンドラインからの Rational Synergy の開始](#)
- [Rational Synergy ツアーの実施](#)
- [詳細 ...](#)

ファイルの変更

- [チェックイン](#)
- [チェックアウト](#)
- [ファイルの編集](#)
- [詳細 ...](#)

プロパティの使用

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [プロパティの表示](#)
- [詳細 ...](#)

マージと比較

- [2つのファイルバージョンのマージ](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [詳細 ...](#)

インターフェイスのカスタマイズ

- [ダイアログボックスとペインのカスタマイズ](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [カラム表題部にプロパティを追加](#)
- [詳細 ...](#)

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- [Rational Synergy チュートリアル](#)
- [Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード](#)
- [Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド](#)

パラレルに関する一般的な質問

- 自分でパラレルダイアログボックスを開いていないのに、表示されました。なぜですか。
- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。
- パラレルバージョンをマージする必要があるかどうか、どのように確認できますか。
- タスクの完了時にパラレルダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。

主なリリース エクスプローラ操作

エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化 | 保存クエリの検索メニューへの追加 | 保存クエリのエクスプローラへの追加 | エクスプローラのカスタマイズ

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセスルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

リリース エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- エクスプローラに表示されるプロジェクト アイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Rational Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- 保存クエリとは何ですか。

主なワーク ペイン操作

チェックイン | チェックアウト | プロジェクトの作成 | ファイルの編集 | ファイルの移動 | 自動タブ管理

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

ワーク ペインに関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。
- ヘルプを使用するたびにアクティブ コンテンツに関するポップアップ メッセージが表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- Rational Synergy のログファイルを確認するには、どうしたらよいですか。

主なプロジェクト エクスプローラ操作

エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化 | 保存クエリの検索メニューへの追加 | 保存クエリのエクスプローラへの追加 | エクスプローラのカスタマイズ

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセスルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

プロジェクト エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- エクスプローラに表示されるプロジェクト アイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。
- 保存クエリとは何ですか。
- プロジェクト グループを作成するには、どうしたらよいですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Rational Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。

主なファイルとディレクトリのプロパティ操作

ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正 | プロパティの表示 | オブジェクトのセキュリティ設定の変更 | ユーザー プロパティのカスタマイズ

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

ファイルとディレクトリのプロパティに関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- オブジェクトのリリースを変更する必要がある、ビルド マネージャがデータベース内にリリースを作成しましたが、プロパティ ダイアログボックスに表示されません。なぜですか。
- オブジェクトのタスクのプロパティを確認するには、どうしたらよいですか。
- オブジェクトの使用箇所を確認するには、どうすればよいですか。

主なベースライン プロパティ操作

ベースライン プロパティの修正 | 新規ベースラインの選択 | 別のベースラインの使用 | プロパティの表示

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ベースライン プロパティに関する一般的な質問

- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。
- ベースラインプロジェクトのタスクを表示して不要なタスクを取り除くための、簡単な方法がありますか。
- ベースラインの比較はどのように行いますか。

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

主なフォルダ プロパティ操作

[フォルダのプロパティの修正](#) | [オブジェクトの削除 \(フォルダ\)](#) | [フォルダへのタスクの追加](#)

プロジェクトの作成と更新

- [プロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [詳細 ...](#)

タスクの作業

- [タスクの選択](#)
- [カレント タスクの完了](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [詳細 ...](#)

ファイルの検索とその他

- [オブジェクトの検索](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [詳細 ...](#)

ビルド管理の実行

- [プロセスの作成](#)
- [プロセス ルールの設定](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [詳細 ...](#)

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- [Rational Change の起動](#)
- [コマンドラインからの Rational Synergy の開始](#)
- [Rational Synergy ツアーの実施](#)
- [詳細 ...](#)

フォルダ プロパティに関する一般的な質問

- [フォルダは何に使用するのですか。](#)
- [フォルダはどのように作成しますか。](#)
- [フォルダの内容を確認するには、どうしたらよいですか。](#)
- [クエリ ベースのフォルダを手動に、あるいはその逆に変更するにはどうしたらよいですか。](#)

ファイルの変更

- [チェックイン](#)
- [チェックアウト](#)
- [ファイルの編集](#)
- [詳細 ...](#)

プロパティの使用

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [プロパティの表示](#)
- [詳細 ...](#)

マージと比較

- [2つのファイルバージョンのマージ](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [詳細 ...](#)

インターフェイスのカスタマイズ

- [ダイアログボックスとペインのカスタマイズ](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [カラム表題部にプロパティを追加](#)
- [詳細 ...](#)

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- [Rational Synergy チュートリアル](#)
- [Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード](#)
- [Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド](#)

主なフォルダ テンプレート プロパティ操作

[フォルダ テンプレートの作成](#) | [フォルダ テンプレートのコピー](#) | [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#) | [オブジェクトの削除 \(フォルダ テンプレート\)](#)

プロジェクトの作成と更新

- [プロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [詳細 ...](#)

タスクの作業

- [タスクの選択](#)
- [カレント タスクの完了](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [詳細 ...](#)

ファイルの検索とその他

- [オブジェクトの検索](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [詳細 ...](#)

ビルド管理の実行

- [プロセスの作成](#)
- [プロセス ルールの設定](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [詳細 ...](#)

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- [Rational Change の起動](#)
- [コマンドラインからの Rational Synergy の開始](#)
- [Rational Synergy ツアーの実施](#)
- [詳細 ...](#)

ファイルの変更

- [チェックイン](#)
- [チェックアウト](#)
- [ファイルの編集](#)
- [詳細 ...](#)

プロパティの使用

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [プロパティの表示](#)
- [詳細 ...](#)

マージと比較

- [2つのファイルバージョンのマージ](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [詳細 ...](#)

インターフェイスのカスタマイズ

- [ダイアログボックスとペインのカスタマイズ](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [カラム表題部にプロパティを追加](#)
- [詳細 ...](#)

他の **Rational Synergy** ドキュメントへのリンク

- [Rational Synergy チュートリアル](#)
- [Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード](#)
- [Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド](#)

フォルダ テンプレート プロパティに関する一般的な質問

- 更新時にプロジェクト グルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。
- どのプロセス ルールがフォルダ テンプレートを使用しているか確認するにはどうしたらよいですか。
- このテンプレートから作成されたフォルダを確認するにはどうしたらよいですか。
- フォルダ テンプレートのクエリをテストするにはどうしたらよいですか。

主なプロセス プロパティ操作

プロセスの作成 | プロセスのコピー | プロセスのプロパティの修正 | オブジェクトの削除 (プロセス) | プロパティの表示 | オブジェクトのセキュリティ設定の変更

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

プロセス プロパティに関する一般的な質問

- 新規リリースを作成したばかりでそのリリースのベースラインがありません。どのベースラインが選ばれますか。
- 新しいプロセスのダイアグラム URL を指定する必要がありますか。
- 新しいプロセスのプロセス ルールを設定するには、どうすればよいですか。
- 更新時にプロジェクト グループングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。

主なプロセス ルール プロパティ操作

[プロセス ルールの設定](#) | [プロセス ルールのプロパティの修正](#) | [プロパティの表示](#) | [オブジェクトの削除 \(プロセス ルール\)](#) | [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)

プロジェクトの作成と更新

- [プロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [詳細 ...](#)

タスクの作業

- [タスクの選択](#)
- [カレント タスクの完了](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [詳細 ...](#)

ファイルの検索とその他

- [オブジェクトの検索](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [詳細 ...](#)

ビルド管理の実行

- [プロセスの作成](#)
- [プロセス ルールの設定](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [詳細 ...](#)

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- [Rational Change の起動](#)
- [コマンドラインからの Rational Synergy の開始](#)
- [Rational Synergy ツアーの実施](#)
- [詳細 ...](#)

ファイルの変更

- [チェックイン](#)
- [チェックアウト](#)
- [ファイルの編集](#)
- [詳細 ...](#)

プロパティの使用

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [プロパティの表示](#)
- [詳細 ...](#)

マージと比較

- [2つのファイルバージョンのマージ](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [詳細 ...](#)

インターフェイスのカスタマイズ

- [ダイアログボックスとペインのカスタマイズ](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [カラム表題部にプロパティを追加](#)
- [詳細 ...](#)

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- [Rational Synergy チュートリアル](#)
- [Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード](#)
- [Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド](#)

プロセス ルール プロパティに関する一般的な質問

- 新しいプロセスのプロセスルールを設定するには、どうすればよいですか。
- プロジェクトが正しく更新されないのはなぜですか。
- 更新時にプロジェクト グルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。

主なプロジェクト プロパティ操作

プロジェクトの作成 | プロジェクトのコピー | デフォルトワークエリアパスの設定 | プロジェクトのプロパティの修正 | オブジェクトのセキュリティ設定の変更

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセスルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

プロジェクト プロパティに関する一般的な質問

- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。
- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。
- プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。
- プロジェクト階層内のプロジェクトだけを表示するにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトの更新プロパティを表示するにはどうしたらよいですか。

主なプロジェクト グループینگ プロパティ操作

プロジェクト グループینگにプロジェクトを追加 | プロジェクト グループینگにタスクを追加 | プロジェクト グループینگからタスクを削除 | プロジェクト グループینگのプロパティの修正 | プロジェクトまたはプロジェクト グループینگ内のメンバーシップ コンフリクトの解決

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

プロジェクト グループिंग プロパティに関する一般的な質問

- すべてを再ビルドせずにプロジェクトにいくつかのタスクを追加して再ビルドするには、どうしたらよいですか。
- タスクがビルドを破壊しており、チーム リーダーがそれをビルドに含めないよう要求しています。ビルドのこの段階で更新したくありません。どうしたらよいですか。
- ある時点以降のタスクを取り上げずにタスクのセットをビルドするにはどうしたらよいですか。

主なリリース プロパティ操作

リリースの作成またはコピー | リリースのアクティブ化と非アクティブ化 | リリースのプロパティの修正 | オブジェクトの削除 (リリース) | プロパティの表示

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセスルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

リリース プロパティに関する一般的な質問

- 新規リリースを作成したばかりでそのリリースのベースラインがありません。どのベースラインが選ばれますか。
- ダイアログボックスに残存する古いリリースは、どう処理したらよいですか。
- リリースが使用しているプロセスを移動するには、どうしたらよいですか。

主なタスク プロパティ操作

[タスクのプロパティの修正](#) | [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#) | [プロパティの表示](#) | [タスクの除外](#) | [タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除](#)

プロジェクトの作成と更新

- [プロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [詳細 ...](#)

タスクの作業

- [タスクの選択](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [詳細 ...](#)

ファイルの検索とその他

- [オブジェクトの検索](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [詳細 ...](#)

ビルド管理の実行

- [プロセスの作成](#)
- [プロセスルールの設定](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [詳細 ...](#)

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- [Rational Change の起動](#)
- [コマンドラインからの Rational Synergy の開始](#)
- [Rational Synergy ツアーの実施](#)
- [詳細 ...](#)

ファイルの変更

- [チェックイン](#)
- [チェックアウト](#)
- [ファイルの編集](#)
- [詳細 ...](#)

プロパティの使用

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [プロパティの表示](#)
- [詳細 ...](#)

マージと比較

- [2つのファイルバージョンのマージ](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [詳細 ...](#)

インターフェイスのカスタマイズ

- [ダイアログボックスとペインのカスタマイズ](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [カラム表題部にプロパティを追加](#)
- [詳細 ...](#)

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- [Rational Synergy チュートリアル](#)
- [Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード](#)
- [Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド](#)

タスク プロパティに関する一般的な質問

- タスクをコピーするにはどうしたらよいですか。
- タスクのセキュリティが設定されているプロジェクトの作業をしていますが、タスク プロパティ ダイアログボックスにセキュリティタブがありません。なぜですか。
- ビルドを破壊しているタスクはどこで修復できますか。
- タスク プロパティ ダイアログボックスで、完了する寸前のタスクに関連付けられたオブジェクトを確認していたのですが、このタスクに関連付けられるべきではないオブジェクトがいくつかありました。どうしたらよいですか。

主なクエリ操作

[クエリの定義](#) | [クエリの保存](#) | [保存クエリの実行](#) | [保存クエリの編集](#) | [保存クエリの表示](#)

プロジェクトの作成と更新

- [プロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [詳細 ...](#)

タスクの作業

- [タスクの選択](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [詳細 ...](#)

ファイルの検索とその他

- [オブジェクトの検索](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [詳細 ...](#)

ビルド管理の実行

- [プロセスの作成](#)
- [プロセスルールの設定](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [詳細 ...](#)

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- [Rational Change の起動](#)
- [コマンドラインからの Rational Synergy の開始](#)
- [Rational Synergy ツアーの実施](#)
- [詳細 ...](#)

ファイルの変更

- [チェックイン](#)
- [チェックアウト](#)
- [ファイルの編集](#)
- [詳細 ...](#)

プロパティの使用

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [プロパティの表示](#)
- [詳細 ...](#)

マージと比較

- [2つのファイルバージョンのマージ](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [詳細 ...](#)

インターフェイスのカスタマイズ

- [ダイアログボックスとペインのカスタマイズ](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [カラム表題部にプロパティを追加](#)
- [詳細 ...](#)

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- [Rational Synergy チュートリアル](#)
- [Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブモード](#)
- [Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド](#)

クエリに関する一般的な質問

- 多数のユーザーが作業をしているプロジェクトのすべての作業中バージョンを検索するには、どうしたらよいですか。
- すでに使用して一度保存したことのあるクエリはどこにありますか。
- 特定のユーザーに割り当てられたタスクを検索するクエリは何ですか。
- データベース内からプロジェクトに含まれないオブジェクトを探すにはどうしたらよいですか。

主なタスク エクスプローラ操作

タスクの作成 | カレント タスクの完了 | 自分に割り当てられたタスクの表示 | 保存クエリのエクスプローラへの追加 | エクスプローラのカスタマイズ

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

タスク エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- エクスプローラに表示されるプロジェクト アイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Rational Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- 保存クエリとは何ですか。

主なワークエリア コンフリクト操作

ワークエリアとデータベースの同期 | プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決 | 深いコンフリクト検出の実行 | ワークエリアの設定の修正

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- プロセスの作成
- プロセス ルールの設定
- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2つのファイルバージョンのマージ
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

ワークエリア コンフリクトに関する一般的な質問

- コンフリクトの解決は必須ですか。
- プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。
- プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したいのですが、どうすればよいですか。
- Rational Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。
- プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。

一般的な質問

ベースライン

- どのプロジェクトをベースラインに入れるべきですか。
- デフォルトで新しいベースラインの名前にビルド番号を入れるにはどうすればいいですか。
- 私はプロジェクトリーダーで、テスター用のベースラインが必要です。これは別のベースラインですか。
- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。
- ベースラインをビルドできません。どうしたらよいのでしょうか。
- ベースラインプロジェクトのタスクを表示して不要なタスクを取り除くための、簡単な方法がありますか。
- ベースラインの比較はどのように行いますか。

開発

- 何から始めればよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。
- ヘルプを使用するたびにアクティブコンテンツに関するポップアップメッセージが表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- オブジェクトの履歴を最も速く表示する方法は何ですか。
- タスクをコピーするにはどうしたらよいですか。
- 履歴ダイアログボックスに表示されるプロパティを変更するにはどうしたらよいですか。
- マージと比較ツールを変更するにはどうしたらよいですか。
- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。
- タスクの完了時にパラレルダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。
- マージする必要があるパラレルバージョンの所有者は、どのように探したらよいですか。
- 自分でパラレルダイアログボックスを開いていないのに、表示されました。なぜですか。
- パラレルバージョンをマージする必要があるかどうか、どのように確認できますか。
- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。

- [IDE](#) によって作成される多数の無関係なファイルがコンフリクトとして表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- [GUI](#) のフォントサイズを変更するにはどうしたらよいですか。
- [Rational Synergy](#) のログファイルを確認するには、どうしたらよいですか。
- [ccm_client.log](#) ファイルの出力先を変更するには、どうしたらよいですか。

ビルド管理

- [破損ビルドの修復はどのように行いますか。](#)
- [チームが使用するプロジェクトは、どのように設定しますか。](#)
- [プロジェクト内の不要な変更を取り除くには、どうすればよいですか。](#)
- [転送セットの情報を確認したいのですが、GUIには見当たりません。どこにありますか。](#)
- [オブジェクトを転送セットに追加するには、どうしたらよいですか。](#)
- [更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。](#)
- [プロセスとは何ですか。そしてどのように使用しますか。](#)
- [プロジェクトの開発者が世界中に分散しており、リモート Synergy チームにファイル転送する用意ができました。DCM ダイアログはどこにありますか。](#)
- [クエリ ベースのフォルダを手動に、あるいはその逆に変更するにはどうしたらよいですか。](#)
- [どのプロセス ルールがフォルダ テンプレートを使用しているか確認するにはどうしたらよいですか。](#)
- [このテンプレートから作成されたフォルダを確認するにはどうしたらよいですか。](#)
- [フォルダ テンプレートのクエリをテストするにはどうしたらよいですか。](#)

コンフリクト

- [コンフリクトの解決は必須ですか。](#)
- [プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。](#)
- [プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したいのですが、どうすればよいですか。](#)
- [Rational Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。](#)
- [私のチームでは更新後に開発者がコンフリクトを解決する必要があります。これはどの段階でできますか。](#)

エクスプローラ

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- 保存クエリとは何ですか。
- Rational Synergy で変更依頼を確認できますか。それとも Rational Change を起動する必要がありますか。
- Rational Synergy で変更依頼を解決できますか。それとも Rational Change を起動する必要がありますか。
- プロジェクト グルーピングを作成するには、どうしたらよいですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Rational Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。

プロパティ

- オブジェクトのリリースを変更する必要があり、ビルドマネージャがデータベース内にリリースを作成しましたが、プロパティ ダイアログボックスに表示されません。なぜですか。
- フォルダは何に使用するのですか。
- フォルダはどのように作成しますか。
- フォルダの内容を確認するには、どうしたらよいですか。
- 更新時にプロジェクト グルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。
- プロジェクトが正しく更新されないのはなぜですか。
- 新しいプロセスのプロセス ルールを設定するには、どうすればよいですか。
- 新しいプロセスのダイアグラム URL を指定する必要がありますか。
- 新規リリースを作成したばかりでそのリリースのベースラインがありません。どのベースラインが選ばれますか。
- ダイアログボックスに残存する古いリリースは、どう処理したらよいですか。
- リリースが使用しているプロセスを移動するには、どうしたらよいですか。
- すべてを再ビルドせずにプロジェクトにいくつかのタスクを追加して再ビルドするには、どうしたらよいですか。
- タスクがビルドを破壊しており、チーム リーダーがそれをビルドに含めないよう要求しています。ビルドのこの段階で更新したくありません。どうしたらよいですか。
- ある時点以降のタスクを取り上げずにタスクのセットをビルドするにはどうしたらよいですか。

- [タスクのセキュリティが設定されているプロジェクトの作業をしています。タスクプロパティダイアログボックスにセキュリティタブがありません。なぜですか。](#)
- [ビルドを破壊しているタスクはどこで修復できますか。](#)
- [タスクプロパティダイアログボックスで、完了する寸前のタスクに関連付けられたオブジェクトを確認していたのですが、このタスクに関連付けられるべきではないオブジェクトがいくつかありました。どうしたらよいですか。](#)
- [オブジェクトのタスクのプロパティを確認するには、どうしたらよいですか。](#)
- [オブジェクトの使用箇所を確認するには、どうすればよいですか。](#)
- [リリースに汎用プロセスルールを追加しました。ベースラインはどこで設定すればよいですか。](#)
- [プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。](#)
- [プロジェクト階層内のプロジェクトだけを表示するにはどうしたらよいですか。](#)
- [プロジェクトの更新プロパティを表示するにはどうしたらよいですか。](#)

ベースライン

- どのプロジェクトをベースラインに入れるべきですか。

Rational Synergy は、ベースラインをある時点におけるプロジェクトおよびタスクのスナップショットとして使用します。ベースラインを作成する前に、それをどのように使用するかを考える必要があります。更新操作は、「ここから開始する」という意味でベースラインを使用します。したがって、ベースラインに複数のコンポーネントのプロジェクトを入れたり、リリースのすべてのプロジェクトを入れなかったりした場合、Rational Synergy はベースラインを使用して適切に更新できなくなります。

以下の2つの例はベースラインを正しく設定する方法を示し、最後の例は誤って設定されたベースラインを示します。ベースラインを正しく使用すれば、プロジェクトの更新を効率よく行うことができます。

ベースラインは、そのリリースによって選択されます。したがって、ベースラインには一貫したリリースのプロジェクトを含むことが重要です。ベースライン内のプロジェクトは、プロジェクト グループ内のプロジェクトのベースライン プロジェクトとして使用されます。下表では、プロジェクト グループ内のすべてのプロジェクトがベースライン内のプロジェクトに対応していることに注目してください。これは、完全なベースラインの例です。

CM/6.4 ビルド 1234 のベースライン	<== ベースライン	CM/6.5 統合テストのプロジェクト グループ
cm_top-CM/6.4	<== ベースライン プロジェクト	cm_top-CM/6.5
cm_gui-CM/6.4	<== ベースライン プロジェクト	cm_gui-CM/6.5
cm_api-CM/6.4	<== ベースライン プロジェクト	cm_api-CM/6.5
cm_platform-CM/6.4	<== ベースライン プロジェクト	cm_platform-CM/6.5

下表では、複合コンポーネントの階層に2つの個別のベースラインが必要なことに注目してください。これは、正しいベースラインの例です。

CM/6.4 ビルド 1234 のベースライン	<== ベースライン	CM/6.5 統合テストのプロジェクト グループ
cm_top-CM/6.4	<== ベースライン プロジェクト	cm_top-CM/6.5
cm_gui-CM/6.4	<== ベースライン プロジェクト	cm_gui-CM/6.5
cm_api-CM/6.4	<== ベースライン プロジェクト	cm_api-CM/6.5
cm_platform-CM/6.4	<== ベースライン プロジェクト	cm_platform-CM/6.5
TC/4.6 ビルド 5678 のベースライン	<== ベースライン	TC 4.6.1 統合テストのプロジェクト グループ
change_api-TC/4.6	<== ベースライン プロジェクト	change_api-TC/4.6.1

複合コンポーネントのプロジェクトに1つのベースラインを作成すると、プロジェクトは正しくベースラインプロジェクトを見つけることができないことがあります。以下の例では、TC/4.4 リリース（表中イタリック）からのサブプロジェクトが CM/6.4 リリースのベースラインに含まれていることに注目してください。

Rational Synergy は、このプロジェクトをベースラインプロジェクトとして使用できません。なぜなら、このプロジェクトがメンバーとなっているベースラインが（たとえば **CM/6.4 ビルド 1234 のベースライン**）、これをベースラインプロジェクトとして使用するどのプロジェクト グループ（たとえば、**TC 4.6.1 統合テストのプロジェクト グループ**）からも選択されないからです。また、両方のリリースのタスクがベースラインに含まれることとなります。

ベースライン内のすべてのタスクがベースライン内のすべてのプロジェクトから使用されない場合、それらのタスクは更新時にプロジェクト グループに差し引かれることはありません。理想的には、更新操作で選択される新しいプロジェクトメンバーは以下のように集められます。

- Rational Synergy が、プロセス ルールで指定されたすべてのタスクを集める。
- Rational Synergy が、ベースラインからすべてのタスクを差し引く。

ベースライン内の1つまたは複数のプロジェクトが使用していないタスクがベースライン内にある場合、Rational Synergy はこれを検出して、更新に使用するタスクを計算するときにこれを差し引きません。

下表では、最初の行の **change_api-TC/4.4** は別のコンポーネントのものであり、CM/6.4 ベースラインに入れるべきではありません。この行があるため、それに関連するすべてのタスクもベースラインの一部となり、CM/6.4 または TC/4.4 のタスクはベースライン内のすべてのプロジェクトによって使用されないため、どのタスクも差し引かれません。これはパフォーマンスに悪影響を及ぼします。

- 更新は、ベースラインプロジェクト内の対応するオブジェクトとプロジェクト グループ プロパティ内のタスクをもとに、プロジェクトの各メンバーの候補を選択します。対象となる候補は、ベースラインプロジェクト内のオブジェクトと上記のように集められたタスクに関連するそのオブジェクトの任意の新バージョンです。

下表で最初の列が欠落しているのは、**TC 4.6.1 統合テストのプロジェクト グループ**のベースラインが見つからないことを意味します。ベースラインがないため、**change_api-TC/4.6.1** のベースラインプロジェクトはありません。これは、プロジェクトの更新時に得られると期待していたメンバーを得られないことを意味します。

これは、誤ったベースラインの例です。

CM/6.4 ビルド 1234 の ベースライン	<== ベースライン	CM/6.5 のプロジェクト グルーピング
cm_top-CM/6.4	<== ベースラインプロジェクト	cm_top-CM/6.5
cm_gui-CM/6.4	<== ベースラインプロジェクト	cm_gui-CM/6.5
cm_api-CM/6.4	<== ベースラインプロジェクト	cm_api-CM/6.5
cm_platform-CM/6.4	<== ベースラインプロジェクト	cm_platform-CM/6.5
change_api-TC/4.4		
欠落	<== ベースライン	TC 4.6.1 統合テストのプロ ジェクトグルーピング
なし	<== ベースラインプロジェクト	change_api-TC/4.6.1

- デフォルトで新しいベースラインの名前にビルド番号を入れるにはどうすればいいですか。

オプション ダイアログボックスで**バージョン テンプレート** ベースライン作成オプションを変更することができます。詳細については、[ベースライン作成オプションの変更](#)を参照してください。

- 私はプロジェクト リーダーで、テスター用のベースラインが必要です。これは別のベースラインですか。

その場合は、テスト ベースラインを作成する必要があります。テスト ベースラインは作成時に公開されません。テスト ベースライン作成の詳細については、[ビルドのスナップショットの作成](#)を参照してください。

- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。

ベースライン プロパティ ダイアログボックスを使用して、公開済みのベースラインの名前を変更できます。詳細については、[ベースラインプロパティの修正](#)を参照してください。

- ベースラインをビルドできません。どうしたらよいのでしょうか。

ベースラインを作成するためには、開発者に自分の完了タスクをテストして修復させる必要があります。これは、代替的な手法です。他の手法の説明については、[ベースラインなしの再ビルド](#)を参照してください。

- ベースライン プロジェクトのタスクを表示して不要なタスクを取り除くための、簡単な方法がありますか。

ベースラインがテスト ベースラインなら、公開しないでください。

タスクが公開ベースラインなら、ベースラインに削除のマークを付ける必要があります。

ベースラインを右クリックし、**削除**を選択します。**削除**ダイアログボックスが表示され、ベースラインに削除用のマークを付けることができます。

削除用にマークされたベースラインを削除できるのは、**CM** アドミニストレータのみです。ただし、**CM** アドミニストレータが削除マークの付いたベースラインを自動的に削除するよう設定している場合は、削除マークが付けられたベースラインは自動的に削除されます。削除マークを付けるベースラインを本当に削除してよいか確認してください。

- ベースラインの比較はどのように行いますか。
 1. ベースラインを右クリックし、**比較**を選択します。
 2. **ベースライン選択**ダイアログボックスで比較するベースラインを選択して、**OK**をクリックします。

ベースライン比較ダイアログボックスに2つのベースラインの相違点と類似点が表示されます。

ビルド管理

- 破損ビルドの修復はどのように行いますか。
ビルドが破損した場合、以下のいずれかのことを行う必要があります。
 - 破損する前にビルドが完了しており、ベースライン ビルドを設定している場合は、[破損ビルドの修復](#)を参照してください。
 - ビルドを完了したことがなく、ベースライン ビルドがない場合は、[ベースラインなしの再ビルド](#)を参照してください。
- チームが使用するプロジェクトは、どのように設定しますか。
ビルド マネージャは、ソフトウェア製品をビルドして管理するためにチームが使用する作業フローの責任があります。作業フローの中には、プロジェクトの設定のほか、以下の作業が含まれます。
 - ソフトウェアの初期バージョンからベースラインを作成する。
 - ソフトウェア構造の体系化と精微化を行う。
 - テストおよびステージング用ビルド管理プロジェクトを設定する。
 - プロセスルールとフォルダテンプレートの設定とメンテナンスを行う。
 - 開発者からソフトウェア変更を収集し、テスト エリアをビルドする。
 - **Rational Change** のレポートを生成し、ビルドに含まれる／含まれない機能とタスクを調べる。
 - 顧客リリースなどの重要なマイルストーンでソフトウェアを凍結する。
 - チームで使用する構成情報（プラットフォーム値やリリース値など）を設定する。
 - 開発者へ最新の変更を公開する。
 - 不要となったベースラインを削除する。
 - 問題を特定して修正タスクを作成するため、旧ソフトウェア リリースを再作成する。

この一覧は、ビルド管理における責任項目を簡単にまとめたものです。各項目にはそれぞれ特定の作業が含まれます。『[ビルド マネージャ ガイド](#)』ではそのすべてについて詳しく説明します。
- プロジェクト内の不要な変更を取り除くには、どうすればよいですか。
コンフリクトは、以下の2種類に分類できます。
 - プロジェクトにあるが更新プロパティにない変更。たとえば、新しいオブジェクトバージョンを、そのタスクを更新プロパティに追加せずに使用すると、オブジェクトにはコンフリクトが生じます。
 - 更新プロパティにあるがプロジェクトにない変更。たとえば、プロジェクトの更新プロパティに、同一オブジェクトの平行バージョンに関連付けられている2つ

のタスクがある場合、プロジェクトのメンバーでないバージョンにはコンフリクトが生じます。

これらの問題の修復については、[プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください。

- オブジェクトを転送セットに追加するには、どうしたらよいですか。

プロパティ ダイアログボックスの**転送セット** タブを使用するか、1つまたは複数のオブジェクトを選択して**アクション** メニューから**転送セットに追加**を選択することで、1つまたは複数のオブジェクトを転送セットに追加できます。詳細な手順については、[転送セットのメンバーシップの表示と修正](#)および[転送セットへの オブジェクトの追加](#)を参照してください。

- 転送セットの情報を確認したいのですが、GUI には見当たりません。どこにありますか。

データベースが DCM を使用するようにデータベースが初期化されているだけでは、**転送セット** オプションはデフォルトで表示されません。ビルド マネージャまたは DCM マネージャが、データベースでこのオプションが表示されるように設定できます。詳細な手順については、[転送セット オプションの表示](#)を参照してください。

- 更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。

以下の項目を順序どおりに確認してください。

1. プロジェクトのプロセス ルールで以下を確認します。
 - * フォルダ テンプレートのタスク クエリが正しいこと。
 - * このプロセス ルールに正しいフォルダまたはフォルダ テンプレートが含まれていること (プロジェクトのフォルダまたはフォルダテンプレートが正しくない場合、プロセス ルールを更新する必要があるかもしれません)。
 - * ベースラインが設定されていること。
2. **verbose** オプションを使用して更新操作を実行します。 **verbose** オプションにより、分析する候補の詳細情報が得られます。各候補のスコアとそのスコアの根拠が表示されます。得られた情報を使用してトラブルシューティングを行います。
3. プロジェクト グルーピングのプロパティを確認します。

自動更新をオフにしていた場合は、オンに戻す。

 - * タスクを一時的に移動していた場合は、それを元に戻したか確認する。
 - * タスクを手動で追加した場合は、そのタスクを保持したいか確認する。
 - * ベースラインプロジェクトが設定されているか確認する。
4. プロセス ルールを比較して正しく設定されていることを確認します。

-
- a. プロジェクトまたはプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロセスルール プロパティ**を選択します。
 - b. **プロセスルール プロパティ** ダイアログボックスで、オブジェクトメニュー（左上の角）をクリックし、**プロセスのプロセスルールと比較**を選択します。
5. 問題があるプロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。ベースラインプロジェクトが適切であることを確認します。
 6. **固有ベースライン**が設定された**汎用プロセスルール**を使用しており、それをリリースに追加した場合、プロセスルールのベースラインを指定する必要があります。指定しないと、そのプロセスルールを使用するプロジェクトグループにベースラインが設定されず、正しく更新されません。**プロセスルール プロパティ** ダイアログボックスでベースラインを指定します（詳細については、[プロセスルールのプロパティの修正](#)を参照してください）。

これらの手順は、更新の最も一般的な問題を探すのに役立ちます。引き続き選択問題が発生する場合、『[ビルドマネージャガイド](#)』の「選択時の問題の診断」および「プロセスルールの確認」を参照してください。

- プロセスとは何ですか。そしてどのように使用しますか。
プロセスは、プロジェクトの更新方法を定義するプロセスルールと目的の集まりです。たとえば、POC/1.0 リリースは、**Integration Testing**（統合テスト）目的を使用する標準プロセスを使用します。
プロセス（システムまたはカスタム）の使用方法に関わらず、開発者はプロセスやプロセスルールを設定しません。プロジェクトの目的だけを設定します。
プロセスの詳細については、[プロセスの作業](#)を参照してください。
- プロジェクトの開発者が世界中に分散しており、リモート **Synergy** チームにファイル転送する用意ができました。**DCM** ダイアログはどこにありますか。
Rational Synergy 7.1a には、**DCM** ダイアログボックスはありません。**DCM** 機能を使用するには、**Rational Synergy Classic** を起動する必要があります。
- 夜中にビルドを開始するビルドスクリプトを設定するため、**Rational Synergy CLI** を起動するにはどうしたらよいですか。
> ccm start -nogui
- クエリ ベースのフォルダを手動に、あるいはその逆に変更するにはどうしたらよいですか。
 1. フォルダを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
 2. **タスク** タブをクリックします。
フォルダがクエリ ベースで手動にしたい場合、**手動**をクリックします。手動に設定されたフォルダをクエリ ベースにしたい場合、**クエリ使用**をクリックし、クエリを設定します。

- 3. 必ず、適用をクリックして変更を保存してください。**
- どのプロセス ルールがフォルダ テンプレートを使用しているか確認するにはどうしたらよいですか。
フォルダ テンプレートを右クリックし、**検索**をポイントし、**使用しているプロセス ルール**を選択します。
 - このテンプレートから作成されたフォルダを確認するにはどうしたらよいですか。
フォルダ テンプレートを右クリックし、**検索**をポイントし、**すべてのフォルダ**を選択します。
 - フォルダ テンプレートのクエリをテストするにはどうしたらよいですか。
 1. フォルダ テンプレートを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
 2. **フォルダ プロパティ** タブでクエリを変更し、 をクリックします。
テスト値を選択ダイアログボックスが表示されます。
 3. キーワードの値を入力し、**OK** をクリックします。

コンフリクト

- コンフリクトの解決は必須ですか。

プロジェクトをビルドする前にコンフリクト解決を実行するのは必須ではありませんが、解決した方がよいでしょう。

コンフリクトの解決は、ビルドの前に問題を取り除くのに役立ちます。これにより、ビルドの失敗やアプリケーションの実行不能の原因となる問題を修正することができます。

開発者がコンフリクトを表示するのは、プロジェクトに問題を起こすパラレルバージョンや他のコンフリクトが含まれる疑いがあるような場合です。

すべての完了タスクを統合する前に問題を探してチームリーダーまたは開発者に修正を依頼できるように、ビルドマネージャはビルド管理プロジェクトを更新した後、ビルドを行う前に毎回コンフリクト検出を実行します。

コンフリクトの解決については、[プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください。

- プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。

フィルタ機能により、表示する条件を選び、残りの条件を除外できます。[プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)の「各コンフリクトの適切な解決方法を決定します。」を参照してください。

また、Java 正規表現を使用して表示される条件をさらにフィルタすることもできます。[パターンマッチングと Rational Synergy](#) を参照してください。

- プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したいのですが、どうすればよいですか。

大規模なプロジェクトには特別なニーズがあります。たとえば、Rational Synergy は 24 種類のコンフリクトを検出でき、ほとんどがデフォルトで表示されます。しかし、必ずしもすべてのデフォルト コンフリクトがチームにとって都合が悪いわけではありません。したがって、意味のあるコンフリクトと無意味なコンフリクトを決定し、CM アドミニストレータにデフォルトを変更するよう (`conflict_parameters` モデル属性を変更して) 依頼できます。

コンフリクトをカスタマイズした後、コンフリクト検出を実行すると、チームが解決すべきコンフリクトだけが表示されます。大規模なプロジェクトでは、表示するコンフリクトのカスタマイズによって時間と労力を節約できます。

詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)の「大規模コンフリクト検出」を参照してください。

- Rational Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。

いいえ。コンフリクトのすべてが悪いとは限りません。Rational Synergy は 24 種類のコンフリクトを検出でき、ほとんどがデフォルトで表示されます。コンフリクトを

解決する前に、必ずビルド マネージャに解決すべきコンフリクトを確認してください。

- 私のチームでは更新後に開発者がコンフリクトを解決する必要があります。これはどの段階でできますか。

最も簡単な方法は、コンフリクト検出を自動化することです。このためには、オプション ダイアログボックスの**プロジェクト更新後にメンバシップコンフリクトを検出**オプションを選択します。手順については、[更新オプションの変更](#)を参照してください。

開発

- 何から始めればよいですか。

Rational Synergy を使い始めたばかりで、まだマニュアルも読んでいない場合は、『[Rational Synergy の紹介](#)』から『[Rational Synergy チュートリアル](#)』までお読みください。

すぐに作業を開始してタスクを完了する必要がある場合は、[Rational Synergy の開始](#)をお読みください。このセクションでは、すぐに Rational Synergy の使用を開始するために必要なステップを示しています。

- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいですか。

プロジェクトやファイルを囲む線は「加線」といいます。加線の説明は、[加線の色](#)を参照してください。加線色を変更する方法については、[インターフェイスの色の変更](#)を参照してください。

- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。

プロジェクトを探す最も速い方法は、[プロジェクト](#) エクスプローラを使用する方法です。[プロジェクト](#) エクスプローラの使い方については、[ワーク ペインでプロパティを表示](#)を参照してください。

- ヘルプを使用するたびにアクティブ コンテンツに関するポップアップ メッセージが表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。

Windows XP Service Pack 2 によって、デフォルトのセキュリティ設定が変更されます。その結果、スクリプトや Active X コントロールなどアクティブ コンテンツについて、Internet Explorer から制限に関するポップアップ メッセージが表示されることがあります。

このコンテンツの表示を許可するには、以下の手順を行います。

1. Internet Explorer を開きます。
2. ツール > インターネット オプション > 詳細設定タブを開きます。
3. セキュリティ セクションまでスクロールします。
4. **マイコンピュータのファイルでのアクティブ コンテンツの実行を許可する** ボックスのチェックをオンにします。
5. **OK** をクリックします。

- タスクをコピーするにはどうしたらよいですか。

任意のタスクを右クリックし、[タスクのコピー](#)を選択します。フィールドの入力については、[タスクのコピー](#)を参照してください。

- オブジェクトの履歴を最も速く表示する方法は何ですか。

オブジェクトを右クリックし、[履歴](#)を選択します。

- 履歴ダイアログボックスに表示されるプロパティを変更するにはどうしたらよいですか。

履歴ダイアログボックスの空白の部分を右クリックして属性を選択します。

- マージと比較ツールを変更するにはどうしたらよいですか。

Rational Synergy のマージ ツール、比較ツール、またはエディタの変更については[デフォルトアプリケーションツールの変更](#)を参照してください。

Windows および UNIX のデフォルトのマージと比較ツールは SiberMerge です。デフォルト エディタは、Windows ではメモ帳、UNIX では vi です。

- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。

マージは、チームが要求する場合にのみ必要です。タスクを完了するときの平行バージョンのデフォルト設定をプロジェクト リーダー、ビルド マネージャ、または CM アドミニストレータに確認してください。

チームがマージを要求せず、自分が平行バージョンを所有する開発者で、チーム内で最初に平行をチェックインする場合、後でマージが必要になる場合とない場合があります (マージできるのは、チェックインしたバージョンのみです。平行バージョンが他に 1 つしかなく、それが作業中の状態にある場合、他の開発者はタスクを完了した時点で変更をあなたのバージョンとマージする必要があります。マージは、平行バージョンのチェックイン後直ちに行うか、あるいは後で行うこともできます。2 つ以上のバージョンがある場合、後で平行バージョンをマージする必要があるかもしれません。これは、他のバージョンの状態に依存します)。

チームがマージを要求せず、自分が平行バージョンを所有する開発者で、チーム内で最後に平行をチェックインする場合、後でマージすることが可能です。

マージすべき平行バージョンがあることを覚えておくには、マージする必要があるバージョンの**履歴**ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、他の平行のバージョンと状態を監視できます。

- タスクの完了時に平行ダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。

平行ダイアログボックスを開く方法については、[平行バージョンの表示](#)を参照してください。

- マージする必要がある平行バージョンの所有者は、どのように探したらよいですか。

バージョンを右クリックし、**履歴**を選択すると**履歴**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、オブジェクトの所有者を確認できます。バージョンを右クリックし、**プロパティ**を選択して**プロパティ**ダイアログボックスを開いても、所有者を確認できます。

- 自分で平行ダイアログボックスを開いていないのに、表示されました。なぜですか。

オブジェクト内に平行があると、Rational Synergy は、**平行**ダイアログボックスを開いて知らせます。これは、解決すべき平行が存在するのに気付かないことがあるからです。詳細については、[平行バージョンの表示](#)を参照してください。

-
- パラレルバージョンをマージする必要があるかどうか、どのように確認できますか。
履歴ダイアログボックスを使用して、パラレルの履歴を表示します (詳細については、[オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)を参照してください)。

- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。
ワークエリアのメンテナンスをオフにしてプロジェクトをコピーした場合、それをオンにする必要があります。その後 Rational Synergy が自動的にプロジェクトを同期します。

- IDE によって作成される多数の無関係なファイルがコンフリクトとして表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。

Rational Synergy に無関係なファイルを無視するよう設定できます。[パターンによるファイルの無視](#)を参照してください。

- GUI のフォント サイズを変更するにはどうしたらよいですか。
すべてのエクスプローラ、ペイン、ダイアログボックスに表示されるテキストのフォント サイズを変更するには、[フォントタイプとサイズの変更](#)を参照してください。

- Rational Synergy のログファイルを確認するには、どうしたらよいですか。

Rational Synergy セッションを開いている場合は、ヘルプメニューから**ログの検索**を選択します。

Rational Synergy セッションを開いていない場合、Windows では Rational Synergy のログは `drive:\Documents and Settings\Administrator\Application Data\IBM Rational\Synergy` にあります。

UNIX では Synergy のログは、ホーム ディレクトリにあります。

または、Rational Synergy の起動時にエラー メッセージ (例、無効なユーザー名、またはパスワード) が表示された場合、エラー メッセージの後のアクティブな**ログの検索**リンクをクリックしてすべての `ccm` ログを表示します。

- `ccm_client.log` ファイルの出力先を変更するには、どうしたらよいですか。

ccm_client.log (ユーザー インターフェイス ログ) ファイルの出力先を Windows プロファイル ディレクトリ (Windows ユーザー) またはホーム ディレクトリ (UNIX ユーザー) 以外に変更できます。このためには、**ccm.user.properties** ファイル内の **user.default.logfile** キーを以下のように設定します。

1. プロパティ ファイルを開きます。

Windows ユーザーの場合、このファイルは **ccm.user.properties** という名前で、Windows プロファイル ディレクトリにあります。

UNIX ユーザーの場合、このファイルは **ccm.user.properties** という名前で、ホーム ディレクトリにあります。

- ログ ファイルの出力先を **C:\cmsgsynergy\synint\bob** に変更するには、以下のよう指定します。

```
user.default.logfile=C:\cmsgsynergy\synint\bob\ccm_client.log
```

- **int** という名のデータベースのログファイル（主に複数のデータベースを使用している場合）の名前を変更するには、以下のように指定します。

```
user.default logfile=C:\¥¥cmsynergy¥¥bob¥¥ccm_client_int.log
```

2. ファイルを保存して終了します。

user.default.logfile キーを使用する場合、上記の例のようにフルパスとファイル名を使用する必要があります。

また、Windows のパスはダブル円記号を使用して入力する必要があります。

- データベース内からプロジェクトに含まれないオブジェクトを探すにはどうしたらよいですか。

以下の手順を実行します。

1. **検索**メニューから**オブジェクト**を選択して、**クエリ** ダイアログボックスを開きます。

2. リストボックスから**カスタム**を選択して、次の文字列を入力します。

```
not is_bound() and type!='project' and has_attr('source')
```

3.  をクリックします。

結果フィールドにすべての結果が表示されます。

- 多数のユーザーが作業をしているプロジェクトのすべての作業中バージョンを検索するには、どうしたらよいですか。

クエリを実行できます。詳細については、[オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)を参照してください。

- すでに使用して一度保存したことのあるクエリはどこにありますか。

詳細については、[保存クエリの実行](#)を参照してください。

- 特定のユーザーに割り当てられたタスクを検索するクエリは何ですか。

ユーザーに割り当てられたタスクをクエリする代わりに、特定の担当者を持つタスクをクエリします。

クエリ ダイアログボックスで、**担当者で検索**を選択し、担当者の名前を設定し、 をクリックします。

エクスプローラ

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。

エクスプローラを開始すると、スライド ペインに表示されます。エクスプローラを表示するペインは、**ワーク** ペインの一部にスライドして表示されます。**ワーク** ペイン内のオブジェクトまたはプロジェクト タブをクリックすると、エクスプローラがスライドして戻ります。再表示するには、もう一度エクスプローラ ボタンをクリックする必要があります。

エクスプローラが閉じないようにするには、[1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)を参照してください。

- エクスプローラに表示されるプロジェクト アイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。

プロジェクト アイコンの色は、**オプション** ダイアログボックスで変更する必要があります。説明については、[インターフェイスの色の変更](#)を参照してください。

- 保存クエリとは何ですか。

保存クエリとは作成して保存したクエリです (もう 1 つのタイプのクエリは、**自分のプロジェクト**、**自分に割り当てられたタスク** など、システムが保存したクエリです)。

- Rational Synergy で変更依頼を確認できますか。それとも Rational Change を起動する必要がありますか。

Rational Synergy で行うことができます。詳細については、[割り当てられた変更依頼の表示](#)を参照してください。

- Rational Synergy で変更依頼を解決できますか。それとも Rational Change を起動する必要がありますか。

Rational Synergy で行うことができます。詳細については、[変更依頼の解決](#)を参照してください。

- プロジェクト グループングを作成するには、どうしたらよいですか。

Rational Synergy は、プロジェクトに付与された設定からプロジェクト グループングを作成します。プロジェクトを作成するときは、リリースと目的を設定します。Rational Synergy はプロジェクトを作成またはコピーした後、新しいプロジェクトをいずれかのプロジェクト グループングのメンバーにします。対応するプロジェクト グループングを持たないプロジェクトを作成またはコピーすると、Rational Synergy は新しいプロジェクト グループングを作成してそこにプロジェクトを入れます。

たとえば、プラットフォーム固有のプロジェクトに固有の名前を付ける必要がある場合、一意な名前の新しいプロジェクトを作成すると、Rational Synergy はその一意な名前を持つ適切なプロジェクト グループングを作成します。以下にその基本的な手順を説明します。

1. プロジェクトを作成し、プラットフォームごとに固有の名前を付けます。

2. 各プラットフォームの新規プロジェクトごとに、**コピー**と**貼り付け**を行い、プラットフォームの既存プロジェクトをサブプロジェクトとして追加します。
 3. 最上位のグルーピング プロジェクトを作成します。
 4. 最上位のグルーピング プロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
 5. **OK** をクリックします。
 6. **コピー**と**貼り付け**を行って、各プラットフォームの新規プロジェクトを最上位のグルーピング プロジェクトに追加します。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
一度に表示できるエクスプローラは一種類のみですが、一度に4つのエクスプローラすべてを表示（およびドッキング）できます。
 - Rational Synergy を再起動したとき4つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
Rational Synergy は設定を保存しているため、そのとおりにエクスプローラを表示します。

プロパティ

- オブジェクトのリリースを変更する必要があり、ビルドマネージャがデータベース内にリリースを作成しましたが、プロパティ ダイアログボックスに表示されません。なぜですか。

データベースの開始後に値が変わります。セッションの開始後に追加した新しい選択を確認するには、セッション中に[プロパティ](#) ダイアログボックスで選択を最新の状態に更新するか ([セッション中に選択を最新の状態に更新](#)を参照してください) データベースを再起動します。

- フォルダは何に使用するのですか。

フォルダは、名前を付けたタスク グループのことです。フォルダは、フォルダ テンプレートがクエリしたタスクを格納します。

- フォルダはどのように作成しますか。

フォルダは、作成するかコピーします ([フォルダの作成](#)または[フォルダのコピー](#)を参照)。また、フォルダ テンプレートを作成することもできます ([フォルダ テンプレートの作成](#)を参照してください)。フォルダ テンプレートは、1つまたは複数のフォルダを作成するパターン (テンプレート) を作成します。

- フォルダの内容を確認するには、どうしたらよいですか。

Rational Synergy では、いくつかの場所でこの情報を確認できますが、最も簡単に探す方法は以下のとおりです。

1. **クエリ** ダイアログボックスを使用して内容を確認したいフォルダを検索します。フォルダを右クリックし、**表示**を選択します。
ワーク ペインにフォルダのプロパティが表示されます。
 2. **タスク** タブをクリックしてフォルダに含まれるタスクを表示します。
 3. 選択肢の中で、任意のタスクの隣のプラス記号をクリックして特定のタスクに関連するオブジェクトを表示します。
- 更新時にプロジェクト グルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。

プロパティ ダイアログボックスで、フォルダ テンプレート、リリース、プロセス、またはプロセス ルールを管理しているデータベースのリストを確認できます。フォルダ テンプレート、リリース、プロセス、またはプロセス ルールを修正するには (たとえば、更新時にプロジェクト グルーピングに含めるオブジェクトを変更するなど)、それらが管理データベース内になければなりません。

以下の任意のダイアログボックスで、**修正可能 DB** 設定を変更できます。

- [フォルダ テンプレートのプロパティの修正](#)
- [プロセスのプロパティの修正](#)
- [プロセス ルールのプロパティの修正](#)
- [リリースのプロパティの修正](#)

- リリースに[汎用プロセスルール](#)を追加しました。ベースラインはどこで設定すればよいですか。
詳細については、[プロセスルールのプロパティの修正](#)を参照してください。
- プロジェクトが正しく更新されないのはなぜですか。
プロセスルールプロパティ ダイアログボックスでベースライン設定を確認してください。ベースラインが正しく設定されていることを確認してください。正しく設定されている場合は、[更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。](#)を参照してください。
- 新しいプロセスのプロセスルールを設定するには、どうすればよいですか。
[プロセスのプロパティの修正](#)を参照してください。**プロセスルール** タブを使用してプロセスルールを設定してください。
- 新しいプロセスのダイアグラム URL を指定する必要がありますか。
プロセスのダイアグラムへの URL の指定は必須ではありませんが、新しいユーザーがプロセスを理解するために役立ちます。
- 新規リリースを作成したばかりでそのリリースのベースラインがありません。どのベースラインが選ばれますか。
リリースを作成すると、そのリリースはベースとするリリースを指定します。新しいリリースにベースラインが作成されていない場合、標準プロセスはベースラインリリースを使用してベースラインを検索します。
リリースプロパティ ダイアログボックスの**プロパティ** タブを使用してベースラインリリースを確認します。
- ダイアログボックスに残存する古いリリースは、どう処理したらよいですか。
それらを非アクティブ化できます。これによりダイアログボックスに表示されなくなりますが、データベースからは削除されません。
[リリースのプロパティの修正](#)を参照して古いリリースを非アクティブ化してください。**リリースプロパティ** ダイアログボックスの**プロパティ** タブで、非アクティブ化したいリリースについて**アクティブ** チェックボックスを選択解除します。
あるいは、大量のリリースを非アクティブ化する必要がある場合は、**クエリ**ダイアログボックスでリリースをクエリしてからリリースを右クリックして**非アクティブ化**を選択できます。
- リリースが使用しているプロセスを移動するには、どうしたらよいですか。
以下の手順を完了する必要があります。
 1. 新開発フェーズでチームが使用する内部プロセス、ホットリストについて考えます。開発のこの段階でリリースがサポートする各目的に対してホットリストプロセスルールを作成します ([プロセスルールの設定](#)を参照してください)。
 2. リリースに新しいプロセスルールを追加します ([リリースのプロパティの修正](#)を参照してください)。

-
3. 最上位プロジェクトを更新します ([プロジェクトの更新](#)を参照してください)。
 4. 開発者にプロジェクトを更新するように伝えます。
- すべてを再ビルドせずにプロジェクトにいくつかのタスクを追加して再ビルドするには、どうしたらよいですか。
追加したいタスクがわかったら、[プロジェクト グループिंगのプロパティの修正](#)を参照してください。以下の手順を実行します。
 1. 適切なプロジェクト グループिंगを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
 2. **プロジェクト グループिंग プロパティ** ダイアログボックスの**プロパティ** タブで、**自動更新**チェックボックスを選択解除してから**適用**をクリックします。
 3. **タスク** タブで、**手動で追加されたタスク** テーブルの下でプラス記号をクリックしてタスクを追加します。**タスク選択**ダイアログボックスを使用して追加するタスクを選択します。
 4. [プロジェクトの更新](#)を参照してください。
 5. 再ビルドします。
 - タスクがビルドを破壊しており、チーム リーダーがそれをビルドに含めないよう要求しています。ビルドのこの段階で更新したくありません。どうしたらよいですか。
[プロジェクト グループिंगのプロパティの修正](#)を参照してください。以下の手順を実行します。
 1. 適切なプロジェクト グループिंगを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
 2. **プロジェクト グループिंग プロパティ** ダイアログボックスの**プロパティ** タブで、**自動更新**チェックボックスを選択解除してから**適用**をクリックします。
 3. **タスク** タブで、**ベースラインで処理されたタスク** テーブルでタスクを右クリックし、**プロジェクトグループングから削除**を選択します。削除するタスクが**手動で追加されたタスク** テーブルにある場合は、タスクを選択してテーブルの右のマイナス記号をクリックします。

タスクは除外するのではなく、必ずプロジェクト グループングから削除してください。タスクをプロジェクト グループングから削除することで、それがビルドの一部になるのを防ぎます。しかし、修正する必要がある場合、開発者など他の人が使用できるようになります。タスクを除外した場合は、他の人も使用できません。
 4. [プロジェクトの更新](#)を参照してください。
 5. 再ビルドします。
 - ある時点以降のタスクを取り上げずにタスクのセットをビルドするにはどうしたらよいですか。
以下の手順を実行します。
 1. 適切なプロジェクト グループングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
-

2. **プロジェクト グループینگ プロパティ** ダイアログボックスの**プロパティ** タブで、**自動更新**チェックボックスを選択解除してから**適用**をクリックします。
 3. プロジェクト グループینگ内の他のプロジェクトのビルドと更新を続けます。
 4. ビルドの完了時または再ビルド時に**自動更新**を設定します。
- タスクのセキュリティが設定されているプロジェクトの作業をしていますが、タスク プロパティ ダイアログボックスにセキュリティ タブがありません。なぜですか。
セキュリティ タブを表示するよう設定する必要があります。[プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示](#)を参照してください。
 - ビルドを破壊しているタスクはどこで修復できますか。
修復は、**タスク プロパティ** ダイアログボックスを使用して行います。手順については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。
 - タスク プロパティ ダイアログボックスで、完了する寸前のタスクに関連付けられたオブジェクトを確認していたのですが、このタスクに関連付けられるべきではないオブジェクトがいくつかありました。どうしたらよいですか。
タスクに関連付けるべきではない各オブジェクトを選択し、テーブルの右のマイナス記号をクリックします。オブジェクトがタスクから削除されます。
 - オブジェクトのタスクのプロパティを確認するには、どうしたらよいですか。
オブジェクトを右クリックして**プロパティ**を選択します。
 - オブジェクトの使用箇所を確認するには、どうすればよいですか。
オブジェクトを右クリックして**検索**をポイントし、オブジェクトが使用されているプロジェクトのタイプを、プロジェクト、フォルダ、プロジェクト グループینگ、ベースラインから選択します。
 - プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。
プロジェクトを右クリックし、**エクスプローラ**を選択します。
 - プロジェクト階層内のプロジェクトだけを表示するにはどうしたらよいですか。
ワーク ペインでオブジェクトを開き、**階層**タブをクリックします。
 - プロジェクトの更新プロパティを表示するにはどうしたらよいですか。
プロジェクトを右クリックし、**プロジェクト グループینگ プロパティ**を選択します。

用語解説

- Change、[Rational Change](#) を参照
- [DCM](#)
- [Rational Change](#)
- [アクティブリリース](#)
- [インスタンス](#)
- [インライン差分](#)
- [オブジェクト](#)
- [カレントタスク](#)
- [間接メンバー](#)
- [管理製品](#)
- [共通祖先](#)
- [クエリ](#)
- [グルーピングプロジェクト](#)
- 検索、[クエリ](#)を参照
- [更新](#)
- [更新テンプレート](#)
- [更新プロパティ](#)
- [コンフリクト](#)
- [コンポーネントタスク](#)
- [削除 \(delete\)](#)
- [削除 \(remove\)](#)
- [差分](#)
- [修正タスク](#)
- [手動で追加したタスク](#)
- [正規表現](#)
- [製品](#)
- [タイプ](#)
- [タスク](#)
- [タスクの完了](#)
- [タスクベースの方法論](#)

- [チェックアウト](#)
- [チェックイン](#)
- [直接メンバー](#)
- [データベース](#)
- [ディレクトリ](#)
- [ディレクトリエントリ](#)
- デフォルトタスク、[カレントタスク](#)を参照
- [転送セット](#)
- [同期](#)
- [バージョン](#)
- [パラレルコンフリクト](#)
- [パラレルバージョン](#)
- [汎用プロセスルール](#)
- [非アクティブリリース](#)
- [比較](#)
- [標準プロセス](#)
- [ビルド](#)
- [ビルドマネージャ](#)
- [ファイル](#)
- [フォルダ](#)
- [フォルダテンプレート](#)
- [プロジェクト](#)
- [プロジェクトグルーピング](#)
- [プロジェクトの更新プロパティ](#)
- [プロジェクトのコピー](#)
- [プロセス](#)
- [プロセスルール](#)
- [プロパティ](#)
- [分散型プロセス](#)
- [ベースライン](#)
- [ベースラインで処理されたタスク](#)

-
- [ベースラインプロジェクト](#)
 - [ベースラインリリース](#)
 - [別バージョンの使用](#)
 - [変更依頼](#)
 - [保存クエリ](#)
 - [マージ](#)
 - [マージコンフリクト](#)
 - [目的](#)
 - [リリース](#)
 - [リリース固有プロセスルール](#)
 - [リリース名](#)
 - [履歴](#)
 - [ワークエリア](#)
 - [ワークエリアコンフリクト](#)

Change

[Rational Change](#) を参照してください。

DCM

Rational Synergy の分散型変更管理 (Distributed Change Management) オプションを使用すると、複数のデータベース間でデータを転送でき、マルチサイト開発を可能にします。

Rational Change

Rational Change は、Rational Synergy と統合された、ウェブベースの変更依頼管理システムです。本書では、Rational Change を Rational Synergy とともに使用する場合の説明をしています。

アクティブ リリース

アクティブ リリースは、進行中の開発に使用します。

インスタンス

インスタンスはオブジェクトのプロパティです。同じ名前、タイプの複数のオブジェクトを区別するために使われます。それぞれのバージョンではありません。

インライン差分

インライン差分は、2つの比較ファイルの個々に修正された行と文字の差分を表示します。

オブジェクト

オブジェクトは Rational Synergy データベースに格納できる（ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、タスク、変更依頼を含む）データの異なるタイプを示す総称です。

カレント タスク

カレント タスクは、現在作業しているタスクです。

間接メンバー

間接メンバーは、直接メンバーと関連付けられており、Rational Synergy が自動追加するオブジェクトです

管理製品

管理製品は、製品のプロパティを持つよう設定されていてビルドによって変更されたオブジェクトです。

共通祖先

共通祖先は、マージされている2つのファイルの最新に一番近い祖先です。マージセッションを行うと結果には共通祖先の内容が含まれます。

クエリ

クエリ（検索）操作により、Rational Synergy データベースからオブジェクト、プロジェクト グループ、タスク、および変更依頼を検索できます。再利用のためにクエリを保存できます（「保存クエリ」を参照）。

グルーピング プロジェクト

ソフトウェア アプリケーションの異なるプラットフォームを含むなどの目的で、複数のプロジェクトをグループ化したプロジェクトのことです。グルーピング プロジェクトは必須ではありません。すべてのプロジェクトが1つの階層に入れられている場合、プロジェクトのセットをチェックインしたり、プロジェクトの新しいセットをチェックアウトするほうが簡単です。

更新

更新操作により、自分のプロジェクトやディレクトリを他のユーザーによってチェックインされた最新のバージョンで更新できます。

更新テンプレート

プロセスルールを参照してください。

更新プロパティ

誰かがプロジェクトを更新するとき、選択するオブジェクトバージョンを決めるためにオブジェクトが使用するプロパティです。

コンフリクト

コンフリクトはワークエリア（たとえば、同期操作をした後）やプロジェクトメンバー（コンフリクト検出を実行した後）に生じることがあります。

コンポーネント タスク

コンポーネント タスクは、ベースラインからプロジェクトまたは製品を集めるタスクです。このタスクは常に *component_task* 状態にあります。

削除 (delete)

削除操作は Rational Synergy Classic データベースからオブジェクトを取り除きます。

削除 (remove)

削除操作はオブジェクトをディレクトリやプロジェクトから取り除きますがデータベースからは削除しません。

差分

差分は、比較またはマージされた 2 つのファイルの差異です。2 つのファイルには 1 つ以上の差分があることがあります。

修正タスク

修正タスクは、修正する完了タスクまたは除外（破損）タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。

手動で追加したタスク

プロジェクト グループینگ プロパティ ダイアログボックス、タスク コンテキストメニューのプロジェクト グループینگに追加オプションまたはアクション メインメニューを使用して手動で追加するタスクです。

正規表現

正規表現は、一致テキストを検索するために使用するパターンを定義する文字列です。

製品

製品は、他のファイル进行处理することによってビルドされるファイルです。製品の例としては、**.class** ファイル、**.jar** ファイル、**.exe** ファイルなどがあります。

タイプ

オブジェクトに含まれるデータのクラスです。タイプはオブジェクトの振る舞いまたは特性を定義します。タイプの例は **java**、ライブラリ、実行形式ファイル、**HTML** です。

タスク

タスクはユーザーに割り当てられた **todo** リストアイテムです。タスクは、完了するために修正されたファイルも追跡します。

タスクの完了

タスク上のすべての作業を完了したときにタスクを完了できます。これでチェックインすべきすべてのオブジェクトがタスクに割り当てられ、ビルドマネージャが製品をビルドできるようになります。

タスクベースの方法論

タスクベース方法論を使用すると、開発組織は作業の基本単位として個々のファイルではなくタスクを使用してソフトウェアアプリケーションへの変更を追跡できます。

チェックアウト

チェックアウト操作は、それをチェックアウトしたユーザーが編集できるオブジェクトの新しいバージョンを作成します。

チェックイン

チェックイン操作は1つ以上のオブジェクトを保存し、他のユーザーが使用できるようにします。

直接メンバー

直接メンバーは、DCM の**転送セットへの追加**操作によって明示的に追加したオブジェクトです。

データベース

Rational Synergy Classic データベースはソース、データファイル、それらのプロパティ、他への関連ファイルを含む使用中の管理データのすべてを格納するデータレポジトリです。

ディレクトリ

Rational Synergy ディレクトリはどのファイルが属するかを維持管理します。

ディレクトリ エントリ

ディレクトリに属する各ファイルについて、ディレクトリはディレクトリ エントリと呼ばれるプレースホルダを持っています。ディレクトリ エントリは属するファイルを識別しますが、ファイルのバージョンは識別しません。

転送セット

あるデータベースからエクスポートして別のデータベースにインポートするため、オブジェクトセットを集めるために使用されるオブジェクトです。転送セットは、変更依頼、タスク、プロジェクト、リリース、ファイル、ディレクトリ、プロセスルール、フォルダ、およびフォルダ テンプレートと関連付けることができます。

同期

同期操作は使用しているワークエリア ファイルとデータベースの情報を比較し、両者間のコンフリクトを解決できます。

バージョン

バージョンはファイル、ディレクトリ、プロジェクトの特定のバリエーションです。

パラレル コンフリクト

パラレル コンフリクトは、1つ以上のパラレル バージョンがチェックアウトされたときに発生します。

パラレル バージョン

パラレル バージョンは、1つのファイルから2つ以上のバージョンがチェックアウトされたときに発生します。

汎用プロセス ルール

プロセスルールは、特定の目的のプロジェクトが更新時に新しいメンバーを選択する方法を指定するものです。これは、システムが開始点として使用するベースラインを検索する方法と新しいメンバーを検索するためにシステムが使用するべきタスクを指定して行います。

汎用プロセスルールは、リリースの一部ではないプロセスルールです。

非アクティブ リリース

非アクティブ リリースは、進行中の開発では使用できません。しかし、再び使用する必要がある場合、それをアクティブ化して使用できます。

比較

比較操作では2つのオブジェクトの差分が表示されます。

標準プロセス

Rational Synergy 用に定義された標準プロセスです。詳細については、[プロセスの作成](#)を参照してください。

ビルド

ビルドは、`makefile` でターゲット向けのコマンドを実行することです。また、ビルドマネージャが製品の作成に使用するプロセスでもあります。

ビルド マネージャ

ビルド マネージャは開発チームによる変更を集め、ビルドするユーザーです。

ファイル

ファイルは、データや情報の集まりです。

フォルダ

フォルダは、名前を付けたタスク グループのことです。

フォルダ テンプレート

フォルダ テンプレートは、フォルダ作成に使用するパターンとなります。

プロジェクト

プロジェクトとは、ファイルやディレクトリの選択バージョンを特定の構造に配列した論理グループです。

プロジェクト グルーピング

Rational Synergy では、プロジェクトはその目的とリリースによって、たとえば **My 3.0 Collaborative Projects** のようにグループ化されます。これをプロジェクト グルーピングといいます。プロジェクト グルーピングは、プロジェクトを更新するときに使用するタスクとベースラインを保持します。

プロジェクトの更新プロパティ

プロジェクトの更新プロパティは、プロジェクトのプロジェクト グルーピングのベースラインおよびタスクです。

プロジェクトのコピー

プロジェクトのコピー操作により、プロジェクトを個人使用のためにコピーできます。変更するためにはプロジェクトのコピーを作る必要があります。

プロセス

プロセスは、リリースのプロジェクトを更新する方法を定義するプロセス ルールの集まりです。たとえば、リリースは **Integration Testing** (統合テスト) という目的を含むことがあります。**Integration Testing** (統合テスト) 目的内に、ビルドマネージャは **Hotlist Testing**、**Integration Testing**、**Resolved CRs** という 3 つのプロセスルールを持つことがあります。**Integration Testing** (統合テスト) 目的は柔軟です。これは、目的がどのプロセスルールを持つようビルド マネージャが設定するかによって統合テストエリアのビルドまたはホットリスト モードのテストの実行に使用できます。開発者はプロセスやプロセスルールを設定しません。プロジェクトの目的だけを設定します。

プロセスルール

プロセスルールは、プロジェクトがどのように更新されるかを定義するパターンを含みます。それらは、誰かがプロジェクトを更新するときに使用する、ベースラインおよびタスクのセットを決定するルールを指定します (旧リリースでは、「プロセスルール」は「更新テンプレート」と呼んでいました)。

プロパティ

オブジェクトのプロパティ (属性ともいう) から、さまざまな情報を見つけることができます。プロパティの例は名前、バージョン、リリースです。

分散型プロセス

Rational Synergy Distributed 用に定義されたプロセスです。詳細については、[プロセスの作成](#)を参照してください。

ベースライン

ある時点における一連のプロジェクトとタスクのセットのスナップショットです。以降の開発の開始点として使用されることがあり、参照のために他のベースラインと比較されることがあります。

ベースラインで処理されたタスク

プロジェクト グループ内にはあるがベースライン内にはないタスクです。

ベースラインプロジェクト

自分のプロジェクトのベースにするプロジェクト バージョンを、そのベースラインプロジェクトといいます。たとえば、「**editor-2.0**」プロジェクトのベースラインプロジェクトは、「**editor-1.0**」です。プロジェクトの新規バージョンをチェックアウトすると、そのベースラインプロジェクトが自動的に設定されます。ベースラインは、ベースラインプロジェクトで構成されています。

ベースライン リリース

ベースライン リリースは、ベースライン選択方法を定義するときに予備リリースとして使用できます。

たとえば、**Insulated Development**（個別開発）目的のベースラインは、プロジェクトと同じリリースの最新の **Integration Testing**（統合テスト）ベースラインです。ただし、これがない場合、ベースラインリリースの最新のベースラインが使用されます。

具体的には、**CM 6.5** のベースライン リリースは **CM 6.4 SP1** です。**CM 6.5** の統合テストベースラインがまだない場合、**6.5** 個別開発プロジェクトは最新の **CM 6.4 SP1** ベースラインを採用します。

別バージョンの使用

プロジェクトのファイルまたはディレクトリの別のバージョンを使用できます。別バージョンの使用操作は、単体テスト中に以前のファイルバージョンに戻りたいときなどに実行できます。

変更依頼

変更依頼は、変更のための依頼です。

保存クエリ

使用できるクエリには、自分が作成して保存したクエリと、システムが保存したクエリの2種類があります。たとえば、**自分のプロジェクト**、**自分に割り当てられたタスク**などがあります。

マージ

マージ機能により、ファイルの2つのパラレルバージョンからの情報を組み合わせることができます。2つのファイルをマージすると、3つ目のファイルが作成されます。3つ目のファイルには両ファイルからの情報が含まれます。

マージ コンフリクト

マージ コンフリクトは、2つの修正されたファイル間で同じ行が違う方法で修正された不整合です。

目的

プロジェクトの目的は、それが何に使用されるかを定義します。たとえば、**Insulated Development**（個別開発）、**Integration Testing**（統合テスト）、**System Testing**（システムテスト）など。プロジェクトの目的を変更すると、**Rational Synergy** はプロジェクトの更新時に異なる選択基準を使用します。

リリース

リリースは、アプリケーションの特定のリリース固有のプロジェクトまたはタスクを識別する属性です。

リリース固有プロセスルール

プロセスルールは、特定の目的のプロジェクトが更新時に新しいメンバーを選択する方法を指定するものです。これは、システムが開始点として使用するベースラインを検索する方法と新しいメンバーを検索するためにシステムが使用すべきタスクを指定して行います。

リリース固有プロセスルールは、特定のリリースのために作成されたプロセスルールです。

リリース名

リリース名はコンポーネント名（オプション）とリリース区切り文字、およびコンポーネントリリースで構成されます。コンポーネント名はアプリケーションまたはコンポーネントの名前を示します。たとえば、**Synergy** や **editor** などがあります。コンポーネントリリースは、アプリケーションまたはコンポーネントの特定のリリースを識別します。**Synergy/6.4** は、リリース名の一例です。

履歴

履歴操作はファイル、ディレクトリ、プロジェクトの全バージョン、およびそれぞれの関連を表示します。

ワークエリア

ワークエリアは、プロジェクトの個人使用コピーを含むファイルシステムの場所です。

ワークエリア コンフリクト

ワークエリア コンフリクトは、使用しているワークエリアとデータベースの間の不整合です。

特記事項

© Copyright 2000, 2009

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Copyright © 2008 by IBM Corporation.

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 106-8711

東京都港区六本木 3-2-12

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、製造元に連絡してください。

Intellectual Property Dept. for Rational Software |
IBM Corporation
1 Rogers Street
Cambridge, Massachusetts 02142
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお問い合わせください。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM および関連の商標については、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。Microsoft、Windows、Windows 2003、Windows XP、Windows Vista および / またはその他の Microsoft 製品は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

索引

C

CLI、Synergy を開始 250
cmsynergy コマンド 250

D

DCM

管理、フォルダ テンプレートの変更
114
管理、プロセスの変更 116
管理、プロセス ルールの変更 118
転送セット、表示 245
転送セットへのオブジェクトの追加
314

I

IBM Rational ソフトウェア サポート 267

R

Rational Change

起動 252
変更依頼の解決 102

S

SiberMerge

比較ツール 195
マージ ツール 186

Synergy

CLI から開始 250
Synergy Classic、ビルド スクリプト
375
インターフェイス、説明 257
コピーベース モードで開始 253
操作の開始 261

U

URL、ダイアグラム、説明 116

X

x、赤、説明 82

あ

赤い x、説明 82
暗黙的コンフリクト検出 26

い

色

加線、テーブルのデフォルト 260
加線、変更 232
プロジェクトアイコン、変更 232
文字、変更 232
インターフェイスのカスタマイズ
エクスプローラ 220
オブジェクトバージョンのフィルタ
リング 235
加線色の変更 232, 237
カラムからプロパティを削除 242
カラム順序 231
カラムにプロパティを追加 241
カラム幅の変更 231
子孫の表示 235
セキュリティを表示 246
選択色の変更 232
祖先の表示 235
タブの最大数の変更、ワーク ペイン
237
タブの最大文字数の変更、ワーク ペ
イン 237
表示するオブジェクトを変更、ワー
ク ペイン 237
フォント サイズの変更 235
フォント サイズ、変更 234
フォント タイプの変更 234
プロジェクトアイコン、色の変更 232
ミニチュア ビューの変更 235
文字色の変更 232
ユーザー プロパティ 137

え

エクスプローラ

1つ、すべて閉じる 219
色、加線の変更 232
色、文字色の変更 232
カスタマイズ 220
クエリを検索メニューに追加 225
タスク、説明 258
ツールバー、説明 258
ドッキング 222
表示 222
表示順序 384
表示する最大数 384
プロジェクトグルーピング内容の変更 223
プロジェクト、説明 258
変更依頼、説明 258
保存クエリ、追加 224
リリース、説明 258
リリースを表示 244
エディタ、変更 138

お

オブジェクト

移動 69
クエリ 149, 182
クエリの定義 156
検索 149
更新選択時の問題 374
最新の情報に更新 284
削除 67
推奨バージョンの使用 25
セキュリティ設定の変更 143
タスクから削除 273
タスクから追加 273
タスクとの関係の説明 29
タスクとの関連付け 272
タスクに関連付け、表示 279
タスクの削除 85
タスクの追加 85
追加 70
ディレクトリへの追加 70
転送セットへの追加 314
同一を比較 201
名前の変更 71
パラレル コンフリクト 32

パラレル、比較 198
パラレル、マージ 188
比較 200
表示 65
表示、履歴 151
ベースライン、リリース 56
編集 65
マージ 187
履歴関係、説明 30
ワークエリアにコピー 40
オブジェクトの管理 187
オブジェクト バージョンのフィルタリング 235
オプション
クエリ条件 165
更新のため変更 42
コンフリクトの自動検出 42
サブプロジェクトの置換 42
転送セット 245
ベースライン作成の変更 103

か

加線、デフォルト表色 260
カレントタスク
完了 76
作成 78
ディレクトリの削除 83
ファイルの削除 83
変更依頼の削除 83
割り当て 77
関係
切り取りによる変更 273
履歴、更新 151
完了、カレントタスク 76
関連オブジェクト、比較 200
関連タスク、表示 87
関連付け
オブジェクトとタスク 272
切り取りによる変更 273
タスクと変更依頼 272

き

キーボード ショートカット 262
キーワード

クエリの 168
テンプレート変更 52

<

クエリ

エクスプローラのカスタマイズ 220
オブジェクト(カスタムクエリ使用)
163
オブジェクトの使用箇所 162
オブジェクトの使用箇所の検索 150
オブジェクトを 163
カスタマイズ 162
カスタム 163
関数 172
関数定義 172
baseline 172
build 172
cr 172
folder 173
has_attr 173
has_child 173
has_member 173
has_model 173
has_no_relationship 173
has_predecessor 173
has_priv 173
has_purpose 173
has_relationship 173
has_type 174
hierarchy_project_members
174
is_bound 174
is_child_of 174
is_hist_leaf 174
is_hist_root 174
is_member_of 174
is_model_of 175
is_no_relationship 175
is_predecessor_of 175
is_relationship_of 175
is_type_of 175
recursive_is_member_of 175
task 175
versions_in_a_baseline 176

関数テスト文節の使用 167
関数引数

attr_name 172
object_name 172
order_spec 172
privilege_name 172
project_name 172

キーワードを使用 168

結果を最新の情報に更新 226

検索順序 172

式、組み合わせ 168

条件オプション 165

スタック 157

属性を使用 167

タスク 164

定義 156, 162

定義済みバージョン 182

定義済みオブジェクトの 182

定義、変更 162

定義方法 162

定数 179

名前の変更 161

ネストされた 170

比較演算子 177

文節 171

文節、グループ化 180

編集 184

保存 158, 159

保存クエリをエクスプローラに 224

保存、検索メニューに追加 225

保存、削除 227

保存、作成 158, 159

保存したものの表示 160

保存、実行 183

保存、フォルダ 258

例 156

論理演算子 178

クエリ ダイアログボックス

オブジェクトの検索 163

タスクの検索 164

グループセキュリティ オプション

セキュリティタブの表示 246

け

検索

- クエリ内の順序 172
- ベースライン順序、変更 119
- 例 156

検索 - クエリの項を参照してください。

こ

更新

- オプション、変更 42
- コンフリクトの自動検出 42
- サブプロジェクトの置換 42
- 選択時の問題 374
- タスクの自動を停止 387
- 注意 53
- プロジェクト 22
- プロジェクトの更新の取り消し 23
- プロジェクトのプロパティの変更 45
- プロジェクトメンバー 22
- ベースラインとタスク 53
- ベースラインを維持、タスクを変更から 54
- 目的の削除 311
- 目的の作成 310
- 更新時の詳細メッセージ 42
- 更新のキャンセル 23
- 更新の取り消し 23
- 更新を元に戻す 23
- コピー
 - オブジェクトとタスクの関連付け 273
 - 関係の変更 273
 - タスク 80
 - タスクをプロジェクト グルーピングに 282
 - 貼り付け、オブジェクト、タスク、CR 272
 - ファイルの追加 273
 - フォルダを新規フォルダに 288
 - プロジェクト 15
 - プロジェクトをファイルシステムに 18
 - プロセス 298

リリース 305

コマンド、cmsynergy 250

コンフリクト

- 暗黙的、定義済み 26
- オブジェクト間でパラレル 32
- オブジェクト履歴関係、説明 30
- 解決 (メンバーシップ) 26
- 更新後検出 42
- 正規表現をフィルタとして 281
- 説明 26, 393
- 大規模、検出 33
- タスクとオブジェクトの関係、説明 29
- パターンをフィルタとして 281
- パラレルバージョン、表示 198
- 深い検出の設定 39
- 変更の欠落、説明 33
- 明示的、定義済 26
- メッセージの定義 26
- 例の種類 31
- ワークエリア 40
- コンフリクトのないすべての変更の適用 191

さ

最新の情報に更新

- オブジェクト 284
- クエリ結果 226
- セッション中に選択を 243

再ビルド

- 自動更新、停止 387
- タスク追加後 387
- 破損ビルド、概要 373
- ビルドマネージャの手法 208
- 問題 387

削除

- 保存クエリ 227
- オブジェクトからタスクを 85
- カレントタスクからディレクトリを 83
- カレントタスクからファイルを 83
- カレントタスクから変更依頼を 83
- 説明 393
- タスク 67

タスク、ワークフロー 61
ディレクトリ 67
表題部からプロパティ 242
ファイル 67
フォルダ 67
フォルダ テンプレート 67
プロジェクト 67
プロジェクトからファイルを 67
プロジェクト グルーピング 67
プロジェクト グルーピングからタ
スクを 47, 61, 94
プロセス 67
プロセス ルール 67
ベースライン 67
保存クエリ 67
目的 311
ワーク ペインからタブを 238, 240
削除 (remove)
削除 (delete) の項を参照してくださ
い。
作成
クエリ 156
クエリ、カスタム 162
サブプロジェクト 64
修正タスク 92
タスク 78
タスクを変更依頼と自動的に関連付
け 99
ディレクトリ 64
テスト ベースライン 214
ビルドのスナップショット 214
ファイル 64
プロジェクト 14
プロジェクト グルーピング 383
プロセス 296
プロセス ルール 302
ベースライン 50
ベースライン ビルド番号 103
保存クエリ 158, 159
目的 310
リリース 305
サブプロジェクト
更新後置換 42
ファイル、作成 64

し

修正タスク
開発者の手法 92
作成 92
破損タスク、修正 90
手動でクエリを最新の情報に更新 226
手法
再ビルド 208
タスクの修正、開発者の 92
特定タスクのビルド 212
ビルド 205
ビルドからタスクを削除 210
ビルドにタスクを追加 209
ビルドのベースライン 214
ベースラインなしの再ビルド 216
ショートカット
キーボード 262
マウス 265
メニュー、表示 276
除外
完了タスク 82
使用箇所の検索
オブジェクト 150
プロジェクト 182

す

スタック、クエリ 157
ステータス行、メッセージの表示 279
すべてのマージ変更のクリア 193

せ

正規表現、コンフリクトのフィルタ 281
制限文字 103
制約
パラレル、設定 126
パラレル、リリースのための変更 306
セキュリティ、オブジェクトの設定を変
更 143
セキュリティタブ、表示 246
セッション、再起動せずに選択を最新の
状態に更新 243
選択、セッション中に最新の情報に更新
243

そ

属性

- クエリ内の値 167
- セッション中に最新の状態に 243
- 名前 50
- 表題部から削除 242
- 表題部に追加 241
- ビルド 51

た

ダイアグラム URL、説明 116

ダイアログボックス

- 色、加線の変更 232
- 色の変更 232
- 色、文字色の変更 232
- インターフェイスのカスタマイズ
- 表示 231
- オブジェクトバージョンのフィルタ
- リング 235
- 加線色の変更 237
- 子孫の表示 235
- セキュリティを表示 246
- 祖先の表示 235
- タブの最大数の変更 237
- タブの最大文字数の変更 237
- 表示するオブジェクトを変更 237
- フォントサイズの変更 235
- フォントサイズ、変更 234
- フォントタイプの変更 234
- ミニチュア ビューの変更 235

タイプ、ファイルの変更 72

タスク

- 2つの間で関係を作成 90
- エクスプローラ、説明 258
- オブジェクトから削除 85
- オブジェクトとの関係、説明 29
- オブジェクトとの関連付け 272
- オブジェクトの削除 98, 100
- オブジェクトへ追加 85
- カレント、設定 75
- カレントタスク、完了 76
- 完了、除外 82
- 関連オブジェクト、表示 279

関連付け、ファイル 83

関連、表示 87

クエリの定義 156

検索 149, 162

更新、変更しない 54

コピー 80

削除 67

削除、ワークフロー 61

作成 78

自動更新を停止 387

自動追加、停止 105

修正、作成 92

除外、開発者の手法 92

除外、削除 387

セキュリティ、設定、プロパティの
変更 130

セキュリティを設定 143

説明 394

選択 75

追加と必須 105

特定、ビルド (手法) 212

必須、追加停止 105

ビルドから削除、手法 210

ビルドに追加、手法 209

フォルダの選択の変更 115

フォルダへ追加 84

プロジェクトグルーピングにコピー
282

プロジェクトグルーピングから削除
47, 61, 94

プロジェクトグルーピングに追加
45, 95

プロパティの修正 129

ベースライン、更新 53

ベースラインに追加 109

ベースラインプロジェクトから削除
371

変更依頼と自動的に関連付け、作成
99

変更依頼、表示 101

問題を修正 90

割り当て 77

割り当てられた、表示 86

問題、プロジェクトグルーピングか
ら削除 94

タブ、ワーク ペインから削除 238, 240

ち

チェックアウト

ディレクトリ 63

ファイル 63

チェックイン

タスクなしにファイルを 62

ディレクトリ 62

ファイル 62

つ

追加タスクと必須タスク 105

ツールバー、エクスプローラ、説明 258

て

ディレクトリ

2つを比較 201

オブジェクトの追加 70

カレントタスクへ追加 83

関連、表示 87

更新、取り消し 23

削除 67

作成 64

セキュリティを設定 143

タスクの削除 83

タスクの追加 83

チェックアウト 63

追加 70

テンプレート、修正 19

パラレル、表示 198

パラレルを比較 197

貼り付けにより追加 70

比較 196

プロジェクト メンバーとして作成
17

プロパティの修正 110

プロパティ、表示 134

テキストの回復 283

テストベースライン、作成 214

デフォルト ツール

比較 138

表示 138

変更 138

編集 138

テーブル

表題部からプロパティを削除 242

表題部にプロパティを追加 241

転送セット

オブジェクトへ追加 314

トラブルシューティング 374

テンプレート

バージョンキーワード、変更 52

フォルダ、作成 291

プロジェクト固有ディレクトリの変
更 19

と

同一オブジェクト、比較 201

同期

データベースへの追加(ファイル) 40

パターン 43

フィルタ 43

ワークエリアとデータベース 40

ワークエリアの変更を破棄 40

ワークエリアの変更を保存 40

特記事項、著作権情報 401

ドラッグ アンド ドロップ、使用 274

な

名前

属性 50

ベースライン、変更 109

ね

ネストされたクエリ 170

は

バージョン

異なるバージョンの使用、更新 22

最新のバージョンを取得 22

推奨バージョンの使用 25

テンプレートキーワード、変更 52

パラレル制約、設定 306

パラレル、表示 151

別バージョンの使用 24

- 別バージョンの使用、説明 398
- パス、ワークエリアの設定 20
- 破損タスク、修正 90
- パターン
 - コンフリクトのフィルタ 281
 - ファイルの無視 43
- パラレルオブジェクト
 - 所有者の検索 380
 - 比較 198
 - 表示 151
 - マージ 188
- パラレル制約
 - 設定 126
 - リリースのための変更 306
- パラレルバージョン
 - 制約、設定 306
 - マージ 188
- 貼り付け
 - オブジェクト、タスク、CR 272
- 汎用プロセスルール
 - フォルダとフォルダ テンプレート 120
 - ベースラインプロジェクト 119

ひ

- 比較
 - 2つのファイル 19, 20, 196
 - SiberMerge デフォルト ツール 195
 - オブジェクト 200
 - コンフリクト、深い検出 39
 - 説明 396
 - ディレトリ 196
 - ディレトリ、パラレル 197
 - ファイル 196
 - ファイル、パラレル 197
 - プロジェクト 196
 - ベースライン 372
 - 類似オブジェクト 201
 - ワークエリアのファイルとデータベース 40
- 比較ツール、変更 138
- 必須タスクと追加タスク 105
- 表示
 - 子孫 235

- 祖先 235
- 表のデフォルトの加線色 260
- ビルド
 - 障害の判断 124
 - スナップショット、作成 214
 - タスク、自動更新停止 387
 - タスク追加後再ビルド 387
 - タスクの削除、手法 210
 - タスクの追加、手法 209
 - テストベースライン、作成 214
 - 破損、修復、概要 373
 - 破損の修復 207
 - ビルドマネージャの手法 205
 - 問題 387
- ビルド属性 51
- ビルドマネージャ
 - 再ビルド 208
 - ビルド 205
 - ベースラインなしの再ビルド 216

ふ

- ファイル
 - 移動 69
 - カレントタスクへ追加 83
 - 管理されているものとの置き換え 40
 - 関連、表示 87
 - 切り取りによる削除 273
 - クライアント ログの出力先を変更 381
 - クライアント ログの名前を変更 381
 - 異なるバージョンの使用、更新 22
 - 削除 67
 - 削除と置換 67
 - 修正 65
 - 修正可能なバージョンの作成 63
 - 推奨バージョンの使用 25
 - セキュリティ、設定、プロパティの変更 110
 - セキュリティを設定 143
 - タイプの変更 72
 - タスクから削除 100
 - タスクとの関連、変更 100
 - タスクの削除 83
 - タスクの追加 83, 85

チェックアウト 63
ディレクトリから削除 273
ディレクトリから追加 273
ディレクトリへの追加 70
同期によって作成 40
同期によってデータベースに追加 40
名前の変更 71
バージョン、使用 24
パターンによる無視 43
パターンを使用して無視 43
パラレル、表示 198
パラレルを比較 197
比較 19, 20, 196
表示 65, 279
プロジェクト内で移動 69
プロジェクトメンバーとして作成
17
プロパティの表示 24
プロパティ、表示 134
編集 65
マージ 187
マージ、保存 192
無視するフィルタ 43
ログ、表示方法 381
ワークエリアの更新 (データベース
から) 40
ファイルの移動 69
フィルタ、ファイルは無視 43
フォルダ
2 つを比較 201
キーワードの定義 291
検索 149
コピー 288
作成、方法 385
詳細 291
使用箇所の検索 150
セキュリティ、設定、プロパティの
変更 112
セキュリティを設定 143
タスク選択の変更 115
タスクの追加 84
内容の表示 385
名前付け方法 291
汎用プロセス ルール 120
プロパティの修正 112
プロパティ、表示 134
保存クエリ、表示される場所 258
用途 385
リリース固有プロセス ルール 120
フォルダ テンプレート
2 つを比較 201
DCM 管理、変更 114
キーワードの定義 291
検索 149
作成 291
詳細フィールド 291
タスク選択の変更 115
汎用プロセス ルール 120
プロパティの修正 114
プロパティ、表示 134
リリース固有プロセス ルール 120
フォント サイズ
履歴内の変更 235
ワークペインで変更 234
フォント サイズの変更 235
フォント タイプ、ワーク ペインで変更
234
プロジェクト
2 つを比較 201
エクスプローラ、説明 258
オブジェクトの追加 70
関連、表示 87
クエリの定義 156
検索 149
更新 22
更新、取り消し 23
更新プロパティの変更 45
コピー 15
削除 67
作成 14
使用箇所の検索 150
新規に開く 277
セキュリティ、設定、プロパティの
変更 123
セキュリティを設定 143
説明 396
タブの削除 240
チーム用に設定 373
追加 14
ディレクトリから削除 273

-
- ディレクトリから追加 273
 - ディレクトリへの追加 70
 - 統合テスト、定義 205
 - 統合テスト、ビルドするタイミング 205
 - 内容の表示 279
 - 比較 196
 - ファイルシステムにコピー 18
 - ファイルの移動 69
 - 不要な変更の削除 373
 - プロジェクト グルーピングに追加 145
 - プロパティの修正 122
 - ベースラインに含める、変更 51
 - ベースライン、含めるプロジェクトの決定 369
 - ベースライン プロジェクトと比較 200
 - メンバーの更新 22
 - メンバーの作成 17
 - メンバーの追加 17
 - 目的、削除 311
 - 目的、作成 310
 - 目的、編集 312
 - ワークエリア外 19
 - ワーク ペイン、タブの削除 238
 - プロジェクトアイコン、色の変更 232
 - プロジェクト グルーピング
 - 2 つを比較 201
 - クエリの定義 156
 - 検索 149
 - 削除 67
 - 作成 383
 - 使用箇所の検索 150
 - すべてのタスクをコピー 282
 - タスクの削除 47, 61, 94
 - タスクの追加 45, 95
 - 内容の変更 223
 - プロジェクトの追加 145
 - プロパティの修正 124
 - ベースラインと比較 200
 - ベースラインに含める、変更 51
 - プロジェクト固有ディレクトリ テンプレート、修正 19
 - プロジェクトメンバー、作成 17
 - プロセス
 - DCM 管理、変更 116
 - 検索 149
 - コピー 298
 - 作成 296
 - 説明 375
 - プロパティの修正 116
 - プロパティ、表示 134
 - リリース エクスプローラ、表示 244
 - リリースに追加 306
 - プロセスルール
 - 2 つを比較 201
 - DCM 管理、変更 118
 - 検索 149
 - 作成 302
 - 説明 127, 296, 306
 - 汎用、およびベースラインプロジェクト 119
 - 汎用、フォルダ、フォルダ テンプレート 120
 - 標準目的 127, 296, 306
 - プロセス 296
 - プロセスと比較 200
 - プロパティの修正 118
 - プロパティ、表示 134
 - 分散型プロセス 127
 - リリース エクスプローラ、表示 244
 - リリース固有、フォルダ、フォルダ テンプレート 120
 - リリース固有、ベースライン プロジェクト 119
 - リリースに追加 127, 306
 - リリースのための変更 127, 306
 - プロパティ
 - 更新、プロジェクトの変更 45
 - 新規ベースラインの選択 57
 - セッション中に最新の状態に 243
 - 説明 397
 - タスク、修正 129
 - タスク、表示 134
 - ディレクトリ、修正 110
 - ディレクトリ、表示 134
 - 表題部に追加 241
 - 表題部の削除 242
 - ファイル、修正 110

-
- ファイル、表示 134
 - フォルダ、修正 112
 - フォルダ テンプレート 134, 114
 - フォルダ、表示 134
 - プロジェクト、修正 122
 - プロジェクト グループिंग 134
 - プロジェクト グループिंग、修正 124
 - プロジェクト グループिंग、タスクの削除 47
 - プロジェクト グループिंग、タスクの追加 45
 - プロジェクト、表示 134
 - プロセス、修正 116
 - プロセス ルール 118
 - ベースライン 134
 - ベースライン、修正 109
 - リリース 134
 - リリース、修正 126
 - ワークエリア、修正 131
 - ワークエリア、設定 131
 - ワーク ペイン、表示 278
 - 分析、深いコンフリクト 39
 - へ
 - ペイン
 - 色、加線の変更 232
 - 色、文字色の変更 232
 - 表示のカスタマイズ 231
 - プロジェクト、加線色の変更 237
 - ワーク色の変更 232
 - ワーク、最大文字数の変更 237
 - ワーク色の変更 232
 - ワーク、セキュリティを表示 246
 - ワーク、説明 258
 - ワーク、タブの最大数の変更 237
 - ワーク、タブの削除 240
 - ワーク、表示するオブジェクトを変更 237
 - ワーク、フォント サイズの変更 234
 - ワーク、フォント タイプの変更 234
 - ベースライン
 - 誤った、例 370
 - オブジェクト、リリース 56
 - 開発者に公開 55
 - 完全、例 369
 - クエリの定義 156
 - 検索 149
 - 検索順序、へんこう 119
 - 更新、変更しない 54
 - 削除 67
 - 作成 50
 - 作成オプションの変更 103
 - 使用箇所の検索 150
 - 新規を選択 57
 - 説明 50
 - タスク、更新 53
 - 正しい、例 369
 - テストの作成 214
 - なしの再ビルド 216
 - 名前 109
 - バージョン、作成 103
 - バージョン テンプレート キーワードの変更 103
 - 比較 372
 - 日付形式キーワードの変更 103
 - 含めるプロジェクトの決定 369
 - 不正バージョン文字 103
 - プロジェクト、タスクの削除 371
 - プロパティの修正 109
 - プロパティ、表示 134
 - ベースラインに含める、変更 51
 - 別ベースラインの使用 58
 - 用途 50
 - ベースラインの公開 55
 - ベースライン リリース、変更 126
 - ヘルプ、使用法 266
 - 変更依頼
 - Rational Change の起動 252
 - エクスプローラ、説明 258
 - 解決 102
 - カレントタスクへ追加 83
 - 関連、表示 87
 - クエリ関数 173
 - クエリの定義 156
 - 検索 149, 162
 - 自動的に関連付けられたタスクの作成 99
 - 使用箇所の検索 150
-

- タスクから削除 98, 100, 273
- タスクから追加 273
- タスクとの関連付け 272
- タスクの削除 83
- タスクの追加 83
- タスク、表示 101
- 追加 83
- プロパティ 134
- 割り当てられたものの表示 153

ほ

- 保存
 - クエリ 158, 159
 - マージ済みファイル 192
- 保存クエリ
 - 削除 67
 - 削除 (remove) 227
 - 作成 158, 159
 - 名前の変更 161
 - 表示 160
 - フォルダ、表示される場所 258
- 保存クエリの実行 183
- 保存クエリの名前変更 161

ま

- マウスショートカット 265
- マージ
 - 2つのオブジェクトバージョン 187
 - SiberMerge デフォルト ツール 186
 - 結果の編集 189
 - コンフリクトのないすべての変更の適用 191
 - 説明 398
 - 次の差分の表示 190
 - パラレル所有者の検索 380
 - ファイルの保存 192
 - 変更のクリア 193
 - マージファイルの保存 192
 - 要件 380
- マージツール、変更 138

み

- ミニチュア ビューの変更 235

め

- 明示的コンフリクト検出 26
- メッセージ
 - 更新時に詳細表示 42
 - ステータス行のメッセージ 279
 - 表示 279
- メニュー、ショートカット、表示 276
- メンバーシップ コンフリクト、解決 26

も

- 目的
 - 削除 311
 - 作成 310
 - プロジェクト、編集 312
 - プロセスルール、作成 302
 - ベースライン選択 57
- 文字、制限 103
- 問題タスク、修正 90

ゆ

- ユーザー インターフェイス ログ
 - 出力先を変更 381
 - 名前の変更 381

よ

- 用語解説 389

り

- リリース
 - アクティブ化 308
 - エクスペローラ、説明 258
 - 検索 149
 - コピー 305
 - 作成 305
 - セキュリティ、設定、プロパティの変更 128
 - セキュリティを設定 143
 - 非アクティブ化 308
 - プロセスの追加 306
 - プロパティ 134
 - プロパティの修正 126
 - ベースラインとオブジェクト 56

ベースライン リリース、変更 126
履歴の表示 151
リリース固有プロセス ルール
フォルダとフォルダ テンプレート
120
ベースライン プロジェクト 119
リリースのアクティブ化 308
リリースの非アクティブ化 308
履歴
関係、更新 151
説明 399
比較 196
表示 151

割り当てタスク、表示 86

る

ルール、プロセス
説明 127, 296, 306
標準目的 127, 296, 306
分散型プロセス 127

ろ

ログ
出力先を変更 381
名前の変更 381
表示方法 381

わ

ワークエリア
欠落プロジェクト 19
説明 399
データベース、同期 40
データベースと同期 40
データベースにコピー 40
デフォルト パスを設定 20
同期 40
パスを設定 20
プロパティの設定 131
変更を破棄 40
変更を保存 40
ワークエリアのリコンサイル 40
ワーク ペイン
説明 258
プロパティ、表示 278

